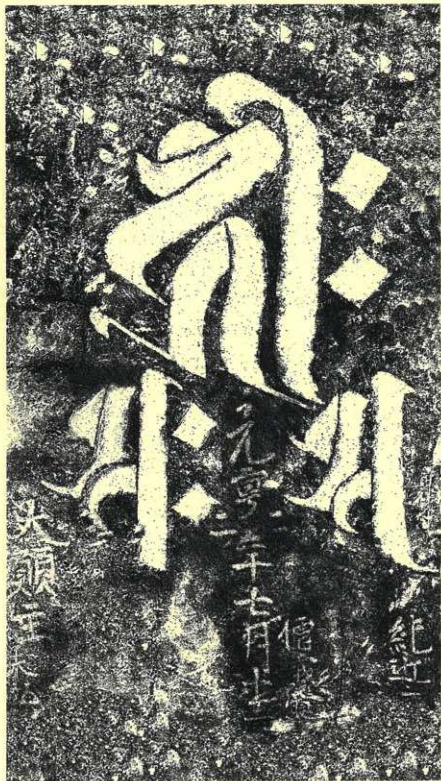


豊後國安岐郷の調査

資料編



大分県立歴史博物館
2003

はじめに

国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査は、昭和五六年に当館の前身である大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館が開館して以来、実施してきている調査です。昭和五六年からは田染荘の調査、昭和六二年からは都甲荘の調査、続いて平成五年からは香々地荘の調査、そして平成一一年から宇佐八幡宮の根本所領の一つである安岐郷の調査を進めてまいりました。

これらの調査では、現在私たちの目の前に広がる景観自体が過去の人々の生活の痕跡をとどめた「遺跡」とし、地域に残る様々な情報の収集・記録と過去の景観の復元を行ってまいりました。しかしながら、国東半島では圃場整備などの開発だけでなく、過疎による人口の減少により、ムラが大きく変貌しようとしています。「荘園村落遺跡」としてムラを捉えた時、このような調査は必要かつ急務の作業であることを実感いたします。

この資料編は、これまで四年にわたって東国東郡安岐町において歴史・考古・地理・民俗・美術史などの各分野から調査してまいりました諸調査の基礎データを整理したものです。これらの資料をもとに、来年度の報告書では過去の景観の復原を行います。

最後になりましたが、本調査に御協力いただいた地域の方々、安岐町教育委員会をはじめとする諸機関の関係者、種々有益な御助言を賜った調査委員および調査員の諸先生方に厚くお礼申し上げます。

平成一五年三月

大分県立歴史博物館

館長 岩井宏實

目次

I	近世史料	1
II	近代史料	21
III	寺社関係資料	52
IV	小社小堂資料	96
V	石造文化財実測図	119
VI	小字・シコナ一覽	136

付図

A-1	明治期安岐町城土地利用図(1)
A-2	明治期安岐町城土地利用図(2)
A-3	安岐町城寺社小堂分布図(1)
A-4	安岐町城寺社小堂分布図(2)
A-5	安岐町城灌漑概況図(1)

挿図目次

1	釜ヶ迫国東塔実測図	120
2	西福寺国東塔実測図	121
3	大吉堂国東塔実測図	121
4	木野国東塔実測図	121
5	恵良国東塔実測図	121
6	桂徳寺宝篋印塔実測図	122
7	中ノ川宝篋印塔実測図	122
8	両子蔵神社宝篋印塔実測図	123
9	護聖寺宝篋印塔実測図	123
10	泉正寺宝篋印塔実測図	123
11	報恩寺宝篋印塔(一号)実測図	123
12	報恩寺宝篋印塔(二号)実測図	123
13	實際寺宝篋印塔実測図	124
14	奈多宮宝篋印塔実測図	124
15	護聖寺板碑(一号)実測図	124
16	柳井田板碑実測図	125
17	岩尾板碑実測図	125
18	護聖寺板碑(二号)実測図	125
19	弁分八坂社板碑実測図	126

写真目次

20	金剛院板碑実測図	126
21	中ノ川板碑実測図	126
22	實際寺開山堂無縫塔実測図	127
23	報恩寺無縫塔(一号)実測図	127
24	報恩寺無縫塔(二号)実測図	127
25	報恩寺無縫塔(三号)実測図	128
26	七郎一石五輪塔実測図	128
27	報恩寺石殿実測図	128
1	釜ヶ迫国東塔	129
2	西福寺国東塔	129
3	大吉堂国東塔	129
4	木野国東塔	129
5	恵良国東塔	130
6	桂徳寺宝篋印塔	130
7	中ノ川宝篋印塔	130
8	両子蔵神社宝篋印塔	130
9	護聖寺宝篋印塔	131
10	泉正寺宝篋印塔	131
11	報恩寺宝篋印塔(一号)	131
12	報恩寺宝篋印塔(二号)	131
13	實際寺宝篋印塔	132
14	奈多宮宝篋印塔	132
15	護聖寺板碑(一号)	132
16	柳井田板碑	132
17	岩尾板碑	133
18	護聖寺板碑(二号)	133
19	弁分八坂社板碑	133
20	金剛院板碑	133
21	中ノ川板碑	134
22	實際寺開山堂無縫塔	134
23	報恩寺無縫塔(一号)	134
24	報恩寺無縫塔(二号)	134
25	報恩寺無縫塔(三号)	135
26	七郎一石五輪塔	135
27	報恩寺石殿	135

凡例

1 本報告書は、平成一一年度から開始した国東半島荘園村落遺跡詳細分布調査（調査地区大分県東国東郡安岐町）の報告書資料編である。本調査は、豊後高田市田染地区の調査（昭和五十六年度～昭和六一年度）、同市都甲地区の調査（昭和六十二年～平成四年度）、西国東郡香々地町の調査（平成五年度～一〇年度）に続いて実施したもので、第四次調査と位置付けられる。

2 調査地区の東国東郡安岐町は、宇佐宮の荘園安岐郷の故地として種々の歴史資料にめぐまれ、荘園遺跡がのこされている。安岐町は大字・下原・塩屋・馬場・瀬戸田・西本・中園・成久・吉松・掛樋・油留木・下山口・山口・大添・糸水・富清・両子・山浦・矢川・朝来・明治から成る。このうち、大字両子には六郎山寺院の一つである両子寺領があり、大字糸水・富清は武蔵郷に属するともいわれる。しかし、安岐郷に隣接し深い関係を有することから調査対象地区とした。

3 本書では、学術調査の立場に立ち、可能な限りの事実を明らかにしている。しかし、人権問題などの配慮を行った箇所もある。閲覧利用にあたっては、差別的解消、人権問題の真の解決につながる視点を要望したい。

4 本書の執筆は以下のように分担した。

- | | |
|-----|----------------|
| I | 平川 毅 |
| II | 櫻井成昭 |
| III | 櫻井成昭 |
| IV | 堀内宜士・中野昭純・櫻井成昭 |
| V | 渡辺文雄・宮内克己・山田拓伸 |
| VI | 菅野剛宏・櫻井成昭・平川 毅 |
| 付図 | 櫻井成昭 |

5 本報告書の編集は櫻井成昭が担当した。

6 図版・資料の作成にあたっては、安倍佳子・堀 優子・光田智美・永岡充沙子などの協力を得た。

7 調査にあたっては、多くの地元の方々に御協力いただいた。また、資料の探訪では大分県公文書館・大分県立図書館・安岐町役場・安岐町教育委員会に便宜を図っていただいた。

8 史料の翻刻にあたっては、できる限り常用漢字に直したが、執筆者や印刷上の問題で統一していない所もある。また、宛字や省略などは逐一指摘していない。なお虫食いなど、判読できなかった文字は□で表現し、適宜読点や並列点を付した。

I 近世史料

天明四農年より文化十一年迄

一 三拾老年

忠右衛門役中

内

用水出来不申迄

拾七ヶ年

御損米平均拾貳石程

拾四ヶ年

用水後
御春免

ここに収載した「文化十一年亥五月 水一件懸合覚」は、近世安岐手水瀬戸田村（付図A-3参照）の庄屋役を代々つとめた中嶋家に伝世した史料である。六九丁からなる整備の形態をとり、法量は縦二四・六四、横一七・二四をはかる。作成者は、表紙に「瀬戸田村 忠右衛門」と記されているように、当該期に庄屋役をつとめていた中嶋忠右衛門である。また、標題にみえる「文化十一年亥五月」という作成年次は、原史料の表記にしたがっているが、じつは文化一一（一八一四）年は戌年で翌同一二年が亥年となる。後述のごとく、記事内容の上限が文化一二年二月である点をふまえれば、「文化十一年」は誤記であり、この史料の作成年次は文化一二年五月と考えるのが妥当であろう。それでは次に、史料の概要について解説しておきたい。なお、以下の記述の中で、「井手」は井堰を意味するものとする。

この史料は、現安岐川に設置されていたと思われる「唐味井手」に瀬戸田村が築造した「二ヶ免用水」（別に「新溝」とも表記する）をめぐり、同村と馬場村・下馬場村（付図A-3参照）との間に生じた水論の顛末を記録したものである。記事内容は上限が文化一二年二月、下限が文政六（一八二三）年六月であり、次の三件の史料から構成される。

史料① 水論発生の原因となった二ヶ免用水に関する史料で、「文化十二年亥年二月御代官より御取調覚」との標題がある。これは、二ヶ免用水の築造以前および築造後の瀬戸田村における損米高について、忠右衛門がその「平均之処荒々取調」べた上で代官衛藤四郎右衛門へ報告したものである。忠右衛門は史料の中で、

と年平均の損米高を書き上げているが、この記載から二ヶ免用水の築造は享和元（一八〇一）年頃に比定される。なお、紙幅等の都合により、史料①は今回翻刻をおこなっていない。

史料② この史料は、忠右衛門が文化一二年五月の水論発生から、翌同一三年三月の代官衛藤四郎右衛門の仲裁による水論解決までの経過を詳細に記録したものである。これをもとに、以下その経過について簡単にまとめておきたい。

先に述べた唐味井手は、後述するように本来は成久村（付図A-3参照）へ水を供給する井堰であったと考えられるが、二ヶ免用水の設置により瀬戸田村へも配水するようになる。これに関して、忠右衛門は「新溝少も参り不申様相成候而ハ實際寺など甚難波」（六月三日条）と述べており、瀬戸田村に所在する実際寺が二ヶ免用水の築造に何らかの関わりをもっていたことを推測させる。この二ヶ免用水の設置にともなう水論の内容は、「瀬戸田（近年新溝出来、過分水取越候付下方甚難波」（六月一七日条）という中園村（付図A-3参照）庄屋役小侯為助の言葉が示している。すなわち、二ヶ免用水の新設により「成久・中園井手も稠敷せき立」（五月二十九日条）であるようになり、そのため現安岐川下流域に位置する馬場村・下馬場村では、「去年も日損二相成、当年などハ根付も出来不申候」（五月二十七日条）と記されているように深刻な水不足が生じて

いたのである。

この問題は、瀬戸田・馬場・下馬場三カ村はもちろん、成久村や中園村なども加わりくり返し協議されたものの不調に終わり、文化一三年三月、代官衛藤四郎右衛門の仲裁により唐味井手の井手口に「箱樋」を設置することによりやく解決した。

さて、史料②には水論の経過とともに、現安岐川下流地域の近世後期における灌漑体系についての情報が数多く記されている。今後、ある地域の過去の灌漑体系を復元する上で、こうした水論史料がもつ情報の有用性には注目していく必要がある。

史料③ この史料は、文政六年の「前代未聞之日照」にともない、瀬戸田村と馬場村・下馬場村との間に再び生じた二ヶ免用水をめぐる水論に関するものである。その内容は、「瀬戸田之方江水分ヶ樋居ハ村々申談四寸角之穴ニ承及居候処、当時四寸ニ五寸之樋居リ、居水過分参リ候者双方共難渋」という馬場・下馬場二カ村の訴えが示しており、前述の文化一三年三月に設置された箱樋の寸法が争点となっている。結局、この問題は従来の箱樋を「整横四寸角之穴、丸木長七尺之樋」に変更することで解決し、瀬戸田村と成久・中園・馬場・下馬場四カ村との間で文書が交わされている。

さて、両者間で交わされた文書によると、瀬戸田村から提出されたものには「唐味井手当村へ水分方之儀」とあり、一方で成久村ほか三カ村からのものには「唐味井手水其御村分分ヶ方之儀」と記されている。これをふまえれば、先に述べたように唐味井手はもともと成久村へ水を供給する井堰であったと考えられる。この点を含め、これまでに述べてきた内容から、唐味井手は現在安岐川に設置されている成久イゼ（付図A-15参照）ではないかと推測される。

凡 例

一 体裁は、左記の場合を除いて、基本的には原史料にしたがった。

* 訂正箇所については、すべて訂正後の文言を表記した。

* 関字については、とくにこれを示さなかった。

一 用字は常用漢字を原則としたが、人名・地名等については原史料の表記にしたがった。

一 変体仮名は、江（え）・而（に）・着（は）のほかは、すべて平仮名に改めた。なお、ふ（より）についてはそのまま表記した。

一 校訂にあたり、便宜上本文中に読点（、）および並列点（・）を補った。

一 当時、慣用的に用いられた文字、あるいは誤字・誤用と思われるものについては原史料の表記にしたがい、右側に（マ）と傍注を付した。そのほか、校訂者による傍注にはすべて（ ）を付しているが、重出する場合は初出のみ傍注を補い、以降は省略した場合もある。

一 虫損等により判読が不可能な文字については、字数に応じて□で示し、字数が不明な場合には「 」で示した。

文化十一年亥五月 水一件懸合覺（抄出）

文化十式亥五月

一 当年も四月中潤雨無之、無程五月中旬も過候へ共田根付出来兼候二付、左之通小門申談致候

一 五月十四日晚、下役人・組頭組内老人ツ、召つれ罷出候様打寄申候、右根付評儀致候処、恵良分ハ油留木井手ニテ漸苗代七嶋間合兼候仕合植付等出来不申、椿分も池水も減候へハ先廿日過迄ハ根付ハ見合其節ニ至り評儀可致、乍然春田向者何卒植付候様致度申談候、本村分過半水取候へ共相残り居候分ハ不残春田水過分入可申候へハ池水二面いかゝ間合候程も難計、尤川筋殊之外水相減潤雨無之候而ハ成久・中園田^〇付も出来兼可申と相考候へハ川水之処少も心当ニ相成不申、乍然用水致種も懸ヶ置可申、池水を以少ツ、根付も致度段申談候

一 十六日、本村分用水致候処川水減少しも上り不申候へハ、又々於夷際寺役人・組頭評儀致候処今迄町程植付為致度分有之、池水を以右之分植付其上申談取計可申、川水ハ先心当致間敷段申談致候而十六日七時池水申候

一 十七日、成久村^〇井手せき夫申來、人夫遣候処七時過^〇水渡り候而廿一日晩迄池も二番上り、小川井手三本相加へ都合三町五反四畝程根付出来申候而、相残申式町程有之候へ共延引可致段申談候

一 廿一日早朝、役人・組頭召寄根付も先相止メ候而、中園・成久も根付不相濟儀ニ有之候へハ川水も今日^〇廿五日迄五日程、昼分面ノ原^〇落し夜分ハ此方へ取越可申、明ヶ暮共六ツ時限り取計候様申談候、

一 尤右両村^〇懸合等有之候而之儀ニ無之、此方^〇も水落し候段届も不致候

一 廿二日、人夫式拾人^〇宇右衛門召つれ恵良ノ下より山浦迄^〇掘二罷越^〇漸暮六時二罷掃候処測數々有之、瀬堀^〇致候へハ水珠之外相増候、何卒いか様ニ成共致成久・中園植付も早々相濟候様致度心得を以罷越候儀ニ有之候

一 廿三日、村中門主郷七社參詣、八幡宮へ參籠、雨乞折願致候、今日未明少し潤雨有之候而川水ハ大分相増候

一 廿四日、塩屋村へ用部有之罷越候処、成久・中園ハ水取仕廻馬場・下馬場^〇今水取懸候様子ニ有之、川水ハ日々相増候へハ兩三日ニハ根付可相濟と申越ニ有之、尤本村分も右潤雨ニて小川も相増今日切ニ植付相濟申候

一 廿五日^〇川水福正寺井手二落し候、是又馬場・下馬場^〇懸合も無之、尚此方^〇及沙汰候程之儀ニも無之候へ共水番之者^〇馬場へ相違候由二候

一 廿七日、馬場^〇蔵殿へ見廻、私申候者川水相増井手懸りハ根付も相濟候処、犬田ニ根付相見候間水差遣候而いかゝ可有之哉之段相咄候処、成程犬田ニ根付有之候へ共御村水犬田ニ貫候様近年相成候付小尾・下堀田^〇甚懸^〇ニ有之候へハ当年柄下^〇方夫是申分有之、御心安御中甚いか^〇數^〇候へ共無余儀御懸合ニも及可申哉ニ有之、下馬場共申談居候由、右^〇二第二^〇候へハ犬田ハ先根付も見合可申と申事ニ有之候、右二付私申候者当年柄川筋植付出来兼候時節本村分疾相濟候段甚不都合可^〇城思召、十日頃迄^〇二過半水取、十六日後取計方之儀前文之通相斷、尚又此上とてても於拙者ハ披及御懸合候而も御答可申趣意無之、成程新溝仕御双方御差障ニ相成氣之毒無限候へ共今

更致方も無之、馬場・下馬場逼迫ニ而間合不申候節ハ拙者方ハいか様共不及御相談、成久・中園ノ水道候ハ、一兩日之儀者川水ハ落し候而も差遣可申、既ニ去年も中園ノ御實候節村方ハ落し差遣候、右之心服ニ有之候ヘハ御懸合者有之候而も御答可申取無之と申候候、廣敷殿御咄ハ近年瀬戸田村ヘ水取候ニ付成久・中園并手ノせき方御敷、就中当年ハにし本ハ成久ヘ参リ中園ニ者塩屋ノ大勢罷越候節、尚当年ハ土も持込候而川下ニハ少も申、村方申出候も成久・中園右様并手開方御敷有之候儀者近來瀬戸田村ヘ川水取候付せき方強御座候由、左候而ハ大川筋之儀ニ有之候ヘ共去年も日損ニ相成当年などハ根付も出来不申候ヘハ、いつれ御懸合を以にし本・塩屋ハ不行届と申年柄ニも本川懸り之儀行届候様ニ者有之度、此段懸合候様申ニ付犬田ニ水所望致候儀も先見合候段廣敷殿御咄ニ有之、何分右様心配筋ニ相成候段氣之毒候ヘ共致方も無之、心服ハ右之通ニ兼々相心得罷在候段御咄申罷候

廿八日、役人中同様八時分惠良ヘ罷越候處、廿七日迄ニ小野分水取仕舞今日ハ根付も可相濟趣ニテ水少シツ、渡り候而、次兵衛・庄作小野鼻ニ当テ有之候ニ付小野江罷越弁差八百藏出合咄合致候處一兩日中ニハ水も惠良分ヘ通り可申、村方植村相濟ニ第双方罷出世話致惠良分根付も出来候様取計度段者々申候も致候趣ニ有之、甚深切之儀共年此上得と出作面々も多候ヘハ申談致候様相續置候、尤役人申談老人ツ、日々相詰居候付若用談も有之候ハ、申談候様相續置罷候

廿九日、下馬場市兵衛殿被見、御咄ハ兼而御承知も有之候通下馬場分年々水行届不申候付中園ニも御相談申候而地原海老や田番下ヶ去冬村方も加勢いたし余水少ニ而も流れ可申哉、尚又所望之節勝手ニ

も可宜取計仕向も致儀候處当年ハ旱魃根付も出来兼去ル廿三日迄中

園分ハ荒水も行届、馬場・下馬場ハ廿三日ノ川水も少々相續候而荒水取懸り候處、石樋ノ下地原へせき懸ケも廿四日ニハにし本・塩屋

方ヘ為介殿御差圖を以落し候由、勿論西本・塩屋も中園ノ余水有之候故水行届候村方ニハ可有之候ヘ共其頃兩村共根付も今少しニ相

成、大川水増中園荒水取渡し候ニ付而ハ追々余水落并手も相増居候處、右様村方出情仕向も仕置候へとも右石樋ノ下せき懸ケも落し馬

場・下馬場者本川懸り昨今根付ニも可取懸と申頃、為介殿御差圖を以落し塩屋・西本ヘ被差儀者甚以いか敷、畢竟近年中園・成久

并手せきかた不一通川下之村々根付ハ出来候而も水行届不申候付小門蹴出も有之、何分難捨置及懸合候心得ニ有之、拙者存寄も可有之

哉之段御咄有之候、右ニ付前文廣敷殿江御咄申候通拙者心服者当年柄別而御心配出来候段何共御返答可申ニ第も無之、十七日夕方ノ廿

日晚迄川水池相加三町余根付も致候ヘ共、廿一日ノ水も落シ廿二日

ニハ人夫式拾人拙者召つれ山浦迄瀬堀ニも罷越、其後馬場・下馬場根付御取懸り候初ノ福正寺ヘ水落し置候心得ニ罷在、尤近年当村ヘ

水取候ニ付成久・中園并手も欄敷せき立下辺御迷惑之段廣敷殿御咄ニ承之、畢竟当村ノ右御心配配り候段返々不相濟儀共相考候ヘ共今

更拙者了簡ニテいか共可致儀も無之、中園・成久ノ水御實候節者当村之所ハ何ヶ時も不及御懸合ニも水落し候而も川筋融通候様仕度、

右御咄之儀者当村ヘ水取候故向村并手せきかた欄敷御難澁と相成候段ニ相聞候ヘハ、拙者ノ中園ヘ懸合候様ニとの思召ニ可有之哉之段申候處市兵衛殿被申候者左様ニ而ハ無之候、先拙者心服御承知被成候而中園ニハ馬場・下馬場ノ懸合候段ニ被申候而罷候

六月三日、中園為介殿方ヘ罷越候處、昨朝日馬場弁差亦作、下馬場

弁差吉右衛門・組頭寅藏右為懸合中圖へ罷越候由、下馬場分年々水も御所望申候処兎角不行届ニ付去冬御相談申候而地原海老や田番下も致仕向致置候処、当年根付も出来兼候時節石桶之下せき懸へもにし本・塩屋へ御差因を以落し被遣候由、尚又塩屋村の大勢井手せき夫罷越候よし、近年中圖井手稠敷御せき留被成候付下辺者甚難波仕候、尤にし本・塩屋ハ山口筋ニ有之本川余水第一之村方ニハ可有之候へ共本川筋根付も不相濟事ニ候へハ御勤弁も可被下廻り敷被成方ニ有之、兩村甚難波致候付小門申出も有之及御懸合候、委細ハ此上御面倒之儀も御懸合可申との儀ニ有之候由為介殿御咄ニ承之、扱々氣之毒千万之御儀共右及御懸合候儀も近年拙村へ川水参り候ニ付御村方井手も稠敷御せき留メ被成候様双方共申候由、勿論新溝之儀ニ有之候へハ於拙方少も申条ハ無御座、廣藏殿（一兵衛殿御咄合も承知致拙者心服も御咄申置候へハ年此上何卒程克御相談被下候様御頼申度、拙方へ水取候付右鉢御双方御心配出来候段甚以氣之毒不相濟程ニ存候へ共今更仕方も無之、下辺水不廻りニ付中圖・成久御相談之上水被遣候節ハ何ヶ時も新溝ハはつし候而差遣度、去夏も右心得ニ而取計候儀も有之候間何分御考合ニ過不申御任せ申上候心得ニ罷在候間宜被仰談被下候様御頼申度段申候処、いつれ内分ハ瀬戸田新溝出来候右様不融通と相成候趣ニ有之候得ハ、貴様御差除ヶ成久・中圖・馬場・下馬場・塩屋・にし本六ヶ村出会申談候様ニも可致哉、新溝少も参り不申様相成候而ハ突際寺など甚難波も有之、尚又津引等も出来候儀ニ候へハ右六ヶ村井手口計り石少し上ヶ候様ニも致不申候而ハ居り合いかゞ敷、瀬戸田ハ磯大川懸り八反之儀ニ有之候へハからみ北ノ溝崩し候而右八反之免米相弁候様ニも相願度と申者も有之候へ共、是ハ法外之儀ニ候へハ取上ヶ候儀ニ無之、い

つれ共右六ヶ村出会可申談と為助殿御咄有之、何分直接御相談被下度段申置候、御挨拶申置候

同日、成久へ罷越重右衛門殿（成久村）ハ右之邊相咄御挨拶申候処成久村ニハ兩村今以懸合無之、重右衛門殿ニも拙者心服相咄何分宣様御評儀も被下候様ニと申置候処、重右衛門殿被申候者当村之儀ハ井手口ニて候へ共何分双方水之差路ハ出来不申不残中圖へ落候而にし本・塩屋へ落候儀ニ有之、尤井手口計り石直し候様之儀有之候共塩屋・にし本御立会ハいかゞ可有之哉、馬場・下馬場とても御立会もいかゞ敷、是ハ成久・中圖・瀬戸田立会ニて可相濟儀共相考候、乍然新役之儀万端中圖氏心得可有之、水ハ兎角中圖村ハ双方融通差路不致候而ハ相叶不申村ニ有之候へハ追々申談も有之候ハ、咄合可致、成久井手ハにし本ニハ出作も過分有之候へ共終ニ井手せき出夫申置候儀無之との儀ニ御座候

六月八日、心願之儀も有之、大神宮江参籠致候間先根付も相濟候儀ニ有之、少々相咄度儀も有之候間下役人・組頭中図ハ社参致候様申聞罷出申候付前文之（第二内々）一通り相咄聞候、当村余水ハ近年之儀誠恵良分なと御領分ニも相聞候日損場根付ニ大川水相用候儀ハ試時節到来之儀、郷中村々夫是不融通之段申候儀者尤千万之儀共無余儀事ニ有之候間於当村少も申条無之、此上いか様及懸合候而も趣意立候返答無之、於拙者ハ幾重ニも双方程克相談相頼川筋差障ニ不相成時分取越、逼迫ニ付成久・中圖辺馬場・下馬場へ水買候節ハ何ヶ時も落し候心得ニ罷在、先日水ハ廿一日日落し、廿二日潮地ニ罷越候儀も右之心得ニ有之候へハ、下方決而夫是と水一件ニ付而ハ勿論何事ニよらず意論ケ間敷心得等決而無之様万事穩ニ申談可仕旨申聞候、後年ニ至り候而も用水之儀ニ付於当村夫是趣意達申儀有之候而

ハ甚不為之儀ニ有之候間若輩者迄々々心得方奏牀ニ申聞置候様致度段申談候

但、下馬場去冬海老や田番下ケ致候付而ハ塩屋村ノ余水北ニ落候而ハ可及迷惑旨每々寿八郎殿御咄も有之候へ共、当村ハ右林双方差障共相成候程之儀仕置候へハ兎角不被申、右之場所相考候処中圓余水地原ノ溝ハ塩屋へ落候へハたとへ番下ケよけ溝等いたし候共巷升之処巷、武合も北ノ方へ落可申候、塩屋之方格別不為と申程之儀も覚聞敷哉ニ相考候へハ、先当年之処を以相考られ其上ニて中圓・下馬場御懸合いか、可有之哉ニ御咄申候儀ニ有之候処、拙者心得不承知ニ思召中圓へ毎々及懸合右地原余水決而北ノ方ニ落し兵不申様御頼申遣由、折節下馬場根付取懸り候時節南ニ石樋ノ下落遣候付余り御無林之被成方と中圓へ及懸合候趣、於拙者塩屋も余り申分強中圓も馬場・下馬場根付取懸り候時節にし本・塩屋も不根付少しツ、有之候へ共、右林中圓荒水行届候へハ程なく阿村へハ水も落、塩屋も水増候付人夫□出井手繕いたし候程之儀ニ候へハ追々根付も済可申、石樋ノ下せき懸ケ落し不申下馬場へ少々ニ而も水参り候様有之候へハ右林之儀も及懸合候程ニも有之間敷敷、乍然ケ様之儀者全時節到来ニて庄屋中互ニ如才有之儀ニ而ハ無之候へ共村方中出ニ付而ハ役前之儀致方も無之候

右之ニ第櫓木脚藏殿・山口寿、右衛門殿ニハ心服御咄申御考合も可被下段御頼申候処、拙者存寄無之御双方御相談ニ第御双方差障ニ不相成節ハ取越可申、逼迫之時節ハいか様共落し可申、其節ニ至り候へ、成久・中圓も申談馬場・下馬場へ水差遣日損出来不申様致度、中國氏御引受御差略被成候思召ニて村々被申談候へ、随分融通ハ可致哉ニ相考候段御咄有之候

六月五日頃、馬場・下馬場へ罷越、右水一件ニ付大ニ御心配差免候儀甚以御笑止ニ相考候へ共今更何分拙者ノ兎角可申筋も無之、兼而心服御咄申候通之儀いつれ共宜様被仰合可被下旨一通御挨拶可申ため罷越候処西所共他出ニて不得御意候

六月八日、心願も有之、大神宮へ致参置候ニ付下役・組頭屋時分ノ致社参候様申聞相備候ニ付、右之次第得と相備候儀氣之毒千万之儀ニ相心得候へ共何分仕方も無之、只々拙者存寄ニ過不申候間宜様返答致吳候様申之候、右ニ付下方決而夫是と申儀相咄不申様往々迄も当村水之儀ニ付而ハ夫是異論ケ間敷相心得候而ハ宜ケ間敷候付、得と下役人・組頭相はまり大勢之儀ニ候へハ心得違之者も有之候へ、情々申聞致候様申談置候、誠ニ下辺不行届、於当村ハ可成ニ行届候儀双方右林及懸合候段尤千万之儀ニ相考候へハ此□ニても何卒少々ニ而も右余水参り候而相助候様仕度、当時之処少し相減候段申分無御座下方迄も得と相はまり候様情々可申談旨申之候、役人・組頭左之通不參無之候

亦右衛門、忠助、永藏、組頭十兵衛、升右衛門、荻右衛門、伊右衛門、利平、段平、米藏、市藏、永助、次兵衛、肝煎常助、宮懸り文助、実際寺御長老、拙者徒然可有之と参籠被成候而咄合御聞被成候、是ハ寺ニも門前過分有之候へハ御心得ニも相成候儀ニ有之候

六月十七日、年番所為助殿方へ当人助給銀之儀ニ付庄屋中打寄有之、相濟候上左之面々右水一件御咄合有之候

下馬場一兵衛殿 馬場廣藏殿 御儀忠之允殿
成久重右衛門殿 中圓為助殿 日本丸
浦下原七助殿 横木鹿藏殿是ハ年番懸り
塩屋寿八郎殿御不參

右御面々御揃中國氏御発言ニ而被申候者、先日以來馬場・下馬場の水一件御懸合筋有之、右趣意之元ハ瀬戸田へ近年新溝出来過分水取越候付下方甚難決之^二第^一、右ニ付当村も井手せきかた強可有之哉、しかし井手も無用ニハせき不申、何卒御双方御出會之儀ニ有之候へはいかゞ致可然哉御詳儀申度、右ニ付爲助殿存寄之処瀬戸田之方も過分相減し、にし本落水・塩屋落水少しツ、相減し候而馬場・下馬場之方江少し落し申度、瀬戸田之方はいづれ共可相成段心服承居候へ共塩屋ハ当春以來毎々懸合有之何分承知可致程難計、にし本ニハ兩所ノ落候へ共是ハにし本計ニ無之、塩屋ニも随分懸り候へハせき揚ヶ候儀も出来兼可申候へ共、塩屋へ落候短少し相減下馬場へ落候様致度御双方いかゞ可被思召哉、たとへ瀬戸田新溝少も不遣候而も井手にてもらし下辺融通候様ニハ難相成候へハ此処いかゞ可有之哉、先村々申分之趣意も瀬戸田ノ発り候儀ニ有之候間瀬戸田之方何ほど相減し可然哉、其処御談申候上ハ村々下方ニも中間方も可有之哉之段被申出、御双方格別申分も無御座候へ共第一「一」小門申出へ不一通儀ニ有之、右之段も組廣藏殿が被申候へ共不承知ニ有之候へはいかゞ可有之哉、村方申分之儀者当年柄之儀ニ無之、昨年下堀田ハ殊之外損ニ相成御毛見ハ出来不申候へ共、利田も地主へ差返漸突逢合之毛上ニ有之候へたとへ「一」井手分々もらひ候様之儀ニ而ハ行届不申候得へ、大川懸り先年ハ日損ハ無之候間瀬戸田を漬し候共成久・中園より井手を勘弁致候而せき候共日損相成不申様世話致良候様、其儀不相叶候へ、御免下ヶ御願可被下哉、左無之候而ハ御百性不相動と一統弼敷申出候由、双方相減候而之処にて下方承知可致難計、右ニ付而ハ第一庄屋勘方不宜段色々申出も有之候へハ難差押相考候由、にし本も落水相減候儀ハ不仕得と申候へ共い

かゞ可有之「一」中園氏被申候処今日不參ニも有之、塩屋之方甚獨敷被申候へハ承知有之間敷、当春以來塩屋之懸合ぶりニ准し取計候へハ疾下馬場とも不安懸合も可有之候へ共中園へ何角引受居候儀故先其分ニ有之、中園氏ハ塩屋ニハ右「一」難相越也ニ有之段爲助殿被申候、且懸種^{（中園氏）}氏被申候も兼而惠良分へ余水遣候儀も甚不宜と忠之允殿ニも塩屋が被申候由、誠小野分出作過分有之儀付差遣候儀と返答被致候由御咄ニ有之、右ニ付拙者「一」者瀬戸田之方水減し方いかゞ致可然哉於拙者いかゞ共差略難相成、此儀御双方御詳儀^二第^一と申候処、廣藏殿被申候者先年之処武歩、近來八歩相増候といたし、右八歩半減にして六歩遣四歩相減し候而者いかゞ可有之哉と被申候、中園思召ハ石種ニいたし「一」四寸角位之種堀込候へはいかゞと申、馬場ハ四寸角ハ過分ニ可有之と申決候儀ハ無之、当時之水を十歩として何歩之計いと申儀筆紙ニも言語ニも尽かた、右ニ付いか様只御詳儀宜御願申度、此度御双方御心配も拙村ノ発り候儀此上御代官様御厄介ニも相成候而ハ重畳恐入罷在、右御咄申候通之心服ニハ罷在候へ共此上拙者心得方も可有之哉、一通り御賢慮も御願申候而も御双方穩ニ相成候様致度相考候儀も有之候へ共、此時節拙者ノ御内々ニ申上候儀とも有之候而ハ御双方思召ハ御内々御代官様へ罷出御敷々間敷儀申上候様とも成行可申哉と雖と差扣罷在候段申置候、中園氏思召も尤之儀當時瀬戸田ノ乍内分も御代官様へ申上候へ、却而申分ハ募り候儀ニ可有之、幾重ニも往々迄も申分「一」相談いたし規定致置申度と被申候事ニ御座候儀者きまり候儀無之、今日ハ皆々引取申候

但、当村へ新溝出来候而ハ村々差障ハ可有之、右様御懸合下方中分も尤至極之儀ニ相考候、乍然馬場村ハ大田者水之場所有之用水

加勢夫も参り年々水不遣年ハ無之、就中去年ハ毎々中来候付差遣御毛見も一坪□者出来七嶋損も無之、武拾人余も当村水ニテ相助り候面々も有之候へ共当年ハ大田へ責候而ハ下堀田不為と申責不申、右林ニ御免下ケ等も願度一円当村新溝潰し候存寄と申ハあまりした申分相考、尤大田作りと下堀田作りハ不残人も替り居可申哉ニ候へ共一林之処ニ而ハ勘弁もかろく候様相考候、尚塩屋村ニハ三拾ヶ年余之処荒々相覺并手懸り白干等出来候段終ニ承不申村ニ候へ共、此度之申分甚手強ク兼而懸種ハ水遣候儀甚不宣とも申趣ニ候由、当時相考候付右新溝ハいか、致存立□早損村ハいつ迄も日損ニ相成候共飢死散離も致間敷全我分ニ德用計相考候儀ニも無之、不存寄一□者御賞しニも預り当時ハ御厄介も可差免哉甚恐入候次第、右用水懸り之心配いたし候ハ、外道ニも何成共出来も可致上ニ御願申様も可有御座事と存甚以不行届後悔不心痛罷在候、物事向かたニハ成られ不申候ものニ有之候へ共馬場・下馬場申分御尤之儀ニ有之、何品とても日損之心痛ニハ増候儀有之間敷、役内証共生運之心痛不少候へ共皆々無用ニ相成候儀せむもなく候へ共致方無之、我分不行届とのミ相考候、只々此上ハ天道ニ任せ置候へ外無之、乍然心痛ハ不得止事候

十八日、下役人永藤、組頭十兵衛・升右衛門召つれ候而早朝出立、両子走り水祭祀致参詣候

十九日朝飯後、水番伊兵衛・米蔵石呼議候儀有之候間からみまつ井手ニテ水半分川ニ落し、半分を以今日ハ五日程随分出情間合せ候様行届間候へハ幾日ふりニ池抜候様可相成哉、右之通世話致候様申聞候

廿日早朝、役人中召呼本村分今日ハ川水不残落シ池抜間合候様可致、

椿分今晚打寄評儀致御毛見出来不申様可申談旨申談候、川水落候段中園「」

成久并手せき申来、人夫差遣、并手祭り神酒遣ス

今日為介殿飯後ニ御出、御咄合之儀者今日より川水落し候段尤千万之儀中園并手せき候付馬場役人も参り居候付当村落し候ハ、中園も水分ケ可遣、先兩三日ハ池ニ而相弁候様いつれ中園より村々水差略不致候而ハ不相叶候間拙者引受候而成たけ申談可申段御咄有之、勿論拙者存候処も外村ハ差略難相成候へハ兼而左様希罷在、折節羽田方伊右衛門殿被見先ケ様之節後々規定ニも□候様之儀も出来兼候儀ニ有之候へハ何卒当時柄之儀ニも可有之、いか様とも中園御差略を以双方融通候様御取計可被下旨御咄合申候儀ニ有之候、下馬場ニも昨十九日ハ地原少しツ、落し遣候由ニ有之、何卒馬場・下馬場可成三行届候可申「」

今日下馬場并差仁兵衛・組頭勘助罷越、当年柄ニテ水甚不行届当惑仕、右ニ付当村先規之通ニ致異候様申之候、返答ニ当年柄別而双方不行届三付苦々數儀共馬場・下馬場不行届ニ御座候由、昨日ハ川水も半減ニ致今朝ハ不残落し候間其段中園へ中道候、追々中園ハ差略御取計も可有之、於此方者何ヶ時も下辺不行届ニ付中園ハ水被遣候節ハ不及御相談御沙汰ニ第落し差遣候心得罷在候、乍然永々新溝不用ニいたし候儀者拙者之了間を以ハ出来不申段申置候

今日中園并手せき、出作罷出候内ニ為介殿水落し有之候間馬場・下馬場一兩人ツ、罷越見届候様申候よし、阿村□者罷登新溝之上ハ落し候由、石垣も損「」候へ共先其候ニ差置候

廿一日早朝、瀬葉ヶ谷池責候

廿二日、今日雨乞・虫折梅村中參籠、昼時分ハ兩度ほり沈二降候、

懸樋迄ハ両度共坪水流シ上潤十分二有之由川水も相増候、尤役人中
中園へ罷越役人中へ挨拶致置候様申談罷越候

廿三日、中園祭礼ニ付中園へ罷越候処、水も余程相増今晚中二ハ馬
場・下馬場も行届可申趣、成久氏被見御談申候者水相増候上ハ又々
取越候而ハいかゞ、三日之内水減可申、其節ハ又々落し可申申談
候処中園へ一通り懸合可申と申候付任意、尤兩村ニも段々心配も
有之候へハ拙者役人召つれ一通り罷越候而挨拶致置可申、其上御懸
合被下候様中園氏申談候

成久村小門申分ハ實際寺西ニテ水落し候様相成候へ、本井手□取掃
申度、重右衛門殿方へ申出も有之「一」伝言も有之候へ共誠此度之
儀者當時愈難相渡候事故其通致置候

廿四日、水藏召つれ馬場・下馬場へ罷越、川水も相増追々行届候半、
其上ハ又々当村ニも通し申度、万端水之儀者中園氏御取計ニ無之候
而ハ融通不致候付乍此上いづれ共御相談致度段申置候、昨廿三日夕
迄ニ大奉行届候趣ニ有之、今日成久へハ役人中方へ亦右衛門・忠助
差遣、沢かけ長次郎方へ水藏差遣

水増候付中園弁差良兵衛心付を以實際寺分一□千付居候付相当申度、
下馬場田地見廻り一兵衛方へ立寄候而水増余程行届候間實際寺分へ
当させ申度段申談候処随分可宜旨申候由、馬場ニも立寄候へ共留主
ニ有之由、拙者も居合不申直ニ實際寺へ参り致差因当させ申候、右
之段中園の申来□□今晚中園へ参り實際寺分計ニ可致哉、下辺も大
奉行届候上ハ種も渡し申度いかゞ御考可有之哉と申候処、此度落し
候儀者誠ニ当難渡兩三日位水増居可申候間種ヲ通し候様可然、了兵
衛も召呼申談一兩日ハ中園井手もはね置可申、瀬戸田へ通し候段為
助殿の馬場・下馬場へ御状□遣候而懸合候筈、又々不行届之節ハ何ヶ

時も落し中園も融通取計可申段ニ懸合候筈、御相談申候而廿五日
早朝迄寺分相濟種を渡り申候

廿六日九時分、馬場廣藏殿御出有之、去ル廿三日潤候而水少々相増
一通りハ行届候へ共もしや兩村共水廻り不申候付中園へ罷越候処、
為介殿御出役ニ付下役人良兵衛方へ懸合置候付水落具候様被申候間
随分落し可申段申置、廣藏殿被帰候間即刻水番へ可申聞存候処良兵
衛罷越右之段申候付、下役人水藏へ中園良兵衛同道致にし原より
落し申候

廿八日、潤雨有之、此辺漸雨落少し溜り候位十分之ほこり沈之御届
致候処田□八十分之降ニ有之由、川水殊之外相増双方井手□越し候
様相成候ニ付廿九日朝々本村へ取下し申候、尤此段廿九日御代官様
御廻村ニ付為介殿御付廻り御出ニ付御咄申候

七月朔日、御代官中園年番元へ御滞、庄屋中相寄罷出候付去冬小門
献納人御賞し有之、尚又小門高懸り献納も差出候付御酒三合ツ、被
下置候段被仰付候、御毛免状今日被仰渡候

右打寄「一」郷中川懸り庄屋中一通り御評儀も可有之趣ニ有之候
開心服兼而中園・成久江御咄申置候、尚今日も御相談可被下段千万
忝何分宜様御咄合可被下、出候候而ハ馬場・下馬場心服も難相分儀
も可有之哉ニ付引取候、尤中園・成久へ水之儀ニ付趣意ハ無之、乍
然井手口計り石ハ急度規定致置申度段御咄有之、於拙者後□申分無
之様規定相立候上ハ無此上多分之義可申様無之段申置罷帰候

朔日夕、中園へ罷越候処為介殿の被申候^二第

一 打者後、中園・成久・懸樋・馬場・下馬場・にし本・塩屋・浦下原
御揃右水一件御評儀も御座候処、馬場・下馬場申条先年之川懸り
八反之外新溝一円相用不申様致度被申候由、右ニ而ハ年内分實際寺

甚迷惑之段成久・中國二者且家過分有之相欺候段爲介殿・十右衛門殿より被申候處、寺之儀ニ有之候へハ其処ハいか様共可致候へ共小川ニもらし候儀も不相成段ニ被申候由、右ニ付數年來右様成行候儀成久・中國趣意も申談色々手段御都合も御座候處多少ニよらす種々被儀候之儀者一円出来不中、乍然池も仕懸候上川水も相増候間少し道具候儀之儀者其節之時宜^二第二可致御兩村申分ニ有之候ニ付、中國氏被申候者左様之儀ニ候ハ、是迄御取計も致度心得二罷在候へ共中國・成久ハ相除り申度段被申候処いつれ水之儀者右御兩村ハ御差略被下度、尚又此度之取總御中人ニハ御頼不申候而ハ不相成候付御頼申度、御加役之御約合を以も此段瀬下田へ御遠被下候様被申候由爲介殿委細被申聞候へ共筆紙ニ難尽、右ニ付拙者申候者毎々一通御辛勞被下御双方御揃御評儀被下候上御手段も御尽被成候處、馬場、下馬場居り合不申段仕方も無御座承知仕候段御返答ハ兼而御咄申候通私了簡ニてハ出来不仕候間、乍恐御代官様御伺申上候而返答仕度少し延引候段も宜く被仰達置被下候様申置候、然処爲介殿思召も幸御出郷之儀午御内々右申談候^二第一通り御咄申上候様致度、もしや御休ミ被成候得共爲介殿御咄被仰上候処甚苦々數被思召上御心配被成下候由、先達内々鹿藏も承候處表立候而ハ甚不安儀ニ思召候付成たけ内証申談候て居り合候様ニと存候處、右御評儀有之候上兩村不居り合と有之候而ハ忠右衛門も相伺候上返答可致候段尤之儀ニ有之、數年來兩村川懸り御毛見等も出来候段終承り不中、瀬戸田ハ先年ハ極[□]日損場ニ有之候處、近年御毛見も出来不申候へハ一円[□]新漕相用不申様ニと申儀も甚いかも有之、市兵衛・廣藏[△]下方申解方ハ不行届共候而ハ有之[□]敷哉、今一応中沢氏可差遣候間年番方も申談候而兩村組頭中へ得と訳合申聞候様ニとの思召ニ御

座候へハ、明二日二罷越承調可申候間先御伺出府之儀見合候様爲介殿被申聞候、横木氏不快ニ付出役無之少し快候ハ、押而も御出役候様懸合候而兩村組頭心得承儀上沙汰可致旨爲介殿被申聞候

右御内々爲介殿被仰上候へハ、明朝繰出一通り拙者も御咄申上御挨拶致置可申談之段申談候處可然旨被申候

一
七月二日早朝、中國へ罷出御代官様へ申上候者是迄懸と御咄も不申上候處、爲介御承知被成下候通當年柄水一件殊之外六ヶ敷懸合ニ罷成、昨日郷中村々庄屋中評儀ニも及儀処兎角馬場・下馬場不居り合ニ御座候段甚以恐入候儀ニ御座候へ共、私返答筋此上御伺申上差[△]二第二仕候外愚案無御座重疊恐入罷在候段申上候處、御代官様被仰聞候も追[□]御聞及甚苦々敷成たけ鹿藏・爲介申談内談居り合候様相咄置候處、兩村不居り合ニ付右懸返答も御差[△]二第一と可被申出旨尤之儀ニ有之候へ共、數年川懸り御毛見出来候儀も不承成久・中國之趣意ニ成寄申談居り合候様致度、其元も數年世話致候儀[□]無甲斐相成候儀も甚不相濟候へハ、今一応拙者[△]年内分中沢へ申談年番方同道致兩村組頭中心得も承り理害も申聞候様申談可爲致、其上居り合不申節ハ相伺候外有之間敷、左候而ハ其元數年之世話も無甲斐罷成下[△]兩村申条も甚以いか敷可被思召上載不安事ニ相成候へ共致方も無之段被仰聞候、右之通今更不居り合之儀申上候段重疊恐入候へ共何分仕方も無御座、左も相成候へハ初發[△]之^二第一通り御咄不申上候而ハ難相分、迄々罷出万々可申上段申上置中沢氏ニも右挨拶致置候様

一
七月三日飯後、弁差忠助中國へ差遣、昨夕兩村御取調御出来御引取候談承り合ニ差遣候處[△]御引取候由ニ有之候間、即刻忠右衛門中國へ罷越中沢氏年番衆へ右御挨拶致候處兩村共組頭中へ訳合御申聞

置被成候由、今日明朝迄ニ御返答可申之旨申出有之候間明朝否之儀沙汰可致との御事ニ有之候間直ニ引取申候、横木氏も昨日下午馬場迄御出役、中沢氏・為助殿・鹿藏殿御一同ニ兩村□談置被下候趣ニ有之候。

今日塩屋寿八郎殿被見、一昨朝日打寄評儀候ニ第承知候半、もしや此上内談候時宜有之閑敷、無提右之ニ第御代官様へ御伺申上御差因ニ第返答致可然旨御咄有之候間、乍御内々右之通御代官様之御趣意も有之否明朝迄可申來、其上之儀ニ可仕、いづれ内証居り合出來中間敷趣ニ□者可有之と相咄候。

四日飯後、中國ノ米狀、水一件ニ付申談候儀有之候間、役人中・組頭老兩人同道罷出候様申來候付役人中・組頭ハ利平・十兵衛召つれ罷出候処、中澤氏御逗留為介殿之被申候者馬場・下馬場之昨三日夜役人・組頭罷出候処、一昨夜申談置候通右八反水立会之上規定相極候上八反之分黒干ニも相成候位之儀、致融通下刃樋も渡し候共強而苦ケ間敷、いづれ中國・成久御取計ニ御任申候付宜様御評儀可被下旨申出有之、先内済ニ而居合可申趣ニ有之候由、右ニ付中國・成久役人・組頭も中國へ御召呼存寄も可有之哉御聞調被成候処御双方御立会之上規定御立被成候儀ハ随分可宜、水之儀者是迄之処せト田之方兎角御減し可被成御評儀と承候へ下方へ申談ニも及中間敷、たとへ是迄之通ニ而も御立会之上御極被成候事御座候へハ申分も無御座段申候由、左候へハ瀬戸田下方存寄はいかゝ可有之哉、兎角減少可相減候へハ一万下方夫是不磨り合共有之候而ハ相済不申存寄申出候様為介殿・中澤氏御一緒ニ御咄聞有之候、右ニ付拙之申候者段々一不通御心配被成下候段千萬奈、馬場・下馬場申出中國・成久御取計ニ任内済居り合可申趣ニ御座候得者於当村毛頭申分無御座、右兩

村不磨り合ニ候へハ無提已來新溝懸相用候付御伺申上候上之返答不致候而ハ村役人存寄ニて返答出來不仕、全以公辺相望候儀ニ者無御座、何分水御差路樋居等之儀者別而御幸旨之儀ニ有之甚惡入候得共此上之処いか様共御取計以居り合候様一向ニ御願申度、於小門も心得方情々申聞置候間少も異変ニ存候者無御座段申候由、左候ハ、近日廣藏殿・一兵衛殿御出會得と御心服も承之候上樋居計らひ等之儀も御談も可申、役人・組頭差返恐右衛門儀者相澤下馬場・馬場へ被罷出候様ニ申遣候処、一兵衛殿・大藤藤平殿内方病氣ニ付被罷越候由、廣藏殿七時通中國へ罷出られ候、右ニ付中澤氏・為介殿之右之ニ第御咄有之候処、廣藏殿被申候者小門申出候趣直ニ役人・組頭之御承知被下度候付昨夕差出候通之儀いづれ中國・成久御取計候付規定ハ相立候様致度、乍然樋居之節ハ兩村役人・組頭老人ツ、召つれ見分為致置候様致度候間其段ニ御承知御取計被下候様ニと被申候、右ニ付中沢御氏・為介殿御咄も樋と申も近辺ニ右様之類無之何程之樋ニ致可然哉、左候へハ同地も池懸り同様ニ相成川水相増候とて樋ノ水者増不申根付等ニハ右八反之処も迷惑可有之候へハ、樋ノ上ニ計いニ而も致水増候上ハ瀬戸田之方ニも沢山ニ參り候様致不申候而ハ川之甲斐も不相分、右八反と申もの之新溝も御免有之候得者差路不致候而ハ甚迷惑ニ及可申、右八反切之事ニ候得者夫是申論候儀ニ者無之段御咄有之、廣藏殿ニも御咄井も有之と御咄有之、御心服も先相分候へハ此上一兵衛殿御心服ニ第近々立会も御極可被成段ニ相成候、右ニ付拙者申候者何分御双方御評儀を以御規定相立候而内済御居合被下候上ハ、於瀬戸田ハ毛頭御厄介筋申上候心服無之樋居ニ而も随分承知ハ仕候、乍然右廣藏殿御心服も御咄被成候上於拙者も有御咄申度池も有之候へハ、飢水之節はいか様少分ニ有

之候而も不苦候へ共潤後川水相増候節へ外村御障りニも相成間敷候へハ沢山ニ参り候様致度、是ハ勝手強申分共可思召候へ共誠肌水之砌者池ニ而相度申度、乍然種居ニ而も承知難仕とハ決而存不申候間御存分御取計被下候様、此上之儀ハ唯御勸弁之處希候左右否候段申之、廣藏殿ハ御引取市兵衛殿右之趣御懸合被成候旨ニ有之候、尤廣藏殿被申候も右様御相談之上種居ニも及間敷、拙者も書付等出来候上ハ小門ニ説聞置候様致度、左候へ、種直ニも及間敷段被申候付いか様共御相談ニ第於拙者へ存奇毛頭無御座候間宜御頼申候段中置候、右ニ付拙者・為助殿御談合申候者四日右之趣御代官様大ニ御心配被思召上候ニ付市兵衛殿心服も不相分候へ共小門申分ハ役人・組頭申出有之、廣藏殿御咄合も致候へハ拙者心服市兵衛殿ニも為助殿御達可被下、外用も有之候へハ明五日ニ致出府御心配を以内済成寄居候段御咄申上度、中澤御氏ニも明日御引取委細ハ被仰上可被下候へ共於拙者早々御安氣被下候様申上度段相談候処、明朝一兵衛殿可被罷出候へ共御談可被下間出府候様被申ニ付五日早朝罷出候五日早朝出府、右之趣御代官へ罷出御咄申上委ハ御奉行今日御引取御承知も可被下、先内済成寄居申候へハ此上之儀着いか様共中沢御氏御立合（一）中園・成久ノ水之規定ハ相立候様相預置候、乍此上御考合被成下候様ニと申上置候、御咄ニも増田様ニも追々御聞及も御座候由御咄も有之、いつれニも差立候而ハ甚不安儀ニ候へハ成たけ乍此上内済申候様被仰聞、尚為助殿方ニも御伝言有之

中沢御氏今朝御引取無之、毎々御見舞申候処不願御目候段申候候五日夜出府帰、中園ハ立寄御奉行ニも可懸御目、尚又為介殿御咄も承度立寄候処中澤御氏七時分より御引取候由、いかゞ間違候段御出會不申、為助殿御咄ニ今早朝下馬場・馬場役人恠人・組頭恠人ツ、

罷越候処昨日廣藏殿被引取いか被相弁候哉甚趣意違之申分、昨日御咄合之處廣藏殿承候処小門存寄ニハ大ニ相違仕規定計い等も出来中間趣ニ承之、中ノ左様之事ニ而ハ居り合候儀ニハ無之段申出候ニ付御奉行ニも為介殿被申候者夫ハ廣藏殿いか被相咄候哉決而左様之儀ニハ無之、瀬戸田存寄ニハケ様ノ双方心得ハケ様と咄合致決而計いすへ之儀ニ及間敷と申候而ハ無之、頼煇候而廣藏殿同道被罷出候様申差返候処、飯後ニ右庄屋中・役人・組頭被罷出四日被申談ニ第御咄合も有之候処廣藏殿少し趣意違も有之趣、右ニ付為介殿被申候者右之通被申出候上ハ何分取扱も難敷、何程之種居いたし候而直候哉下辺ノ取拵御持参可然段被申候処差渡三寸角之穴ニて可宜申候由随分可宜、先心見二居へ置候而一両日も相立候而其上見廻り差因可致被申候而右面々被引取、進々兩村組頭老人ツ、右様持参候ニ付中園ノ弁差良兵衛被差遣成久ハ重右衛門殿御立合種居致候上し御咄ニ有之候、昨日廣藏殿御咄合とハ大ニ相違有之候へ共随分右之通可宜御取計御差路ハ中園・成久へ相頼候段ハ毎々被相咄候へ共決而左様ニも無之、先右種水ニて暫く相禮見候上ならてハいか共難相分段御咄合器停候、廣藏殿・一兵衛殿被申候も中園小門内心ハ馬場・下馬場同様之趣意ニ有之候由ニ相咄候由、左様有之間敷儀とハ兼而相考不申候

但、昨四日、大添へ市兵衛殿罷越候付廣藏殿御老仁迄ニ御咄合申候而被罷出候段中園ニて御咄ニ有之候処、大添ノ疾被罷帰平八郎殿方へ被相扣同所ニて御所御相談之上被罷出候而、廣藏殿右之通市兵衛儀者大添病人大造ニ有之難罷帰候段被申候儀ニ有之、平八郎殿方ニハ昨四日森之進様御入候寄御延引ニ相成（一）御間合候付拙者・為助殿ニも相扣れ候へ共、右申談しも有之不參致候

処市兵衛・廣藏疾く罷越、下馬場ハ右一件兼而法外も申候由承伝も有之候へ共其儀ハ兎角不申候へ共、彼ノ地にて申談も有之被罷出候而ハ「一」隠居迄ニハ出候由廣藏殿申分甚儀談之儀ニ相聞、尚四日ニ申談候。二第下方ニ相弁候。二第大ニ間違有之、甚いか、數兩人之趣意難相分候へ共右種水にていか様ニも行届候哉、議候上ならてハ難相分段中國氏「一」御咄合申候儀ニ有之、御同人被申候も何事も不申下刃存寄ニ任せ置候様可然御考ニ有之、於拙者も左様相心得候段申罷帰候。

但、四日九時前、市兵衛殿大添く被帰候由、大道にて重右衛門殿出候由、岡氏同道被致候由、廣藏殿被申候へ共岡ハ罷越不申、色々廣藏殿申矣儀談有之候。

一 七月十九日、成久江罷越候、右水一件も盆前日大雨にて多少不相分何事も懸合不申、尤極居之節重右衛門殿被立合候間其段及挨拶候處、同人申候者右種居之節中國氏反別取立ニ付罷罷出、立合候様申來候付良兵衛同道下馬場組頭清助大夫三人罷越候而極居致候處、いか様之取合にて下馬場右種持來り候哉不承知ニも有之候へ共先議と有之中國申來候付居置候由、尤清ニためし寸致見候處右「一」ハ深窓尺卷寸有之候處種ノ水にてハ貳寸五歩□者有之候由、是ハ重右衛門殿、良兵衛心覚ニ致候よしニ御座候、尤其節瀬戸田立合之儀ハ懸合も無之候付立合不申候。

一 七月末日限不相覺中國へ罷越、為助殿へ懸御目候而右數種之水廻り方相考候處、安旨ハ反之処も晝夜世話致候へ、行届可申哉ハ反之内ニハ歎はとあけ水之坪有之、此坪ニハ上り不申趣ニ候へハ寺内之処ニハ中へ参り不申ニ付、寺分ニハ池水両度差遣候位之儀誠心見之種と有之候儀ニ候へハ此段御咄申置候、此上御見廻りも被下候ハ、

御頼申度、近日杵築ニも罷出立石ニも罷越度候付一通り御代官様ニも御咄申上候心組ニ罷在候段申置候。

一 七月廿三日、出府、御代官様へ罷出右水一件御⁶⁵被成下候段御挨拶申上、何分乍此上当年中ニハ何れ共道付候様御差因被下度、先達而ハ内分申談し居り合可申趣ニ有之、右之段申上候處其後市兵衛殿、廣藏殿趣意相考候而ハ存分内証申談出来可申趣ニ而無之甚恐入候。二第二候へ共当年御道付之処御差因御頼申上度、於私最初申談し方不行届と御座候而いか様御答被仰付候共、以来水之儀者溝引等も御免被成下候儀ニ御座候へハ多少ニかゝわらず参り候様ニ御差因被下候ハ、水々御毛見も出来仕間敷、村方も弥出情農業等も仕度御考合被成下御差因奉願候段申上候、尤最初取懸り候時分ノ覚書、去ル末年長日照ニ付馬場・下馬場申談候。二第留帳、尚又別段取立方前改小帳、取立米受私帳、此度懸合一件前文手拍乍御内々御一覽被成下候様御頼申上度、尤右帳面御役場ニ而御被見被成下候様ニハ罷申上候へ共私心服之処一通り御内々御咄申上度候へ共、口濱ニ申上候段不都選ニも有之候へハ御役外ニ而右帳面御被見被成下候へハ誠心服御咄申上候段ニ相心得罷在候段申上候處、御内々御被見被成下旨被仰聞候付右帳面も差上置其日ハ御届申上立石表へ罷越候。

一 廿四日九ツ時、立石出立、暮時杵築迄罷帰候。

一 廿五日飯後、御代官様へ罷出候處右手拍帳面夫々御一覽被成下候處最初ノ取計方懸合一件心得方も一通り相分り、尚別段取立受私⁶⁶□委數相分り尤之儀有之候間道々誓詞廻勘定御出郷之節井手口御見分も可被成下、馬場・下馬場役人・小門前之処中沢政助年番中承調候趣意と市兵衛・廣藏趣意ハ相違有之候へハ、とくと取調出郷之上御差因可被下段被仰聞候。

八月十九日、中國為助殿御出御咄有之、近々誓詞廻し勘定御代官様御出郡可被成、其節并手口御咄も可被成趣ニ御沙汰も有之候、尤出府之節右一件とくと御咄も申上度候へ共御城下ニ而ハ御用多有之候へハ行届兼候付、進々御出郡之上同役中申合得と御咄可申上段御咄ニ有之候、且又近頃成久重右衛門殿申出も有之候儀者、先進而役人・組頭中國へ被召呼候節ハ并手口御計之儀ハ於村方ニ申分無之と申出候処、馬場・下馬場ノ箱桶を掃同村ノ持参居へ込候儀者甚いか、敷、一林成久村引受候并手ニ有之候へハ中國・瀬戸田ニも并手せき出夫成久申遣候上差出、中國ハ敢可広く候へハ行届不^レ□も成久へ相届候上出夫致候儀ニ有之、此度之樋すへ馬場・下馬場ノ持参計い致候儀村方ニおいては不承知ニ相心得候、ケ様之儀者後年ニ至り夫是規定ニも相成候儀、尤瀬戸田之方へ水過分参り候而迷惑筋も有之候へハ其段成久へ懸合可致老仁も有之候へハ已前之儀も見覚候者も有之、并手口計らひ之儀者成久ノ差路致候者ニ可有之処此度馬場・下馬場致し方甚不承知ニ存候段小門ノ申出ニ有之、此儀者御代官様ニも御咄申上候様可致、先右申出之趣御沙汰申候段ニ被申出候よし為助殿御咄ニ承之、為助殿ニも村方申出尤至極之儀ニ思召候由御咄ニ御座候

八月廿四日、中國庄屋本ニおいて郷中誓詞廻し勘定被仰付、廿五日灘目筋村々被仰付候

廿五日ニ中國へ罷出、明廿六日無余儀用事ニ付田深表へ罷越申度、右水一件并手口御^口も可被下段兼而御咄も有之、明日拙者御用筋も可有之哉之段御申上候処日掃ニ罷越候儀不吉、明飯後并手口御見分可有之候へ共成久ノ御出之方御順道も宜、馬場・下馬場御取調之上此方二者御沙汰可被下趣ニ有之、廿六日田深へ罷越候

廿七日、中國へ罷出、年番衆ノ承候処昨廿六日成久村小門申出之趣御代官様ニも申上候処御尤至極ニ被思召候由、馬場・下馬場役人中・組頭三三人ツ、御召呼思召附候御趣被仰聞候処、一兵衛殿病氣、廣藏殿ニも病氣ニ不被罷出村々共引取候上得と申候御返答可申上段申上引取候由、然処今日下馬場・下原・浦下原盆中俄等有之候段御^口畢竟村役人不行届と相成庄屋・下役人中迄追込被仰付候へハ御免之上御返答申出候儀ニ可有之、左候へハ御引取之上御沙汰可有之候、昨日ハ雨天ニ付并手口御見分も無之段承之候、段々用事も有之、今晚中國へ止宿致候

廿八日飯後、御代官様ノ被仰聞候者昨日迄雨天ニ付御見分も不被成下、一昨日馬場・下馬場役人・組頭へ思召之御趣意被仰聞候引取庄屋初申候御返答可申上段申出有之、尚盆中俄等も致候者有之候付一兵衛追込被仰付候へハ御免^口申出可有之、其上御沙汰可被仰聞候何分乍恐御考合御差圖御願申上候段申上候而引取候

誓詞御出郡、雨天ニ付御逗留、御湯候節并手口穢居も御代官様御見分年番衆・成久重右衛門殿罷出候よし、此方二者御沙汰無之故不罷出、何分兩村ノ樋すへ寸法等相違罷越候段いか、敷連被思召上候由、進々御立会御方ノ承之候

九月四日、右御見分被成下候御挨拶并蓬永藏御代官御宅へ差出、中國・成久ニハ忠右衛門罷越挨拶いたし候

誓詞後、市兵衛殿・廣藏殿不快旁ニ付右一件御評儀延引ニ相成候ニ付留置候程之儀無之押移候

翌子三月廿八日、大添村池普請御出郡、村々山之口御用筋罷出御法度向相ゆるみ候段御聞及候付重畳念入候様被仰付相済候処、瀬戸田御山之口^口右衛門・成久村山之口喜介御用有之被召出被仰付候趣左

之通被仰聞候

瀬戸田村唐味井手水一件、去夏以来馬場村・下馬場夫是申分有之候。二付乍内分御郡奉行衆中迄御伺之上候趣井手口敷通いたし候。尤横五寸・高四寸之穴二相極差因致候付瀬戸田村の箱桶拵成久村立金井手口二居へ込候様可致、馬場・下馬場・中園村二ハ御代官御方右之趣被仰付被下候段被仰聞候。

御代官 衛藤四郎右衛門殿

年番中園村庄屋

為 助殿

同断横木村庄屋

鹿 藏殿

同断懸樋村庄屋

忠之丞殿

右御面々大添村池普請場へ□被仰付候

成久村庄屋

重右衛門殿

同村山之口

喜 助殿

同村弁差

半右衛門殿

同村弁差

番 介殿

中園村庄屋

為 助殿

同村弁差

友 介殿

同村弁差

良兵衛殿

同村弁差沢かけ

長次郎殿

馬場村庄屋

廣 藏殿

同村山之口

弥 作殿

同村弁差

政 藏殿

同村弁差

勝 介殿

下馬場庄屋

一兵衛殿

同村山之口

忠 藏殿

同村弁差

吉右衛門殿

同村弁差

仁兵衛殿

瀬戸田御庄屋

忠右衛門

同村山之口

□右衛門

同村弁差

忠 助

同村弁差

永 藏

右面々役中也

右之通寸法高四寸・横五寸之箱樋いたし成久村庄屋本へ役人持参立
会之上居へ込候、中圍、馬場・下馬場ニハ御代官様右之越被仰聞
□、当村より別段通達いたし不申候

右之通御差図被成下双方内齊相成村方大安心仕、右ニ付御代官様初
御当役御面々忠右衛門役人召つれ御礼罷出候

衛藤四郎右衛門殿

御年番

為 助殿

同

鹿 蔵殿

同

忠之允殿

成久村

重右衛門殿

文政六年末年ハ前代未聞之日照、四月十八、九日頃□□川水相増候
程之雨降、其後五月五日夕立、根付ハ五月十日頃少シツ、種かけ
五月廿五、六日迄郷中田根付致候処、殊之外川水相減下馬場など稠

敷事共中圍・成久も番引ニ相成、高原辺四日ぶり地原ハ五日、六日
振ニも水廻り候様有之、左候へハ誠ニ馬場・下馬場ハ稠敷事共有之、
然処当村池水ニて本村分根付ハ五月中ニハ漸相済唐味余水池水も少
し有之候わん、全井手下り水汲候而五日、六日ふりニハ水も廻り
候様有之候処、六月四日中圍・成久ハ馬場・下馬場申出も有之候趣
意ハ瀬戸田之方江水分ヶ樋居ハ村々申談四寸角之穴ニ承及居候処、
当時四寸ニ五寸之樋居リ、居水過分参り候者双方共難波ニ相成候段申
出候由、四日夕成久へ罷越候処為介殿、十右衛門殿相出候、右者子
三月喜介・弥右衛門へ御代官様大添御普請場ニ而御差圖ニて右之樋
取拵十右衛門殿御見分被成御立会御居へ込被成、其後廣候付樋も仕
替候而弁差忠助・組頭米蔵持参御見分之上茂左衛門殿御同道御立金
寸へ替、右樋へ成久へ御預り被成候段□□衛門殿いか、亡却候哉大
添村ニて御代官様喜介・弥右衛門被仰付次第少も寛不申、其後すへ
替候儀ハ承及候得共何事も存不申と有之取調候へハ右樋へ成久□有
之四寸・五寸ニて有之候、右御差圖之次第為助殿ニも寸法しかと寛
不申何と扣候儀も無之、村々小門迄も承及候者四寸角と申候由、左
候へハ四寸・五寸と申ハ当村計申儀ニ相成甚いか敷、尤川筋右様
之時節二候へハ尤之儀共以來之処ハいか様共当村水御減候而も申分
無之御取計次第御差略可被下、於此儀ハ申分ハ無之候へ共子三月御
差圖候付右之樋へ成久立会之上居込有之候処、十右衛門殿少も不相
寛村々共御承知無之と有之候而ハ是迄割者心得を以寸法も相増御双
方及迷惑候段上下ニ対し候而ハ何共難相済、先年夫は御評儀之節も
何と樋之大小、水之多少ハ少も拙者申条無之御取計次第と申理之心
底ニ有之候へハ、右四寸・五寸と申樋取拵成久立会可相□□取ニ可有
之哉、衛藤御氏御伺も申上是迄之心得違不埒之仕方御同申上候而も

御裁許蒙り不申而ハ拙者役場相濟不申段相咄候処尤之事共と有之、翌五日にし本へ横木・塩屋・下馬場・馬場出会申候由二有之候処拙者取計方御差図と有之候へハ尤二も有之候へ共、成久十右衛門殿一円存不申と有之段いか、敷儀と心得種居立会ハいたし候哉甚不都合、尤弥右衛門退役候へ共存生承調候処相違無之、喜助死後中園友助も立会候由弥右衛門申候へ共、是以向方之役人ニ候へハ不相覚段可申出儀共成久・中園とても趣意有之事ニ候へハいたし方も無之、乍心外此度も中園と双方申談差略も致候様相頼候、右二付六月八日成久村にて丸木二四寸之穴種拵いたし中園・馬場・下馬場役人・組頭立会居込候而先相濟候、是迄とハ水ハ兎角相減候へ共少しツ、参り候へ、夫たけ助二も相成可申、尤為後証川筋四ヶ村と一通、当村と一通書替取^カ変し置候処左之通

覚

一 唐味井手当村へ水分方之儀、古来石居を以計来候処当村兼而干損村にて為用水先年新溝普請致候処、水上り過川下も村々井手水不廻り二相成差支小門難波之段色々申分有之候処、各様御評儀之上御代官衛藤四郎右衛門殿迄御向被成文化十三子奉金尺整四寸・横五寸之種居候而御計被下、当年迄右寸法之箱種相用來候処当年至而之早魃二付已前ハ安旨前八反程之水分方之場所二候へハ、右之計二而ハ兎角水行過其御村々日損出来候程難計、当年又々各様御立会御評儀之上水分方金尺四寸角之穴長七尺丸木樋二層二御極被下、然上ハ向後右之場所水分方於当村少も申分無御座、仍為後日一札如件

文政六年未六月

瀬戸田村百姓代

米 蔵

同村同断

升右衛門

同村弁差

愛 助

同村同断

永 蔵

同村同断

忠 助

同村庄屋

孫三郎

同村後見

忠右衛門

成久村御庄屋

藤兵衛殿

同村後見

十右衛門殿

中園村御庄屋

為 助殿

馬場村御庄屋

廣 蔵殿

下馬場御兼帯塩屋村御庄屋

寿八郎殿

前書之通相認書替取替置候事、尤此書付ハ成久村藤兵衛殿方へ差遣候様為助殿申来候付調印之上中園へ相頼遣候

唐味井手水其御村分分ヶ方之儀、先年者安旨前水懸り田畝八反程之
地計ヒ石居候而有之候処、先年新溝普請出来候付水行過川下井手懸
り村々水不廻りニ付小門願出有之候処、文化成年・亥年早魃ニ而新
溝相止メ古来之通り安旨前八反限り被成下候様申出候処、御代官衛
藤四郎右衛門殿迄御伺之上文化十三子奉々堅金尺四寸・横五寸之箱
樋を以計相渡来候処、兎角新溝ニ行過下辺難渡之段申出候付又々
立会之上堅横四寸角之穴丸木長七尺之樋居ニ相極水分ヶ方致候処、
双方申分無之候付我々共立会之上印形致相渡置之候、尚又御村小門
迄水分ヶ方申分無之候付別紙書附儘致落手藤兵衛方へ預り置之候、
依而為後証如件

文政六年未六月

成久村百性代

高口治

同村弁差

為右衛門

同村同断

寛兵衛

同村山之口

茂左衛門

同村庄屋

藤兵衛

同村後見

重右衛門

中園村百性代

政藏

同村弁差

良兵衛

同村庄屋

為助

馬場村百性代

連藏

同村山之口

弥作

同村庄屋

廣藏

下馬場百性代

平藏

同村弁差

善助

同村庄屋垣屋村

壽八郎

瀬戸田村御庄屋

孫三郎殿

同村後見

忠右衛門殿

右書附取替し置候段写し置候

表1 慶長・元和期における安城郷の村高

村名	慶長6(1601)年	元和8(1622)年
1) 安城手永	石	石
横城村	339,8280	339,5640
大添村	540,5543	538,4163
下原村	445,40801	461,6991
吉松村	760,0394	753,8161
掛樋村	330,4896	327,2166
中園村	—	831,9037
西本村	919,3063	500,0000
塩屋村	—	383,6467
山口村	1,113,1267	1,113,1267
瀬戸田村	397,8720	395,0900
馬場村	743,3853	787,1753
守江村	201,01333	200,43093
狩宿村	319,0449	316,5040
野辺村	138,2253	132,7527
奈多村	948,2270	948,2275
成久村	375,0000	374,8400
合 計	7,571,52014	8,404,40963
2) 両子手永	石	石
白木原村	199,09657	199,0965
両子村	347,2790	345,4055
富永村	257,9282	257,9282
恒清村	243,9181	236,9046
糸永村	335,0359	329,4430
杉山村	41,0452	39,5010
油留木村	260,6973	260,6973
井分村	868,06016	833,9878
中野村	237,7368	232,7780
小俣村	381,9450	338,7375
藤田村	173,7277	173,3372
久末村	376,1489	389,5500
俣見村	1,496,4110	1,469,41116
中野川村	159,3646	159,3646
矢川村	140,5778	138,5145
山浦村	507,8851	505,0741
合 計	6,028,90233	5,909,73096

[出典] 慶長6年の村高は『知行所付之日録』(八代市立博物館編『松井文庫所蔵古文書調査報告書』五、2001年、P93・94)、元和8年の村高は『小倉藩入番記録』四(東京大学出版会、1957年)P71~139による。

[註1] 安城郷を調査対象としているため、表中に掲げた各村が近世安城手永および両子手永の家数ではない。

[註2] 元和8年における中園村の村高は上中園村・下中園村の2ヵ村分を、同じく成久村の村高は成久村・下成久村の2ヵ村分を合計したものである。

[註3] 慶長6年における塩屋村の村高は西本村に含まれる。中園村の村高については未詳。また、表2にみえる古城村は安城城故地で、本表中の下原村に含まれる。

表2 近世安城郷における村高の推移

村名	正保4(1647)年	元禄14(1701)年	天保5(1834)年	明治元(1868)年
1) 安城手永	石	石	石	石
横城村	242,5000	242,5000	352,6072	352,9032
大添村	393,4250	329,3000	492,7710	493,7088
鍋倉村	—	64,1250	85,6884	85,6884
下原村	344,9000	344,9000	640,5780	643,5090
吉城村	36,3750	36,3750	71,0060	71,0060
吉松村	543,7000	543,7000	824,7100	699,9943
掛樋村	269,0800	269,0800	422,6000	422,6000
中園村	675,8000	675,8000	890,9227	890,9227
西本村	684,0600	375,8000	639,5197	639,5197
塩屋村	—	308,2600	579,9624	580,5724
山口村	792,7000	792,7000	1,117,2956	1,117,2956
瀬戸田村	311,4200	311,4200	448,0564	448,0564
馬場村	546,0200	546,0200	940,8128	943,9908
守江村	140,3200	140,3200	238,8696	242,7210
狩宿村	229,6000	229,6000	398,1681	398,2331
野辺村	92,7700	92,7700	148,0287	150,8802
奈多村	672,0300	672,0300	913,0898	917,4993
成久村	303,3700	303,3700	425,4597	425,4597
合 計	6,278,0700	6,278,0700	9,630,1461	9,524,5586
2) 両子手永	石	石	石	石
白木原村	140,1090	140,1090	266,7787	266,8551
両子村	284,2000	284,2000	851,0997	851,0997
富永村	195,0700	195,0700	445,0040	445,0040
恒清村	193,2000	193,2000	481,0365	481,2045
糸永村	221,0080	221,0080	592,2454	594,4742
杉山村	30,8420	30,8420	53,8392	53,8392
油留木村	174,0500	174,0500	313,9490	438,7967
井分村	558,0300	558,0300	912,0202	912,0339
中野村	184,0070	184,0070	365,0144	365,0144
小俣村	244,0100	244,0100	467,4057	468,3285
藤田村	129,0200	129,0200	285,6452	285,6452
久末村	276,1000	276,1000	458,5243	458,5246
俣見村	1,010,1210	1,010,1210	1,499,9426	1,314,5710
中野川村	108,3800	108,3800	168,7728	168,7728
矢川村	110,0630	110,0630	170,5365	482,9309
山浦村	351,8000	351,8000	570,9814	435,3425
合 計	4,210,0100	4,210,0100	7,902,7976	7,853,6815

[出典] 正保4年・元禄14年・天保5年の各村高は、それぞれ『正保郷帳』(元禄郷帳)『元禄郷帳』(いづれも内閣文庫所蔵)による。明治元年の村高は、木村校訂『旧高田綱目調帳』九州編(近世出版社、1979年)P82・83による。

[註1] 安城郷を調査対象としているため、表中に掲げた各村が近世安城手永および両子手永の家数ではない。

[註2] 明治元年における山口村の村高は山口村・下山口村の2ヵ村分を、同じく油留木村の村高は油留木村・掛樋村内油留木村の各村高を合計したものである。

[註3] 正保4年における鍋倉村の村高は大添村に、塩屋村の村高は西本村に含まれる。また、明治元年における中野川村の村高は矢川村に含まれる。

II 近代史料

ここには、近代初頭のムラの概況を示す史料として、『豊後国東郡村誌』を収載した。収載した地域は、安岐町域の他に沿革の項に「古来安岐郷二属ス」と記された地（現杵築市の一部）も含めた。

さて、奥書によると、本記録は明治十一年二月に「編輯卒業」とあり、当時の大分県令香川真一の名とともに高取成章（大分県六等属・加藤賢成（大分県十等属）・相島織彦（大分県外三等）の名が編集担当として記されている。大分県当局の編纂になる本記録は在地の実態をそのまま等身大に記録化したものではないにしても、近代初頭の概況を知ることが出来る点で重要な記録といえる。今後、様々な側面からさらなる検討を加えるべきであろう。

収載にあたっては、原本の書式・体裁を尊重したが、割注については活字を小さくすることで表現することとした。文字については、基本的には常用漢字に直している。

最後に、本記録において判読しがたい記述について触れておきたい。特産品の項にある「苧草席」は七島簞のことであり、苧麻は「いちび」と訓じ、これは畳表の緞糸や縄に使用するアオイ科の一年草である。また、地名に登場する宇川は「ふた」がわ」と訓む。

豊後国東郡村誌（明治十一年） ○大分県立図書館蔵

○系水村

本村古ヨリ武蔵郷二属ス

古時系水杉山ノ二村タリ、明治八年三月杉山村ヲ本村ニ合ス

東南千兎松ケ迫油原ノ諸山野背筋ヲ界トシ掛樋村ト接シ西ハ朝

来村ト山林ヲ境トシ北ハ富清村ト田畔ヲ界トシ、

幅員 東西拾三町拾間南北貳拾町面積

沿革 本村ノ内元杉山村ハ掛間村ニ同シ元系水村ハ矢川村ノ条ニ出ス

里程 大分県庁元樞大分郡大分町砥田橋中共アリヨリ北方拾貳里三拾三町

三間惣尺徑往本村字橋ノ水百八拾六番地半畝因作屋宅前田西方貳拾間ノ地ニア

リ、西方朝来村へ拾六町拾五間貳尺、南方掛樋村へ三拾三町六

間、北方富清村へ貳拾壹町四拾八間四尺

地勢 東南山嶽ヲ負ヒ運輸便ナラス耕農用ニ難ル

地味 其色黒其實美ニシテ稲稈莖茶ニ宜シ水利便ナリ

地味 田四拾九町九反四畝貳拾歩、畑四拾六町四畝貳歩、宅地七町貳反貳拾七歩

内三反三畝貳歩寺院地、山林三拾六町九反五畝歩、芝地壹町三反四畝拾九歩、

原野拾町三反九畝歩、總計百七拾貳町壹反九畝貳拾九歩

無税地 埋葬地九反壹畝四歩

完有地 山林壹町壹反貳拾八歩

實租 地租金千二百七拾壹錢八匁、酒類税金五拾三圓六錢三分、牛馬売買税金

戸数 本籍百三拾三戸平民、社戸零小姓、寺三戸禪讓賣茶者宇天台茶者千真茶

壹半、總計百三拾八戸

人数 男貳百九拾六口平民、女貳百八拾八口平民、總計五百八拾四口
牛馬 牡牛拾七頭牝牛九拾頭總計百七頭、牡馬三拾四頭牝馬拾壹頭、
總計四拾五頭

川

學川 二等河二属ス深五尺浅老尺広拾間長五間長貳拾三町七間流レ緩ク水清ク味
淡シ源アリ西子村岡子山上ニ發シ南流富清村ヲ經テ本村ノ北界ヲ經テヨリ村ノ中央
ヲ別キ南流字荒井ニ至リ掛橋村ニ入り下流安城川トナリ海ニ入ル

道路

安城道 三等遠路二属ス村北富清村界字中野ヨリ南ハ掛橋村界字荒井ニ至ル長貳
拾八町拾貳間馬路老間道敷卷間五尺字川原田ヨリ西ニ折レ支道アリ朝來堂ニ通ス
朝來道 三等遠路二属ス村ノ中央字川原田ヨリ朝來村界字越トテ至ル長拾町広
卷間

社

八坂社 社地東西貳七間南北貳拾五町余面積貳反三畝四歩村北字小久保ニ
アリ、造須佐之男尊、大己貴尊等々尊其他四十五柱ノ神ヲ祭ル、天保二年六月十
日總講明治五年村社ニ列ス祭日七月廿八日

寺

瑞瑞光寺 天台宗、東西九間余南北貳拾四町余面積七畝貳拾歩、西子村西子寺東
村南字泉敷ニアリ興老二年僧仁開闢基創建ス、寛永五年僧寛成中興ス、杜徳寺津
臨濟宗東西貳拾七町余南北拾六町余面積貳反五畝五歩、岩掛村宣陀寺東、村東字仙
ノ木ニアリ、享保十六年六月僧文孫開基創建ス文化十四年四月僧美田中興ス、光
蓮寺 真宗、東西拾五間余南北貳拾四町面積貳反七步、山越國惠野寺本願寺東村北字
小久保ニアリ永正五年三月僧蓮雲開基創建ス、承德元年僧敬四中興ス

学校 公立小学校老ケ所村ノ中央字仙ノ木ニアリ、生徒男四拾人、女九人
物産 荳芋席實中千七百四拾三束大畝二輪、榎實實中貳千貳百七拾六斤
民業 男農ヲ業トスル者百三拾戶

○富清村

本村古ヨリ武藏郷二属ス

區域 古時富水恒清ノ二村タリ、明治八年三月合シテ本村ノ称ニ改ム
東ハ吉広掛種ノ二村ト山ノ背筋ヲ以テ界トシ、西ハ明治朝來ノ
二村ト相接シ中尾山ヲ以テ境トシ、南ハ糸水村北ハ岡子村二接
シ耕地城ハ山嶺ヲ以テ境トス

幅員

東西拾六町貳拾間、南北拾六町貳拾貳間面積
沿革 本村ノ内元富清村ハ換間村ニ同シ、元恒清村ハ矢川村ノ桑二合
ス

里程

大分県庁 元橋大分郡大分町 額田縣 豊後ニアリヨリ北方拾三里三拾貳町貳
拾間四尺餘在本村字坪井ニ三拾壹番地都羅太郎屋宅南面北方貳拾間ノ地ニアリ、
東方吉広村ハ三拾三町拾壹間老尺、西方明治村ハ三拾町五拾五
間貳尺、南方朝來村ハ貳拾八町拾七間貳尺、糸水村ハ貳拾壹町
四拾八間四尺、掛種村ハ老里貳拾九町四拾八間三尺、北方岡子
村ハ貳拾七町三拾貳間貳尺

地勢

四面皆山嶺ヲ擁シ運輸便ナラス柴薪鮮トセス
地味 糸水村ニ同シ

地味

田五拾壹町貳反三畝拾貳歩、畑五拾壹町三反六畝八歩、宅地九町五反五畝廿
三歩内三反廿四歩寺院地、山林五拾壹町壹反九畝拾八歩、芝地七町貳反五畝拾
八歩、秣場拾四町壹反七畝拾八歩、原野六畝拾、總計百八拾八町三反八畝七
歩

稅地

無稅地 埋葬地貳町壹反七畝五歩
官有地 山林七反九畝七歩
實租 地租金千三百三拾壹兩九拾三錢貳厘、酒類稅金六拾貳兩四拾四錢貳厘、銃獵稅
金貳兩、總計金千一百九拾六兩六錢七錢四厘

戸数 本籍百六拾六戸平民、社三戸小社、寺三戸 佛敎濟宗米貳字萬宗七字、總
計百七拾貳戸

人 男三百八拾貳口平民、女三百六拾五口平民、總計七百四拾七口

他出寄居男老入

牛 馬 牡牛六拾五頭牝牛七拾老頭總計百三拾六頭、牡馬三拾四頭牝馬

八頭、總計四拾貳頭

川

學川二等河二属ス深三尺淺者尺広給間狭六間流レ緩ク水清ク味淡シ源ヲ両子村ニ発シ村北字園田ヨリ来リ村ノ中央ヲ南走シ字野入ニテ糸水村ニイル長尺拾貳町下流安岐川トナリ安岐港ニ注ク、夷橋安岐往還ニ属ス村北八町架シテ學川ノ下流字市場ニアリ、水深尺広七間橋長八間橋三尺木架ナリ

池 沼 中山池東西拾間南北拾貳間西岡町村ノ東北ニアリ村ノ用水トナス

道路

杵築往還三等道路ニ属ス村北兩子村界字村ノ水ヨリ西南朝寄界字長迫ニ至ル長拾九町貳拾老馬踏芝間連敷卷間三尺村ノ中央字佐山ヨリ西北ニ折レ長浦道アリ南ニ折レ安岐道アリ東ニ折レ古長道アリ、菜浦道三等道路ニ属ス村ノ中央字佐山ヨリ北ハ兩子村界字村ノ水ニ至ル長拾五町広卷間、安岐道三等道路ニ属ス村ノ中央字佐山ヨリ南ハ糸水村界字野入ニ至ル長拾七町広卷間、吉広道村ノ中央字佐山ヨリ東吉広村界字見迫ノ社ニ至ル、長拾六町広卷間

社

八坂社村社、社地東西三拾貳間南北貳拾六間面積貳八畝六歩、村宇新宮ニアリ須佐之男尊、大己貴尊、少彦尊其他貳拾壹柱ノ神ヲ祭ル、宝曆十三年十月勅額祭日十二月十五日、宮畑社村社、社地東西三拾九間南北貳拾貳間面積三反三畝貳拾壹歩、村ノ西北字宮畑ニアリ、大神、菅公ヲ祭ル、古昔村北字本宮ニ鎮祭ス、元禄十年六月十九日大神ヲ此ニ合祭ス祭日七月十二日、以上二社明治五年村社ニ列ス

寺

西迎寺釋尊濟宗、東西拾三間南北八間面積三畝貳拾貳歩、普賢村宝陀寺東村東字西迎寺ニアリ、建永三年倫仁開闢創建ス、伽藍供中興ス、西念寺真宗、東西拾貳間南北拾五間面積壹反四畝拾五歩、兼備園下毛郡中津町明聖寺東村ノ中央字六井ニアリ、元和九年九月開淨念開基創建ス、西福寺淨律宗、東西拾四間南

北瓜拾六間余面積壹反貳畝七歩、普賢村宝陀寺東村北字花殿ニアリ、享永十九年備出山開基創建ス

学校 公立小学校老ケ所村ノ中央字本宮ニアリ生徒男四拾五人、女六人

物産 苳苳麻買中千六百七拾四兩大反二輪ス、榎実四千四百斤

民業 男爵ヲ業トスル者貳百六拾老戸

〇兩子村

本村古ヨリ武藏郷ニ属シ、古來分合ナシ

疆域 東ハ吉広横手ノ二村ト弥爾嶽丸小野村トカ、ラ山嶺ヲ以テ界ス、

西ハ都甲村ト兩子山ノ麓、明治村トハ山林ヲ以テ界ス、南ハ富清村ト耕地ヲ接シ、北ハ成仏赤根ノ二村ト兩子山嶺ヲ限リ境トス

幅員 東西貳拾町、南北老里拾四町面積

沿革 被開村ニ出ス

里程 大分県庁元標大分郡大分町嶺田橋中央ニアリヨリ北方拾四里貳拾壹町拾貳間貳尺標本村字惣代四百七拾貳畝地林社三郎屋宅前面西方七間ノ船ニアリ、

西方明治村へ三拾町七間三尺、南方富清村へ貳拾七町三拾貳間

貳尺、北方都甲村へ三里拾六町貳拾四間成佛村へ老里拾三町拾

老間三尺、東南吉広村へ老里拾四町五拾四間三尺、東方丸小野

村へ老里九町八間貳尺

地勢 東ニ弥爾嶽御薬山ヲ負ヒ西北兩子山ヲ擁シ運輸便ナラス耕炭乏

トセス

地味 糸永村ニ同シ

地味 糸永村ニ同シ

田地 田五拾町三反七畝廿四歩、畑三拾四町七反四畝歩、宅地九町三反貳畝廿二歩内宅

町四反貳拾畝取歩中院地、山林五拾八町五反八畝歩、原野八町也反歩、總計

ニ罹リ堂宇壊敗ス、慶安中僧侶屢中興ス、古ヘハ郡中ノ巨刹ナリ支坊宅宇アリ大
 万劫ト称ス、円壽院寶音塔、東西八間余南北拾五間余面積四畝五歩、蓮見郡
 南村徳村秀生院寒村ノ南方字園田ニアリ、慶安中僧藏山中興ス、天保二年二月僧
 円海更ニ再興ス、知福院真言宗、東西八間南北拾六間余面積五畝五歩山越園宇
 拾部三堂院寒村東字中泉郷ニアリ、元禄中僧其再興ス

学校 公立小学校村ノ中央字御台ニアリ、生徒男貳拾名、女拾四人
 物産 荳干志麻質等四拾束大板二棧ス、植實賣美八千四百七拾斤
 民業 男勇ヲ業トスル者百貳拾四戸

○明治村

本村古ヨリ武蔵郷ニ属ス

古時諸田中野小侯ノ三村タリ明治八年三月併セテ本村ノ称ニ改

疆域

東ニ益ノ原ノ原野并ニ鶴峠ノ諸山林ヲ界トシ、両子富清ノ二村
 ト隣リ、西北ハ小野白木原ノ二村ト両子山及ヒ桃ノ木峠ヲ以テ
 境トシ、南ハ山峠并ニ道路ヲ界トシ、朝來村ト接ス

幅員

東西貳拾老町貳拾間南北壹里五町貳拾間面積

沿革

本村ノ内元諸田村ハ狭間村ニ同シ、元中野・小侯ノ二村ハ矢川
 村ノ条ニ出ス

里程

大分県庁迄陸路大分町磯田郷迄本ニアリヨリ北方拾四里五町四拾八
 間四尺許若菜村字中加五百九拾六畝地財部官邸宅前東五方六間ノ地ニアリ、
 東方富清村ヘ三拾町五拾五間貳尺、西方小野村ヘ壹里拾六町三
 拾老間三尺、南方朝來村ヘ壹里老町四拾五間貳尺、白木原村ヘ

地勢

三拾老町五拾六間四尺、北方両子村ヘ三拾町七間三尺
 東西北ノ三面諸山屏立運輸便ナラス薪炭乏トセス

地味 其色黒其實惠水利便ナラス時々旱ニ苦ム桑茶ニ宜シ
 税地 田六拾三町三反八畝六歩、畑六拾四町九反壹畝九歩、苜烟六町九反壹畝六歩、
 宅地拾老町六反八畝廿二歩、山林七拾六町三畝貳拾八歩、原野四拾老町三反
 五畝歩、芝地拾町貳反六畝拾六歩、秣場八拾老町六反三畝拾七歩、總計三
 百五拾六町壹反九畝拾五歩

無税地 埋葬地壹町六反七畝拾老歩

官有地 山林老町貳反老畝拾老歩

貢租 地租金千九拾八円四拾五錢八厘、酒類税金三拾八円六拾九錢四厘、牛馬光
 買税金三円、銃猟税金三円、總計金千四百拾三円拾五錢五厘

戸数 本籍百九拾五戸半氏、社六戸小姓、總計貳百老戸

人数 男四百四拾四口半氏、女四百三口半氏、總計八百四拾七口内地出番
 留男老一人女老一人

牛馬 牡牛七拾四頭牝牛六拾五頭總計百三拾九頭、牡馬貳拾頭牝馬
 貳拾老頭、總計四拾三頭

山

桃木山高百六丈圓廻老里貳町余村西ニアリ、嶺上ヨリ二分シテ西ハ小野村ニ属
 シ東北南ハ本村ニ属ス、山林北ハ両子山ニ連リ草水茂生登路老村西字前田ヨリ
 南ニ折レ、字シル路ヨリ登ル拾五町溪水武藏山ノ半腹ニ湧出ス、一ハ字前田ニ至
 リ朝來野川ニ注テ長拾町朝老間五尺、一ハ字中田ニ下流シ朝來野川ニ注テ長八町

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

川

朝來野川ニ等河ニ属ス、深底尺淺五寸広八間狭三間流レ緩ク水清ク雑樹シ、水原
 村ノ西北字諸田高地池池ヨリ流出シ、村ノ中央ヲ南走シ字橋ノ水ノ下ニ至リ小侯
 川ヲ合ス、其間老里六町東流朝來村ニ入ル下流安城川トナル、小侯川三等河ニ
 属ス、深底尺淺五寸広老間三尺深老間流レ緩ク水清ク味淡シ、水原村北字益ノ原
 ヲリ湧出シ村北ヲ南流シテ字橋ノ水ノ下ニ至リ朝來野川ニ注テ其長拾五町、楨木
 橋大分往還ニ属ス、村面三町架シテ朝來野川上流字中田ニアリ、水原老尺広間

橋長三間巾巻間被土橋、小中橋古市道ニ風ス、村南七町架シテ朝来野川ノ中流

字前川ニアリ、水深老尺広三間堀長四間幅巻間被土橋、落合橋大分往邊ニ風ス、

村南八町架シテ小俣川下流字暮合ニアリ、水深尺広三間堀長三間幅巻間被土橋

高地池東西貳拾三間余南北貳拾九間余周廻式町三拾六間村ノ西北ニアリ、村ノ用

水トス

大分往邊三等道路ニ風ス、村北兩子村界字高地ヨリ南ハ朝来村界字成邊ニ至ル

長尺五路巻間、道敷巻間三尺字前田ヨリ西ニ折レ高山往邊アリ、字袖ノ木ヨリ

東ニ折レ古市村道アリ、字前川ヨリ西ニ折レ番掛駅道アリ、高田往邊村ノ中

央字中畑渡ヨリ西方八町ノ邊西ニ折レ小野村界字袖ノ木ノ項上ニ至ル、長尺八町

邊巾巻間、古市道村東字袖ノ木ヨリ東ニ折レ高野村界字草橋ニ至ル、長尺八町

幅五間、番掛駅道村東字前川ヨリ西ハ白木原村界字谷山ニ至ル、長尺五町幅巻

間

大御神社社址、社地東西貳拾三間南北貳間余、面積貳畝八歩村西字巻ケ草ニア

リ、大日靈女尊、金山彦尊、菅公ヲ祭ル、文政二年四月勸進祭日十一月二十五日、

山神社社址、社地東西貳拾貳間余南北貳拾九間、面積貳畝壹畝貳拾九歩、村西字

前田ニアリ大山祇神、兼路山津見神、奥山津見神、原山津見神ヲ祭ル、祭日七月二

十八日、日吉社社址、社地東西貳拾七間余南北拾四間、面積貳畝貳拾九歩、

村西字中畑ニアリ、天御中主尊、忍穂耳尊、天山命尊、伊都那部尊、團狹穗尊、伊

都那部尊、大己貴尊ヲ祭ル、安政二年六月十八日勸進祭日八月六日、日吉社社址、

社地東西壹町拾七間余南北三拾間、面積七反九畝拾歩、村ノ中央字山玉ニアリ大山

咋神、大己貴尊、國立尊、天忍穂耳尊、國樂土尊、伊都那部尊、瀧々彦尊、他限

尊、制歲姫命、皇田彦尊、市代主命ヲ祭ル、建久元年四月十五日勸進、以上四社明

治五年村社二列ス、祭日十二月二十八日

公立小学校老ヶ所村ノ中央字一ノ尾ニアリ、生徒男四拾六人女五人

男農ヲ兼トスル者百八拾四戸

民 業

○朝来村

本村古ヨリ武藏郡ニ風ス

古時弁分久末ノ二村タリ明治八年三月合シテ本村ノ稱ニ改ム

東ハ富清掛樋ノ二村ト、長坂ノ原野油原ノ山林ヲ以テ境トシ西

ハ山峯或ハ溪谷ヲ界トシ矢川俣水ノ二村ト隣ル、南ハ山浦村ト

原野道路ヲ界トス、北ハ耕地ヲ以テ明治村ニ接ス

幅員

東西拾七町拾五間南北老里老町面積

沿革

披間村ニ出ス

里程

大分県庁元都大分郡原田橋中央ニアリヨリ北方拾三里四町三間

貳尺、標柱本村字峰ノ本八百四拾貳番地河野鉄二郎屋宅南面南四間ノ処ニア

リ、東方掛樋村へ老里貳拾老町五拾間老尺、南方山浦村へ三拾

五町三拾老間老尺、北方富清村へ貳拾八町拾七間貳尺、西南矢

川村へ三拾老町拾九間三尺、西北明治村へ老里老町四拾五間貳

尺

地勢

東ニ長坂油原ノ原野山林ヲ負ヒ、西ハ耕地ニ連リ南原野ニ接シ

運輸便ナラス耕炭乏シカラス

地味

其色黒其質美水利便ニシテ稲梁菜茶ニ宜シ

地味

田八拾五町七反三畝四歩、畑四拾五町五反四畝拾拾歩、宅地拾三町五反壹畝

七歩内三反壹歩寺院地、山林七拾貳町八反貳畝拾五歩、芝地三町六反四畝拾

三歩、棘場拾五町四反九畝廿九歩、原野五拾七町八反三畝歩、總計貳百九

拾五町五反八畝拾九歩

無税地

埋葬地老町貳反壹畝拾六歩

○朝来村

山林老町九反四畝拾拾歩

官有地

山林老町九反四畝拾拾歩

買税

地租金千四百八拾三元貳拾七錢三厘、酒類税金八拾八拾老錢貳厘、牛馬

戸数 売買税金百圓、統額税金八圓、總計金千五百七拾圓四八錢五厘
本籍百八拾六戸半良、社貳戸小社、寺三戸無佛堂宇無御宗家志平高
當宗志平、總計百九拾九戸

人 數 男三百九拾五口附居士族老口平長三百九拾四口、女三百九拾六口附居士
族老口平氏三百九拾五口、總計七百九拾零口

牛 馬 牝牛百七頭牝牛三拾八頭總計百四拾五頭、牡馬三拾九頭牝馬九
頭、總計四拾八頭

川 朝來野川二等河二萬五、深四尺淺七尺広拾間狭五間、流レ緩ク水清ク味淡シ、
源ノ明治村字高地池ヨリ発シ、一ハ村西北字益ノ原ニ差シ字抽ノ木ノ下ニテ二水
合流ニ等河トナリ、本村ノ西界ヨリ中央ヲ割キ東流シテ、山崎村字大橋ニテ矢川
ヲ吞ミ安岐川ト稱ス、長卷ニ進歩橋村字成道ニテ兩子川ヲ容レ東下シ、北ハ瀬戸出馬
場下原ノ三村、南ハ成久中崎塩三村ノ間ヲ経過シテ海ニ注ク長五里ナリ、度生
橋大分往還ニ馬ス、村南拾老町架シテ朝來野川ノ下流字坊方ニアリ、水深貳尺広
六間橋長六間三三三尺五釐、小屋光淺宮野沢道ニ馬ス、村南朝來野川ノ下流字小
屋光ニアリ水深壹尺広貳拾八間歩數

池 沼 長泊池東西貳拾九間南北四拾三間村岡區町拾三間北ニアリ、新池東西壹町拾
壹間南北貳拾六間、岡岡三町壹間村東ニアリ、蓮池東西壹町貳間南北三拾壹間岡
岡三町拾伍間村東ニアリ、下油原池東西壹町貳拾三間南北貳拾六間全周四三町
五拾六間村東ニアリ、以上蓄村ノ用水トナス

道 路 大分往還三等道路二萬五、村ノ西北明治村界宇成道ヨリ南ハ山崎村界宇燒久ニ至
ル老里武町野野老間三尺運飯岡村ノ中央字希ノ本ヨリ東ニ折レ安岐池邊ヨリ、村
南松ヶ本ヨリ西ニ折レ香掛道アリ、安岐道村ノ中央字坊ノ本ヨリ東方掛橋村界
字燒田ニ至ル、長卷里武町老間、杵築往還村北宮清村界宇長迫ヨリ村ノ中央字塔
ノ本ニ至リ大分往還ニ合ス、長拾八町広卷朝松野ノ並木アリ、香掛道村ノ中
央字塔ノ本ヨリ、西南矢川村界宇西ノ平ニ至ル、長八町広卷間

社 八坂社舊社、社地東西三拾間貳尺四寸、南北貳拾八間餘、面積貳反九畝七步、
村ノ東南字分ニアリ、遠須佐之男尊、御名田比売命、大己尊等其餘十四柱ノ神
ヲ祭ル、明治五年郡社ニ列ス祭日十二月十五日、歲神社舊社、社地東西貳拾壹
間餘、南北貳拾三間餘、面積壹反六畝拾八步、村北字久米ニアリ、大年神、天照
皇大神神、月讀尊、須須佐之男尊、大己尊等、俣食神ヲ祭ル、明治五年村社ニ列
ス祭日十二月十五日

寺

護聖寺舊佛祠宗、東西拾七間餘、南北貳拾六間餘、面積壹反五畝拾九步、積手
村界福寺本村北字島越ニアリ、応永十七年僧鐵助開基創建ス、元禄五年僧元廣中
興ス、宝壽院舊佛祠宗、東西拾壹間、南北貳拾三間餘、面積八畝拾八步、山崎區
宇治郡三津院東村南字島越ニアリ、寛文元年僧教山開基創建ス、享保元年僧中
興ス、西白寺舊佛祠宗、東西三拾三間、南北拾九間餘、面積貳反老畝拾二步、
山城區志都野妙心寺東村ノ中央寺内ニアリ、天正十八年僧東嶽開基創建ス

社

八坂社舊社、社地東西三拾間貳尺四寸、南北貳拾八間餘、面積貳反九畝七步、
村ノ東南字分ニアリ、遠須佐之男尊、御名田比売命、大己尊等其餘十四柱ノ神
ヲ祭ル、明治五年郡社ニ列ス祭日十二月十五日、歲神社舊社、社地東西貳拾壹
間餘、南北貳拾三間餘、面積壹反六畝拾八步、村北字久米ニアリ、大年神、天照
皇大神神、月讀尊、須須佐之男尊、大己尊等、俣食神ヲ祭ル、明治五年村社ニ列
ス祭日十二月十五日

○矢川村

本村古ヨリ武藏郡ニ属シ古來分合ナシ
東北山嶺ヲ分テ朝來村ト界ヲナシ、南ハ山浦村ト耕地ヲ境トシ
原野ヲ以テ岩屋村ニ接ス、西ハ俣水村ニ接シ山及川ヲ界トス

學 校 公立小学校壹ヶ所村ノ中央字地蔵院ニアリ生徒男五拾四人、女貳拾八人
村公所 用務所村ノ中央字中村ニアリ

物 産 荳芋麻實中貳千四百拾貳束大坂ニ輸ス、植實實中貳千六百拾斤
民 業 男勞ヲ粟トスル者百八拾貳戸

沿 革 慶長五年豊前國小倉城主細川忠興之ヲ領シ、其臣有古立行松并
康之ヲシテ連見那杵築城ヨリ支配セシマ、寛永九年細川氏肥後
へ転封ノ後小笠原忠知信州松本ヨリ徙封代テ之ヲ領ス、正保二

年同氏參州吉田へ転封ス、同年七月松平英親本郡高田城ヨリ杵築へ從リ同氏ノ所領トナリ貞享二年弟松平重長ニ分治セシメ後世襲松平貫一郎ニ至リ、王政新華明治三年上地ニテ日田県ノ所轄トナリ同四年十一月間県廳セラレテ大分県之ヲ管轄ス

里程

大分県庁元都大分郡大分町至縣中央ニアリヨリ北方拾貳里拾貳町三拾三間五尺程本村字坪井九百五拾宅地藤原吉島宅前池北貳拾五間ノ地ニアリ、西方俣水村へ老里六町五拾貳間三尺、南方山浦村へ拾九町三拾貳間四尺、東北朝來村へ三拾壹町九間三尺、西南岩屋村へ貳拾七町貳拾四間

地勢

東ニ小越山林南ニ赤ヌタ大野ノ諸山野ヲ負ヒ運輸便ナラス新炭用ニ贖ル

地味

其色黒其實美稲粟ニ宜シ、最モ桑茶ニ適ス溜池ヲ以テ糞ニ早ヲ防ク

税地

田三町六反六畝三歩、畑拾七町貳反拾五歩、宅地四町三反四畝拾歩内四畝拾六歩寺院地、山林三拾壹町七反四畝歩、芝地七反六畝歩、秣場七町三反六畝歩、原野三町三反三歩、總計百三拾壹町六畝貳拾八歩

無税地

埋葬地四反貳畝貳拾歩
山林壹町三反拾歩

官有地

地租金五百六拾壹圓拾七錢六厘、酒類税金三拾八圓九拾九錢九厘、牛馬売買税金貳圓、總計金六百貳圓拾七錢五厘

戸數

本籍八拾壹戸半氏、社三戸小社、寺壹戸釋尊宗、總計八拾五戸

人數

男百五拾九口半氏、女百八拾三口半氏、總計三百四拾貳口

牛馬

牡牛拾貳頭牝牛六拾貳頭總計七拾四頭、牡馬四頭牝馬七頭、總計拾六頭

川

中ノ川三等河二屬ス、深壹尺淺五寸底廣四間、流レ緩ク水清ク味淡シ、鰻

ヲ村西字中野川溜池ニ築シ、南流宇大野川ニ至リ安岐川ニ注ク此間三拾町、矢川三等河二屬ス、深壹尺淺五寸底寬三反貳拾間、流レ緩ク水清ク味淡シ、鰻ヲ村北字矢川溜池ニ築シ、村北ヲ南流シ村東字川又ニ至リ安岐川ニ注ク此間三拾町

安岐川三等河二屬ス、深三尺淺壹尺底三間柒拾間三尺長貳拾貳間水清ク味淡シ、鰻ヲ白木原村ニ築シ、白木原川ト名ケ俣水村ニ流リ川中ノ俣川ト名ケ東ニ流

レ村西字大野川ニ至リ、中野川ヲ吞ミ村ノ中央ヲ東流シ村東字山ノ口ニ至リ、嶽ケ谷ノ桑原ヲ穿シ宇川又ニ至リ矢川ヲ會シ安岐川トナル、南流山浦村ニ至リ山浦

川ニ合シ下流安岐池ニ注ク長貳拾町

上池東西三拾五間南北三拾四間廣圓貳町貳拾五間村北ニアリ、下池東西三拾八

間南北貳拾六間廣圓貳町四間余村北ニアリ、中野池東西四拾四間南北壹町廣圓

三町五拾壹間余村西ニアリ、以上皆村ノ用水トナス

安岐道三等道路二屬ス、村西俣水界字中野川ヨリ東ハ山浦村界字大橋ニ至ル、

長貳拾八町馬路を測連敷壹間三尺、村ニ中央字井坪ヨリ南ニ折レ井堀敷道アリ、宇

間ノ早雄ニ通リ磯來駅ヨリ岩橋駅ニ通スル支道アリ、杵築駅道村ニ中央字井坪

ヨリ南方岩屋村界字城ヶ谷辻ニ至ル、松拾貳町貳五尺、岩掛駅道村北字間ノ早

越ヨリ西ハ俣水村界字中野川ニ至ル、長五町底壹間

山神社村社、社地東西貳拾貳間、南北八間余、面積六畝三歩、村ノ中央字上山浦

ニアリ、大山祭神・鹿野比売神・天之狹土神・國之狹土神・大山所ノ神・高嶺神

ヲ祭ル、明治五年村社ニ列ス祭日十一月十四日

玉林寺釋尊宗、東西七間余、南北八間余、面積四畝拾六歩、朝來村西白寺

末村東字高地ニアリ、寛文四年僧三任開基創建ス

公立小学校老ケ所村西字高地ニアリ、生徒男拾九人女拾四人

荏玉席賣中貳千貳百六拾三東大板三輪ス

男爲ヲ業トスル者七拾五戸

民業

池沼

道路

社

寺

學校

物産

民業

○山浦村

本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古來分合ナシ

壱城 東ハ耕地ヲ境トシテ掛樋村ニ接シ、西ハ宇赤谷山ノ嶺ヲ以テ矢

川村ニ界ス、西南ハ早瀬原野ヲ以テ岩屋村ニ接ス、南ハ宇津野

女原野ヲ限リ山口村ニ隣リ、北ハ宇上ノ平山絶頂ヲ以テ朝来村

ニ接ス

幅員 東西三拾四町貳拾六間七合南北貳拾町面積

沿革 矢川村ニ出ス

里程 大分県庁元澤大分郡砥田橋中央ニアリヨリ北方拾貳里拾貳町三

拾九間貳尺榊字井ノ上八拾壹番地八幡社井ノ上北方貳間貳尺ノ地ニアリ、

東方山口村へ老里三町拾間貳尺掛樋村へ拾六町壹尺、南方岩屋

村へ老里五町四拾九間三尺、北方矢川村へ拾九町三拾貳間四尺、

朝来村へ三拾五町三拾壹間壹尺

地勢 南北高山上ノ平山対峙シ中ニ安岐川東流シ運輸便ナラス薪炭味

等乏トセス

地味 其色黒其實稻糧梁ニ宜シ水利便ナリ

税地 田三拾三町六反五畝四歩、畑拾四町四畝拾歩、宅地貳町五反壹畝貳拾歩内

地九畝貳拾七歩、堂敷貳拾三歩、林拾町貳尺貳拾七歩、原野拾八町八畝貳拾

八歩、藪九反貳畝拾七歩、芝地八反二畝拾九歩、秣場壹町壹反歩、總計拾

七町七反七畝八歩

飛地 本村ノ西方矢川村ノ内田貳反六畝壹歩

無税地 埋葬地壹町壹反八畝拾六歩

官有地 社地壹町壹畝拾四歩、林田町九反五畝歩、原野五畝歩、溜池三町壹反貳畝

歩、寺院地六畝三歩、總計八町貳反九畝拾七歩

賃租 地租金四百九拾壹圓四角五拾八錢貳厘、牛馬売買税金老円、總計金四百九拾貳

四五拾八錢貳厘

戸數 本籍七拾三戸平民、社四戸小社、寺壹戸神曹調索、總計七拾八戸

人數 男百五拾三口平民、女百四拾八口平民、總計三百零口

牛馬 牛貳拾四頭牝牛四拾壹頭總計六拾五頭、牡馬拾貳頭牝馬拾三

頭、總計貳拾五頭

山 黒岩嶺高七拾丈周圍米津村ノ西南ニアリ嶺上ヨリ三分シ、西南ハ岩屋村ニ属

シ、東北ハ本村及ヒ山口村ニ属ス、山脈西ハ彼多方嶺ニ連ル能ク大樹藪急山上ニ

溜池アリ板木池ト云フ山間ノ田ニ灌リ、登路ニ條一ハ村ノ中央并上ヨリ南西ニ上

ル三拾町七畝ナリ、一ハ村西宇大福ヨリ南ニ向ヒ登ル道堀老間三尺隙ナリ、高取

拾五町六分往還ナリ此山岩屋村ヨリ岩屋山ト稱ス

川 山浦川ニ等河ニ属ス、深老文茂老尺広五拾間狹狹五間長貳拾町深レ急ニ水清ク味

淡シ、源ヲ明治村字小俣及津田ニ號シ朝来野川ト名ケ東南ニ向ヒ朝来野ニ入り東流

シ、本村ノ西北宇釘島ニ至リ山浦川ト稱ス、東南ニ流レ宇大福ニテ安岐川及村西舞

谷池ノ下流ヲ合シ村北ヲ東流シ宇成池ニ至リ掛樋村ニ入り掛樋川ヲ合シ安岐川トナリ、

南ハ成久中園北ハ瀬戸田島湯村ノ間ヲ、縣下ノ原村字池ニテ海ニ入ル、安岐川三

等河ニ属ス、深四尺淺尺八公三拾間狹狹貳拾間長五拾間流レ急ニ水清ク味淡シ、源ヲ

白木原村ニ發シ白木原川ト名ケ保水村ニ至リ中流川ト名ケ矢川村ニ至リ矢川川ヲ合シ

安岐川トナル、村西宇大福ニ米リ山浦川ヲ合シ村北ヲ東流シ宇成池ニ至リ、掛樋村

ニ入り原川ヲ合シ成久以在掛樋村ノ間ヲ、縣下安岐池ニ注ク、大橋大分往還ニ属ス、

村西六町崎シテ山浦川ノ上流宇大福ニアリ、水深尺八公三拾間、橋長拾四間五尺幅

貳圓石製

池沼 板木池東西壹町貳拾間南北五拾貳間東西三拾間村南ニアリ村ノ用水トス

道路 大分往還三等道路ニ属ス、村北朝来村界字水口ヨリ南ハ岩屋村界字黒岩ニ至ル、

長貳拾六町四拾間幅老間三尺、宇黒岩ヨリ宇大福ニ至ルヤチ松浦並木アリ長尺拾

八町、掛樋道三等道路ニ属ス、村ノ中央宇井ノ上ヨリ東ハ掛樋村界字岩ノ鼻ニ

至ル、長拾三町六間三尺幅卷間、山口道三等道路ニ属ス、村ノ中央弁ノ上ヨリ南ハ山口村界ヲツノメニ至ル、長拾四町四拾五間幅卷間、矢川道三等道路ニ属ス、村ノ中央弁ノ上ヨリ村北矢川村界ヲ夜通ニ至ル、長八町五拾零間幅卷間

社

山神社村社、社地東西拾六間南北拾五間幅五畝九歩、村南字蓮下ニアリ、大山命ヲ祭ル祭日十二月廿九日、八幡社村社、社地東西九間、南北拾六間、面積六畝五歩、村ノ中央弁ノ上ニアリ、菅田明命・高靈神ヲ祭ル、祭日十二月廿八日、以上二社明治五年村社ニ列ス

寺

密乘院神智洞宗、東面拾間余、南北拾七間余、面積六畝三歩、横年村宗源寺東村ノ南南字密乘院ニアリ、元禄二年二月僧幻堂開基創建ス

物産
民業

荳芋席賣美瓜干瓜百拾圓東大板ニ輸ス、蒟蒻賣美芋千七拾圓買
男農ヲ業トスル者六拾戸

〇掛樋村

本村古ヨリ安岐郷ニ属ス、古時掛樋油留木ノ二村タリ明治八年三月油留木村ヲ本村ニ合ス

疆域

東ハ鏡石山田平山ヲ以テ吉松瀬戸田ノ二村ニ界シ、西ハ堀切油原ノ諸山ヲ以テ朝來富清ノ二村ニ接ス、西北倉谷原野ヲ以テ糸原村ニ界シ、西南宇成澄耕地ヲ以テ山浦村ニ接ス、南ハ山口村ト夫婦木山ノ嶺ヲ境トス又安岐川ヲ界トシテ吉広村ニ接ス

幅員

東西貳拾七町四拾六間七合南北老里拾五町六間七合
本村ノ内元油留木村ハ矢川村ニ同シ元掛樋村ハ横間村ニ同シ

沿革

大分県庁元禄大分郡大分町領田中中央ニアリヨリ北方拾貳里拾七町拾貳間標本村千曳ヲロシ七拾零間大神社井中央ヨリ、南方四間零ノ五寸ノ地ニアリ、東方瀬戸田村へ三拾貳町零尺、西方山浦村へ拾六町零尺、南方山口村へ三拾貳町五尺北方朝來村へ老里貳拾零町五拾

間零尺米水村へ三拾三町六間富清村へ老里貳拾九町四拾八間三尺

地勢

南ニ大平山ヲ負ヒ安岐川其麓ヲ東流ス、村落南北ニ点居運輸便ナク耕墾乏カラス

地味

其色黒南部其質美ニシテ水利アリ、北部其質悪ニシテ旱ニ苦ム

税地

田七拾六町七反五畝拾歩、畑三拾零町七反三畝貳拾歩、宅地六町七反七畝拾八歩内社地五畝三歩寺院地貳畝貳拾九歩堂敷八畝拾歩、林貳拾九町七反三畝貳拾九歩、原野四拾零町九反九畝拾八歩、藪五町八反五畝拾九歩、芝地拾零町零反貳畝拾四歩、秣場三町三反歩、總計貳百八町貳反九畝九歩

無税地

埋葬地壹町五反五畝拾七歩、溜池軍町壹反九畝貳歩、總計三町七反四畝拾九畝拾九歩、原野四拾貳町九反九畝拾八歩、藪五町八反五畝拾九歩、芝地

官有地

社地老反四畝九歩、溜池五町三反七畝四歩、寺院地九畝拾五歩、總計五町六反貳拾八歩

實租

地租金千百六拾八円五拾四錢老里、牛馬売買税金壹円、總計金千百六拾九円五拾四錢老里

戸数

本籍百六拾貳戸平民、社四戸小社、寺貳戸福音宗宗寺老里百零壹、總計百六拾八戸

人数

男三百三拾九口平民、女三百四拾三口平民、總計六百八拾貳口

牛馬

牡牛六拾八頭牝牛六拾九頭總計百三拾七頭、牡馬貳拾九頭牝馬三頭、總計三拾貳頭

川

安岐川二等河ニ属ス、深五丈幅貳尺広四拾間狹狹五間流レ急ニ水清ク味酸シ、水漲ニツ一ハ四寸山ニ勢シ壱川ト名ク西ノ高清水ノ三村ヲ經テ本村ノ西界字長野ニ來リ村南ヲ東南ニ流シ宇成澄ニ至リ安岐川トナル一ハ隈水村ニ死シ矢川村ヲ經テ諸湯流ヲ合シ宮崎川トナル山浦村ニ至リ山浦川ニ合ス、一ハ明治村中ノ保及諸田ニ

苑シ朝妻野川ト名ケ山浦村ニ至リ山浦川ト名ケ登枝川ニ合シ木村ノ西南界字成澄ニ

至リ幸川ト合ス、東流村南靜野地ノ下流ヲ穿シ宇嶋川ニ至リ、細田本川ヲ合シ成久

瀬戸田二村ノ間ニ入り中野馬場ヲ開テ下原村ヲ經テ宇嶋ニ至ル長尺給町、油留

ヨリ成澄ニ至ル幸川長拾四町山浦川長三拾間合流ヨリ村界ニ至ル長尺給町、油留

木川三等河ニ属ス、深尺尺五寸六分三厘三毫三絲三忽三微三纖三沙三塵三渺三渺三

級ノ村北字高地地ニ苑シ村ニ中央ヲ東南ニ流レ宇嶋川ニ至リ安枝川ニ入ル、長野

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、成澄

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

渡安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

大藏神社社、社地東西間余南北拾四間余南極祇取八尺、村西宇宮水ニアリ、

大年神、新年神、若年神、大日百神、農神、農神、農神、農神、農神、農神、農神、

山比売神ヲ祭ル祭日十二月十五日開太神社社、社地東西六間南北尺拾余間南

武成歩村ノ中央宇島ヲシニアリ天照坐神、瀬織津姫神、伊吹戸主神、速秋津

姫神ヲ祭ル祭日十二月十五日、山神社社、社地東西拾間余南北拾七間余南極

成世二彦村北字下神田ニアリ、大山郡神ヲ祭ル祭日十二月二十七日以上三社明拾五

年村社二列ス

不動院真言宗、東西八間余南北拾間半南極祇取九尺登後園邊見部御生寺東村ノ西

南字ホクシニアリ弘化四年僧侶管開基ス、泉正寺佛曹洞宗、東西拾三間余南北

拾間余南極九尺拾五歩瀬戸田村長壽寺木村北字寺地敷ニアリ、初佛地開基甚

衆ナリシカ志永年間佛明岩中興シ、改メテ曹洞宗トナル

公立小学校セケ所村南字中ニアリ生徒男四拾貳人女拾貳人

荳北唐賣賣貳千貳百四東大坂三輪ス

物産 荳北唐賣賣貳千貳百四東大坂三輪ス

民業 男農ヲ養トスル者百六拾戸

○古松村

本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古來分合ナシ

強城 東ハ小城山ノ頂ヲ以テ小城村ニ界シ、西ハ鏡石山ヲ以テ掛橋村

ニ接シ、南ハ徑路ヲ界トシ瀬戸田村ニ隣ス、北ハ藤ヶ尾山嶺ヲ

限リ吉広志和利兩村ニ界ス

幅員 東西老里拾四町拾間南北貳拾三町貳拾間面積

沿革 挾間村ニ出ス

里程 大分県庁元龜大分郡中興田中央ニアリヨリ北方拾三里貳町五拾九

間五尺橋本村字島原八百六拾步岩舟地野島新居宅前南東方拾七間五尺ノ地ニア

リ、東方小城村ハ三拾貳町五拾五間三尺、西方掛橋村ハ老里貳拾

拾三町五拾三間五尺成三尺

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

安岐港道ニ属ス、村西八町幸川ノ下流ニアリ水深四尺広拾間半、荒井

四町四拾五間、南方瀬戸田村へ拾三町六拾五間三尺

地勢 南二鏡石山北二小城山ヲ負ヒ運輸便ニシテ薪炭用ニ隙ル

地味 其色赤其實積ヤ美稲梁ニ宜シ水利便ナラス

稅地 田七拾貳町七畝九步、畑貳拾六町九反九畝貳拾步、宅地六町四反壹畝步、

社地四畝貳拾步、寺院貳畝貳拾伍步、林五拾貳町四反貳步、原野貳拾壹町四

反步、敷寄町老畝貳拾九步、芝地七町六反七畝拾七步、球場貳町貳反步、總

計百九拾町老反七畝拾七步

無稅地 埋葬地貳町五畝拾四步

官有地 社地貳反貳畝拾六步、林四反四畝貳步、溜池五町三反三畝貳拾七步、堂敷貳

畝拾貳步、總計六町貳畝貳拾七步

賈租 地租壹千九拾八匁五拾四錢四厘、煙草稅金拾五匁、牛馬賣買稅金壹匁、總

計金千百拾四匁五拾四錢四厘

戸數 本籍百四拾戸平民、社四戸小社、寺三戸真言宗三宇、總計百四拾七

人數 男三百四拾九口平民、女三百四拾三口平民、總計六百九拾貳口

牛馬 牡牛五拾六頭牝牛六拾頭總計百拾六頭、牡馬三拾七頭牝馬九頭、

總計四拾六頭

川 吉松川三等河二屬ス、深六尺淺老尺八尺間發着間長三拾町流シ急ニ水清ク味淡シ、

瀬ヲ村西字中村ニ發シ村北ヲ東南ニ流シ仁仁五至リ七郎川ノ合間シ村ノ中央東南

ニ流シ、宇川村ニテ瀬戸田村ニ入り浦川ト稱ス、岡村宇小川ニ至リ安岐川ニ合ス、

七郎川ニ合ヘテ二屬ス、深六尺淺老尺八尺深淺間長老里流シ急ニ水清ク味淡シ、

瀬ヲ村西字七郎ニ發シ村南ヲ東流シ仁仁五至リ吉松川ニ合ス、浦川橋大分往還

ニ屬ス、本村ヨリ拾壹町架シテ村東吉松川ノ下流宇浦川ニアリ、水深老尺幅三間橋

長四間巾老間橋上橋

池沼 瀬葉ヶ谷池東西三拾七間南北壹町貳拾間南四町村北ニアリ、長迫池東西壹

町八間南北拾八間南三町村南ニアリ、田尾池東西壹町貳拾間南北三拾貳間南

四町拾貳間南ニアリ、園田池東西壹町拾貳間南北三拾貳間南四町四間村西

ニアリ、皆村ノ用水トナス

道路 大分往還ニ等道路ニ屬ス、村ニ屬シ界字邊ヨリ村南瀬戸田村界字川橋ニ至ル、

長四町橋老間三尺字浦葉ヶ谷ヨリ字邊邊ニ至ル、長五町松樹ノ並木アリ仁仁ヨリ

東西ニ折レテ支道アリ、東ハ瀬戸田村ニ通シ西ハ本村字草場ニ通ス、長谷老町七間

広野間、掛樋道三等道路ニ屬ス、村ノ中央字邊邊ヨリ村南掛樋村界字路ノ尾ニ至

ル、長谷老町六町五拾七間三尺八分、小城道村ノ中央字草場ヨリ村ノ東北小城村

界字邊邊ニ至ル、長谷老町四間八分

社 八坂社村社、社地東西拾貳間南北拾五間余面積貳畝拾三歩村南宇一ノ瀬ニア

リ、兼業時尊・大己貴尊ヲ祭ル祭日十二月廿八日、山神社村社、社地東西三拾四

間南北三拾壹間面積貳反三歩村北字草場ノ上ニアリ大山天神・中山天神・麓山天神、

原山天神・原山天神・正勝山天神・麓山天神・奥山天神ヲ祭ル祭日十二月十六日

以上二社明治五年村社ニ列ス

寺 常覺院真言宗、東西八間南南北拾九間面積壹反壹畝拾六步、山城國宇治郡三宮院

東村南宇邊數ニアリ文正三年創建、福壽院真言宗、東西貳拾五間南北拾壹間余面

積六畝貳拾七步、山城國宇治郡三宮院東村南宇邊數ニアリ応長十一年創建、西宮院

真言宗、東西拾壹間余南北拾壹間余面積貳畝貳反山城國宇治郡三宮院東村ノ東南宇

立中ニアリ永正元年僧門開闢創建ス

物産 江上野實貳千五百畝四東大板二輪ス、蒟蒻七百拾五貫九百日

民業 男婦ノ業トスル者百四拾三戸、商ノ業トスル者三戸

○瀬戸田村

本村古ヨリ安岐郡ニ屬シ古來分合ナシ
疆域 東ハ徑路ヲ以テ馬場村ト接シ、西ハ掛樋村ト田平山ノ峯ヲ境ト

シ、南ハ安岐川ヲ限り成久中園ノ二村ニ対ス、北ハ西ノ平山ヲ以テ吉松村ニ界ス

幅員 東西貳拾七町貳拾六間七合南北八町五拾三間三合面積

沿革 抜開村ニ出ス

里程 大分県庁至縣大分郡大分町直田橋田中ニアリヨリ北方拾貳里貳拾四町四拾五間五尺程榎木村半小川三百七拾番地小川線八里半前通西方三間三尺ノ短ニ

アリ、東方馬場村へ拾六町五拾八間五尺、西方成久村へ六町五拾八間老尺掛種村へ三拾貳町老尺、南方中園村へ八町四拾間老尺、北方吉松村へ拾四町五間三尺

地勢 南ニ安岐川ヲ帶シ北ニ西ノ平山ヲ負ヒ運輸便アリ新多シ炭乏シ

地味 其色赤其質稍ヤ美ニシテ稲梁菜茶ニ宜シ東半部水利アリ、西半

部旱ニ苦ム

税地 田三拾四町八反零畝九歩、畑拾五町七反八畝貳拾五歩、宅地三町五反四畝四歩

内寺院地貳區三畝零拾五歩、林三拾四町五反七畝拾六歩、藪八反八畝拾拾三歩、

芝地七反四畝貳拾八歩、物干場九反九畝拾七歩、總計九拾零町三反五畝零

無税地 荒地八反四畝五歩、溜池零畝五歩、埋葬地零町貳反貳拾五歩、總計貳町六

畝五歩

官有地 社地四反零畝貳歩、寺院地五反零畝貳拾五歩、林九反零畝貳拾歩、總計老町

八反五畝拾七歩

賃租 地租壹六百七拾八円三拾錢九厘、煙草税金五円、牛馬売買税金壹円、家

棟税金壹百八拾五錢六厘、總計金六百八拾六円四拾六錢五厘

戸數 本籍八拾七戸主妻貳戸平民八拾五戸、社貳戸小社、寺貳戸釋教宗者

半浄土宗壹戸、總計九拾零戸

人數 男百拾三口土族三口平民百八拾口、女百七拾三口土族四口平民百六拾九口、

總計三百五拾六口

寺 社

牛馬

牝牛拾四頭牝牛貳拾六頭總計四拾頭、牡馬拾三頭牝馬六頭、總計拾九頭

安岐川ニ等河ニ流ス、櫻武丈茂尺広老町取拾五間長貳拾五町廣シ急ニ水清ク流

淡シ、水源三ツ一ハ阿字山ニ發シ源川ト名ケ阿字高清水ノ三村ヲ經テ掛種村ニ至

リ安岐川ニ合ス、一ハ泉木村ニ發シ矢川村ヲ經テ源流ヲ合シ安岐川トナル山浦村

ニ至リ山浦川ニ合ス、一ハ明治村字小俣及諸田ニ發シ朝來野川ト名ケ山浦川ニ至リ

山浦川トナル、安岐川ニ合シ掛種村ニ至リ源川ト合シ安岐川ト名ケ東流藤澤池ノ下

流ヲ穿テ鳴川ニ至リ海軍川ヲ穿レ本村ノ西字新井ニ米リ南方成久村界ヲ東流シ、

字小川ニテ浦川ヲ吞ミ村北中園村界ヲ流シ、馬場村ヲ經テ下原村字溝ニテ海ニ入ル、

浦川三等河ニ流ス、深六尺淺一尺広三間三尺長貳町貳拾間、流急ニ水清ク味淡シ、

水源ニツル吉松村字七郎ニ發シ、一ハ阿字村字中園村ニ發シ、同村字仁王ニテ二水合

東南ニ流レ吉松川ト稱シ同村界字川線ヨリ來リ、村北字寺ノ裏ヲ經テ字小川ニ至リ

安岐川ニ入ル、大道橋大柱道ニ流ス、村南五拾間架シテ安岐川ノ中流字小川ニ

アリ水深貳尺長拾七間、橋長拾八間巾老間架シテ安岐川ノ中流字小川ニ

中央架シテ浦川ノ下流字小川ニアリ水深五寸巾老間老尺、橋長三間三尺巾老間老尺被

土橋、浦川橋大分能連ニ流ス、村ノ中央ヲ經テ浦川ノ上流字寺ノ東ニアリ、水

深老尺巾老間三尺、橋長拾三三尺巾老間被土橋

大分往還ニ等道路ニ流ス、村北吉松村界字仁王ヨリ南ハ成久界字小川ニ至ル、長

三町広老間三尺字小川ヨリ東ニ折レ安岐道アリ、安岐港道ニ等道路ニ流ス、村

西掛種村界字鳴川ヨリ中央字小川ニ至リ大分往還ニ合シ又東ニ折レ馬場村界字馬場

先ニ至ル、長尺四拾零間広老間

八幡社社、社地東側吉松村界字南南北五拾七間余面積貳反六畝拾貳歩村東字宮ニア

リ豊田別尊、武内宮跡ヲ祭ル、明治五年郡社ニ列ス祭日十一月三十日

實際寺南浦池、東西三拾七間余南北五拾七間余面積三反九畝拾六歩、横手村界

福寺末村ノ中央字レンカンニアリ、延慶二年傳仏照開基創社シ隆興寺アリシカ其後

大友氏ノ為兵變ニ罹リ廢獄セシヲ、以テ正保二年德作藩中興シ以後曹洞宗トナル、
淨國寺沖土宗、東區貳拾四間、余南北三拾九間、余面積三反七畝四歩、山邊國堂公郡
知恩院末村ノ東南宇山ヶ屋敷ニアリ、慶長元年德作藩開闢新造ス

○馬場村
本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古來分合ナシ
東ハ溝渠ヲ以テ下原村ニ界シ、西ハ徑路ヲ界トシ瀬戸田村ニ隣
ス、南ハ用水路ヲ境トシテ中園村ニ對ス、北ハ字兼辺山ヲ以テ
小城系原ノ二村ニ界ス

幅員 東西拾五町四拾間南北拾九町拾間面積
沿革 挾間村ニ出ス

里程 大分県庁元郷大分郡大分町種田橋中央ニアリヨリ北方拾三里四町四拾貳
間五尺、標柱本村字中村五百六拾貳番地水松社三郎唐尼前節中央ヨリ東方五間三尺
ノ地ニアリ、東方下原村へ六町四拾七間三尺、西方瀬戸田村へ拾六
町五拾八間五尺、中園村へ拾五町三拾三間四尺、系原村へ貳拾
九町五拾七間三尺、西北小城村へ貳拾貳町

地勢 土地平坦南ニ安岐川ヲ帶ヒ運輸便ナレトモ薪炭乏シ

地味 其色黒其實南部ハ美ニシテ北部ハ惡種梁葉茶ニ宜シ水利アリ

税地 田六拾町貳反八畝拾九歩、畑貳貳町八畝拾四歩、宅地六町六反貳畝壹歩
社地壹畝貳拾八歩寺地壹畝貳反貳拾六歩、林貳貳町八反五畝八歩、藪貳反三畝拾
老歩、芝地貳町三反七畝貳拾七歩、秣場貳町九畝拾歩、物干場壹町貳反貳、總
計百拾八町七反四畝拾四歩

無税地 荒地七反四畝貳拾貳歩、埋葬地九反四畝貳拾歩、總計壹町六反九畝拾七歩
官有地 社地貳反六畝拾七歩、寺院地貳反貳畝拾四歩、畑壹反五畝拾七歩、林九反四畝
拾貳歩、溜池六町七反歩、總計八町貳反八畝八歩

賃租 地租壹千三百五拾壹圓六拾六錢五厘、総稅金壹千四百五拾四圓、酒類稅壹貳拾九
圓三拾四錢、總計千三百八拾二圓五拾四錢五厘

戸數 本籍百五拾五戸、上族三口、平民百四拾七口、社貳戸、寺貳戸、雜業
老字真言宗老字、總計百五拾四戸

人 數 男三百五拾貳口、土族九口、平民三百四拾三口、女三百貳拾口、土族七口、平民三
百拾二口、總計六百七拾貳口

牛馬 牡牛貳拾頭、牝牛拾壹頭、總計三拾壹頭、牡馬五拾三頭、牝馬五頭、
總計五拾八頭

川 舟 日本形船貳百石未満五拾石以上總計貳艘
安岐川ニ等河ニ属ス、瀬五丈深、底良、庄町拾間、狭四拾間、流急ニ水河ヲ難波シ、
水源ニツ一ハ西子山ニ發シ、瀬川ト名ケ、阿子葛清水ノ三村ヲ經テ掛繩村ニ至ル、
一ハ俣水村ニ發シ、俣川村ヲ經テ、俣河ヲ合シ、安岐川ニ入ル、一ハ掛繩村ノ小俣及ヒ
諸田ニ發シ、朝倉野川ト名ケ、山浦川ト名ケ、安岐川ニ合シ、掛繩村ニ至リ、
俣川ヲ合シ、安岐川トナリ、南浦池ノ下流ヲ穿テ、阿子葛清水ノ三村ヲ經テ、東邊二木村
成久瀬戸田ニ村ノ間ヨリ本村ノ西界ヲ穿テ、南村ヲ經テ、東邊二木村
ニ入り、小川尻ヨリ下原村ニ入り、同村字池ニテ池ニ入ル、本村ヲ通スル長九町貳拾
四間

池沼 邊ノ辺池、東邊老町三拾四間、南邊老町拾七間、西邊老町拾貳間、北ニアリ、谷池
東邊老町拾間、南邊老町三拾五間、西邊老町六間、北ニアリ、夕々ラノ池、東邊老町南邊五拾間
西邊四町、北ニアリ、岩村ノ用水トス、赤上ノ池、東邊老町五拾間、南邊老町貳町、西
邊四町、七町五拾七間、北ニアリ、赤下ノ池、東邊老町拾間、南邊老町五拾間、西邊四町
貳町、北邊老町北ニアリ、岩下原村ノ用水トス

道路

中國道三等村ノ中央字中村ヨリ西南中國村界字小麓ニ至ル、長九町五拾七間四尺
三尺、小城道三等村ノ中央字中村ヨリ村北小坂村界字陣山ニ至ル、長貳拾貳町
三尺、糸原道三等村ノ中央字中村ヨリ村北糸原村界字二本松ニ至ル、長拾八町
四拾間幅三尺、安岐海道三等道路ニ屬ス、村西瀬戸田村界字土文田ヨリ村東下
原村界字小川尻ニ至ル、長九町三拾三間幅老間

社

熊野社社在、社地東西拾四間南北拾四間全面積貳反貳畝拾四歩村ノ西南字政
所ニアリ、伊弉諾美尊・天照皇大神・熊野久須比神ヲ祭ル、祭日十二月十五日、八
社社社在、社地東西拾三間余南北九間余全面積三畝貳拾七歩村東字オアテニアリ、素
戔鳴尊ヲ祭ル、祭日十二月二十九日以上二社明治五年村社ニ列ス

寺

大儀寺神羅濟濟、東西拾五間南北貳拾間全面積貳反貳畝四歩山城國志野郡妙心
寺末村西字オアテニアリ、僧心燈開基創建ス、最広寺高所、東西貳拾間余南北拾
五間全面積老反貳拾六歩、山城國志野郡本願寺末村ノ中央字ヒロマツニアリ、観音二年
僧注口開基創建ス

物産

苧玉席實美九百五拾八束大板二輪ス、蒟蒻實美七百拾老實三百日
民業 男農ヲ業トスル者百四拾宅戸、前ノ業トスル者七戸、既ノ業トスル者三戸

○下原村

本村古ヨリ安岐郷ニ屬ス、古時下原古城ノ二村タリ明治八年三
月古城村ヲ本村ニ合ス

疆域

東ハ海ニ瀕シ西ハ溝渠ヲ界トシテ馬場村ニ接ス、南ハ荒木川ヲ
以テ塩屋村ニ隣ル、北ハ耕地ヲ以テ中園村ニ接ス小径ヲ以テ糸
原村ニ界ス

幅員

東西拾六町貳拾間南北拾町面積

沿革

大分県庁元縣大分郡大分町田崎中央ニアリヨリ北方拾三里六町貳拾間

三尺標柱本村字廣六畝八拾四番地被邊八代官邸宅前而中央ヨリ南方拾五間老尺貳
寸ノ船ニアリ、南方塩屋村ハ拾三町拾四間三尺、西方馬場村ハ六町
四拾七間三尺、北方糸原村ハ三拾町四間三尺

地勢 土地平坦ニ屬シ東ハ海ニ面シ運輸便ニシテ薪炭之シ
地味 其色赤或黒ニシテ其實南部ハ美北部ハ惡稻梁兼茶ニ宜シ水利便
ナラス

税地

田五拾三町九畝拾四歩、畑四拾三町八反七畝貳拾四歩、宅地八町八反五畝拾四
歩内社地畝七歩寺院地畝三畝拾六歩伊林三拾貳町五反五畝貳拾五歩、畝三反五
畝六歩、芝地三町老反五畝六歩、者干場四町九反九畝拾六歩、總計百四拾六
町八反四畝拾五歩

無税地

溜池三畝拾老歩、埋葬地老町貳反六畝拾九歩、總計老町三反歩
官有地 社地三反五畝拾貳歩、寺院地九畝拾七歩、林拾貳町三畝貳拾老歩、芝地五畝
九歩、溜池七反五畝拾老歩、總計拾三町貳反九畝貳拾歩

質税

地租金七十七拾五円拾四錢五厘、船税金拾三円拾錢、總計金七百八拾八円八
拾四錢五厘

戸數

本籍百九拾三戸土族貳戸平民百九拾老戸、社老戸小社、寺三戸神羅濟濟
老字京茶老字、總計百九拾六戸

人數

男四百四拾四口土族四口平民四百拾口、女四百五拾七口土族四口平民四
百五拾五口、總計八百七拾老口

牛馬

牛 廿九拾三頭牛貳拾老頭總計三拾四頭、牡馬四拾四頭牝馬六頭、
總計五拾頭

舟

日本形船貳拾六艘實百石以上老艘貳百石未満五拾石以上四艘五拾石未満貳拾
老艘、總計貳拾六艘

川

安岐川ニ等河ニ屬ス、深七尺淺貳尺広老町三拾間或レ緩ク水清ク味淡シ、村西
字川原マテ潮汐進退舟棹通ス、水脈三ツノ一、洞子山ニ兎シ津川ト名ケ洞子高津水

寺

光明寺 萬葉、東西貳拾四間余南北三拾六間西極貳度三畝拾六歩山邊國志野郡本願寺東村百字松尾ニアリ、慶長五年六月僧徒祐福若利經ス、管門寺神祇齊濟、東西拾八間余南北拾六間余面積九畝拾七歩、山城國志野郡妙心寺末村、中央字門田ニアリ、僧徒中興ス

古跡

安岐城 東西三町南北西極壹己二間スルモ遺址尙本跡スヘシ、大友德直ノ二子蕃広色ヲ國東郡ニ食シ納メテ安岐城ヲ築キ唐ル天中垂広十二世孫魂野大友氏ニ反シ為メニ討滅セラル、大友氏歸陣ノ後登中公原谷真跡ヲ討シ此城ニ居シム、直隸罪ヲ重原公ニ得テ國除セラル、慶長五年右田三成ノ兵ヲ率クルニ及テ直隸ノ旧跡ヲ復シ命シテ大垣城ヲ保セシム、直隸其叔父展谷外記ヲシテ安岐城ヲ守ラシム巴ニシテ黒田孝高ノ為メニ國マル東少幾ハナラス、外記直隸ノ戦死ヲ聞キ城ヲ棄テ去リ城從ニ廢ス

道路

塩屋道 三等道路ニ屬ス、村ノ中央字港ヨリ村南塩屋村字川原ニ至ル、長貳町四拾間幅壹町、馬場道 三等道路ニ屬ス、村ニ中央字港ヨリ村西馬場村字小川尻ニ至ル、長五町叁間三尺幅壹町、糸原道 三等村ノ中央字港ヨリ村北糸原村字幸ニ至ル、長拾八町幅壹町

港

安岐港 無常安岐川ノ東流東西七町南北四拾五間深壹間八尺千潮四尺東方二町ワ村ニ東方ニアリ東南南ニ置シカラス、港名アレトモ其實ハ舟船投擲ノ便ナリ、南舟來ラス唯小舟往復スルノミ修繕費ハ民ニ屬ス

暗礁

二ツ石 礁東西五間南北三間二大石相ツ瀧瀬ニハ深六尺千潮ニハ露出スルコト凡三尺村ノ東北ニアリ海江ヲ去ハ八町安岐港ヲ距ル拾三町、九石 礁東西四間南北貳間深六尺千潮ニハ露出スルコト三尺村ノ東北ニアリ海江ヲ去ル八町安岐港ヲ距ル拾八町

社

加茂社 村社、社地東西貳拾四間余南北拾八間面積壹反三畝貳拾四歩村東字港ニアリ、加茂武尊命・伊加古改志美命・王依姫命・加茂別當命・瓊々杵命・神日本靈余比古尊・五十鈴命等ヲ祭ル、明治五年村社ニ列ス祭日十二月十八日

校

公立小学校 卷ケ所本村中央字港ニアリ生徒男七拾貳人女拾三人

物産

甘藷 實長五千五百四拾貫、商賈實長七百六拾八貫、苳苳 實長五千九百七拾七束以上大板二輪ス

民業

男農ヲ業トスル者七百七拾五戸、商ヲ業トスル拾貳戸

○中園村

本村古ヨリ安岐郷ニ屬シ古來分合ナシ

強城

東ハ田畔ヲ界トシ下原村ニ隣シ、西ハ道路ヲ以テ成久村ニ接シ西南大通寺川ヲ以テ下山口ニ界シ、南ハ荒木川ヲ以テ西本村ニ界シ、北ハ安岐川ヲ限リ瀬戸田村ニ対シ用懸水路ヲ以テ馬場村ニ界ス

幅員

東西貳拾貳町拾間南北六町五拾間面積

沿革

抜開村ニ出ス

里程

大分県庁元祿大分郡大分町須田橋中央ニアリヨリ北方拾貳里貳拾九町壹

隣シ、南ハ茶畑山ヲ以テ山口村ニ界シ大通寺川ヲ以テ下山口村
界シ、北ハ安岐川ヲ限り瀬戸田掛樋村ニ対ス

幅員 東西貳拾九町貳拾間余七合、南北九町拾間余三合面積

沿革 抜間村ニ出ス

里程 大分県庁元藩公郡大分町通田中央ニアリヨリ北方拾貳里貳拾六町五
拾三間三尺程性本村字橋本九百拾六番地利行三拾里老道田中央ヨリ北方拾四間

三尺ノ短ニアリ、東方中園村へ拾貳町貳拾四間四尺瀬戸田村へ六町
五拾八間老尺、南方下山口村へ拾五町五拾三間四尺、西南山口
村へ貳拾八町三拾三間

地勢 西南夫婦木山ニ対シ北ハ安岐川ニ沿ヒ運輸便ニシテ耕炭乏カラ
ス

地味 東部其色黒其實美ニシテ稲粟ニ宜シ水利便ナリ西部ハ之ニ及ス

税地 田三拾三町七反七畝八歩、畑拾町七反五畝六歩、宅地三町六畝拾五歩、林拾
八町九反三畝八歩、原野拾三町七反五畝歩、藪老町三反拾老歩、芝地貳町老

反老畝五歩、物干場五畝拾歩、總計八拾三町七反四畝三歩

無税地 荒地三畝歩、埋葬地一町貳反五畝拾三歩、總計老町貳反八畝貳拾三歩

官有地 社地老反八畝拾九歩、溜池老町五反歩、堂敷三畝拾歩、總計老町七反五畝
九歩

賃租 地租金六百八拾圓八匁、牛馬売買税金老円、家禄税金三円七拾
老銭老匁、總計金六百八拾八円五拾五銭九匁

戸數 本籍六拾四戸土族貳戸平民六拾五戸、社老戸小社、總計六拾五戸

人數 男百五拾三口土族五口平民百四拾八口、女百六拾老口土族三口平民百五拾
八口、總計三百拾四口

牛馬 牡牛三頭牝牛五頭總計八頭、牡馬貳拾三頭牝馬貳頭、總計貳
拾五頭

牛馬 牡牛三頭牝牛五頭總計八頭、牡馬貳拾三頭牝馬貳頭、總計貳
拾五頭

牛馬 牡牛三頭牝牛五頭總計八頭、牡馬貳拾三頭牝馬貳頭、總計貳
拾五頭

牛馬 牡牛三頭牝牛五頭總計八頭、牡馬貳拾三頭牝馬貳頭、總計貳
拾五頭

牛馬 牡牛三頭牝牛五頭總計八頭、牡馬貳拾三頭牝馬貳頭、總計貳
拾五頭

牛馬 牡牛三頭牝牛五頭總計八頭、牡馬貳拾三頭牝馬貳頭、總計貳
拾五頭

川

安岐川二等河ニ属ス、隈貳丈深貳尺五寸拾間三拾間長ニ拾町流レ急ニ水清ク味
淡シ、水源三ツ一ハ阿子山ニ発シ津川ト名ケ阿子富清水ノ三村ヲ經テ掛樋村ニ集
リ安岐川ニ合シ、一ハ保水村ニ發シ矢川村ヲ經テ津漢流ヲ合シ山瀬村ニ至リ山瀬川
ト名ケ、一ハ明治村字小後及ヒ津田ニ發シ朝霧野川ト名ケ、山瀬村ニ來リ山瀬川ト
名ケ安岐川ト合シ、掛樋村ニ來リ津川ト合シ津田木川ヲ經テ下原村字津ニテ海
村北瀬戸田界ヲ東流シ字大連ニ至リ中園馬場二村ノ間ヲ經テ、下原村字津ニテ海
ニ入ル、大通寺川三等河ニ属ス、深貳尺淺五寸広畝間發志間流レ緩ク水濁リ味
淡シ源ヲ村西字上野ニ発シ村南ヲ流シ字一本松ニテ中園下山口ニ村界ヲ東流シ、
西本村字一本松ニ至リ兜木川ニ合ス、長八町、大通橋大分往連ニ属ス、村東六町
拾間五尺深シテ安岐川ノ中流字東ニアリ、水深貳尺広拾七間長拾八間幅老町三
尺被土橋、大通寺橋大分往連ニ属ス、村ノ東南拾町拾貳間城シテ大通寺川ノ下
流字大通寺ニアリ、水深五寸広壹町三尺橋長壹町三尺幅四尺五寸石製

剛北五拾七間圓三町三拾七間村西ニアリ、皆村ノ用本ナス

池沼 上野池東面老町南北三拾間圓貳町拾間村南ニアリ、夫婦木池東西老町三間
剛北五拾七間圓三町三拾七間村西ニアリ、皆村ノ用本ナス

道路 大分往連二等道路ニ属ス、村北瀬戸田村界字大連ヨリ南ハ下山口村界字大通寺ニ
至ル、長七町広老町三尺、中園道三等道路ニ属ス、村ノ中央寄橋本ヨリ村東中園
村界字大連ニ至ル、長五町四間四尺幅老町拾五間村東入口ヨリ五間字大連ニアリ

村会所 用務所村東字大連ニアリ

物産 苳苳席實莢子九拾束大板等二種ス、南麻實莢子貳百八拾七百五百目

民業 男農ヲ業トスル者六拾五戸

○塩原村

本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古來分合ナシ

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

鹽城 東ハ海ニ沿ヒ西ハ岐路ヲ以テ西本村ニ界シ、南ハ耕地ヲ以テ奈
多村ニ隣リ北ハ荒木川ノ境トシテ下原村ニ対ス

幅員 東西九町南北貳拾壹町三拾間面積

沿革 挾間村二出ス

里程 大分県庁ニ至テ大分町車田橋中央ニアリヨリ北方拾三里拾壹町五拾

八間貳尺九寸樓柱本村字横谷七拾四番地相平四町角ヨリ北方六間貳尺寸ノ地

ニアリ、南方奈多村ヘ貳拾壹町四拾九間、西方西本村ヘ貳拾貳町

拾六間貳尺六寸、北方下原村ヘ拾三町拾四町貳尺

地勢 土地平坦ニシテ海ニ沿ヒ運輸便ナレトモ峭壁シ

地味 其色赤黒ニシテ其質美ナラスト雖未穀甘薯ニ宜シ桑茶ニ適セス

水利便ナリ

税地 田五拾三町九反四畝貳拾四歩、畑貳拾四町七反七畝貳拾壹歩、宅地八町八反畝

拾五歩内老反六歩寺院地、林五町四畝拾八歩、藪壹町八反八畝貳拾歩、芝地八

反九畝七歩、物干場壹町八反四畝老歩、總計九拾九町零九畝貳拾六歩

無税地 荒地三畝貳拾六歩、溜池壹畝貳拾壹歩、埋葬地八反老畝拾八歩、總計八反

七畝五歩

官有地 社地三反畝九歩、林四反八畝歩、芝地六畝貳歩、寺院地九畝貳拾貳歩、

畑五畝貳拾歩、溜池四反六畝老歩、總計壹町四反六畝貳拾四歩

賃租 地租金八匁九拾九匁三釐、家禄税金貳匁六拾三釐貳厘、船税金五匁八拾

錢、總計金九百七十四匁八釐五厘

戸数 本籍百三拾貳戸、土著老戸百三拾老戸、社老戸小社、寺貳戸無懸濟宗

老若其宗老若、總計百三拾五戸

人数 男貳百八拾壹口、土著老口百貳百八拾口、女三百貳拾四口、土著老口百貳

百口、給三口、總計六百五口、給出寄留老若人

牛馬 牡牛四頭、牝牛八頭、總計貳拾頭、牡馬六拾六頭

舟 日本形船三拾四艘、五拾石未満船

川 荒木川三等河二屬ス、深三尺底老尺、広拾六間、長五町、流レ緩ク水清ク味鹹ナ

リ、水落二ツ一ハ山口村宇中除免山一ハ岡村坊後池ニ落シ、下山口舊本ノ二村ヲ越

テ本村ノ西面本村界字橋本ヨリ来リ字老本ニテ大通寺川ノ余流ヲ穿レ、下原村界

ヲ東流シ宇新莊ニ至リ安岐川ニ合ス、塩屋橋下原庄ニ屬ス、村北八町、築シテ荒木

川ノ中流ヲ新田ニアリ水灌貳尺広拾六間、橋長拾六間、幅三三尺、橋上橋

東迫池、東西貳拾貳間南北拾九間、池邊町拾六間村東ニアリ、西迫池、東西貳拾四

間南北拾八間、池邊町貳拾間村ノ中央ニアリ、舊村ノ用水トナス

道路 奈多道ニ等路ニ屬ス、村ノ中央字横谷ヨリ村南奈多村界字大水ヶ谷ニ至ル、長

三町五拾五間、下原道ニ等路ニ屬ス、村ノ中央字横谷ヨリ村北下原村界

字新田ニ至ル、長松町三拾四間、西本道ニ等路ニ屬ス、村ノ中央字横谷

ヨリ村西本村界字カシカ石ニ至ル、長松町五拾貳間、池邊町

小島橋、東西貳拾間南北拾四間、池邊町四尺千溝ニ露出スルコト五尺村東邊打ヨリ

壹町ヲ隔ツ、小々島、東西貳拾八間南北拾四間、池邊町四尺千溝ニ露出スルコト

五尺村東邊打ヨリ壹町ヲ隔ツ、中津橋、東西六間南北六間、池邊町七尺千溝ニハ幾実

少シク出フ村打ヨリ六町ヲ隔ツ三橋、安岐浦ヲ隔ル貳拾町

社 天神社、社地東西四拾八間、南北貳拾間、面積貳三畝拾壹歩、村ノ中央字横

谷ニアリ、稲産重テ略ル、明治五年村廿二列ス祭日十月八日

心月寺、佛臨濟宗、東西拾四間南北拾六間、面積九畝貳拾貳歩、山城國高野郡妙心寺

末村西字リヨニアリ、元久年間、備前津島村建テ、寛政中僧月嶋再興ス、真乘院

真乘宗、東西六間南北貳拾四間、面積老反六歩、池田村西字末村ノ中央字白石上ニア

リ、正徳五年備前津島村建ス

学校 公立小学校壹ヶ所、村西字リヨウニアリ、生徒男三拾貳人、女貳拾貳人

物産 荳、土席、買美、紙、干紙、拾三束、大紙二束、苧麻、六百四拾九貫

民業 男、婦ヲ粟トスル者百貳拾九戸

○西本村

本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古來分合ナシ

疆域

東ハ岐路ヲ以テ塩屋村ニ界シ、東南ハ塔ノ尾山上ヲ以テ奈多村ニ界シ、西ハ三手谷川ノ流ヲ境トシテ下山口村ニ隣シ、南ハ鷹島山ノ背筋ヲ以テ横城村ニ界シ、北ハ荒木川ヲ限リ中國村ニ界ス

幅員

東西拾四町拾六間余南北拾町三拾六間余面積

沿革

挾間村ニ出ス

里程

大分県庁元縣大分郡大分町嶺田橋中央ニアリヨリ北方拾貳里貳拾五町四拾貳間三寸標柱本村宇山ノ鼻百四拾五番地其補博定宅前面中央南方拾三間四尺八寸ノ處ニアリ、東方塩屋村へ貳拾貳町拾六間貳尺六寸、西方下山口村へ拾五町四間四尺五寸、南方横城村へ貳拾三町貳拾間四尺五寸、奈多村へ老里五拾五間老尺六寸、北方中國村へ四町三拾四間三尺

地勢

南鷹島山ニ對シ北荒木川ヲ帯ヒ運輸便ナレトモ薪炭ニ乏シ

地味

其色赤其實北部ハ川ニ沿ヒ美ナリ、南部ハ山ニ屬シテ悪シ未穀

税地

甘薯ニ宜シ葉茶ニ適セス土壤水旱相半ス

無税地

田四拾五町九反五畝拾三歩、畑六町六畝拾七歩、宅地四町五反六歩、林拾六町貳反八畝拾四歩、藪貳反壹歩、芝地八反壹畝拾壹歩、總計七拾三町八反貳畝貳歩

官有地

荒地九畝拾四歩、埋葬地七反三畝拾四歩、總計八反五畝貳拾八歩

賈租

社地六畝貳八歩、溜池八反三畝歩、總計八反八畝拾八歩

戸數

本籍八拾貳戸單民、社老戸小、總計八拾三戸

人數

男百八拾貳口單民、女百九拾貳口單民、總計三百七拾四口

牛馬

牡牛七頭牝牛八頭總計拾五頭、牡馬四拾九頭牝馬貳頭、總計五

山

拾老頭

高尾山高五拾五間五町村ノ西南ニアリ嶺上ヨリ東西ニ二分シ南半面ハ横城村ニ屬シ、北半面ハ本村ニ屬ス、樹木杉栗大榎ナシ、麓路一帯村南宇内道ヨリ上ル高八町

川

荒木川三等河ニ屬ス、源老里貳尺八反五間歩三間長貳拾町流レ境ク水清ク味淡シ、水源二ツ一ハ山口村宇中津尾山、一ハ間村馬渡池ニ染シ間村宇中津尾ニ至リ二水合流シ、下山口村ヲ經テ本村ノ西宇橋浦ヨリ来リ村北中國村界ヲ東流シ、宇一本郷ニテ大通寺川ノ余流ヲ穿レ宇大フチニ至リ、東南進村ニ入り間村ヲ新郷ニテ安岐川ニ合ス、樋掛橋下山口道ニ屬ス、村西八町架シテ荒木川ノ上流宇橋掛ニアリ、水深貳尺八反四間長四間廣壹間半、山鼻橋中權進ニ屬ス、村ノ中央架シテ荒木川ノ中流宇山ノ鼻ニアリ、水深壹尺八反四間長四間廣壹間半

池沼

立瀬池東西七間南北三拾九間長貳町老間村ノ東南ニアリ、平原池東西拾九間南北貳拾貳間廣貳町貳拾壹間村ノ東南ニアリ、内迫池東西拾三間南北貳拾壹間廣壹町八間村西ニアリ、木野池東西貳拾六間南北三拾五間長四町五拾間村ノ西北ニアリ、皆村ノ用水トナス

道路

塩屋道三等道路ニ屬ス、村ノ中央宇田中下ヨリ村南塩屋村界宇カン石ニ至ル、長拾町貳拾四間廣壹間、奈多道三等道路ニ屬ス、村ノ中央宇田中下ヨリ村南奈多村界宇伊予野原ニ至ル、長拾六町三拾五間廣壹間、横城道三等道路ニ屬ス、村ノ中央宇田中下ヨリ村南横城村界宇島屋場川ニ至ル、長四町拾間廣壹間、下山口道三等道路ニ屬ス、村ノ中央宇田中下ヨリ村西下山口村界宇樋掛ニ至ル、長八長五拾三間廣壹間、中國道三等道路ニ屬ス、村ニ中央宇田中下ヨリ村北中國界宇山鼻ニ至ル、長貳拾八間廣壹間

社

額社社社、社地東西拾四間余南北拾貳間余面積六畝拾八歩村ノ中央宇三反畑ノ上ニアリ兼壽壽尊ヲ尊ル、祭日十二月一日、八幡社社社、社地東西拾間余南北貳拾間面積貳反九畝四歩、本村ノ社ニテ横城村境内宇大將軍ニアリ仲夏天皇忌神天

島津功胤后ヲ祭ル、祭日十二月一日明治五年村社ニ列ス

物産 荏苳席實勇千疋留八疋東大板二輪ス、蒟蒻六百八拾八貫

民業 農ヲ業トスル者八拾四戸

○下山口村

本村古ヨリ安岐郷ニ屬ス、古時山口村ノ一村タリ元禄中分テ本村ヲ置ク

疆域 東ハ荒木川ヲ境トシテ西本村ニ隣シ、東北ハ代通寺川ヲ以テ中園村ニ界シ、西ハ小徑ヲ界トシテ山口村ニ接ス西南下り山、城ノ越原野ヲ以テ大添村ニ界シ、南ハ堂ノ山ヲ以テ横城村ニ界シ

幅員 北ハ大通寺川ヲ以テ成久村ニ対ス 東西拾三町貳拾間南北拾七町四拾間面積

沿革 被開村ニ出ス

里程 大分県庁迄尋大分郡大分町取田橋中ニニアリヨリ北方拾貳里拾三拾七間壹尺八寸概柱本村字向貳百三拾番地木田東吉居宅前面中央ヨリ南方老蘭三

地勢 南ニ堂ノ山北ニ重尾山ヲ負ヒ中ニ荒木川ノ流アリ、運輪便ニシテ薪炭乏カラス

地味 西本村ニ同シ

税地 田園拾三町九反六畝五歩、畑六町七反八畝五歩、宅地三町三反老畝八歩、林拾八町四反老畝拾五歩、原野五町三反五畝歩、秣場壹町貳畝九歩、芝地壹町四反四畝貳拾七歩、總計八拾町貳反九畝九歩

無税地 荒地三反七畝拾七歩、畑葬地七反三畝貳拾歩、總計壹町老反老畝壹歩

官有地 社地六反四畝拾歩、林四町五反歩、寺院地老反老畝拾四歩、溜池壹町三畝九歩、總計六町貳反九畝三歩

賃租 地租金五百貳拾六圓九拾七錢壹厘、家禄税金及田捨老畝五圓、總計金五百貳拾九圓八錢六厘

戸數 本籍七拾三戸土族壹戸平民七拾貳戸、社貳戸小社、寺淨土宗壹寺、總計七拾六戸

人數 男百七拾九口土族四口平民百七拾五口、女百五拾貳口土族壹口平民百五拾壹口、總計三百三拾壹口他出寄留四人男三人女壹人

牛馬 牝牛三拾三頭牝牛拾貳頭總計四拾五頭、牡馬貳拾四頭

山川 妙見山高八拾壹丈周圍壹里村南ニアリ、崖上ヨリ東西ニ二分シ南半面ハ大添村ニ屬シ北半面ハ本村ニ屬ス、山狀直立ス樹木繁茂シ整然一條村南半面ノ越ヨリ堂ル高五町畝ニシテ近シ

荒木川ニ等河ニ屬ス、深六尺淺壹尺広拾間狭五間長拾町流レ緩ク水清ク味酸シ、水源ニツ一ハ山口村字中津尾山ニ發シ一ハ岡村馬渡池ニ出テ岡村字中津尾ニテニ水合流シ、村南字三郎丸ニ奉リ村ノ中央ヲ東ニ流シ字尾吉ニ至リ西本村ニ入り岡村字

一本松ニテ大通寺川ヲ合シ、塩屋村字新蓮ニ至リ安岐川ニ合ス、大通寺川惣等深貳尺淺五寸広貳間松尾間長拾町流レ緩ク水清リ味淡シ、源ヲ成久村字上野ニ發シ

北方成久中園村界ヲ東流シ字キノハタリニテ西本村ニ入り岡村字一本松ニテ荒木川ヲ合ス、大通寺橋大分往還ニ屬ス、村東五町四拾壹間架シテ大造寺川ノ下流

字大通寺ニアリ、水深五寸成卷南三尺橋長壹間三尺幅西尺五寸石製、柳津橋大分往還ニ屬ス、村ノ中央ニ架シテ荒木川ノ中流ヲ御津ニアリ、水深貳尺広五間橋長五

間經貳間被上橋

池沼 深迫池東西三拾九間南北貳拾六間園田町貳町五間村北ニアリ、野原池東西貳拾四間南北拾六間園田町貳町五間村ノ西南ニアリ、走水池東西貳拾三間南北拾五間園田

老町八園村西ニアリ、堤奥池東西貳拾壹間南北三拾貳間西園老町三拾間村東ニアリ、新村ノ用水トナス

学校 公立小学校老ケ所村ノ南半宇大間ニアリ生徒男八拾六人女五拾五人

古跡 庄田戰場土人相伝フ慶長五年熊谷直胤ノ區城谷佐助軍田兵ト此地ニ戦フ今ハ稻トナリ遊葉生ス

物産 莊主席賣美千貳百五拾七東大坂ニ輸ス

民業 男扇ノ業トスル者七拾七人

○山口村

本村古ヨリ安岐郷ニ屬ス、古時下山口村ト一村タリ元禄ノ頃分テ二村トナル

疆域 東ハ小徑ヲ以テ下山口村ニ界シ、西ハ道路ヲ境トシ山浦村ニ接ス、南ハ鷹城山及高雲山ノ嶺ヲ限リ大内大添ノ二村ニ接ス、北ハ茶畑山ノ峯ヲ以テ成久掛樋ノ阿村ニ界ス

幅員 東西壹里七町貳拾六間余南北拾七町五拾間面積

沿革 挾間村ニ出ス

里程 大分県庁元禄大分郡大町郡田樂中央ニアリヨリ北方拾貳里五町拾八間

三尺粟柱本村ヲヘキ三百五拾壹地高橋勝早尾宅電報局中央ヨリ南方拾八間ノ処ニアリ、東方下山口村ヘ拾七町貳拾三間、西方山浦ヘ壹里三町拾間貳尺、南方大添村ヘ貳拾町五拾五間壹尺、大内村ヘ老里貳拾九町五拾七間、北方掛樋村ヘ三拾貳町五尺

地勢 南ハ鷹城山及高雲山ニ對シ北ハ茶畑ヲ負ヒ運轉便ニシテ薪炭鮮トセス

地味 其色赤黒ニシテ其實美ナラス稲粟ニ宜ク葉茶ニ適セス早ニ苦ム

稅地 田六拾七町七反四畝拾八步、畑拾四町八反四畝貳拾七步、宅地五町九反三畝步

内寺院地五畝拾六步、林四拾九町五畝貳拾壹步、原野六拾三町七反三畝貳拾七步、秣場拾壹町老反拾步、藪五畝貳拾六步、芝地三町七反三畝九步、總計貳百拾六町貳反壹畝拾三歩

無稅地 溜池四畝貳拾步、埋葬地六反六畝六步、總計七反八歩

官有地 社地貳反七畝拾八歩、林八町九反九畝拾四歩、田三畝九歩、溜池三町八反七畝貳拾步、總計壹三町老反八畝壹步

實租 地租金九百貳拾四圓九拾壹錢七厘、家祿稅金壹圓八拾五錢六厘、總計金九百貳拾六圓七拾七錢三厘

戸數 本籍百四拾四戸土族三戸平民百四拾壹戸、社三戸小社、寺老戸其當宗老、總計百四拾四戸

人數 男三百貳拾六口土族六口平民三百貳拾口、女三百拾五口土族八口平民三百七口、總計六百四拾壹口

牛馬 牡牛六拾四頭牝牛四拾六頭總計百拾頭、牡馬貳拾六頭牝馬九頭、總計三百五頭

山 黒岩嶺高七拾六丈麓田原ヲカナラス、嶺上ヨリ三分シ東ハ本村ニ屬シ、西南ハ岩屋村ニ屬シ、北ハ山浦村ニ屬ス、山脈西ハ波多方郷ニ連ル東西兩樹木ノ唯芝草アリ、北南ハ樹木盡クタリ高城山高八拾五丈周圍貳里山腹ヨリ貳分シ、南ハ大添村ニ屬シ東南北ハ本村ニ屬ス、山脈南ハ黒岩嶺ニ連ル陸々雜樹アリ、並路一條村西宇今ヶ倉ヨリ發ル高拾八町ニシテ隔斷シ

荒木川ニ等兩三屬ス、深六尺淺壹尺広拾間狹上間是老里拾八町流レ緩ク水防ク殊

淡シ、水面ニツ一ハ木村中津尾山一ハ馬渡池ニ總シ字中津尾ニ乘リ合流シ村ノ中央ヲ東流シ字三郎丸ニ至リ下山口村ニ入り廻本村ニ入り廻村字一本松ニテ大邊寺川ノ

余流ヲ入レ、塩屋村字新藤ニ至リ安流ヲ合ス、乙ヶ淵橋大添置ニ屬ス、村ノ中央類シテ荒木川ノ上流宇乙ヶ淵ニアリ、水澤老尺広四間橋長四間橋老尺石數

馬渡池東西拾四間南北五拾八間四町五町貳拾九間村西ニアリ、下流荒木川トナル、

波柿池東西四拾貳間南北拾七間西側町四拾五間村東ニアリ、下流寛木川ニ入ル、

茶畑池東西三拾五間西側町五拾八間村東ニアリ、舊村ノ用水トナヌ、萬巻池

東西町貳拾八間南北四拾三間西側町村ノ東北ニアリ、成久村ノ用水トナヌ

道路

下山口道三等道路ニ屬ス、村ノ中央ヲヘキヨリ下山口村界宇大坪ニ至ル、長拾

三町四拾九間經老間、大添道三等道路ニ屬ス、村ノ中央ヲヘキヨリ大添村界宇

岩鼻ニ至ル、長拾四町四拾三間經老間、掛繩道三等道路ニ屬ス、村ノ中央ヲヘキ

ヨリ掛繩村界宇夫婦木ニ至ル、長拾四町貳拾四間、山浦道三等道路ニ屬ス、

村ノ中央ヲヘキヨリ山浦界宇角目ニ至ル、長拾四町貳拾五間經老間、大内道

三等道路ニ屬ス、村ノ中央ヲヘキヨリ村南大内村界宇高堂ニ至ル、長拾五町五

間經瓜尻

社

山神社社、東西貳拾伍間南北貳拾壹間經老間經老間經老間經老間、村ノ中央字權村ニアリ

大山極神、高懸ワ森祭日十二月十六日、天満社社、社地東西拾六間南北拾

三間西側八畝九步村東字新進ニアリ、普公祭日祭日十二月十六日、以上二社明治五

年村社ニ列ス

寺

敬學院真言宗、東西拾八間南北貳拾間面積五畝拾六步、山城國宇治郡三寶院末村

ノ中央字寺アリ正長元年僧良雲開基創建ス

物産

苳苳坐席質美千八百三拾九東大坂ニ輸ス、苳麻質美九百四拾六貫

民業

男農ヲ業トスル者百三拾五戸

○大添村

本村古ヨリ安岐郷ニ屬シ古來分合ナシ

疆域

東ハ小徑ヲ以テ下山口村ニ接シ、東南ハ大藏山ノ嶺ヲ以テ横城

村ニ界シ、西南ハ尾迫原野ヲ以テ大内村ニ界ス、南ハ大藏山ノ

嶺ヲ以テ守江村ニ界シ、北ハ廣城山ノ嶺ヲ限リ山口村ニ接ス

幅員

東西貳拾九町拾三間余南北貳拾町三拾三間余面積

沿革

抜開村ニ出ス

里程 大分県庁元種大分縣大分町經田橋中央ニアリヨリ北方拾七里貳拾三町拾

五間貳尺經往本村字寶藏西百三拾壹步地至廣門前中央ヨリ南方拾五間三尺三寸ノ

地ニアリ、東方横城村ヘ貳拾九町五拾四間三尺守江村ヘ壹里八町

三拾貳間三尺、南方大内村ヘ壹里拾七町七間壹尺貳寸、北方下

山口村ヘ貳拾五町五拾貳間四尺貳寸山口村ヘ貳拾町五拾五間壹

尺

地勢 南大藏山ニ對シ北廣城山及妙見山ヲ負ヒ運輸便ニシテ薪炭用ニ

地味 鹽ル

地味 山口村ニ同シ

稅地 田四拾五町貳反六畝七步、畑九町三反九畝五步、宅地三町貳畝七步、林貳拾

九町貳反六畝七步、原野九拾九町九反壹畝貳拾八步、林場拾六町五反五步、藪

壹反九畝七步、芝地貳町五畝五步、總計貳百五町八反六畝貳拾四步

無稅地 荒地貳反五畝貳拾八步、溜池七畝拾三歩、埋葬地八反壹畝拾九步、總計壹

町壹反五畝步

官有地 社地三反九畝三歩、林三拾町六反七畝貳拾八歩、芝地三畝七歩、溜池拾貳町

六反拾九歩、總計四拾三町七反貳拾七歩

賃租 地租全百拾壹六拾錢壹厘、家祿稅金六円八錢五厘、總計金六百拾六円七拾四

錢六厘

戶數 本籍七拾七戸土著四戸平民七拾三戸、社老戸小社、總計七拾八戸

人數 男百七拾四口土著八口平民百六拾六口、女百七拾八口土著六口平民

百七拾貳口、總計三百五拾貳口(總出奔留男五人)

牛馬 牡牛五拾六頭牝牛三頭總計五拾九頭、牡馬貳拾三頭

山 妙見山高八拾壹丈西側町村北ニアリ嶺上ヨリ二分シ、北ハ下山口村ニ屬シ孤立

ス樹木鬱鬱路一條村東字原ヨリ登ル高五町畝、高城山高八拾五丈西側町村東

川

度ヨリ二分シ、東西北ハ山口村ニ属シ南ハ本村ニ属ス山脈南ハ黒岩嶺ニ連ル、驛路
一條村西字今ヶ倉ヨリ壱ル高拾八畝ニシテ流シ
守江川三等河ニ属ス、壱三尺徑五寸広、其間至五尺流レ種々水清ク味淡シ水櫃二ツ、
一ハ本村ノ東尾池ニハ流シ北流シ字野田ニ至リ西流シ、一ハ村ノ西北小池池ニ出
テ南流シ字長迫ニ至リ二水合流村ノ中央ヲ西走シ守江村ニ至リ松川ノ池ニ入り更ニ
流出シ南ニ流シ海ニ入ル、尾池池ヨリ合流マテ長六町合流ヨリ松川池ニ至ル長四町、
長迫橋大分往還ニ属ス、村西七町架シテ守江村ノ土流字長迫ニアリ、水櫃貳尺広
老間橋長老間三尺幅四尺石製

道路

尾池池東西町五拾間南北町五拾間西町三町三拾五間村東ニアリ横城奈多
下山口守江ノ四村ニ及ヒ、本村ノ用水トナス下流守江川ニ入ル、尾池池東西五拾
町間南北老町八間西町三町五拾五間村西ニアリ本村ノ用水トナス、松川池東西五
拾間南北四拾間西町五町村南ニアリ、守江村ノ用水トス下流守江川ニ入ル
大分往還二等道路ニ属ス、東ハ下山口村界字城ノ越ヨリ西ハ守江村界字岩川ニ至
ル長老里老町幅四間三尺、横城道三等道路ニ属ス、村ノ中央字御部ヨリ横城村界
中大敷ニ至ル長七町五拾尺間幅四間、山口道三等道路ニ属ス、村ノ中央字御部ヨ
リ山口村界字岩川ニ至ル、長六町四拾間幅老間、守江道三等道路ニ属ス、村ノ
中央字御部ヨリ守江村界字夕夕島ニ至ル、長七町七拾八間幅老間

物産

庄主席實美千五百八拾畝東大敷二輪ス、苜麻四百三十拾畝
男農ヲ業トスル者ハ拾七戸

○横城村

本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古来分合ナシ
區域 東ハ田畔ヲ界トシテ奈多村ニ接シ、西ハ大藏山ノ嶺ヲ限リ大添

村ニ隣ス、西北ハ堂ノ山流跡ヲ以テ下山口村ニ接シ、西南ハ平
河原原野ヲ以テ守江村ニ界シ、南ハ用水溜池ヲ以テ奈多村ニ界
シ北ハ西本村ト耕地ヲ接シ田畔ヲ境トス

沿革

東西貳拾七町五拾三間余南北拾四町三拾間面積
披開村ニ出ス

里程

大分県庁元澤公郡大分町坂田中中央ニアリヨリ北方拾貳里拾貳町貳拾
九間老尺六寸標柱本村字松木五百拾三番地字嶋次郎伯門前中央ヨリ北方拾三間
五尺ノ処ニアリ、東方奈多村ハ拾六町四拾老間四尺五寸、西方大添
村ハ貳拾九町五拾四間三尺下山口村ハ貳拾町貳拾七間五尺、北
方西本村ハ貳拾三町貳拾間四尺五寸

地勢

南見立野山ニ對シ西ニ大藏山ヲ負ヒ運輸便ニテ薪炭餅トセス

地味

其色白其實懸稻梁甘藷ニ宜ク兼茶ニ適セス水利便ナラス

税地

田三拾町八反五畝拾五步、畑五町六反九畝三歩、宅地貳町壹反三畝貳拾七步内
寺院地壹反三畝拾步、林貳拾六町壹畝拾步、原野三拾六町六反三畝貳拾八歩、
秣場五町四反四畝拾五步七畝五歩、芝地四反壹畝貳拾九歩、總計百七拾町
貳反七畝八歩

無税地

荒地老町七反六畝貳歩、埋葬地貳反八畝拾八歩、總計貳町四畝貳拾歩

官有地

社地四反七畝貳拾三歩、林貳町壹反七畝六歩、溜池五反三畝九歩、總計三町
壹反八畝八歩

貢租

地租金三百三拾貳円六錢九厘

戸數

本籍四拾五戸土著老戸千五百四拾四戸、社貳戸小姓、寺老戸六百零壹戸、
總計四拾八戸

人數

男九拾七口土族四口平民九拾三口、女九拾三口土族壹口平民九拾五口、總
計百九拾口他出寄留男一人

牛馬

牡牛三拾貳頭、牡馬七頭牝馬貳頭、總計九頭

山

高尾山 高五拾丈 岡田五町村ノ東北ニアリ 嶺上ヨリ東西二分シ 北反面ハ西本村ニ
異シ、南反面ハ本村ニ属ス 孤立樹木密生

川

長谷川 三等河ニ属ス、深武尺深五寸 広二間 狹者 岡長七町 流レ急ニ 水溜ク 枯渇シ、
源ノ村 西子 尾島 弘口 二 壑 シ 村南ヲ 東流シ 宇山ノ 神ニ 至リ 南流シ 宇長谷川ニ テ 奈多村
ニ 入リ 宇濱田ニ テ 海ニ 注ク

池

新田池 東 廣武 拾壹 間 南北 拾 九 間 岡田 壱 町 拾 五 間 村ノ 東北 ニ アリ、溝 淵 池 東 由 三
拾 間 南北 貳 拾 八 間 岡田 貳 町 三 拾 壹 間 村ノ 東北 ニ アリ、谷 迫 池 東 廣武 拾 四 間 南北 三
拾 五 間 岡田 貳 町 拾 四 拾 五 間 村 東 ニ アリ、皆 本村ノ 用 水 ト ナス

道

西本道 三等道路ニ属ス、村ノ中央ヲ松本ヨリ東西本村界ヲ隔越ス 二五ノ、長拾九
町 堀 田 間、奈多道 三等道路ニ属ス、村ノ中央ヲ松本ヨリ南奈多村界ヲ隔越ス 二五ノ、
長貳町五拾七間 堀 田 間、大添道 三等道路ニ属ス、村ノ中央ヲ松本ヨリ西大添村界
宇大嶽ニ至ル、長拾貳町貳間 堀 田 間、下山口 道 三等道路ニ属ス、村ノ中央ヲ松本ヨ
リ北下山口村界ヲ至ル 後ニ至ル、長九町 堀 田 間 堀 田 間

寺

東光寺 天台宗、東西拾間 余南北貳拾間 積武尺貳貳拾七步、近江國 滋賀郡 延曆
寺末村北子塚ノ前ニアリ、養老年間 佛了秀 開基 創建ス、寛文四年 佛了俊 中興ス

物産

苧 苧 磨 實 年 產 百 三 拾 七 大 輪 二 輪 ス、蒟 蒻 實 年 產 百 六 拾 五 百 日

民業

男 農 戸 粟 ト ス ル 者 三 拾 八 戸

○奈多村

本村古ヨリ安岐郷ニ属シ古來分合ナシ

疆域

東ハ海ニ瀕シ東北ハ耕地ヲ以テ塩屋村ニ接ス、西ハ見立野山ノ
嶺ヲ以テ守江村ニ界シ西北ハ耕地原野ヲ以テ横城村ニ接ス、南
ハ道路ヲ境トシテ同村ニ接ス、北ハ塔ノ尾山背筋ヲ限リ西本村

幅員

東西拾貳町三拾八間 余南北貳拾四町貳拾三間 余面積
二界ス

沿革

換間村ニ出ス
大分県庁元福大分縣大分町 朝田 堀 田 中央ニアリヨリ北方拾貳里三拾三町四
拾七間 五尺五寸 標 桂 本村子 寺ノ前 五百九拾間 平地 矢野三四 堀 田 堀 田 中央ヨリ

里程

東方貳拾六間 四尺五寸ノ短ニアリ、西方横城村へ拾六町四拾壹間 四尺五
寸 守江村へ壹里九町五拾七間、北方西本村へ壹里五拾五間 壹里
六寸 塩屋村へ貳拾壹町四拾九間

地勢

西ニ見立山ヲ負ヒ東海ニ浴ヒ運輸便ナレトモ 耐 炭 之 シ
横城村ニ同シ

地味

田八拾町壹反 貳畝 田歩、畑三拾六町四反 拾步、宅地六町壹反 貳畝 拾六歩 内社
地壹畝 八歩、林三拾町貳畝 拾五歩、原野貳拾四町貳拾五歩、狹場三町九
反 九畝 九歩、藪壹町貳反 壹畝 五歩、芝地九反 九畝 五歩、物干場六町六反 七畝 拾
歩、總計百九拾六町五反 四畝 拾四歩

稅地

荒地七反七畝 三歩、埋藏地八反五畝 拾歩、總計壹町六反 貳畝 三歩
社地壹町六反 四畝 七歩、林拾貳町五反 七畝 拾六歩、寺院地三反 壹畝 拾六歩、
溜池四町三反 五歩、總計拾八町八反 三畝 拾四歩

官有地

無稅地
官有地

貢租

地租金九百五拾五円六拾壹錢九厘、船稅金八円五拾六錢、總計金九百六拾四
円拾七錢 九厘

戸數

本籍百三拾五戸 土庫二戸 平民百三拾貳戸、社宅戸無 社宅座、寺宅戸無 堀
田 寺宅宇、總計百三拾七戸

人數

男三百三拾貳口 土庫七口 平民三百貳拾五口、女三百拾七口 土庫七口 平民三
百拾口、總計六百四拾九口

牛馬

牛 五拾八頭 牝牛拾四頭 總計七拾貳頭、牡馬三拾八頭 牝馬貳頭、
總計四拾頭

舟

日本形 船三拾四艘 五拾石以上 荷船壹艘、五拾石未満 小船三拾三艘
見立山 高貳百六拾丈 村西ニアリ 嶺上ヨリ二分シ、東ハ本村ニ属シ、西ハ守江村ニ

ノ原池東西町九の南北三拾間四三町三拾六間村西ニアリ、一本松池東西五拾八間余南北拾五間同國武町貳拾七間村西アリ、平川原池東西五拾四間南北壹町五拾六間同國五町四拾間村ノ東北ニアリ横城村種崎ノ余洗ヲ管ル御本村ノ用水トナス、行安池東西老町三拾三間南北老町四拾四間同六町貳拾八間村ノ東南ニアリ得下ノ池二間水田管スルノミ十八家多社ノ御池ト稱ス

道路

大分性道ニ等道路二區ス、西北大森村界字井川ヨリ東ハ大内村界字梅ヶ坂ニ至ル長四町拾間老間、横城道ニ等道路三區ス、村ノ東北字野邊ヨリ北ハ横城村界字平川原ニ至ル長貳拾町貳尺、奈多道ニ等道路二區ス、村東奈多村界字飯田ヨリ西南大内村界字崎ニ至ル長貳里也町拾六間四尺貳寸幅間三尺八或ハ五尺、守江港ニ等港三區ス、東西九拾町南北尺貳拾四町追瀬ノ時深取丈ヨリ九尺ニ至ル、西南ニ向フ出洲アリ港浦ヲ稱ス、村ノ東南ニアリ北風ニ置カラス、此池々名アレトモ其東港ニ非ス、風浪ヲ避ケ或ハ便風ヲ使シ性々投錨スルノミ

出崎

住吉崎白沙一帯御松城シ村ノ西南ニ出スル、凡尺町住吉北鎮屋スルヲ以テ上條並名トス、御野崎崎石燈籠村ノ東南ニ出スルコト凡五町

社

山神社村社、社地東西七間三尺南北貳拾七間面積七畝八歩、村東字神ニアリ大山大神・大森神・御神神、若殿神ヲ祭ル祭日六月廿八日、住吉社村社、社地東西三拾間南北壹町拾三間面積八反四畝貳拾壹步、村東字神邊ニアリ住吉神也神功坐所ヲ祭ル元禄元年正月創立祭日十月十三日、八幡社村社、東西四拾七間南北貳拾八間面積貳反六畝八歩、村ノ中央字天村ニアリ応神天皇ヲ祭ル慶長中勧誘祭日六月十五日、八幡社村社、社地東西拾五間南北貳拾壹間面積壹反八畝廿八歩村ノ西南字王子ニアリ、応神天皇ヲ祭ル祭日六月十五日、以上四社明治五年村社ニ列ス
公立小学校貳ヶ所一ハ村ノ東南字守江ニアリ生徒男貳拾六人女拾一人、一ハ村東字前ニアリ生徒男拾二人女七人

古跡

御野崎古戰場明治三年五月安藝縣主田原親宗官兵兵士余人ヲ率ヒ遠國ニ去ルノ原城跡内ヲ築ヒ散ラテ遺ル、木村城主木村長久兵ヲ御野崎ニ伏シ親宗ヲ要撃之レヲ

新ル其塚今猶存ス
煎燗實中千三百七拾五斤、煎海風實中五百斤、荳干生磨實中三千八拾東大板ニ

輸送ス
男傭ヲ集トスル者三百五拾九戸、女傭ヲ集トスル者七戸、魚傭ヲ集トスル者四拾三戸

民業

○大内村

本村古ヨリ安岐郷ニ屬ス、古時藤野川・大内山・草場・權原・皆尾ノ五村タリ明治八年三月併セテ本村ノ稱ニ稱ス
東ハ小徑ヲ以テ守江村ニ界シ、西ハ耕地山林ヲ以テ鴨川村及速見郡鴨川村ニ界シ、南ハ海及鷹山川ヲ境トシ同郡杵築村ニ對シ西南ハ鷹山川ヲ以テ同郡宮司村ニ隣ス、北ハ高良平ノ原野ヲ以テ本郡山口村ニ尾迫ノ原野ヲ以テ大添村ニ界ス

區域

幅員

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

沿革

反八畝八歩、製塩場八反三畝拾五歩、山林七拾町三七七畝貳拾四歩、原野四拾貳町貳反壹畝貳拾八歩、秣場三町九反六畝歩、總計三百三拾壹町貳反貳畝拾七歩

無稅地

荒地四町貳反七畝壹歩、潮溜九反五畝貳拾八歩、溜池壹畝貳拾貳歩、埋葬地貳町貳反六畝拾壹歩、總計七町貳反壹畝拾貳歩

官有地

社地壹反九畝四歩、溜池三町五反八畝壹歩、總計三町七反七畝五歩

新開地

塩浜良有田三畝ス、東西六町拾五間南北三町四間村南ニアリ、嘉米六半伴薪薪々費ヲ以テ新開シ堤岸四方ヲ圍ミ、反別貳拾八町五反六畝拾五歩内貳拾町壹反八畝八歩ヲ畠田トシ、倉庫毎年凡四千石余ヲ興シ之ヲ輸出ス、人民大ニ其利ヲ享ク

公租

地租壹千七百拾八円四錢八厘、家禄税金貳拾壹拾四錢八厘、酒類税金五拾九円四錢三厘、銃獵税金三円、船税金三円、牛馬売買税金貳円、總計金八百六円五拾九錢九厘

戸數

本籍三百四戸土族拾六戸平民貳百八拾八戸、寺惣戸真言宗壹戸、總計三百五戸

人數

男七百貳拾三口上族四拾口平民六百八拾三口、女七百三拾九口上族三拾六口平民七百三口、總計千四百六拾貳口外男婦寄寓男貳人

牛馬

牡牛百五拾五頭牝牛五拾五頭總計貳百拾頭、牡馬八拾八頭牝馬拾三頭、總計百壹頭

舟

日本形船拾三艘貳百石兼備五拾石以上者五拾石未満者兩艘船隻數

川

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本リ給部川ヲ香ミ讓井川トナリ東流、鴨川村字山越ニ至リ鴨川ヲ越シ鷹山川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

池沼

尺五寸広五間長卷町拾八間壹尺貳寸広壹間石製尾伏池東西老町西拾四間南北四拾六間西四町五拾壹間村ノ東北ニアリ、長谷池東西老町南北三拾四間東西三町八間村ノ東北ニアリ、長迫池東西老町拾五間南北三拾六間東西三町四拾貳間村ノ東北ニアリ、平原池東西老町三拾四間南北貳拾四間東西三町五拾六間村ノ東北ニアリ、古畑池東西拾五間南北九間東西四拾八間余村ノ東北ニアリ、大人跡池東西拾七間南北拾八間東西老町拾間村ノ東北ニアリ、琵琶田池東西老町貳間南北三拾三間東西三町貳拾壹間村東ニアリ、神田池東西貳拾八間南北拾七間東西三町拾五間村東ニアリ、黒ノ田池東西三拾五間南北拾七間東西四町貳拾貳間村北ニアリ、南黒ノ田池東西三拾九間南北五拾五間東西三町七間村北ニアリ、黒岩岩池東西三拾五間南北四拾四間東西貳町三拾八間村ノ西北ニアリ、芝ノ中池東西拾五間南北拾七間東西老町四間村ノ西北ニアリ、黒山石谷池東西貳拾六間南北老町拾七間東西三町貳拾六間村ノ北方ニアリ、戸功石尻池東西貳拾五間南北老町貳拾三間東西三町三拾七間、村南ニアリ、戸功石池東西老町拾壹間南北三拾二間東西三町貳拾八間村ノ西北ニアリ、密本村ノ用水トス

堤塘

塩浜堤村南末代橋ヨリ東北ニ向リ風船ヲ圍面ス、長拾九町三拾六間九尺狹五尺

寺

光明寺淨土宗、東西拾七間南北拾四間面積九坪九歩見部南伴村長田寺末村ノ西南半派ニアリ古へ小堂アリ元禄九年十二月僧信心再興ス、天龍院真言宗、東西六間余南北貳拾四間面積四畝貳拾三歩見部南伴村養生院末村北字藤原ニアリ

道路

大分往還ニ等馬場路ス、村ノ東北守江村界字梅分級ヨリ、南へ進見部伴村界字北街ニ至ル長卷里拾壹町老間場老間三尺段數壹町、兩子往還ニ等道路ニ屬ス、村西邊見部鴨川村界字五田ヨリ北ハ山口村界字馬場ニ至ル長尺拾貳町四拾九間東西三間三尺馬場老間三尺松樹ノ並木アリ路薄ク味、掘示場木村南口ヨリ老町字立岩ニアリ

水路

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

水利

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

交通

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

物産

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

風俗

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

名勝

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

名蹟

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

名蹟

鷹山川ニ等河二屬ス、徑五尺淺窄尺五寸広宅町拾九間架園長拾九町拾四三尺淺レ様タ水清ク味淡シ、村西宇鹿山ニ至ルマテ湖沙追退ス、溝溜ニハ字季石石ニ至ルマテ湖舟ヲ通ス可シ、湖ヲ進見部大片字村字南池川村字山越ニ至リ鴨川トナリ本村ノ界界ヨリ來リ村ノ南界ト官司科番二村ノ間ヲ面シ東流梅二入ル、永代橋大分往還ニ戻ス架シテ村南老町鷹山川ト流字坂場ニアリ湖ノ湖二八五尺深積二八寸

學校 公立小学校貳ヶ所一ハ村兩字並ニアリ生徒男大拾老人女貳拾六人、一ハ村
北字並ニアリ生徒男三拾三人女六人

物産 食塩實中四千石、荳正席實中三千百食塩ハ長四日向等ニ輸出ス、荳正席ハ
大阪ニ輸出ス

民業 男農ヲ兼トスル者三百拾貳戸

○鴨川村

本村安岐郷ニ屬ス、古時連見郡鴨川村ト一村タリ明治五年割テ
本部ニ屬ス

疆域 東ハ耕地山林ヲ以テ大内村ニ界シ、西南ハ鴨川ヲ境トシ連見郡
鴨川村ニ接シ、北ハ高平山嶽ヲ以テ岩屋村ニ界ス

幅員 東西三拾町南北拾貳町拾間面積

沿革 挾間村ニ出ス

里程 大分県庁元樺大分郡大町嶺田橋中央ニアリヨリ北方拾壹里四町五拾五
間標柱村宇原三拾壹里地小津治平居宅前福南方六間ノ地ニアリ、南方鴨川村

地勢 東北ニ黒岩嶽ヲ負ヒ西南ニ鴨川ノ流ヲ帯ヒ運輸便ナラス崩炭乏
シ

地味 土地粘硬其色赤ク其實惡ク禾穀粟蔬適セス少ク荳芋種ス

稅地 田拾壹町七反歩、畑壹町九反三畝拾五歩、宅地九反八畝九歩、山林拾町三反
八畝貳拾壹歩、藪田反九畝貳拾七歩、芝地四反五畝拾五歩、總計陸拾六町九
反五畝貳拾七歩

無稅地 溜池九畝拾貳歩、埋葬地貳反三畝貳拾七歩、總計三反三畝九歩

官有地 社地七畝、山林貳反八畝八歩、總計三反五畝八歩

實租 地租金八拾八圓六拾貳錢七厘

戸數 本籍貳拾三戸平民、社老戸小社、總計貳拾四戸
人 男四拾六口平民、女五拾貳口平民、總計九拾八口

牛馬 牝牛九頭牝牛七頭總計拾六頭、牡馬三頭

川 鴨川三等河二屬ス、深貳尺淺壹尺九圍長三間長拾五町流レ續ク水清ク味淡シ、
源ヲ連見郡川平村字尾池ニ發シ、曲折シテ則村ト岩屋村ノ間ヲ經テ村北ヨリ流リ
西界ヲ限リ南流シ、村南半道月ニ至リ連見郡鴨川村ニ入り南流シテ浦井川ニ合シ源
山川トナル、大鴨橋村西町標シテ鴨川ノ上流宇原ニアリ長拾間幅九尺、水深
老尺幅九尺連見郡鴨川村ニ通ス被上橋

道路 俣水道三等道路ニ屬ス、村東大内界字岩尾ヨリ西出標柱村界字高平ニ至ル、長拾五
町六間標柱向、鴨川道村ノ中央宇原ヨリ西南連見郡鴨川村界字大嶽ニ至ル、長壹
町三尺

社 八幡社社址、社地西宮岡合南北貳拾間面積七畝歩村南宇原月ニアリ応神天能ヲ
奉ル、明治六年村社ニ列ス祭日十二月廿四日

物産 荳正席實中百四拾束、榎實實中百五拾四斤大阪長岡等へ輸出ス

民業 男農ヲ兼トスル者貳拾三戸

○岩屋村
本村安岐郷ニ屬ス、古時連見郡川平村ト一村タリ明治五年割テ
岩屋村トシ本部ニ屬ス

疆域 東ハ高平山ヲ以テ山口村ニ界シ、西ハ岩屋川ヲ界トシ連見郡川
平村ニ隣シ、南ハ高平山麓ヲ以テ鴨川村ニ界シ、北ハ岩屋山嶽
ヲ以テ山口矢川俣水山ノ浦四村ニ接ス

幅員 東西拾三町貳拾間南北拾五町貳拾間面積

沿革 挾間村ニ出ス

里程 大分県庁元樺大分郡大町嶺田橋中央ニアリヨリ北方拾貳里拾町連柱本村

宇岩谷四百七拾八畝地、一宮ニ葦持田野方老開ノ地ニアリ、東方山浦村へ老里五町四拾九間三尺、西方川平村へ貳町、南方俣水村へ老里貳町拾四間貳尺矢川村へ貳拾七町貳拾四間

地勢 東南ハ高平山ヲ負ヒ、北ハ岩屋山ニ依リ、西ハ岩屋川ヲ帯ヒ山

地味 其色白ク其實態ク多ハ深渾冷水稲支熟セス収利甚タ薄シ

税地 田拾五町七畝拾貳歩、畑八町三反五畝歩、宅地老町四反八畝貳拾七歩、山林拾四町五反四畝六歩、藪三町老反九畝貳拾四歩、秣場三拾貳町九反六畝歩、芝地老町五反三畝貳拾四歩、總計七拾七町老反五畝三歩

無税地 埋葬地貳反拾貳歩

官有地 社老反九畝貳拾六歩、溜池老町四反三畝歩、山林三町貳反歩、總計四町八反貳畝貳拾六歩

賈租 地租金百八拾貳円四拾四錢

戸數 本籍三拾五戸平民、社老戸小社、總計三拾六戸

人數 男八拾九口平民、女七拾五口平民、總計百六拾六口他出番男老口

牛馬 牡牛三頭牝牛三拾頭總計三拾三頭

山 岩谷山高七拾六丈周圍詳カナラス嶺上ヨリ三分シ、東ハ山口村ニ懸シ北ハ山浦村ニ懸ス、山林四ハ彼多方嶺ニ連ル樹木生セス唯老ヤアリ北面樹木尙懸岩老、村西宇岩谷ヨリ登ル高松町吹峠此山ニ一風岩嶺ト云

川 岩谷川三等河ニ屬ス、濶貳尺深老尺広三間發成間長三拾町老レ緩ク水清ク味淡シ、源ヲ連見郡川平村宇岩池ニ發シ、本村ノ西北ヨリ來リ村南川平村界ノ間ヲ經テ村南ニ垂リ連見郡鴨川ニ入ル

池沼 高平下池東西三拾五間南北老町八間周圍四町村ノ東南ニアリ、鴨川村兼ニ連見郡鴨川村ノ用水トナス、高平上池東西三拾間南北五拾間周圍老町貳拾間村南ニアリ、岩屋池東西三拾間南北五拾間周圍老町村北ニアリ、皆村ノ用水トナス

道路 兩子往還三等道路ニ屬ス、村東山口村界ヨリ北ハ山浦村界字樓上ニ至ル、長拾老町堀老間三尺尺堀ノ並木アリ、俣水道三等道路ニ屬ス、村東鴨川村界字樓ヨリ北ハ俣水村界字樓水ニ至リ、長老里八町広老間三尺字樓ニ越ヨリ北ニ折レ矢川道一ノ小路アリ

社 東山八幡社村社、社地東西貳拾貳間南北貳拾七間余面積老反九畝貳拾七歩、村ノ中央宇岩谷ニアリ昔山別尊、天照大神、大山祇神ヲ祭ル明治五年村社ニ列ス祭日十二月廿三日

物産 苳苳席實豊百八東大板ニ輸ス

民業 男農ヲ業トスル者三拾五戸

III 寺社関係資料

一 東国東郡寺院明細帳（明治二十三年）

○大分県公文書館蔵

安岐町の地域信仰に関する資料として、ここには明治期の行政資料である寺院明細帳と神社明細帳を翻刻収載した。なお、収載対象地は安岐町とともに「国東郡村誌」（本書Ⅱ）で古くは安岐郡域とされた地域もこれに含めた。

明治期の大分県における寺院・神社明細帳の編纂は、明治四年（神社のみ）、五年（寺院のみ）、一五年、二三年、四四年に実施されている。東国東郡については、現在明治二三年以降のものが大分県公文書館に所蔵されており、今回は明治二三年編纂の明細帳を翻刻した。ここからは、神社における合祀の様子をはじめ、明治時代の神社の状況や当時認識されていた神社の由緒も知ることができる。

このうち、神社明細帳については注目すべき点が二つほどある。

一点目は、独立した神社として記載されているもの、明治一八年に他社に合祀した旨が記された社がみられる点である。これは明治一五年の明細帳編纂後に実施された「社寺検査」の結果に拠るもので、ここからは明治二三年作成の明細帳が、基本的に一五年作成の明細帳を踏襲してまず製作されたことが窺える。

次に二点目としては、明細帳に掲載された神社の数が非常に多い点である。大字（近世村）単位の鎮守とともに、より小さな単位の鎮守まで記されており、これは従前の調査対象地となった西国東郡域と異なる。

なお、翻刻にあたっては、書式は原本の体裁を尊重したが、紙幅の都合から本尊あるいは祭神・建物の規模については一行にまとめ、神社の所有地・大分県庁までの距離に関する項目は省略した。

大分県管下豊後国東国東郡糸水村字杉山

両子寺末

天台宗

瑠璃光寺

本尊

薬師如来

由緒

此寺タルヤ養老二戊午年仁聞大士創建開基タリ、中古堂

堂字

字類傾、宝永五戊子年住職寛度再興シ其講堂明治五年正月七日焼失ス

境内

堅九間三尺 横三間三尺

檀徒

貳百三拾坪 民有地一種 六拾人

大分県管下豊後国東国東郡糸水村字柚ノ木

宝陀寺末

臨濟東福寺派

桂徳寺

本尊

観音大士

由緒

此寺タルヤ応永十六己丑年開山文溪創立シ、文化十四丁

堂字

丑年住職実田再興ス

境内

堅拾間三尺 横五間 民有地一種

境内仏堂

二字

観音堂

本尊 観音

由緒 不詳
堂宇 竪貳間 横貳間

地藏堂

本尊 地藏石仏

由緒 不詳

堂宇 竪老間三尺 横老間三尺

一 壇 徒 貳拾三人

大分県管下豊後国東国東郡糸水村字小久保

本願寺直末

真宗本願寺派

光蓮寺

一 本尊 阿弥陀仏

一 由緒 開基蓮城ナルモノ本願寺八世蓮如上人ノ末弟ニシテ、寺

号ヲ光蓮寺ト号法名ヲ蓮城ト賜フ、且本山ノ山号ヲ龍谷

山ト称ス故ニ龍ノ一字ヲ賦テ以テ該寺ノ山号ヲ龍光山ト

ス、之ニ依テ蓮如上人ノ自筆六字ノ尊号今ニ存在ス

一 堂宇 竪七間 横七間

一 鐘堂 竪老間三尺 横老間三尺

一 庫裏 竪六間 横四間三尺

一 境内 三百七坪 民有地一種

一 壇 徒 三百二十九人

大分県管下豊後国東国東郡富清村字西迎寺

宝陀寺末

臨濟宗東福寺派

西迎寺

一 本尊 弥陀仏

一 由緒 抑養老年度天台宗仁開大士両子山ヲ開キ漸次国東郡六郷

ノ寺院開キタリ、此寺タルヤ仁開大士ノ開基ナルニ中古

其法跡哀絶シ天正二戌年禪僧器湊再興シテ、禪宗宝陀寺

末トナリ爾後住職不詳、当度僧尼足利順香寓居シ糸水村

桂徳寺住職足利祖綱兼務タリ

一 本堂 竪六間 横三間

一 境内 百拾貳坪 民有地一種

一 壇 徒 拾老人

大分県管下豊後国東国東郡富清村字花テ

宝陀寺末

臨濟宗東福寺派

西福寺

一 本尊 弥陀仏

一 由緒 夫此寺タルヤ開山巴山禪師ノ道場ナリ、西国東郡菅掛村

宝陀寺開山悟庵禪師之嗣法ニ而応永十九年辰正月創建、

宝陀寺末トナリ爾後星霜ヲ経ル四百六拾余年也

一 堂宇 竪九間 横四間

一 門 竪貳間 横貳間

一 境内 三百六拾七坪 民有地一種

一 境内仏堂 一字

地藏堂

本尊 地藏菩薩

由緒 中古当村友成利平祖先某回國シテ筑前ノ国ニ至

リ、路傍ニ石仏地藏安置アルヲ背負掃リ境内ニ

堂宇ヲ建設安置シタリト古老ノ口碑ニ伝

壇 徒 百九拾貳人 堂 宇 竪一間二尺七寸 横一間二尺七寸

大分県管下豊後国東国東郡富清村字六井

明連寺末

西念寺

真宗派本願寺派

本 尊 阿弥陀仏

一 由 緒 仰此寺タルヤ当地散在ノ信徒下毛郡中津町真宗明連寺ニ
隨拂スルニ、避違ノ地ニシテ教導解怠ナルヲ以同寺次男

僧淨念元和九年当地ニ派遣シ此寺ヲ創建、西京府下該宗

西派本願寺ニ清願本尊安置ス、爾後明治十三年迄星霜二

百六十七年連綿世襲十一世タリ

一 本 堂 竪六間 横七間

一 山 門 竪貳間一尺八寸 横貳間一尺八寸

一 鐘 堂 竪老間一尺八寸 横老間一尺八寸

一 庫 裏 竪五間 横八間

一 境 内 四百四拾五坪 民有地一種

一 境内仏堂 一字

弘法堂

本 尊 弘法大師

由 緒 字カツルニ安置アルヲ明治九年七月七日境内ニ

移転ス

堂 宇 竪貳間 横老間五尺

一 壇 徒 八百六拾九人

大分県管下豊後国東国東郡岡子村字両子山

本寺

両子寺

天台宗

一 本 尊 不動明王

一 由 緒 人王四拾代元正天皇養老二年ノ秋開山仁閑和尚親ヲ不動
明王ノ尊像ヲ彫刻シ以當寺ニ安置シ、鎮護国家万民安穩

ヲ禱リシヨリ今ニ至リ、長日護摩供修行スル事怠慢ナシ

一 堂 宇 竪五間 横十一間

一 境 内 五千貳百七拾坪

内 千三百三十五坪 官有地一種

三千九百三十五坪 民有地一種

一 境内仏堂 五字

岩屋本堂

本 尊 岡子大菩薩

由 緒 養老二年ノ春開山仁閑当寺草創ノ志願ヲ起シ先

ツ山上ノ巖石ニ坐シ一夏九旬誦々精修志願成就

ヲ禱リケルニ、或時威徳熾盛ノ天童來現シテ山

岳ヲ揺動シ天地ヲ踴眞シ種々恐怖ノ事ヲ為シ、

又或時端正有相ノ天女來現シテ嬉戲快樂姿態種

々仁閑精修ヲ擾ス、然ルニ仁閑益精心ヲ勵シ頻

ニ観音ヲ念シケルニ一時観音示現告ケ曰ク、彼

ノ天童天女ハ欲界ノ諸天汝ヲ試ルノミ汝子精心

勇猛ナルトキハ、今ヨリ汝ヲ守護シ利益ヲ為ス

事究リ無ラント云々、其後彼天童天女來現シ

テ護祐ヲ加ヘケレハ、乃仁聞岩畔ニ一字ヲ創テ

主坐ニ親音ヲ安シ左右ニ彼ノ天童天女ヲ祭リ兩

子大菩薩ト崇メ、又此菩薩擁護ニ困リ寺門ノ榮

昌ヲ欲シ寺ヲ兩子ト名ケタリ、後世兩子トハ彼

男天女天ヲ崇メタルナレハ、男女ノ二子ヲ授ケ

子孫繁昌ヲ守リ玉フノ義ナリトシ、世人出生長

寿ヲ禱ルニ其応驗結尤著シト云フ

堂 宇

長六間老尺 横貳間五尺

講堂

由 緒

開山仁聞親ヲ渠師仏ヲ彫刻シ以テ本尊トシ一

月一日第八日ニ至リ、渠師仏ノ大像ヲ修行シ國

家ノ幸福ヲ禱リテヨリ修正会ト名ケ、例テ永年

式ト為シ今ニ至リテ怠ルコトナシ

堂 宇

長五間 横五間

開山堂

本 尊 仁聞和尚

由 緒 後世息報ノ為メ一字ヲ創テ之ヲ安置ス年月不詳

堂 宇 長一間 横二間

弁天堂

本 尊 弁才天

由 緒 弁才天女ハ金光明経ノ説ニ依ルニ福徳自在仏法

守護ノ天神ナルヲ以此ニ安置シテ寺門ノ榮昌ヲ

禱ルナリ、創立ノ年月不詳

堂 宇

長貳間 横壹間三尺五寸

十六善神堂

本 尊 文殊菩薩 十六善神

由 緒 文殊菩薩十六善神俱ニ大般若経隨喜衆ナルニ因

リテ、此ヲ以本尊ト為シ大般若経ヲ納シ嚴キ時

ニ此ヲ転説シテ折禱ヲ為スモノナリ

堂 宇 長二間 横二間

一 境内支坊 一字

大万坊

本 尊 阿弥陀如来

由 緒 不詳

堂 宇 長四間 横九間

一 壇 徒 門 長四尺 横一間一尺

千五百五十七人

大分県管下豊後国東郡東都両子村字中屋敷

三宝院末

知福院

真言宗 本 尊 不動明王

一 由 緒 不詳

一 堂 宇 長二間 横二間

一 庫 裡 長六間 横三間三尺

一 境内 百五十貳坪 民有地第一種

大分県管下豊後国東郡東都両子村字園田

三宝院末

真言宗

円寿院

- 本尊 愛宕地藏
- 由緒 不詳
- 堂宇 長二間 横二間
- 庫裡 長二間卷尺 横五間卷尺
- 境内 百三拾五坪 民有地第一種

大分県管下豊後国東郡朝来村字小屋元

三宝院末

宝寿院

- 真言宗
- 本尊 將軍地藏
- 由緒 不詳
- 堂宇 長三間 横二間半
- 境内 貳百五拾八坪 民有地第一種
- 信徒 五人

大分県管下豊後国東郡朝来村字台ノ内

妙心寺末

西白寺

- 禅宗臨济宗妙心寺派
- 本尊 聖觀世音菩薩
- 由緒 不詳
- 堂宇 長八間三尺 横五間三尺
- 境内 六百四拾三坪 民有地第一種
- 境内仏堂 老宇

釈迦堂

本尊 釈迦如来

- 由緒 不詳
- 堂宇 長貳間 横貳間
- 壇徒 千百八拾老入

大分県管下豊後国東郡朝来村字鳥越

泉福寺末

護聖寺

- 禅宗曹洞宗
- 本尊 觀世音菩薩
- 由緒 不詳
- 堂宇 長六間三尺 横五間
- 禅堂 竪三間 横三間
- 境内 四百六拾九坪 民有地四種
- 壇徒 四百九拾七人

大分県管下豊後国東郡矢川村字高地

万樹寺末

玉林寺

- 臨济宗妙心寺派
- 本尊 地藏大菩薩
- 由緒 不詳
- 堂宇 長六間三尺 横三間三尺
- 境内 百三拾六坪 民有地一種
- 境内仏堂 老宇

觀音堂

本尊 觀世音菩薩

由緒 不詳

— 壇 徒 仏堂宇 長老間三尺 横老間三尺
百五人

大分県管下豊後国東国東郡掛種村字北西

— 三宝院末

— 真言宗

— 本尊 薬師如来 不動明王

— 由緒 不詳

— 本堂 長三間 横三間

— 庫裡 長六間 横三間

— 境内 八拾九坪 民有地一種

— 信徒 五百三十拾人

大分県管下豊後国東国東郡掛種村字上油留木

— 泉福寺末

— 泉正寺

— 曹洞宗 観世音菩薩

— 本尊 不詳

— 本堂 長四間二尺 横五間三尺

— 庫裏 長二間 横二間三尺

— 境内 二百八拾五坪 官有地一種

— 壇 徒 百五十五人

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字一之瀬立中

— 三宝院末

— 真言宗 西宝院

— 本尊 不動明王

— 由緒 永正元年申子正月三日開基、修験宗派ナルヲ明治七年二

月廿一日真言佛入トナル

— 堂宇 竪四間 横六間

— 境内 百二拾二坪 民有地第一種

— 信徒 三人

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字

— 三宝院末

— 真言宗

— 本尊 不動明王

— 由緒 慶長十乙巳正月十日開基、修験宗派ナルヲ明治七年二月

廿一日真言宗佛入トナル

— 堂宇 竪六間二尺 横三間三尺

— 護摩堂 竪二間三尺 横二間

— 境内 貳百七坪 民有地第一種

— 信徒 三人

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字

— 三宝院末

— 真言宗

— 本尊 愛宕地藏

— 由緒 天正三乙亥十月十日開基、修験宗派ナルヲ明治七年二月

廿一日真言宗佛入トナル

— 常寛院

— 福寿院

- 一 堂宇 竪六間五尺 横四間二尺
- 一 護摩堂 竪二間三尺 横二間
- 一 境内 三百四拾六坪 民有地第一種
- 一 信徒 三人

大分県管下豊後国東郡瀬戸田村宇山香屋敷

知恩院末

淨園寺

- 一 浄土宗
- 一 本尊 阿弥陀如来 観世音菩薩 勢至菩薩
- 一 由緒 当郷官代職馬場村住片山越後守一千ノ開起ニテ天正十五年一字建立シタリト云

- 一 本堂 長九間 横七間
- 一 庫裏 長十二間 横六間
- 一 境内 千百拾四坪 内三百九拾九坪 官有地四種 七百拾五坪 民有地一種

境内仏堂 老宇 鎮守堂

- 一 本尊 大日如来
- 一 由緒 不詳
- 一 堂宇 長二間四尺 横老間五尺
- 一 壇徒 貳千貳百三拾五人

大分県管下豊後国東郡瀬戸田村宇レイカン

泉福寺末

実際寺

禅宗曹洞派

- 一 本尊 釈迦如来
- 一 由緒 弘仁年中ニ弘法大師草創シ、延慶二己酉年四月ニ至リ勅賜仏照禪師来臨シテ再建スト云、此時隆濟宗ナリ開基ノ繼ハ大友七代孫太郎藏人前式部大輔源ノ氏泰公ナリ、大友兵乱ノ勅御靈燒失シ寛永年中ニ至リ伝尊和尚再建ス

- 一 本堂 長七間 横五間
- 一 庫裏 長八間三尺 横四間三尺
- 一 境内 千八拾六坪 官有地四種

- 一 境内仏堂 老宇 観音堂
- 一 本尊 観音菩薩
- 一 由緒 不詳
- 一 堂宇 長二間四尺 横二間三尺

大分県管下豊後国東郡馬場村宇ウジナ

妙心寺末

大儀寺

- 一 臨濟宗妙心寺派
- 一 本尊 十一面観世音菩薩
- 一 由緒 不詳
- 一 本堂 長八間 横五間三尺
- 一 庫裏 長九間 横五間
- 一 門 長三間五尺 横老間三尺
- 一 鐘堂 長老間二尺 横老間二尺
- 一 境内 六百六拾四坪 官有地四種

壇 徒 六百三拾七人

大分県管下豊後国東国東郡馬場村字広松

本願寺末

真宗西派本願寺派

最広寺

本尊 阿弥陀如来

由緒 不詳

本堂 竪六間 横六間

庫裡 竪四間 横七間

境内 三百二十六坪 民有地第一種

壇 徒 三百四十七人

大分県管下豊後国東国東郡下原村字門田

妙心寺末

臨濟宗妙心寺派

普門寺

本尊 観音

由緒 不詳

本堂 長六間三尺 横五間

庫裏 長八間 横五間

境内 貳百八拾七坪 官有地四種

境内仏堂 一字

地藏堂

本尊 地藏

由緒 不詳

堂 宇 長一間二尺 横一間二尺

壇 徒 六拾人

大分県管下豊後国東国東郡下原村字松尾

西京西本願寺末

真宗西本願寺

光妙寺

本尊 阿弥陀如来

由緒 不詳

本堂 長七間三尺 横九間三尺

庫裏 長九間三尺 横四間三尺

境内 七百六坪 民有地第一種

壇 徒 百九十人

大分県管下豊後国東国東郡塩屋村字白石上

三宝院末

真言宗古義派

真乘院

本尊 不動愛染明王

由緒 正徳五年創立以來無担ニテ住職ノ者代々之ヲ保護ス、明治八年七月三日間選俗ノ情願許可セラレタシトキ、元來

所有地内ノ安置故元住職鈴木清順平民ニテ之ヲ保護ス

堂 宇 長六間 横五間

境内 三百六坪 民有地第一種

大分県管下豊後国東国東郡塩屋村字リヨウ

妙心寺末

臨濟宗妙心寺派

心月寺

一 本尊 西方無量壽如来

一 由緒 創立年月日不詳

一 本堂 長拾間三尺 横五間

一 境内 二百九拾貳坪 官有地四種

一 境内仏堂 一字

觀音堂

本尊 如意輪觀世音

堂 長二間 横老間三尺

一 壇徒 百二十人

大分県管下豊後国東国東郡下山口村字大間

知恩院末

淨泉寺

淨土宗鎮西派

一 本尊 阿弥陀如来

一 由緒 従来本郡瀬戸田村淨國寺末ノ処、明治十七年一月知恩院直末トス

一 本堂 長七間半 横六間

一 庫裡 長八間 横五間

一 門 長貳間 横貳間

一 境内坪數 三百四拾四坪 官有地第四種

一 境内仏堂 一字

十王堂

本尊 地藏菩薩

由緒 不詳

堂 長一間三尺 横一間三尺

一 壇徒 四百五拾人

大分県管下豊後国東国東郡下山口村字寺

三宝院末

敬寛院

一 本尊 不動明王

一 由緒 不詳

一 堂宇 長二間三尺 横二間

一 境内 百六拾六坪 民有地一種

一 信徒 二人

大分県管下豊後国東国東郡横城村字堂ノ前

延暦寺末

東光寺

天台宗

一 本尊 不動明王

一 由緒 養老二戊午年仁開菩薩ノ創建六郷二十八ヶ山ト称スル一ナリ寛文年間中興了俊以後大阿闍梨法印ニ任ス

一 堂宇 一棟 長拾老間 横五間

一 境内 四百坪 民有地第一種

一 境内仏堂 一字

薬師堂

本尊 薬師如来 弥勒菩薩

由緒 養老二戊午年仁開菩薩ノ開基東光寺旧境内宇堂

山鎮座明治九年移転、字同所弥勒菩薩宇畑ノ前

観音堂宇西阿弥陀堂宇堂面毘沙門堂ヲ合併ス

一 壇 徒 堂 字 方二間
百七拾五人

大分県管下豊後国東国東郡奈多村字宗清

妙心寺末

臨濟宗妙心寺派

報恩寺

一 本 尊 觀世音

一 由 緒 不詳

一 本 堂 長七間 横六間

一 庫 裏 長七間 横五間

一 鐘 樓 門 長貳間三尺 横貳間

一 境 内 九百四拾六坪 官有地第四種

一 境 内 仏 堂 一 字

釈迦堂

本 尊 釈迦如来

由 緒 不詳

堂 字 方貳間三尺

一 壇 徒 六百拾五人

大分県管下豊後国東国東郡守江村字浜町

長昌寺末

光明寺

一 本 尊 阿彌陀如来

一 由 緒 開山伝心和尚往生地、元禄九年丙子十二月十四日ノ創立

一 堂 宇 長七間 横 五間三尺

一 境 内 二百七拾九坪 民有地第一種
一 境 内 仏 堂 卷 字

觀音堂

本 尊 觀音仁聞菩薩ノ作

由 緒 村内信仰者ノ創立、年月日不詳

堂 宇 長二間二尺 横 一間五尺

一 壇 徒 六百四人

大分県管下豊後国東国東郡大内村字タカラ迫

寿生院末

天龍院

一 本 尊 不動明王

一 由 緒 不詳

一 堂 字 長三間 横二間

一 庫 裡 長四間三尺 横三間

一 境 内 百四拾三坪 民有地第一種

一 境 内 石 仏 卷 字

本 尊 弘法大師

由 緒 不詳

一 信 徒 八人

二 東国東郡神社明細録（明治二三年） ○大分県公文書館蔵

大分県管下豊後国東国東郡糸永村字小久保

村社

八坂社

由緒 不詳

石祠 七寸四歩 九寸二歩

八幡社

祭神 応神天皇

由緒 不詳

石祠 一尺一寸五歩 二尺七寸

八坂社

祭神 速須佐之男神

由緒 字小久保本宮ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月境内ニ移
転ス

石祠 一尺二寸九歩 一尺五寸七歩

郷分社

祭神 八衢比古神 八衢比売神

由緒 郷分ノ神ト称シ字牛頭王ケ久保ニ鎮座ノ処ヲ明治
九年七月廿此境内ニ移転ス

石祠 一尺七寸 二尺二寸

龍神社

祭神 大總津見神

由緒 字花棚耕地ノ傍ニ鎮座ノ処明治九年七月廿四此境
内ニ移転ス

石祠 二尺七歩 一尺一寸五歩

氏子

戸数 百三拾四戸

大分県管下豊後国東国東郡糸永村字山ノ神

無格社

一 祭神 速須佐之男神 大己貴命 少彦名命

一 由緒 天承二壬子年創立、同年六月十日勧請旧糸永村・旧恒清村
ノ産土神タリ、天和二年以来松平図書口地折願所三社ノ内
ニ列シラレ松平貞一郎ニ至明治二年正月廃セラル、宝曆十
三年十月恒清村新社ヲ建設タリシニヨリ糸永村一村ノ産土
神トナリ明治五壬申年村社ニ列セラル、十一年二月一日神
幸再興ノ官許アリ例祭七月廿八日執行セリ

一 神殿 横四間

一 押殿 横四間半三尺 横貳間

一 直会殿 横六間 横三間

一 境内神社 六社

龍神社

祭神 九頭能神

由緒 小字武蔵越ノ山野ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月境内
ニ移転ス

石祠 七寸七歩 一尺四寸五歩

住吉社

祭神 上筒男之神

石祠 七寸七歩 一尺四寸五歩

祭神 上筒男之神

石祠 七寸七歩 一尺四寸五歩

祭神 上筒男之神

山神社

無格社

山神社

〔明治十八年一月本村字嶺原御祖社（合併）〕

- 一 祭神 大山祇神 谷山祇神 葉山祇神
- 一 由緒 勸請年月不詳、旧杉山村拾三戸産土神ノ処、明治八年此村ヲ糸永村ニ合併、同年十月二月村社八坂大神幸再興ノ官許ヲ得氏子議シテ仮ニ神幸所トナス
- 一 神殿 竪一間二尺 横一間一尺
- 一 境内 百四拾七坪 官有地第一種
- 一 信徒 拾三人

大分県管下豊後国東郡糸永村字峯

無格社

御祖社

- 一 祭神 伊邪那岐尊 伊邪那美尊 大山祇神
- 一 由緒 抑古老ノ口碑タルヤ享保五年ノ春字峯山ノ岬ニ毎夜火明リスルヲ西山亦七ナル者怪シミ、村内桂徳寺住職南嶺ニ告テ神名ヲ伺ヒシニ両子大権現ト現レシ由リ一ノ祠ヲ建立シ峯権現ト齋キ奉リ、西山家ノ守神ト仰キ寛政ノ度ニ至リ、一村準テ信仰例祭執行ス、大山祇神ハ村字峯鎮坐ノ処明治十八年一月合併
- 一 石祠 竪一尺八寸 横一尺五寸
- 一 拝殿 竪三間 横一間三尺
- 一 境内 六拾四坪 民有地一種
- 一 信徒 百二十二人

大分県管下豊後国東郡糸永村字峯

無格社

山神社

- 一 祭神 大山祇神
- 一 由緒 古老ノ口碑ニ往昔清水三郎ト云ヘル者石祠ヲ設山神ヲ祭りシニ其面齋死絶ヘ祭ル者無キヲ、慶長元年福田文七郎ナル者藪ヲ伐採拝殿ヲ造営シ福田家四戸ノ守護神ト仰キ其後種田家七戸相加里共ニ祭典執行セリ

- 一 石祠 竪二間三尺 横二間
- 一 拝殿 六坪 民有地一種
- 一 境内 拾老人
- 一 信徒

大分県管下豊後国東郡糸永村字迫

無格社

山神社

- 一 祭神 大山祇神
- 一 由緒 此祠タル明和二年二月古庄和左エ門ト云者字迫ノ山地ヲ堀穿テ二ノ古祠ニ堀当リ其地ニ其俣山神ト改、古庄家ノ守神ト信仰祭典執行ス
- 一 石祠 一尺四寸 一尺五寸
- 一 境内 六坪 民有地一種
- 一 信徒 七人

大分県管下豊後国東郡富清村字宮畑

村社

宮畑社

祭神 大年大神 菅原大神

此社タルヤ菅原大神往昔ヨリ鎮座在シニ、大年神宇本宮ニ鎮座アリテ富清村字富水分七十三戸ノ産土神タリシヲ氏子議定シテ新社造営、元禄十丁丑年二月十九日大神神ヲ相殿シ遷社シ、以ニ柱ノ神ヲ一村ノ産土神ト仰キ宮畑社ト称ス、七月廿日例祭ニテ神幸アリ来リ、明治五壬申中年村社ニ列セラル

神殿 竪貳間三尺 横老間三尺七寸

押殿 竪貳間三尺 横貳間

直会 殿竪四間三尺 横貳間老尺

神庫 竪二間 横老間三尺

教会所 竪六間 横四間二尺

境内 三百三拾六坪 官有地第一種

境内神社 八社

賀来社

祭神 武内大神

由緒 文政年度大分郡賀来村善神王ヲ勧請スト云、然レトモ年月不詳

石祠 八寸 九寸

金刀比羅社

祭神 金刀比羅大神

由緒 天保四知年三月十日大久保山ノ頂ニ勧請鎮座ノ処、明治九年七月三日境内ニ移転ス

石祠 六寸 八寸六歩

山神社

祭神 大山祇神

由緒 鎮座年月不詳、石祠ハ享保二年十一月更設字米丸ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月三日境内ニ移転ス

石祠 一尺四寸 二尺三寸

産霊神社

祭神 天御中主神 高皇産霊神 神皇産霊神

由緒 弘化四未年字大久保ノ峯ニ勧請鎮座ノ処ヲ明治九年七月三日境内ニ移転ス

石祠 九寸 一尺三寸

黄舟社

祭神 弥都波能売神

由緒 往昔ヨリ字広園ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月三日境内ニ移転ス

石祠 七寸 八寸八歩

夷社

祭神 八重宮代主神

由緒 故字市場ニ鎮座在シテ明治九年七月三日境内ニ移転ス、口碑ニ伝ルハ性古毎年十二月祭典有リ、市ヲ成セシニ当郡古市村ニ譲リシトカヤ此市ニ来觀

人渡川スル架橋所ヲ市場川ト云ヘリ

石祠

祭神

今日靈社

祭神 今日靈

由緒 宇神ノ木ニ鎮座ノ処、明治九年七月三日境内ニ移

轉ス

轉ス

転ス

石祠 一尺二寸五歩 二尺

今日靈社

祭神 今日靈

由緒 往昔ヨリ宮畑社境内ニ鎮座、由緒不詳

石祠

氏子 戸數 七拾八戸

大分県管下豊後国東郡富清村字新宮

村社

八坂社

一 祭神 速須佐之男命 大己貴命 小彦名命

一 由緒 此社タルヤ宝曆十三年社地ヲ選定新社造営同年十月廿三日

八坂大神ヲ勧請鎮座之処、富清村字恒清分九拾老戸ノ産土

神ト仰キ例祭祭十一月三十日ヲ以神幸祭典ノ執行、明治五

壬申年村社ニ列セラル

一 神殿 縦二間貳尺 横貳間

一 拜殿 縦二間一尺三寸 横二間三尺七寸

一 直会殿 縦六間 横三間老尺

一 神宝庫 縦二間三尺 横老間三尺

一 境内 八百四拾六坪 官有地第一種

一 境内神社 八社

住吉社

祭神 上筒男之神

由緒 不詳

石祠 七寸五歩 一尺

八幡社

祭神 応神天皇

由緒 不詳

石祠 七寸、九寸

産靈社

祭神 天御中主神

由緒 往昔ヨリ字妙見山ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月境内

ニ移転ス

石祠 一尺 一尺四寸

年神社

祭神 大年神 御年神 若年神 夏之禊神 秋毘禊神

冬年神

由緒 往昔ヨリ字年ノ神ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月七日

境内ニ移転ス

石祠 一尺六寸 一尺九寸

愛宕社

祭神 火貝土神

由緒 字寺山ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月七日境内

石祠 二尺一寸 一尺六寸

住吉社

祭神 上筒男之神 中筒男之神 下筒男之神

由緒 字住吉ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月境内ニ移転ス

石祠 一尺二寸五歩 二尺

貴舟社

祭神 弥都波熊禰神

由緒 宇貴舟ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月境内ニ移転ス

石祠 一尺五歩 一尺五寸

八幡社

祭神 応神天皇

由緒 宇高野ニ鎮座ノ処ヲ明治九年七月境内ニ移転ス

石祠 一尺 一尺四寸

氏子 九拾老人

大分県管下豊後国東国東郡富清村字伊勢谷

無格社

伊勢兩大御神社

祭神 天照大御神 豊受大神

由緒 此社タルヤ伊勢參詣為シ得サル者有ルヲ以テ長保三年辛午

年社地ヲ撰ヒ神殿造営シ、同年六月十六日勸請大神宮卜齋

奉リ明治二年官ノ許可ヲ得テ、伊勢阿大御神ト改メ字恒清

分九拾老人ノ守神ト信仰ス

神殿 竪貳貫老尺 横貳間

押殿 竪三間四尺 横老間四尺

境内 百三拾貳坪 官有地第一種

信徒 九拾老人

大分県管下豊後国東国東郡富清村字山王

無格社

御祖社

祭神 伊邪那岐尊 伊邪那美尊

由緒 往古天台宗道妙寺ト云守アリ、其ノ境内ニ山王権現鎮座ニ

シテ守護タリシトカ古老ノ口碑ニ伝ヘリ、其山王権現神仏

混淆云々、御布告ニ因リ明治二年管庁ノ指揮アリ、祭神ニ

柱ノ神ト改タリ

神殿 竪四尺 横三尺

押殿 竪貳間 横老間三尺

境内 四百七坪 官有地一種

信徒 貳拾老人

大分県管下豊後国東国東郡富清村字長野

無格社

御祖社

祭神 伊邪那岐尊 伊邪那美尊

由緒 古老ノ口碑ニ金当倉吉ナルモノノ祖先某紀伊国ヨリ移住タ

リシニ、養老元年六月大旱シ井出水モ涸シ困苦ノ際生国紀

州熊野権現ニ誓願スルニ忽チ大降雨アリシニ由リ之ヲ勸請

シ、今殿権現ト齋奉リ、明治二年御祖社ト改ム姓古ハ金当

一統ノ守護タリシニ現今信徒貳拾戸ニテ祭典執行ス

押殿 竪貳間半三尺 横老間半三尺

境内 貳百五拾三坪 官有地一種

信徒 貳拾人

大分県管下豊後国東国東郡富清村字永吉

無格社

伊勢岡大御神社

大分県管下豊後国東郡両子村字徳代

一 天照大御神 豊受大神

無格社

一 由緒 往昔ヨリ財前家ノ鎮守神ニシテ同家所有地字永吉ニ鎮座アリシヲ、文政七申年ヨリ字日平土團貳拾六戸守神ト信仰シ

〔明治十八年一月本村字天徳鎮後藤神社境内へ移座〕 常磐社

共同シテ神殿修繕祭典執行ス

一 神殿 竪五尺 横老間

一 石社 長三尺 横二尺五寸

一 拝殿 竪二間半 横二間

一 拝殿 長貳間 横老間三尺

一 境内 百貳拾七坪 民有地一種

一 境内 六十三坪 官有地第一種

一 信徒 貳拾六人

一 信徒 貳拾人

大分県管下豊後国東郡両子村字天徳

大分県管下豊後国東郡両子村字二郎丸

村社

無格社

歳神社

菅原社

一 祭神 大年大神 伊邪那岐尊

一 祭神 菅原道実公

一 由緒 創立年月不詳、明治五年村社ニ列セラル

一 由緒 不詳

一 神殿 長七間 横三間

一 石祠 一尺四寸 一尺四寸

一 拝殿 長貳間三尺 横貳間半

一 拝殿 長二間 横老間三尺

一 境内 千百一坪 官有地第一種

一 境内 百三拾坪 官有地第一種

一 境内神社 一社

一 信徒 百十二人

住吉社

大分県管下豊後国東郡両子村字神ノ森

一 祭神 底筒男命 中筒男命 上筒男命

無格社

一 由緒 不詳

無格社

一 社殿 長老間三尺 横老間三尺

山神社

一 氏子 百三拾戸

一 祭神 大山祇神

一 由緒 不詳

- 石祠 二尺四寸 二尺七寸
- 境内 四百五拾八坪 官有地第一種
- 信徒 拾五人

大分県管下豊後国東国東郡両子村字エキ

無格社

山神社

〔明治十八年〕月本村字神ノ森嶺山神社（合併）

- 祭神 大山祇神
- 由緒 不詳
- 石祠 長老尺五寸 横老尺老寸
- 境内 百六拾八坪 官有地第一種
- 信徒 拾五人

大分県管下豊後国東国東郡明治村字徳林

村社

山神社

- 祭神 大山祇命 淤藤山見津命 奥山見津命 原山見津命 水象女神
- 由緒 創立年月不詳、往古諸田飛騨守ナル者社地ヲ撰定シ、社殿ヲ設ケ大山祇命・淤藤山見津命・奥山見津命ヲ祭り、山王社ト称シ奉リ村名ヲ諸田ト呼ヒ一村ノ産土神ト仰キ奉リシト古老ノ口碑ニ伝ヘリ、中曾字宮ノ原ニ鎮座アリシ水象女神ヲ相殿ニ遷シ奉リシト云フ、明治五年壬申年村社ニ列シラレ山神社ト称シ奉ル
- 神殿 堅老間 横老間

- 拜殿 竪六間 横貳間
- 境内 六百五拾九坪 官有地第一種
- 境内神社 五社

八坂社

祭神 速素盞鳴尊

由緒 創立年月詳カナラス往古ヨリ字大榎ニ鎮座アリ明

治九年七月境内ニ移転

石祠

八坂社

祭神 速素盞鳴尊

由緒 創立年月詳カナラス往古ヨリ字大榎ニ鎮座アリ明

治九年七月境内ニ移転

石祠

八坂社

祭神 速素盞鳴尊

由緒 創立年月詳カナラス往古ヨリ字大榎ニ鎮座アリ明

治九年七月境内ニ移転

石祠

今日靈社

祭神 今日靈

由緒 創立年月詳カナラス往古ヨリ字水ケ尾ニ鎮座アリ

明治九年七月境内ニ移転

石祠 一尺一寸 一尺三寸

金比古社

祭神 天一目神

由緒 創立年月詳カナラス水ケ尾ニ鎮座アリ明治九年七月境内ニ移転
石祠 六寸 九寸
氏子 五拾八戸

大分県管下豊後国東郡明治村字宮永谷

村社

日吉社

一 祭神 天御中主尊 伊邪那岐尊 伊邪那美尊 忍穗耳尊

一 由緒 國狹槌尊 大山咋尊 大己貴尊

安元二年丙申年六月ノ創立ニシテ明治村ノ内旧中野村字中畑拾老戸ノ産土神ナリ、明治五壬申年村社ニ列セラレ七拾七戸ノ氏神ト仰キ奉ル

一 神殿 竪四尺 横三尺五寸

一 押殿 竪三間三尺 横貳間

一 境内 三百八拾九坪 官有地第一種

一 氏子 七拾七戸

大分県管下豊後国東郡明治村字中尾

村社

日吉社

一 祭神 大己貴尊

一 由緒 建久元年申子四月ノ創立ニシテ明治村ノ内旧小俣村ノ産土神ナリ、天和二年以来領主松平家ノ祈願所トナル、明治二年正月廃セラレ同五壬申年社格村社ニ列セラル

一 神殿 竪老間三尺 横老間三尺

一 押殿 竪貳間三尺 横貳間三尺

一 境内 貳百九拾三坪 官有地第一種

一 境内神社 三社

天満社

祭神 菅原道実公

由緒 不詳

社 一間五尺二寸 一間四尺

大御神社

祭神 天照大御神

由緒 創立年月詳カナラス明治村ノ内字吉行ニ鎮座アリシヲ弘化四年十一月境内ニ移転ス

石祠 一尺二寸五歩 一尺七寸

山神社

祭神 大山抵命

由緒 創立年月詳カナラス明治村ノ内字山ノ神ニ鎮座アリシヲ明治九年八月四日境内ニ移転ス

石祠 一尺四寸 一尺七寸五歩

一 氏子 六拾六戸

大分県管下豊後国東郡明治村字願ヶ平

村社

大御神社

一 祭神 大日靈尊

一 由緒 文政二年己卯四月社地ヲ撰定シ天照大神ヲ勧請シ新石闕ヲ

股ケ明治村ノ内旧中野村ノ守神ト仰キ奉ル

一 拝殿 堅二間三尺 横二間

一 境内 六拾八坪 官有地第一種

一 境内神社 貳社

琴平社

祭神 金山彦神

由緒 文政二己卯年四月勧請

石祠 一尺一寸八歩 一尺五寸四歩

天満社

祭神 菅原道実公

由緒 文政二己卯年四月勧請

石祠 九寸四歩 一尺一寸六歩

一 信徒 七拾三人

大分県管下豊後国東郡明治村字岩詰

無格社

多賀社

一 祭神 伊邪那岐尊

一 由緒 不詳

一 社殿石祠 卷尺貳寸 横卷尺

一 拝殿 堅三間 横老間三尺六寸

一 境内 三拾坪 民有地一種

一 信徒 十三人

大分県管下豊後国東郡明治村字宮ノ原

無格社

蛭子社

一 祭神 事代主神

一 由緒 此社タルヤ古老ノ口碑ニ建久年度ノ創立ナリ、中古大塚仙太郎ノ祖先和平ナルモノ土中ヨリ御鏡ヲ掘出シ箱中ニ納アルニ光輝珠ニ赫々タリ、夜中夢ニ經子宮ノ御心ナリト因テ之レヲ社内ニ納タリト云々、明治村ノ内故諸田村貳拾三戸ノ守神ト往古ヨリ仰キ奉ル

一 社殿石祠 堅貳尺四寸五歩 横卷尺八寸

一 境内 四百五坪 官有地第一種

一 境内神社 壹社

琴平社

祭神 金山彦神

由緒 不詳

石祠 一尺五寸 一尺三寸

一 信徒 貳拾三人

大分県管下豊後国東郡明治村字宮ノ平

無格社

龍頭社

一 祭神 海津見神 壺玉比売神

一 由緒 此社タルヤ創立年月詳カナラス、古老ノ口碑ニ川野吉三郎ノ祖先仁右エ門ナル者拾六歳ニテ出陣ノ際利ヲ得テ帰陣アラハ、産土神ト仰キ奉ラシト誓願スルニ程ナク凱旋アリ、夫ヨリ川野家ノ産土神ト仰キ奉リシト云フ

一 信徒 不詳

一 石祠 一尺五寸 一尺三寸

一 信徒 貳拾三人

一 祭神 金山彦神

一 由緒 不詳

一 石祠 一尺五寸 一尺三寸

一 信徒 貳拾三人

一 神殿石祠 竪貳尺 横貳尺

一 押殿 竪貳間、横老間三尺

一 境内 四百三十拾五坪 官有地第一種

一 境内神社 三社

山神社

祭神 大山祇命

由緒 不詳

石祠 一尺二寸 一尺五寸

山神社

祭神 大山祇命

由緒 不詳

石祠 七寸 一尺

大杉社

祭神 大己貴尊 素盞鳴尊

由緒 不詳

石祠 一尺六寸 二尺二寸

信徒 拾老人

大分県管下豊後国東郡明治村字貴船

無格社

貴船社

〔明治十八年一月本村字中島嶽山日吉社境内（移転）〕

一 祭神 水象女神

一 山緒 不詳

一 社殿石祠 竪老尺五寸 横老尺五寸

一 押殿 竪老間三尺 横老間三尺

一 境内 三百拾老坪 官有地第一種

一 信徒 三拾九人

大分県管下豊後国東郡明治村字樋ヶ迫

無格社

〔明治十八年一月廿三日明細結取附許可〕 明見社

一 祭神 天御中主神

一 由緒 不詳

一 社殿石祠 竪老尺五寸 横老尺

一 境内 五坪 民有地一種

一 境内神社 老社

弁天社

祭神 市杵嶋比売神

由緒 不詳

石祠

一 信徒 拾人

大分県管下豊後国東郡明治村字田ノ上

無格社

山神社

一 祭神 大山祇命

一 由緒 此社タルヤ延享三年丙午十月ノ創立ニシテ明治村ノ内田中野村字桐畑貳拾貳戸ノ産土神也、明治五壬申年社格被定無

格社トナル

一 神殿 竪四尺 横三尺五寸

一 神殿 竪四尺 横三尺五寸

— 押殿 竪貳間三尺 横貳間
— 境内 百六拾貳坪 官有地第一種
— 信徒 貳拾貳人

大分県管下豊後国東郡明治村字峯

無格社

日吉社

— 祭神 大己貴尊
— 由緒 此社タリヤ享保二年丁酉二月ノ創立ニシテ、明治村ノ内田中野村字市ノ尾及ヒ紺屋台ノ両台産土神ト仰キ奉ル、社格被定
— 神殿 竪四尺八寸 横三尺六寸
— 押殿 竪五間 横貳間
— 境内 三百貳十六坪 官有地第一種
— 境内神社 貳社
— 生日八幡社

祭神 景清公

— 由緒 創立年月不詳、古老ノ口碑ニ字佐野国太郎ノ祖先 瀧右エ門ナルモノ眼病ヲ煩ヒ困苦ノ余日向国生目 八幡宮ニ誓願シ病癒ニルニ因リ字片峯ニ勧請スト
— 石祠 九寸 一尺一寸
— 云フ、明治九年八月十日境内ニ移転ス

無社

— 祭神 八衢比古神 八衢比売神

— 信徒 四拾貳人
— 由緒 創立年月不詳、性古ヨリ字下野添ニ鎮座ノ処明治九年八月十日境内ニ移転ス
— 石祠 一尺五步 一尺六寸

大分県管下豊後国東郡明治村字外園

無格社

天満社

— 祭神 菅原道真公
— 由緒 不祥
— 神殿 竪貳尺五寸 横貳尺
— 押殿 竪壹間三尺五寸 横壹間三尺六寸
— 境内 三拾坪 民有地一種
— 信徒 拾貳人

大分県管下豊後国東郡朝来村字吉園
郷社 八坂社

— 祭神 速須佐之男命 櫛名田姫命 大己貴命
— 由緒 往昔宝蔵火災ニ罹詣記録漸焼失シ創立及沿革等不詳ト雖モ、安岐郷二十余名ノ惣願ニシテ年々大祭御幸ノ節ハ数村ノ座子群拝シ大ニ賑榮タリシニ中世以降絶止シタリト古老ノ口碑ニ存、明治五年壬申年郷社ニ列セラレテ明治十年ヨリ復夕御幸ノ式執行
— 神殿 長壹間貳尺 横壹間壹尺

一 押殿 長拾間 横貳間

一 直会殿 長六間、横三間

一 境内 三百拾壹坪 官有地第一種

一 境内神社 五社

五靈神社

祭神 菅原大神 大年神 吉備大神

由緒 不詳

社殿 長貳間、横叁間三尺

八幡神社

祭神 応神天皇

由緒 不詳

石祠 一尺一寸 二尺二寸

郷分社

祭神 八衢彦神 八衢姫神

由緒 字トラノ尾ニ鎮座タリシヲ明治九年八月境内ニ移

転ス

石祠 一尺一寸 一尺五寸

大御神社

祭神 天照皇大御神

由緒 不詳

石祠 七寸 九寸

山神社

祭神 大山抵神

由緒 字釜ケ迫鎮座タリシヲ明治九年八月境内ニ移転ス
石祠 一尺二寸 一尺九寸

一 氏子 八百八拾戸

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字大石ケ本

村社

歳神社

一 祭神 大年神 月読命 天照皇大御神 大己貴命

菅原神

一 由緒

此社タルヤ性古宮ノ渡リト云川ノ中洲ニ鎮座アリシヲ正徳

二壬辰年字流田ニ遷社セシニ四面田圃ニテ稻汚穢ノ恐アリ、

亦享保八癸卯年字大石ケ本ニ移転セリ、明治五年壬申年村

社ニ列セラル、菅原神ハ本村字寺山鎮座之処明治十八年一

月本社へ合併

一 神殿

長一間二尺五寸 横五尺五寸

一 押殿

長二間 横二間四尺二寸

一 直会殿

長二間三尺八寸 横五間二尺八寸

一 境内

三百坪 官有地第一種

一 境内神社

四社

大御神社

祭神 天照皇大御神

由緒 字伊勢ノ前ニ鎮座シテ明治九年八月境内ニ移転ス
石祠 一尺二寸 一尺七寸

貴然社

祭神 水象女神

由緒 宇賣船ノ谷ニ鎮座シテ明治九年八月境内ニ移転ス

石祠 一尺五寸 一尺七寸

氏子 六拾四戸

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字寺山

無格社

〔明治十八年一月本村字大石ヶ本鎮座神社境内へ合併〕 琴平社

祭神 金山彦神

由緒 不詳

石祠 長老尺八寸 横老尺三寸

境内 拾三坪 民有地一種

信徒 六拾四人

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字寺山

無格社

〔明治十八年一月本村字大石ヶ本鎮座神社境内へ合併〕 菅原社

祭神 菅原大神

由緒 不詳

神殿 長二間四尺 横貳間老尺

境内 六坪 民有地

信徒 貳拾人

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字上ノ迫

無格社

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳

神殿 長三尺四寸 横四寸

拜殿 長二間老尺 横一間五尺六寸

境内 百八拾八坪 官有地第一種

信徒 拾三人

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字横畑

無格社

吉田社

祭神 天兒屋根命 大山祇神

由緒 不詳

社殿 長一間二尺五寸 横一間一尺

境内 百貳拾七坪 官有地第一種

信徒 拾三人

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字下油原

無格社

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳

神殿 長老間 横老間

拜殿 長四間三尺 横一間三尺

一 境内 百拾八坪 民有地第一種
一 信徒 拾七人

大分県管下豊後国東国東郡朝来村字白ハケ

無格社

生目八幡社

一 祭神 平景清

一 由緒 字長迫ニ鎮座タリシヲ明治九年八月郷社八坂社御旅所ニ移

転ス

一 社殿 長一間二尺 横一間二尺

一 境内 百拾坪 民有地第一種

一 境内神社 老社

善神王社

祭神 武内大神

由緒 字松ケ本ニ鎮座タリシヲ明治九年八月移転ス

石祠

一 信徒 百二十人

大分県管下豊後国東国東郡矢川村字芭蕉

村社

山神社

一 祭神 大山祇神

一 由緒 不詳 明治六年癸酉年村社ニ列セラル

一 神殿 長五尺 横五尺

一 拝殿 長貳間三尺 横貳間

一 境内 百八拾三坪 官有地第一種
一 境内神社 貳社

溝山八幡社

祭神 宍神天皇

由緒 字溝山ニ鎮座タリシヲ明治九年八月境内ニ移転ス

石祠

加藤社

祭神 清正大神

由緒 字川又ニ鎮座タリシヲ明治九年八月境内ニ移転ス

石祠

一 氏子 八拾貳戸

大分県管下豊後国東国東郡矢川村字久保盛敷

無格社

山神社

一 祭神 大山祇神

一 由緒 不詳

一 神殿 長四尺 横四尺

一 拝殿 長貳間 横一間一尺

一 境内 九拾坪 民有地第一種

一 信徒 四人

大分県管下豊後国東国東郡矢川村字宮ノ山

無格社

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳

神殿 長四尺 横四尺

押殿 長三尺 横三尺

境内 四百九拾九坪 官有地第一種

境内神社 貳社

今日靈社

祭神 今日靈

由緒 宇池下ニ鎮座タリシヲ明治九年八月境内ニ移転ス

石祠 竪七寸 横一尺

稲荷社

祭神 受持神

由緒 宇油ノ木ニ鎮座タリシヲ明治九年八月境内ニ移転ス

石祠 竪一尺 横一尺二寸

信徒 貳拾貳人

大分県管下豊後国東国東郡矢川村宇宮谷

無格社

山神社

大山祇神 栗山祇命 關山祇命

祭神 大山祇神

由緒 不詳

神殿 長五尺 横五尺

押殿 長四間 横老間三尺

境内 貳百五拾貳坪 官有地第一種

境内神社 壹社

貴船社

祭神 水象女神

由緒 宇松ヶ迫ニ鎮座在シヲ明治九年八月境内ニ移転ス

石祠 竪一尺二寸 横一尺五寸

信徒 三拾人

大分県管下豊後国東国東郡山浦村字井ノ上

村社

八幡社

祭神 菅田別尊 高麗神

由緒 不詳 明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 竪四尺五寸 横三尺五寸

押殿 竪五間二尺 横老間五尺

境内 百八拾五坪 官有地第一種

氏子 五拾五戸

大分県管下豊後国東国東郡山浦村字橋上

村社

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳 明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 竪四尺 横三尺

押殿 竪三間三尺 横二間

境内 百五拾九坪 官有地第一種

氏子 貳拾老戸

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字鬼ヲロシ

村社

関大神社

祭神 天照皇大神 瀬織津姫神 氣吹戸主神 速秋津姫神
由緒 元禄年中当国海部郡瑛峨岡ヨリ飛來鎮座ス、其濫暢ヲ尋ル
ニ当村有寺号西岸寺、元禄十五年壬午八月廿九日夜烈風暴
雨ノ時塩屋村ノ方海上ヨリ九光飛來リ同寺ノ側ニテ消滅ス、
村人怪ミ該寺ニ至ルニ人面三枚胡珠一顆有テ堂中燗灼タリ、
依テ昨夜ノ九光果シテコレナルヲ知り、尊信スルニ其応驗
如響隨声、且瑛峨ノ関ノ社司某來云、夜上関権現ノ神体此
地ニ飛來ス再ヒ上関ニ移シ奉ラント、村人諾セス官許ヲ得
西岸寺ノ境内ニ小社ヲ創建シ三社権現ト称ス、時ニ元禄十
五年壬午年六月十五日再來当村ニ蠲蕪ナシ

神殿 豎老間老尺 横老間

押殿 豎四間 横二間

境内 六拾坪 官有地第一種

氏子 七拾三戸

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字下神田

村社

山神社

祭神 大山祇神
由緒 不詳 明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 豎老間四尺五寸 横老間貳尺五寸

押殿 豎六間 横貳間老尺

渡殿 豎貳間 横老間

境内 百四拾三坪 官有地第一種

氏子 六拾貳戸

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字宮ノ本

村社

大歳社

歳神 大年神 御年神 若年神 大己貴神 奥津彦神

由緒 奥津彦神 豊受比売神 埴山比売神
不詳 明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 豎老間 横老間

押殿 豎三間三尺 横二間

境内 六拾八坪 官有地第一種

信徒 貳百拾五人

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字宮ノ本

無格社

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳

神殿 豎老間三尺五寸 横老間三尺五寸

押殿 豎四間五寸 横貳間老尺

境内 百三坪 官有地第一種

氏子 貳拾六戸

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字雲取

無格社

菅原社

祭神 菅原神

由緒 不詳

神殿 竪三尺 横三尺

押殿 竪一間 横一間

境内 五拾五坪 官有地第一種

信徒 貳百五拾八人

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字一之瀬

村社

八坂社

祭神 素戔鳴神 大己貴神

由緒 勸請延慶二己酉年月日不詳、明治四年辛未十二月村社三列

セラル

神殿 竪老間 横老間二尺

押殿 竪六間五尺 横二間

境内 七拾三坪 官有地第一種

境内神社 老社

三島社

祭神 大日本根子彦大瓊命 大日本根子彦 国彦命

大山祇神

由緒 吉松村常覚院境内地ノ西山林ニ鎮座ナルヲ明治十

年三月本社ニ移転ス

石祠 竪一尺、横一尺

氏子 三拾四戸

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字本谷

村社

山神社

祭神 大山祇神 麓山祇神 離山祇神 原山祇神

由緒 勸請年月日不詳、明治四年辛未十二月村社三列セラル

押殿 竪七間五尺 横二間

神饌殿 竪四間 横二間

境内 六百三坪 官有地第一種

境内神社 老社

井上社

祭神 大日靈貴神

由緒 吉松村字ホキ山鎮座ナルヲ明治十年三月本社ニ移

石祠 一尺 一尺二寸

氏子 九拾老戸

転ス

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字七郎

無格社

無格社

無格社

祭神 大山祇神 中山祇神 麓山祇神 正勝山祇神
麓山祇神 奥山祇神 關山祇神 原山祇神
戸山祇神

由緒

勸請年月日不詳

神殿 堅六間 横五尺

押殿 堅六間 横二間

境内 百拾五坪 民有地第一種

氏子 貳拾六戸

山神社

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字田口

無格社

黄船社

祭神 高麗神 雷神 岡象女神

由緒 慶長六年辛未年十二月十日ノ勸請

神殿 堅四尺 横三尺

押殿 堅二間三尺 横二間

境内 貳拾五坪 民有地第一種 持主後藤正照

境内神社 三社

岑平社

祭神 猿田彦神

由緒 吉松村字向鎮座ナルヲ明治十年三月本地ニ移転ス

勸請年月日不詳

石祠 六寸 九寸

加來社

祭神 武内宿祢神

由緒 吉松村字向鎮座ナルヲ明治十年三月本地ニ移転ス

勸請年月日不詳

石祠 七寸 七寸

産靈社

祭神 天御中主神 高皇産靈神 神皇彦靈神

由緒 吉松村字向鎮座ナルヲ明治十年三月本地ニ移転ス

勸請年月日不詳

石祠 九寸 九寸

信徒 百五十人

大分県管下豊後国東国東郡瀬戸田村字宮ノ本

郷社

八幡社

祭神 菅田別尊 武内宿祢神

由緒 兼龜元乙卯年十一月菅田別尊ヲ豊前國宇佐宮ヨリ、武内宿祢神ヲ筑後國高良玉垂社ヨリ勸請ス、依之宇佐神宮ヨリ細

男神事流鎮神事ヲ分移シ六月廿九日十月十一日行幸アリテ、

当安岐ノ郷ノ總社ナリ

神殿 堅二間 横卷間四尺

押殿 堅五間 横二間

神楽殿 堅五間 横二間二尺

御門廻棟門 長拾間 横二間

境内 七百九拾貳坪 官有地第一種

氏子 二百三拾五戸

大分県管下豊後国東国東郡瀬戸田村字伊勢ノ平

村社

大神社

- 一 祭神 天照皇大神 豊受大神 猿田彦神
- 一 由緒 不詳、明治六癸酉年村社二列セラリ
- 一 神殿 長三尺六寸 横三尺二寸
- 一 拝殿 長七間五尺 横二間
- 一 境内 四百四拾坪 官有地第一種
- 一 信徒 三百廿人

大分県管下豊後国東国東郡馬場村字政所

村社

熊野社

- 一 祭神 天照皇大神 伊佐那義命 熊野久須比神
- 一 由緒 人皇八十一代後鳥羽天皇御宇建久六年乙卯六月大友能直豊後下向之節、五百灘ニ於テ暴風激浪起リ、船舶既ニ転覆セントス時能直自紀州熊野神社ニ海上安全ノ祈願ヲナシ神明ノ加護ニテ危難ヲ免レ当安岐浦ニ着岸ス、依テ神恩ニ報ヒ奉ラント紀州熊野神社ヲ此地ニ勧請シ社領若干ヲ寄付ス
- 一 神殿 竪一間 横一間四尺
- 一 拝殿 竪三間七尺 横三間二尺
- 一 境内 六百七十四坪 官有地第一種
- 一 信徒 六百八拾人

大分県管下豊後国東国東郡馬場村字子ギテ

村社

八坂社

- 一 祭神 素戔鳴男神
- 一 由緒 寛永元年甲子月日不詳勧請
- 一 神殿 竪五尺 横四尺
- 一 拝殿 竪三尺 横二尺
- 一 境内坪数 百十七坪 官有地第一種
- 一 境内神社 五社
- 一 惠美須神
- 一 祭神 事代主命
- 一 由緒 不詳
- 一 石祠 七寸 一尺二寸
- 一 金刀比羅社
- 一 祭神 猿田比古大神
- 一 由緒 不詳
- 一 石祠 七寸 一尺二寸
- 一 稲荷社
- 一 祭神 宇賀魂神
- 一 由緒 不詳
- 一 石祠 八寸 一尺二寸
- 一 井峯社
- 一 祭神 蒼魂社尊
- 一 由緒 不詳
- 一 石祠 七寸 九寸

五十鈴社

祭神 大日靈神

由緒 不詳

石祠 六寸 七寸

六百八十人

大分県管下豊後国東国東郡馬場村字平

無格社

秋葉社

祭神 火産靈神

由緒 不詳

石祠 一尺五寸 二尺六寸

一 押殿 長四間 横二間

一 境内 貳拾坪 民有地第一種 村持山林ノ内

一 信徒 二百五拾人

大分県管下豊後国東国東郡下原村字宮ノ本

村社

賀茂社

祭神 賀茂武角見命 伊加古夜姫命 玉依姫命

加茂別當命 瓊々杵命 神日本磐余比古命

五十鈴姫命

一 由緒 人皇七拾四代鳥羽天皇御宇保安二年六月塩屋村下原村漁人

当浦ニ於テ漁ルニ網中青石五箇ヲ得ル、之ヲ海中ニ投棄シ

網代ヲ換ヘ漁ルニ復タ五青石ヲ得ル事三度ニ及ヒ漁人怪テ

携ヘ帰ル、即夜水口次郎右エ門ナル者夢ニ老翁告テ曰、汝

等得所ノ五青石ハ洛陽加茂ノ神靈也ト、依之村民職官ニ

請テ此地ニ勧誘ス、明治五年申村社ニ列セラル

長二間卷尺二寸、横三尺

一 神殿 長拾三間三尺、横貳間

一 押殿 長拾三間三尺、横貳間

一 境内 四百拾四坪 官有地第一種

境内神社 五社

惠美須神 祭神 八重事代主命 底筒男命 中筒男命 表筒男命

由緒 不詳

社殿 長一間五尺二寸 横六尺

八坂社 祭神 素戔嗚命

由緒 不詳

石社 七寸 一尺

金刀比羅社 祭神 猿田彦命

由緒 不詳

石社 七寸 一尺一寸

稻荷社 祭神 宇加魂神

由緒 不詳

石社 六寸 一尺四寸

生目社 祭神 平泉清靈神

由緒 不詳

石社 六寸 一尺四寸

生目社

祭神 平泉清靈神

由緒 不詳
石社 五寸 七寸
氏子 戸數 三百拾八戸

大分県管下豊後國東國東郡下原村字垣添

無格社

五十鈴社

一 祭神 大日靈貴神

一 由緒 不詳

一 拝殿 長三間 横二間

一 境内 三百拾老坪 官有地第一種

一 境内神社 一社

貴船社

祭神 高麗神

由緒 不詳

石祠 竪一尺二寸 横一尺五寸

一 信徒 五拾人

大分県管下豊後國東國東郡下原村字天守

無格社

天満社

一 祭神 菅原神

一 由緒

寛延二年己巳九月廿五日当村庄屋足柄久右衛門為村中守護
旧城趾天守台ニ勧請ス、当時松苗數拾本ヲ植附即今現存シ
テ大サ數圍アリ、旧古城村ノ氏神ナリ元來石祠ナリシカ、

明治十四年辛巳八月神殿ヲ造営ス

一 神殿 竪四尺五寸 横一間

一 拝殿 竪一間五尺 横四間老尺

一 境内 三百三拾七坪 官有地第一種

一 信徒 百三拾七人

一 神官 岸山清貞

大分県管下豊後國東國東郡中國村字モリ田

村社

大歳神社

一 祭神 大歳神 御年神 奥津姫神 若年神 奥津彦神

一 由緒 大巳貴神

人皇四十八代称徳天皇御宇神護景靈元丁末年此社地樹林タ
リシニ、赫々タル光明ヲ発ス村民怪ミ神籤ヲ以占スルニ林
中神座ストアリ、故ニ林間ヲ搜索スルニ歳神社ノ三字ヲ彫
刻スル石アリタリト云爾

一 神殿 長老間五尺四寸 横老間二尺四寸

一 拝殿 長拾三間 横二間

一 境内 三百六拾六坪 官有地第一種

一 境内神社 老社

一 大歳神社

一 祭神 大歳神

一 由緒 不詳

一 社殿 竪老間 横老間二尺

一 氏子 百拾四戸

境内神社

金刀比羅 石祠 竪七寸五步 横一尺

稻荷社 竪九寸 横一尺

御浜社 竪七寸 横九寸

權現 竪七寸 横九寸

大分県管下豊後国東国東郡成久村字宮

村社

藏神社

祭神 大藏神

由緒 不詳、明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 長三間 横式間式尺

押殿 長八間 横式間

境内 四百六拾七坪 官有地第一種

氏子 六拾三戸

大分県管下豊後国東国東郡塩屋村字横谷

村社

天神社

祭神 皇彦靈尊

由緒 創立年月日不詳、明治辛未年社格確定村社トナル

神殿 長二間 横老間五尺

押殿 長四間 横二間

境内 七百一坪 官有地第一種

境内神社 六社

住吉社、蛭子社合殿

祭神 上簡男之尊 中簡男之尊 底簡男之尊 少彦名神

由緒 創立年月日不詳、従来当村字浜ニ鎮座明治十年三月十五日日本社境内ニ移転

社殿 長二間二尺 横一間四尺

金毘羅伽社

祭神 大物主命 伊邪那岐命

由緒 創立年月日不詳、当村字浜ニ鎮座明治十年三月十日日本社境内ニ移転

石祠 竪一尺五寸 横一尺五寸

磯神社

祭神 多岐津彦命 多岐津姫命

由緒 創立年月日不詳、当村字浜ニ鎮座明治十年三月十日日本社境内ニ移転

石祠 竪二尺 横二尺

八坂社

祭神 素戔鳴命

由緒 創立年月日不詳、当村字浜ニ鎮座明治十年三月十五日日本社境内ニ移転

石祠 竪三尺 横三尺

産靈社

祭神 皇産靈尊

由緒 創立年月日不詳、当村字白石ニ鎮座明治十年三月十五日日本社境内ニ移転

石祠 竪一尺 横一尺

八坂社

祭神 素戔嗚命

由緒 創立年月日不詳、古來本社境内ニ鎮座

石祠 竪一尺五寸 横一尺五寸

六百二十六人

二合ス

神殿 長卷間三尺二寸 横卷間卷尺七寸

押殿 長五間五尺 横二間

境内 百九拾八坪 官有地第一種

境内神社 三社

金刀毘羅社

大分県管下豊後国東郡塩屋村字原

無格社

熊野社

祭神 伊弉册尊 天照皇大神 熊野久須昆神

由緒 創立年月日不詳、明治十年三月十五日当村字横谷村境内ニ

移転ノ願許可ヲ得テ、同十二年六月十四日復旧ス

長一間二尺 横一間

長四間 横二間

境内 貳百三拾八坪 官有地第一種

信徒 六百廿六人

大分県管下豊後国東郡西本村字三反畑ノ上

村社

観社

祭神 素戔嗚尊 稲魂尊

由緒 養老四庚申年ノ創立ニシテ享保十二丙午年本村字明神山ニ

移転シ天明八戊申年復旧ス、明治四辛未年十月村社ニ定メ

ラル、古來旧安岐郷七社ト称スルニシテ今尚信仰厚シ、

稲魂尊姓古ヨリ字梅友山ニ鎮座ナリシヲ明治十年三月本社

二合ス

神殿 長卷間三尺二寸 横卷間卷尺七寸

押殿 長五間五尺 横二間

境内 百九拾八坪 官有地第一種

境内神社 三社

金刀毘羅社

大分県管下豊後国東郡下山口村字上鶴

無格社

熊野社

祭神 伊弉册尊 天照皇大神 熊野久須昆神

由緒 創立年月日不詳、明治十年三月十五日当村字横谷村境内ニ

移転ノ願許可ヲ得テ、同十二年六月十四日復旧ス

長一間二尺 横一間

長四間 横二間

境内 貳百三拾八坪 官有地第一種

信徒 六百廿六人

大分県管下豊後国東郡下山口村字上鶴

村社

観社

祭神 素戔嗚尊 稲魂尊

由緒 養老四庚申年ノ創立ニシテ享保十二丙午年本村字明神山ニ

移転シ天明八戊申年復旧ス、明治四辛未年十月村社ニ定メ

ラル、古來旧安岐郷七社ト称スルニシテ今尚信仰厚シ、

稲魂尊姓古ヨリ字梅友山ニ鎮座ナリシヲ明治十年三月本社

二合ス

神殿 長卷間三尺二寸 横卷間卷尺七寸

押殿 長五間五尺 横二間

境内 百九拾八坪 官有地第一種

境内神社 三社

金刀毘羅社

大分県管下豊後国東郡下山口村字上鶴

無格社

熊野社

祭神 伊弉册尊 天照皇大神 熊野久須昆神

由緒 創立年月日不詳、明治十年三月十五日当村字横谷村境内ニ

移転ノ願許可ヲ得テ、同十二年六月十四日復旧ス

長一間二尺 横一間

長四間 横二間

境内 貳百三拾八坪 官有地第一種

信徒 六百廿六人

大分県管下豊後国東郡下山口村字上鶴

村社

観社

祭神 素戔嗚尊 稲魂尊

由緒 養老四庚申年ノ創立ニシテ享保十二丙午年本村字明神山ニ

移転シ天明八戊申年復旧ス、明治四辛未年十月村社ニ定メ

ラル、古來旧安岐郷七社ト称スルニシテ今尚信仰厚シ、

稲魂尊姓古ヨリ字梅友山ニ鎮座ナリシヲ明治十年三月本社

二合ス

神殿 長卷間三尺二寸 横卷間卷尺七寸

押殿 長五間五尺 横二間

境内 百九拾八坪 官有地第一種

境内神社 三社

金刀毘羅社

大分県管下豊後国東郡下山口村字上鶴

無格社

熊野社

祭神 伊弉册尊 天照皇大神 熊野久須昆神

由緒 創立年月日不詳、明治十年三月十五日当村字横谷村境内ニ

移転ノ願許可ヲ得テ、同十二年六月十四日復旧ス

長一間二尺 横一間

長四間 横二間

境内 貳百三拾八坪 官有地第一種

信徒 六百廿六人

大分県管下豊後国東郡下山口村字上鶴

村社

観社

祭神 素戔嗚尊 稲魂尊

由緒 養老四庚申年ノ創立ニシテ享保十二丙午年本村字明神山ニ

移転シ天明八戊申年復旧ス、明治四辛未年十月村社ニ定メ

ラル、古來旧安岐郷七社ト称スルニシテ今尚信仰厚シ、

稲魂尊姓古ヨリ字梅友山ニ鎮座ナリシヲ明治十年三月本社

一 押殿 長七間 横貳間

一 境内 千四百三拾坪 官有地第一種

一 境内神社 七社

五十鈴社

祭神 大日靈貴神

由緒 不詳

社殿 長貳間、横壹間三尺

貴船社

祭神 高靈

由緒 不詳

石社 一尺 一尺五寸

多賀社

祭神 伊邪那岐命

由緒 不詳

石社

善神社

祭神 武内宿禰神

由緒 不詳

石社

天満社

祭神 菅原神

由緒 不詳

石社

春日社

祭神 健甕神 天兒屋根命 經津主神 比売神

由緒 不詳

石社 一尺三寸 一尺七寸

金毘羅社

祭神 大物主命

由緒 不詳

石社 七寸 九寸

一 氏子 三拾戸

大分県管下豊後國東國東郡下山口村字菩提寺

村社

八幡社

一 祭神 応神天皇 仲哀天皇 仁徳天皇 神功皇后

一 由緒 慶長十九年甲寅九月創立、其他不詳

一 神殿 長壹間四尺 横八尺六寸

一 押殿 長六間三尺 横貳間

一 境内 百九拾九坪 官有地第一種

一 境内神社 七社

天満社

祭神 菅原神

由緒 不詳

石社

秋葉社

祭神 若稲田比売命

由緒 不詳

石社 六寸 一尺

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳

石社 一尺 一尺八寸

金刀毘羅社

祭神 大物主命

由緒 不詳

石社 五寸 一尺

瓊伽社

祭神 伊邪那岐命

由緒 不詳

石社 六寸 五寸

生目社

祭神 平景清神靈

由緒 不詳

石社 五寸 八寸

稻荷社

祭神 稻魂尊

由緒 不詳

石社 六寸 七寸

五拾戸

一 氏子

大分県管下豊後国東国東郡下山口村字新瀬

村社

天満社

祭神 菅原神

由緒 享保九年甲辰正月創立、明治六年村社卜列セラ

神殿 長卷間四尺五寸 横卷間卷尺五寸

拜殿 長六間、横貳間

境内 貳百四拾九坪 官有地第一種

境内神社 六社

金刀毘羅社

祭神 大物主命

由緒 不詳

石祠 一尺 一尺二寸

金刀毘羅社

祭神 大物主命

由緒 不詳

石祠 七寸 一尺

金刀毘羅社

祭神 大物主命

由緒 不詳

石祠 八寸 一尺一寸

生目社

祭神 平景清神靈

由緒 不詳

石祠 六寸 八寸

山神社

祭神 大祇神

由緒 不詳

石祠 九寸 九寸

山神社

祭神 大抵神

由緒 不詳

石祠

氏子 六拾三戸 信徒二百九拾四人

大分県管下豊後国東郡山口村字樋村

村社

山神社

祭神 大山抵尊

由緒 宝永五年戊子四月創立、明治六年村社二列セラレ

神殿 長貳間 横壹間三尺

拝殿 長八間 横貳間

境内 三百六坪 官有地第一種

境内神社 四社

黄船社

祭神 高竈

由緒 不詳

社殿 長壹間、横壹間

稲荷社

祭神 倉稻魂命

由緒 不詳

石祠 五寸 一尺四寸

山神社

祭神 大山抵神

由緒 不詳

石祠 一尺一寸 一尺五寸

生目社

祭神 平泉清神靈

由緒 不詳

石祠 九寸 一尺二寸

氏子 百三拾七戸

大分県管下豊後国東郡山口村字馬渡

無格社

山神社

祭神 大山抵尊

由緒 不詳

神殿 長壹間 横四尺

拝殿 長五間 横壹間三尺六寸

境内 貳百五拾九坪 官有地第一種

境内神社 二社

賀来社

祭神 武内宿祢神

由緒 不詳

石社 七寸 九寸

權現社

祭神 素戔鳴尊

由緒 不詳

石社 一尺四寸 一尺六寸
氏子 二十八戸 信徒百三十拾老人

大分県管下豊後国東国東郡大添村字宮ノ原
村社

八幡社

— 祭神 応神天皇
— 由緒 享保二丁酉年三月創立
— 神殿 長老間三尺 横老間三尺
— 押殿 長七間 横貳間
— 境内 七百三十三坪 官有地第一種
— 境内神社 六社

善神王社

祭神 武内宿祢神

由緒 不詳

石祠 一尺三寸 一尺八寸

金毘羅社

祭神 大物主命

由緒 不詳

石祠 一尺 一尺二寸

稲荷社

祭神 稲魂神

由緒 不詳

石祠 一尺 一尺二寸

天満社

祭神 菅原神

由緒 不詳

石祠 一尺一寸 一尺六寸

八幡社

祭神 応神天皇

由緒 不詳

石祠 一尺四寸 二尺

権現社

祭神 素戔鳴尊

由緒 不詳

石祠 一尺 一尺

八拾戸

— 氏子

大分県管下豊後国東国東郡大添村字妙見

無格社

産靈社

— 祭神 皇産靈尊

— 由緒 不詳

— 神殿 長貳尺七寸 横貳尺老寸

— 押殿 長貳間、横老間三尺

— 境内 四百四拾坪 官有地第一種

— 信徒 三百六拾八人

大分県管下豊後国東国東郡横城村字大將軍

村社

八幡社

一 祭神 氣長足姫命 足仲彦命 菅田別命

一 由緒

養老六壬戌年ノ創立、明治四辛未年十月村社ニ定メラル、往古ヨリ旧安岐郷ノ七社ト称シ 郷中人民特ニ崇敬ノ一ナリ、且西本全村横城村ノ内荒巻ノ氏神ト称シ来リシニ、御繼爾爾來兩社ノ氏子タルヲ得ス依テ今信徒トス

一 神殿 長老間三尺二寸 横老間一尺七寸

一 押殿 長四間五尺 横二間二尺

一 境内 八百七拾四坪 官有地第一種

一 信徒 四百三人

大分県管下豊後国東郡横城村字立ヶ鼻

無格社

日吉社 妙見社

一 祭神 天御中主神 高皇靈神 神皇產靈神 伊弉諾尊

伊弉册尊 大山咋命 天照大御神 大物主命

大山祇神

一 由緒

養老二戊午年創立尔來本村ノ氏神ト崇敬スト雖、六社大權現ト称シ天台宗東光寺奉仕シ仏像神体トナシ祭神不詳ヲ以テ村社ニモ列セラレス、自然埋埋ニ至ラン事ヲ憂ヒ願ニ依リ明治七年三月廿一日官許ヲ得社号ヲ日吉社ト改称シ、祭神ヲ産靈ノ三神諾册ノ二神大山咋命ニ改正シ村社ニ列セラレントヲ願達中ナリ、明治十年四月字山ノ神鎮座大山祇命字堂ノ後鎮座同神字松本鎮座天照大御神大物主命字堂山座靈社等ノ本社ニ合祀ス

一 神殿

一 押殿 長老間二尺 横五尺五寸

一 境内 五百老坪 官有地第一種

一 信徒 百九拾六人

大分県管下豊後国東郡奈多村字龜山

泉社 宇佐神宮摂社

八幡社

一 祭神 応神天皇 一ノ御殿 比売大神 二ノ御殿

神功皇后 三ノ御殿

一 由緒

抑当社ハ応神天皇筑紫巡狩ノ時比売大神ノ古例ニ効ヒ、伊予国御机ヨリ航海シ給ヒ行宮ノ地ナルヲ以テ万民特ニ尊敬シ、其宮殿ヲ再建シ神在カ如クスル事久シク遂ニ聖武天皇ノ敷聞ニ達シ、天皇深ク神徳ノ柄駕タルヲ敬感坐マシ宇佐宿禰公基ニ勅シテ更ニ宮殿ヲ遺宮シ、天平元己巳年鎮座成リ、祭祈創ル天平神護元乙巳年閏十月八日ノ宣旨ニ依テ四年ニ一度宇佐行幸アリ弘仁八丁酉年ヨリ六年ニ一度トナル、寛正二辛巳年ヨリ諸邦兵乱ニ依テ遷転セシヲ元和二丙辰年国守細川越中守忠興修行ス其後亦絶タリ、是天皇在世ニ当宮ヨリ宇佐ニ行幸巡狩シ給ヒテ還幸ノ式ナリト天平元年宇佐公基始テ任大宮司叙從四位永延二戊子年公基孫国基任從四位侍從尔來從四位ヲ以テ家例トス、城ヲ奈多ニ築キ居之因テ奈多ヲ以テ氏トス、天正十五年丁亥八月五日奈多大膳大夫鎮基卒シ家滅フ、天平元年ヨリ八百五十九年ニシテ奈多氏断絶ス、又一條天皇八幡大神ノ徳光ヲ仰クノ地ハ許多

- 神殿 長三間二尺老寸 横三間老尺五寸
- 渡殿 長二間二寸 横老間二尺二寸
- 押殿 長三間老尺 横二間七寸
- 樓門 方貳間五寸
- 回廊 南回廊長五間老尺 横二間五寸
北回廊長三間五寸 横二間五寸
- 神庭 長三間 横二間
- 神饌殿 長四間三尺 横三間老尺八寸
- 衛土屋 長三間 横二間老尺八寸

アリト雖、奈多宮ハ八幡大神ノ在世ニ始リ事皆實踐ヲ以テシテ、初中後此大廟ノ最上タルヲ敬感坐マシ、永延二戊子年日本最上八幡初中後唐ノ十字ノ宸筆ヲ奉ラン、建久年中大友氏豊後国守護職トナリ特ニ当社ヲ崇敬シ神領若干ヲ寄附シ大ニ殿宇ヲ建立シ社屬國中ニ冠タリ、天正年中大宮司奈多家滅亡以後神領ハ豊臣大關ニ没収セラレ年中ノ祭典モ絶タリ、就中慶長元年七月九日海嘯ニヨリ殿宇尽ク、海潮ニ流壞セルヲ元和二年ニ至リ、參議宰相細川越中守忠興神領ヲ寄附シ中絶ノ祭典ヲ興シ、寛永四年社殿造営セラルル其後領主小笠原氏松平氏特別ノ崇敬ニテ、神領ヲ寄附シ殿宇ヲ修繕シ祭典ノ資費ヲ奉ラル、往昔年中ノ祭典七十四度ナリシモ天正ノ兵乱ヨリ廃典トナリシヲ、細川氏再興以後節約シテ年中大中小札ノ祭典廿四度トナリシカ、明治二年己巳六月松平氏版圖奉還ニ付神領返上尙來年中僅ニ四度トナリシ明治五年申年十二月県社ニ定メラレシ、同十年内務省ヨリ宇佐宮撰社ニ被列タリ

- 境内 四千八百六拾五坪 官有地第一種
- 境内神社 十四社

若宮社

祭神 若宮 若姫 宇札姫 久札姫

由緒 不詳

神殿 長二間三尺 横二間老尺

磯神社

祭神 田心姫命 湍津姫命

由緒 創立本社二同シ明治十年本村字岡山ヨリ遷ス

石社

市杵社 市杵嶋姫命

由緒 創立本社二同シ明治十年本村字権田ヨリ遷ス

石社

産靈社

祭神 皇産靈神 菅原神 大山抵命 藥壺鳴尊

由緒 不詳、大山抵命素戔嗚尊ハ本社旧境内本宮ノ南一丁半距ノ山神社鎮座ナルヲ、明治十年当社合折ス

社殿 長二間、横老間老尺七寸

山造社

祭神 大山抵命 木祖神 彦狹知命 手置帆負命

由緒 創立不詳、本社ヨリ戊亥二方距ル七丁余ノ林中

宇山ノ中ニ有リシヲ明治十年移転ス、旧社地ハ天

石社

平元年本宮建立ノ始ノ地ナリ

稲荷社

祭神 倉稲魂神

由緒 明治十年本村字中ヨリ遷ス

石社

愛宕社

祭神 伊弉册尊 火産靈命

由緒 明治十年本村字荒平ヨリ遷ス

石社

妙見社

祭神 皇産靈神

由緒 明治十年本村字ユフ田ヨリ遷ス

石社

龍神社

祭神 大和多津見命

由緒 明治十年字トウゼンヨリ遷ス

石社

熊野社

祭神 伊弉册尊 奉解男尊 速玉男尊

由緒 明治十年字宮司ヨリ遷ス

石社

金刀毘羅社

祭神 大物主神

由緒 明治十年字六本木ヨリ遷ス

石社

蛭子社

祭神 少彦名神

由緒 明治十年字室屋ヨリ遷ス

石社

八阪社

祭神 素盞鳴尊

由緒 明治十年字平ノ上ヨリ遷ス

石社

諏訪社

祭神 健御名方神

由緒 明治十年字重珍ヨリ遷ス

石社

一 氏子

九百三拾老戸

大分県管下豊後国東郡狩宿村字向

村社

山神社

一 祭神

大山祇命 大年神 御年神 若神神

寛永九年癸申二年丹後国熊野郡庄松蔵村住人橋朝臣西垣

勝夫正吉檀那奉山御神社建立、右社頭大宮司藤原朝臣手島

助右衛門宗実此筆記豊前国宇佐郡比婆織部大神信遺書、其

後享保十三年戊申五月再建棟札アルノミ、明治六年村社ニ

列セラレ字神へ鎮座ノ処年数経過神殿等破壊ニ及ヒ殿宇模

様換再営セントスルモ社地嶮岨ニシテ建立スル能サルヲ以

テ明治十四年四月大分県庁へ上願、同年六月移転許可ヲ得

テ此地へ殿宇新築同年十月四日遷座ス

一 神殿 堅老間三尺 横貳間

一 押殿 堅貳間貳尺 横老間三尺

一 境内 九拾坪 官有地第二種

一 信徒 五百三拾七人

境内神社

八坂社 五寸 八寸

天満社 七寸 八寸

大日 六寸 七寸

陵神社 六寸 九寸

從來当所鎮座

字三塚鎮座

字神鎮座

祭神 豊受大神

祭神 八衢比古

八衢比売神

大分県管下豊後國東郡守江村字神場

村社

住吉社

一 祭神 底筒男命 中筒男命 表筒男命 神功皇后

一 由緒 貞享五年辰八月、木付城主松平重頼朝臣江高奉勳ノ節播州

明石灘ニテ颶風ニ遇シ船甚危険、於是城主親ラ住吉神ニ祈

願シ此難ヲシテ無事ナラシメル領内ニ一社設立永ク奉仕セ

ント、為ニ颶止ミ無事兵庫ニ着ス、巧子使ヲ馳セ左海住吉

神宮ニ分靈ヲ請イ元禄二年正月遷宮、蓋シ祭典等本社ノ旧

式ニ敬ヒ旧領主ヨリ之ヲ執行シ代々祈願ノ事アリタリ矣

一 神殿 長二間 横二間

一 押殿 長三間三尺 横二間

一 神供殿 長六間 横二間

一 境内 貳千五百四拾壹坪 但官有地第一種

一 信徒 二百七拾三人

大分県管下豊後國東郡守江村字王子

村社

八幡社

一 祭神 応神天皇

一 由緒 高橋六郎左エ門織田家ニツカエシ時、織田ノ族ノ為メ名ハ不

詳、四国ニ下リ当國灘手村ニ標着アリ、字佐八幡ニ主君ノ加

護ヲ祈禱穴左エ門ムメケ崎ノ不潔ヲ恐レ、天正四年九月八

日守江村嬖子立テ王子ニ御靈ヲ移ス、即今正保二年松平市

正源英親公木付ニ入城アリ、同五年木付城莊寅ノ神ト定メ

ラレ守江社地ノ助ニ矢継ノ幕ヲ下ラレ笹飯曾載セ祭ラレタ

リ

一 神殿 長二間 横老間半

一 押殿 長六間 横二間

一 神供殿 長二間 横老間半

一 境内 三百八拾八坪 但官有地第一種

一 信徒 三百八拾八人

境内神社

金刀比 一尺方

同 九寸 一尺一寸

大日 八寸 八寸

稲荷 一尺三寸 一尺八寸

大帯 一尺八寸 二尺三寸

貴船 七寸 六寸

大分県管下豊後国東国東郡守江村字天村

村社

八幡社

祭神 応神天皇

由緒 不詳、明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 長二間 横老間三尺

押殿 長四間三尺 横二間

境内 七百八拾八坪 但官有地第一種

信徒 二百七拾三人

大分県管下豊後国東国東郡守江村字小浦

村社

山神社

祭神 大山祇神

由緒 不詳、明治六癸酉年村社ニ列セラル

神殿 長老間一尺 横老間六寸

押殿 長二間三尺 横二間

境内 百七拾六坪 官有地第一種

信徒 七拾四人

大分県管下豊後国東国東郡守江村字末水

無格社

瀧手社

祭神 応神天皇

由緒 不詳

社殿 長二間三尺 横二間

押殿 長三間 横二間

境内 二百六拾坪 官有地第一種

信徒 六百八拾八人

大分県管下豊後国東国東郡大内村字貴松

無格社

貴松社

祭神 高靈神 大山祇命

由緒 不詳、大山祇命字山ノ神へ鎮坐ノ処、明治八年当社ニ合併

神殿 長貳間 横老間半三尺

押殿 長八間五尺 横貳間

境内 貳百坪 民有地第一種 民有藤ノ川分共有地

境内神社六社

金刀比羅社

祭神 多伎理姫命 多伎都姫命

由緒 是マテ字二田尾ニ鎮座ノ処去ル明治八年月日不詳

貴松社境内へ移転

石祠

善神王社

祭神 武内宿禰

由緒 是マテ字二田尾ニ鎮座ノ処去ル明治八年月日不詳

貴松社境内へ移転

石祠

彦山社

祭神 天津日根命

由緒 是マテ字二田尾ニ鎮座ノ処去ル明治八年月日不詳

貴松社境内へ移転

石祠

八坂社

祭神 素戔嗚命

由緒 是マテ字祇園ニ鎮座ノ処去ル明治八年月日不詳

境内へ移転

石祠

天満社

祭神 菅原道真公

由緒 是マテ字祇園ニ鎮座ノ処去ル明治八年月日不詳

境内へ移転

石祠

生目社

祭神 景清公

由緒 是マテ字朝霧ニ鎮座ノ処去ル明治八年月日不詳

境内へ移転

石祠

四百三拾四人

大分県管下豊後国東国東郡大内村字浜

無格社

天満社

祭神

菅原道真霊二柱 大山祇命

由緒 従来ノ沿革不詳、大山祇命宇山ノ神へ菅原道真公宇天神へ鎮座ノ処、去ル明治八年宇浜天神天満社へ合併鎮座同社神

拜殿共年数経過破損シ且社地不潔殊ニ不便ノ地ニシテ再當

難出来付、信徒協議ノ上明治十四年三月社地転換ノ儀大分

県庁へ上頭、同年四月許可ヲ得テ神殿及拜殿改宮同年十一

月廿五日本地へ遷座ス

神殿

横卷間三尺 横卷間四尺

拜殿

横七間 横七間

渡殿

横卷間三尺 横七間

境内

百八拾三坪 民有地第一種

境内金刀比羅社遙拜所

由緒 宇丸尾山へ建立ノ所去ル明治八年宇浜本社境内へ

移転アリシヲ、明治十四年十一月廿五日本社一間

移転ス

石祠

信徒

三百三拾三人

大分県管下豊後国東国東郡大内村字妙見

無格社

草場社

祭神

天ノ御中主神 大山祇命

由緒 宇山ノ神へ鎮座ノ処明治八年合併

長老間半 横卷間半

社殿

境内

四拾七坪

民有地第一種

境内

四拾七坪

民有地第一種

境内

四拾七坪

民有地第一種

境内

四拾七坪

民有地第一種

境内

四拾七坪

民有地第一種

境内

四拾七坪

民有地第一種

一 信徒 三百四拾七人

大分県管下豊後国東国東郡大内村字宮ノ脇

無格社

山神社

一 祭神 大山祇命 高禰神 多伎理姫命 素盞鳴命

座巢日神 多伎都姫命

一 由緒 不詳、素盞鳴命ハ字向畑へ高禰神ハ字ヤシキへ座巢日神ハ

字タ、ラ追へ金刀比羅社ハ字ナラノ木へ鎮座ノ処明治八年

不詳当社へ合併

一 神殿 堅貳間三尺 横貳間

一 境内 九拾四坪 民有地第一種

一 信徒 貳百四拾五人

大分県管下豊後国東国東郡大内村字広ヤシキ

無格社

山神社

一 祭神 大山祇命

一 由緒 不詳

一 神殿 長老間半三尺 横老間半三尺

一 境内 九拾六坪 民有地第一種

一 信徒 百五拾三人

IV 小社小堂資料

ここに収載した資料は、安岐町に所在する小社小堂の現地調査の記録である。これらは本調査の調査員であった堀内宜士氏による調査成果である。残念ながら、平成一三年度途中に堀内氏は奇病に遭われ現在も病床にある。そこで、氏の調査成果を新たに調査員となっていた中野昭純氏に補足していただき、今回掲載することとした。

また、現地調査の記録とともに、末尾には大分県公文書館所蔵の「豊後国境外仏堂明細帳」の関係部分も収めた。この記録は、明治政府による在地の寺社堂祠の整理をうけて作成されたものである。もとは明治一五（一八八二）年に作成されたが、その後の実地検査によって改訂を行い、明治一九（一八八六）年に完成したのが本史料である。この明細帳に掲載された仏堂は、果当局によって公認されたものである。在地にはさらに多くの仏堂が所在したが、その多くは廃堂・合祀された。しかし、書類上廃堂という形をとりつつ、実際には存続した仏堂も少なからずあり、果当局はその後も仏堂の整理徹底を宗教行政の一環として行っていた（明治時代の大分県社寺課旧蔵資料・大分県公文書館蔵）。

ここに収載するにあたっては、書式は原本の体裁を尊重したが、紙幅の都合から本尊および建物の規模の項目については一行にまとめ、所在地・大分県庁までの距離に関する項目は省略した。

△ 下原 ▽

1 大師堂（宇黒河原）

（堂宇）一間×一間

①石造弘法大師像（四三㎝）

※黒河原組が祀る。

2 大師堂（字本丸）

（堂宇）二間×二間

①木造如来立像（四〇㎝）、②石造弘法大師像（四五㎝）三軀、③石造弘

法大師像（三〇㎝）

（境内）

石灯籠 ①高一二五㎝、奉寄進／文政七申三月吉日 世話人茂助、②高

一二五㎝、奉寄進／文政十年丁亥三月廿一日／南無大師遍照金剛、庚申

塔 ①高一一五㎝、宝曆四甲戌天二月吉日 組中七人、②高八三㎝、文

政四巳／七月日、③高六二㎝ 無銘

※古城組が祀る。境内に五輪塔五基、一石五輪塔五基、五輪塔残欠三基

分がある。また、隣接して安岐城碑（明治三八年造立）がある。

3 大日様（字千人塚）

（押殿）五間×二間

向かって右から①石祠（七〇㎝、石仏 高一六㎝がある）、②石祠（八

六㎝、牛乗り大日像 高二四㎝がある）、文政六年 未二月吉日、③石

祠（七三㎝、石造地藏菩薩像 高二一㎝がある）、④石造役行者像（六

〇㎝）、⑤石造前鬼像（三〇㎝）、⑥石造後鬼像（三一㎝）、⑦石造十王像

(三七cm)一〇軀 ⑧石造地藏菩薩像(四一cm)、⑨石造狛犬(四八cm)、
⑩石灯籠(八四cm)「天保三辰季冬／浦下原講中」
(境内)

①石造地藏菩薩像 高二六cm、庚申塔 ①高九五cm、享保十七丙午年、
②高七八cm 無銘、③高八九cm 無銘、④高七〇cm 無銘、⑤高九〇cm
無銘、⑥高六二cm 無銘、⑦高七八cm 無銘
※脇田組が祀る。石祠周囲に一石五輪塔九基、五輪塔残欠一〇基分、墓
碑一基がある。

4 弘法堂(字ミナト)

(堂宇) 一間×一間
①木造弘法大師坐像(四五cm)
※脇田組が祀る。

5 阿弥陀堂(字ホキ)

(堂宇) 一間×一間
①木造阿弥陀如来像(九〇cm)
※個人が祀る。

6 山神社(字ミナト)

(拜殿) 三間×二間
鳥居 「願主山本茂七／天保五年堂棟石衛門 山本幸助 山本五右衛門」、
石灯籠 高一九九cm「奉明／天保五甲午天中冬／福力屋富助 福力屋龍
之助 当邑氏子中」
※迫組が祀る。

7 虚空蔵様(字宝蔵寺)

(堂宇) 一三五cm×二八cm ブロック造
①石造虚空蔵菩薩像(二六cm)、②石造地藏菩薩像(四六cm)、③石造弘
法大師像(五三cm)
※脇田組が祀る。十王石殿残欠がある。

8 大師石祠(字安田)

①石造修業大師立像(一一五cm)、②石造馬頭観音像(四四cm)、③石造
不動明王像、④石造願入弘法大師像(二三cm・二七cm)

9 弘法石祠(字吉永)

①石造弘法大師坐像(三三三cm)
※吉永組が祀る。

10 福地観音堂(字福地)

(堂宇) 二間×二間
①石造馬頭観音像(五九cm)、②木造薬師如来坐像(三四cm)、③木造地
藏菩薩立像(九一cm)、④石造弘法大師像(四七cm)「安政四丁巳年／正
月吉日」
※福地組が祀る。

△ 塩屋 ▽

11 弘法石祠(字川原)

①石造弘法大師坐像(三三〇cm)
※塩屋新町が祀る。

12 龍神堂(字ハマ)

(堂宇) 一間×一間

※龍神骨片を祀るといふ。

13 真乘院跡(字白石上)

①石造弘法大師坐像(五〇cm余・二七cm余)、②木造不動明王立像(七〇cm余)、③木造不動明王立像(三二cm余)

※現在は個人宅になっている。

14 観音堂(心月寺境内)

(堂宇) 二間×二間

①木造観音菩薩像(四七cm)、②木造観音菩薩像(四九cm)、③木造祖師坐像(三三〇cm)

15 弘法石祠(字横谷)

①石造弘法大師坐像(四〇cm)

※原組が祀る。

16 塔尾観音堂(杵築市)

(堂宇) 一間×一間

①石造観音坐像(三六cm)、②石造弘法大師坐像(三三〇cm)
※原組と杵築市横城が祀る。

17 大師堂(字荒巻)

(堂宇) 一間×一間

①石造弘法大師坐像(四〇cm)

※荒巻組が祀る。

△ 馬場 ▽

18 大師堂(下馬場公民館)

①木造薬師如来坐像(三三〇cm)、②石造阿弥陀如来坐像(四五cm)、③石造弘法大師坐像(三五cm)、④石造観音坐像(五〇cm)、⑤石造地藏菩薩坐像(三六cm)、⑥木造阿弥陀三尊像(三〇cm・脇侍立像二五cm)
※周辺の仏像を集めたもの。中村組が祀る。

19 穴観音(字子ギテ)

①石造観音菩薩像(四七cm)

※横穴式石室内にある。中に一石五輪塔四基、五輪塔残欠二基分、外に五輪塔一基、石灯笼残欠一基分がある。

20 愛宕堂(字子ギテ)

(堂宇) 一間×一間

①石塔(一六二cm)

(境内)

石灯笼 ①高一〇二cm、奉納/明治三十七年/卯十一月吉日/願主下原村松村長太郎、②高一一四cm、奉納/明治三十七年/卯月吉日

※境内に一石五輪塔一基、五輪塔残欠四基分がある。

21 大師堂(字マツタケ)

(堂宇) 二間×二間

- ①石造観音菩薩立像(七六cm)、②石造威徳明王像(六〇cm)、③石造牛乘大日像(四四cm)、④石造弘法大師坐像(五二cm)、⑤石造弘法大師坐像(三九cm)六軀、⑥石造地藏菩薩坐像(三八cm)

※平組が祀る。

22 観音堂(字マンドコロ)

(堂宇) 二間×一間半

- ①木造観音菩薩坐像(二九cm)、②石造地藏菩薩坐像(三六cm)、③石造弘法大師坐像(三三cm)、④石造牛乘大日像(二五cm)

※向須賀組が祀る。

23 釈迦堂(大権寺境内)

(堂宇) 二間半×二間

- ①木造釈迦立像(九一cm)、②木造十六羅漢坐像(四五cm余)一六軀、③木造目蓮迦葉立像(六五cm)、④木造晋公神坐像(三〇cm余)

△ 瀬戸田 ▽

24 大日堂(淨国寺境内)

(堂宇) 二間半×二間半

- ①石造地藏菩薩立像(一一五cm)、②石造菩薩坐像(五八cm)、③石造大日塔(七八cm)、④石造弘法大師坐像(五四cm)、⑤石造弘法大師坐像(四三cm)、⑥石造菩薩坐像(四六cm)、⑦石造菩薩坐像(四六cm)、⑧石造弘法大師坐像(四三cm)、⑨石造地藏菩薩坐像(三五cm)、⑩石造地藏菩薩立像(六〇cm)、⑪石造弘法大師坐像(四二cm)、⑫石造大日如来像(五〇cm)、⑬木造祖師坐像(三〇cm)

25 不動堂(字六ツ枝)

(堂宇) 一間半×一間半

- ①石造弘法大師坐像(二八cm)、②石造弘法大師坐像(二七cm)、③石造不動明王立像(九六cm)、④木造十一面観音立像(一一六cm)、⑤石造観音立像(二九cm)

(境内)

供養塔 高八〇cm「奉書写法華経一部金剛經一卷/享保十二丁未七月吉日/沙門瑞明」

26 宮地社(字レンガン)

(拜殿) 二間×一間

鳥居 「喜福成農 紀元二千五百六十三年九月/弘証有余 願主小野誠治 孝之介 石工川野金太、石灯籠 高二一六cm「常夜燈/奉納 明治卅六年十一月設立/世話人 当村是松 岡 佐藤 井上/石工 溝部 井上 高橋」

27 観音堂(實際寺境内)

(堂宇) 二間×二間

① 千手観音像、② 石造准貳観音坐像 (二〇〇cm)、③ 弘法大師像

28 地藏堂 (字 惠良)

(堂宇) 一間×一間

① 石造地藏菩薩坐像 (六五cm)、② 石造地藏菩薩坐像 (四五cm)、③ 石造弘法大師坐像 (四五cm)

※ 惠良組が祀る。

△ 西 本 △

29 梅友庵 (字 下西本)

① 金銅釈迦如来坐像 (二七cm)、② 石造弘法大師坐像 (三八cm)

(境内)

石灯籠 高一四五cm「奉寄進/文政十三寅三月廿一日/下総国相馬郡宮和田村宝心、石造地藏菩薩立像 高一三九cm 台座銘「万靈等/寛政九丁巳年正月吉祥日/願主本多氏 弁指山信、供養塔 ① 高七五cm「奉納西国三十三所為供養/寛延三庚午天/六月十一日」、② 高九〇cm「奉書写大乗妙典一字一石/宝永四丁亥天/西本玄右衛門/右者大親眷族須証菩提」、③ 高八七cm「奉供養大乗妙典六十六部/天下泰平 享保四己亥天/国土安全 正月吉祥日/西本村宝心拜」、④ 高一〇五cm「南無阿弥陀仏/文政十一戊子天六月二十二日/西方行者窓口」、⑤ 高八四cm「奉納大乗妙典日本廻国/宝永七庚寅天五月六日/当村門野屋敷利兵衛」、⑥ 高八七cm「奉納大乗妙典日本廻国供養/安永二癸巳年正月廿二日/施主西本村中 豊前願主教信」

30 大師様 (字 田中)

① 禪入石造弘法大師像 (三二cm)

※ 田中組が祀る。

31 覺安寺 (字 内迫)

(堂宇) 三間×三間

① 石造文殊菩薩像 (三六cm)、② 石造普賢菩薩像 (三〇cm)、③ 石造弘法大師坐像 (三〇cm)、④ 木造仏坐像 (一九cm)

※ 内迫組が祀る。

32 観音堂 (字 木野)

(堂宇) 一間半×三間

① 木造阿弥陀如来立像 (六三cm)、② 石造准貳観音像 (五〇cm)「明治式拾五年六月吉日/世話人嘉策」、③ 石造弘法大師坐像 (三九cm)

(境内)

供養塔 高一〇〇cm「大聖十一面觀世音大乗妙典供養塔/天保九戊戌年六月日/西本村斎藤祐助元幸」

※ 木野組が祀る。

33 木野弁天 (字 木野)

① 石造弁天磨崖石祠 (一一cm)、② 石造弘法大師像 (七七cm)

△ 中 園 ∨

34 法雲堂（字高原）

（堂宇）二間×二間

①石造観音菩薩像（四二〇cm）八八軀、②石造弘法大師坐像（三七cm）弘化五戊申三月、

（境内）

石灯籠 二基 高一三六cm 無銘、庚申塔 高一六cm、奉請背面金剛

講中敬白／享保六年巳天／十二月吉日、供養塔 ①高八九cm、奉供養大乗妙典六十六部／安永二癸巳八月吉日、施主中國邑俄閑造立之願主佐土為養仙、②高一二〇cm、三界万靈塔／享保十三戊申年／七月十日、

※高原組が祀る。境内には無縫塔一基・五輪塔三基・五輪塔残欠三基分、

石造十王像（欠損）一〇軀がある。

35 阿弥陀堂（字大道）

（堂宇）一間×一間

①木造阿弥陀如来立像（四一cm）、②石造准胝観音坐像（三三cm）、③石造弘法大師坐像（二七cm）

36 地藏堂（字大道）

（堂宇）一間半×二間

①石造地藏菩薩坐像（四三cm）、②石造弘法大師坐像（二七cm）

△ 成 久 ∨

37 大師堂（字大道）

（堂宇）一間半×二間

①石造地藏菩薩坐像（五二cm）、②石造地藏菩薩坐像（二二cm）※大道組が祀る。

38 地藏堂（字福園）

（堂宇）三間×二間

①石造地藏菩薩立像（四六cm）、②石造弘法大師坐像（二七cm）（境内）

供養塔 高九〇cm、奉納大乗妙典廻國供養塔／文政十一戊子十月二十九日／行者蜜字知伝首座

※ヒナタ組が祀る。

39 阿弥陀堂（字番畑）

（堂宇）二間×二間

①木造阿弥陀如来立像（八〇cm）、②石造弘法大師坐像（四五cm）二軀、③石造弘法大師坐像（四三cm）、④石造地藏菩薩坐像（四五cm）（境内）

供養塔 高九一cm、奉書金剛經一字一石口口／元禄十五年仲春初九日／相原大藏安昌、

※陰平組と原組が祀る。

40 毘沙門堂（字西山）

〔堂宇〕 二間×二間

①木造毘沙門天立像(七五cm)、②木造准胝觀音像(五三三cm)、③木造觀音坐像(三三三cm)、④木造焼仏七軀(六三三cm・二軀・四七cm・五三三cm・五九cm・七二cm・七六cm)

※現在の堂宇は平成七年に新築。もとは山中にあり廢絶した成久寺の諸仏を安置するといふ。

△吉松△

41 開山堂(字立中)

〔堂宇〕 一間×一間

①石造開山塔(一一六cm・台石四〇cm)、②石造薬師如来立像(九〇cm)
③木造阿弥陀如来立像(五〇cm)、④石造弘法大師像 二軀(四一cm・三二cm)、⑤石造十王像(三一cm)、⑥棟札「上棟開山御廟一字/天地長久弘化二己巳歲 極楽山西方院開山隱居地也而御廟/再建立地而新石垣馬場道刻シ直ニ御忌相勸也現実際寺美山曳誌之/因土安全 一月十二日/世話人 小侯為助 利行善兵衛 中嶋貞右衛門」

〔境内〕

石灯籠 高一四八cm 獻燈/安政六歲己未秋八月吉辰/小侯 為助 敏助、庚申塔 高一二二cm 宝曆七丁酉天正月廿八日、供養塔 高七五cm 三界万靈之塔、石幢 高八九cm 無銘
※ノ瀬組が祀る。

42 観音堂(字柿田)

〔堂宇〕 一間×一間

①木造観音坐像(三五cm)、②石造弘法大師坐像(四五cm)

〔境内〕

石灯籠 ①高一九九cm 奉書進石燈籠/宝永二乙酉天 後藤善兵衛/九月吉日、②高一八〇cm 獻燈/文化十一甲戌四月吉日/石工 岩屋村吉竹良右衛門、西園巡礼供養塔 高一五cm 南無観世音菩薩/奉供西園巡礼同行十六人/正徳二辰天三月日、庚申塔 ①高一三〇cm 享保元丙申歳/八月四日/後藤氏一家中敬白、②高一二五cm 無銘
※後藤一統で祀る。境内には五輪塔一六基と墓碑二基がある。

43 野々田観音堂(字柿田)

〔堂宇〕 一間×一間

①木造観音菩薩立像(六二cm)、②石造地藏菩薩坐像(六六cm)、③木造観音菩薩立像(五三cm)、④石造弘法大師像 二軀(三九cm・二二cm)、⑤石造観音菩薩坐像(四八cm)

〔境内〕

大乗妙典塔 高九〇cm 奉読誦大乗妙典一部/享保三戊戌天/十月二十四日、三界万靈塔 高九九cm 三界万靈/南無阿弥陀仏/享保十三戊申天正月十二日 野々田佐助

44 尾崎地藏堂(字地藏)

①木造観音菩薩立像(四三cm)、②石造地藏菩薩坐像(四九cm)、③石造弘法大師坐像(四〇cm)、④石造弘法大師坐像(五二cm)、⑤木造管公坐像(一八cm)

〔境内〕

西国巡礼供養塔 高一・二cm、奉納西国三拾三所願札／元文二丁巳歳／十二月三日／吉松村次兵衛 政三郎 弥介 助七 西本村 助右衛門 弥右衛門、石塔 高一・四cm、地藏菩薩靈廟／奉寄附 為石細工冥加白石久右衛門、墓碑 高一・七cm、南無阿弥陀仏 住光信士 心玉信士 常花信女／元禄七甲戌年七月八日 川野長兵衛建之。
※尾崎組が祀る。現在は公民館となっている。棟札五枚と折神札二枚がある。

45 観音堂(字ホクソ)

①陶製大日如来像(七〇cm)、②石造弘法大師坐像(四九cm)、③石造弘法大師坐像(三二cm)
※中村組が祀る。現在は公民館となっている。

46 七郎観音堂(字ユノ木)

(堂宇) 二間×二間

①木造観音菩薩坐像(五〇cm)、②木造毘沙門天立像(五三cm)、③木造將軍地藏菩薩坐像、④木造毘沙門天立像(二七cm)、⑤石造弘法大師坐像(三二・二九cm、四cm) 三軀、⑥木造閻魔大王坐像(七〇cm)

(境内)

庚申塔 ①高一四〇cm、元禄十五己巳／十一月十三日、②高一〇五cm 無銘、③高三〇cm、宝暦八庚寅天／二月吉日／願主□□、西国巡礼供養塔 高一三七cm、西国巡礼供養塔／寛延二己巳天／七月吉日 当村□□ □□ 伝七 同人妻

※七郎組が祀る。

△ 掛 樋 ▽

47 地藏堂(字小野)

①石造観音坐像(九二cm)、②石造地藏菩薩坐像(五二cm)、③石造牛乘大日如来像(五二cm)、④石造羅漢像(四二cm)、⑤石造弘法大師坐像(四九cm)

(境内)

石灯笼 高一八三cm、奉寄進 神徳光勝新／万延元年庚申六月吉日／世話人溝部和七 溝部周助、供養塔 ①高一・七cm、奉建立郷七社百日参塔／享保八卯天／六月初十日 願主 円心、②高一・三六cm、南無阿弥陀仏法界／渡辺小右衛門、③高八七cm、南無遍照大師金剛尊／元禄七甲戌天／六月廿一日／施主小右衛門、④高七七cm、郷七社百日詣供養塔／享保十年天／八月廿六日

※小野組が祀る。境内に五輪塔五基、宝塔一基、五輪塔残欠二基分、宝篋印塔残欠一基分がある。現在公民館となっている。

48 山神社(小野谷川)

(拝殿) 一間半×一間

鳥居 「山岳日茂生 小野藤原多治郎 石工掛樋小山田松造／神徳光座新 氏子中 明治十七甲申二月吉日、石灯笼 ①高一六八cm、奉寄進／享和元酉年／六月吉日 溝部俊二 又助 四良左衛門、②高一六八cm、奉寄進／享和元酉年／七月吉日 矢野順清 定右衛門 吉右衛門
※小野組が祀る。

49 岩屋堂(字岩屋)

〔堂宇〕一間半×一間

- ①石造大威徳明王(五〇cm)、②石造馬頭観音像(三七cm)、③石造馬頭観音像(六〇cm)、④石造地藏菩薩坐像(五六cm)、⑤石造弘法大師坐像(三九cm)、⑥石造観音菩薩立像(五七cm)、⑦石造観音菩薩坐像(六九cm)、⑧庚申塔(一一〇cm)寛延元年二月吉日

〔境内〕

石造修業大師像(二七〇cm)、石灯笼 高一七九cm、奉寄進/安永八亥十二月/掛樋邑施主八右衛門、供養塔 ①高一二二cm、念仏百万遍塔/合唱念仏者万法廻法 宝永二乙酉天正月十三日/依之益万返自他往生、②高一二二cm、奉説講法華部七部/宝永四丁亥天/二月廿三日、③高一三三cm、三界万靈塔/施主昌繁益庵信士/逆修造當也/元禄三庚午、④高五七cm、三界万靈塔、⑤高七七cm、奉書写大乗妙典一部供養塔/享保十己巳天/卒斐吉祥日/法名梅林溪雲/俗名布施是作

※寛下組が祀る。

50 虚空蔵様(字向野)

①石造虚空蔵菩薩(六二cm)

※石窟内にある。

51 城圍寺跡(字城圍)

〔堂宇〕一間半×一間半

①木造不動明王立像(五二cm)、②木造十二神持像(三三cm)一一櫃

〔境内〕

- 岩窟内 ①石造観音菩薩坐像(九九cm)、②石造弘法大師坐像(四二cm)、③石造地藏菩薩立像(四二cm)、④石造観音坐像(四四cm)、庚申塔 二

基①高一〇六cm「正徳四甲午/二月廿二日」、②高一〇五cm 無銘、石砌

高一二〇cm「奉寄山之神/文政八年/二月吉日」

※境内に宝塔四基、五輪塔八基、五輪塔残欠五基分、墓碑二基がある。

城圍組が祀る。

52 地藏堂(字成澄)

〔堂宇〕一間×一間

①石造地藏菩薩立像(一〇五cm)

※寛上組が祀る。境内に五輪塔七基、五輪塔残欠六基分がある。

△ 油 留 木 ▽

53 観音堂(字口ノ坪)

〔堂宇〕三間×二間

①木造観音菩薩立像、②石造観音菩薩坐像(三八cm)、③木造地藏菩薩立像(六九cm)、④石造弘法大師坐像(三四cm)、棟札「奉寄進下油留城村観音堂地藏弘法大師一字 為 敬白/為願主除災安樂/五段豊稔」

※下油留木分で祀る。境内に宝篋印塔一基、三連板碑一基、五輪塔六基、五輪塔残欠四基分がある。

54 不動堂(字下ヶ追)

〔堂宇〕三間×二間

①石造不動明王坐像(一五五cm)、棟札「不動山不動堂再建/文久三年/亥八月/大工阿子手永久末村 田辺仙右衛門」

〈境内〉

裏師堂 一間×一間 ①石造薬師如来坐像(七八cm)、②石造阿弥陀如来坐像(六〇cm)、③石造弘法大師坐像(五一cm)、④石造観音菩薩坐像(五五cm)、⑤石造弘法大師坐像(四九cm)

石祠 高一三三cm、当邑/施主喜輔、石祠前に石灯笼二基 ①高一〇五cm「奉献灯/当村喜助」、②高一〇五cm「奉献灯/当村新兵衛」

供養塔 高一一五cm「奉書写法華一部金剛經一卷/享保十五/七月日沙門口」、石灯笼 ①高一七五cm「献灯/明治廿六年旧十二月中旬/ユルキ渡辺吉平」

※上油留木分が祀る。五輪塔一〇基、石殿一基がある。

55 愛宕堂(字蜘蛛取)

〈堂宇〉 一間×一間

①木造将軍地藏菩薩坐像(三二四)、②木造仏坐像(二五cm)

※愛宕講(七軒)で祀る。

56 地藏堂(泉正寺境内)

〈堂宇〉 三間×二間半

①木造地藏菩薩立像(四九四)、②石造観音菩薩立像(二〇三四)、③石造観音菩薩像(四〇四)、④石造観音菩薩坐像(四〇四)、⑤木造弘法大師坐像(四〇四)、⑥石造弘法大師坐像(三八四)、棟札「奉再建地藏堂一字 氏子繁榮諸人快楽新口/親主天中天連陵傾仰声 明治廿參年

当山現住大勇代/哀愍衆生者我等今敬礼 寅旧八月吉日/当邑大工渡辺久右衛門 石工安倍元五郎/世話人茂倉柳太 大蔵松五郎」

57 地藏堂(泉正寺境内)

〈堂宇〉 一間×一間

①石造地藏菩薩坐像(二〇三三)、②石造地藏菩薩坐像(五六四)、③石造地藏菩薩立像(六八四)、④石造地藏菩薩立像(七〇四)、⑤石造地藏菩薩立像(七〇四)、⑥石造地藏菩薩立像(七〇四)、⑦石造地藏菩薩立像(七〇四)

△ 下山口 ▽

58 大師堂(字石ノ田)

〈堂宇〉 一間×一間

①石造如来坐像(二二四四)、②木造千手観音立像(三九四)、③木造不動明王立像(三二四)、④石造弘法大師坐像(三二四)

※下組が祀る。

59 行安観音堂(字南行安)

〈堂宇〉 二間×二間

①木造観音菩薩坐像(像高一八四)、②木造不動明王立像(七〇四)、③石造弘法大師坐像(四二四)「文化十一戊辰/京田 吉左衛門/親主今村友作」、④開口(径一七四) 無銘

※個人が祀る。

60 京田阿弥陀堂(字京田)

〈堂宇〉 二間×二間

①木造阿弥陀如来立像(九八cm)、②木造不明尊型立像(六〇cm)、③石造地藏菩薩立像(五八cm)、④石造弘法大師坐像(二八cm×二)二軀
※京田組が祀る。

61 堂棟(字菩提司)

(堂宇) 一間×一間

①石造観音菩薩像(四二cm)、②石造地藏菩薩像(三九cm)、③石造地藏菩薩立像(四三cm)、④石造弘法大師坐像(三九cm)

※個人が祀る。

62 地藏堂(字菩提司)

(堂宇) 一間×一間

①石造地藏菩薩立像(一一三三cm)

63 十王堂(浄泉寺境内)

(堂宇) 二間半×二間

①石造閻魔大王坐像(四八cm)、②石造十王像 右から上段(1)三三三cm、(2)三三三cm、(3)三三三cm、(4)三三三cm、下段(1)三三三cm、(2)三三三cm、(3)三三三cm、(4)三三三cm、(5)三三三cm、(6)三三三cm、③石造脱衣婆像(三四cm)、④石造青鬼(三三三cm)、⑤石造男像(三三三cm)、⑥石造女人像(二九cm)⑦石造赤鬼(三三三cm)、⑧石造人頭(一一一cm)、⑨石造弘法大師坐像(四六cm)

64 保正庵(字保正庵)

(堂宇) 三間×三間

①木造阿弥陀如来立像(四八cm)、②石造弘法大師坐像(三三四cm)、③木造地藏菩薩坐像(二四cm)、④石造観音菩薩立像(二〇cm)
(境内)

石造仁王像 二軀(高九〇cm) 無銘

※三郎丸組が祀る。境内に五輪塔二基、五輪塔残欠四基分がある。

65 走水観音堂(字走水)

(堂宇) 二間×一間半

①木造菩薩坐像(四三cm)、②石造十一面観音立像(七一cm)、③石造地藏菩薩坐像(六五cm)、④石造弘法大師坐像(三一cm)、⑤鰐口(径一七cm)「永水五戊子二月吉日/下山口 新六」

※三郎丸組が祀る。

△山口▽

66 阿弥陀堂(字ツツ井)

(堂宇) 一間半×一間半

①木造阿弥陀如来坐像(六八cm)、②石造弘法大師坐像(四六cm)、③石造薬師如来坐像(六二cm)

※会舞組が祀る。境内に五輪塔一基がある。

67 阿弥陀堂(字ツツ井)

①木造阿弥陀如来坐像(三三三cm)、②石造地藏菩薩立像(四三三cm)、③石造弘法大師坐像(三〇cm)

棟札「奉再造阿弥陀堂一字吉久ノ千時天保三壬辰三月八日ノ實際寺十一世大悟曼羅記之ノ安岐山口邑 施主阿部又助 高橋今右衛門ノ大工 棟七 仙助」(裏)「御領主松平河内守親良公ノ御代官渡辺近藏ノ庄屋辨田彦次郎 弁指吉田庄右衛門」

※もとは裏山にあった堂が倒壊したため、明治時代に仏像等を個人宅へ移した。

68 弘法様(字ノダ)

①石造弘法大師像(四二cm)、②石造観音菩薩像(七八cm)、③石造地藏龕(七二cm)

※皇宗組が祀る。

69 日鬮観音堂(字日鬮)

①石造文殊菩薩像(四八cm)、②石造弘法大師坐像(四五cm)、③石造弘法大師坐像(二八cm)

(境内)

庚申塔 ①高一五cm 無銘、②高一三三cm 無銘、③高八二cm、元文五庚申天ノ八月廿二日、④高七四cm、安政十二庚申歲十月吉日ノ施主木田十兵衛

現在公民館へ移転 庚申塔 高八〇cm、奉請庚申二世ノ元禄十四辛巳天正月七日ノ涼ノ口太郎 口口、供養塔 ①高一〇三cm、奉供養西国三十ヶ所ノ元文二丁巳天ノ正月吉日、②高一〇cm、大乗妙典一字一石日本廻國供養塔ノ天下和順 宝曆六丙子天正月吉日ノ国土安全 行者布施人口龍

※現在は公共施設に改築された。日鬮組が祀る。

70 馬渡観音堂(字シロキハ)

(堂宇)一間半×一間半

①石造観音菩薩立像(二〇〇cm)、②石造馬頭観音像(六二cm)、③石造弘法大師坐像(五三cm)、④石造観音菩薩坐像(三三cm)

※馬渡組が祀る。

△ 大 派 ▽

71 弘法様(字妙見)

(堂宇)ブロック造

①石造弘法大師坐像(三二cm)、②石造弘法大師坐像(二二八cm)

72 中西観音堂(字前ノ臈)

(堂宇)一間半×一間半

①石造観音菩薩坐像(四八cm)、②石造観音菩薩坐像(三九cm)、③石造地藏菩薩坐像(二四cm)、④石造地藏菩薩坐像(三五cm)

※谷組が祀る。

73 大師堂(字神田)

(堂宇)二間×二間

①石造地藏菩薩坐像(六九cm)、②石造地藏菩薩坐像(五五cm)、③木造如来立像(四〇cm)、④石造弘法大師坐像(四一cm)、⑤石造弘法大師坐像(四五cm)、⑥石造弘法大師坐像(二九cm)二軀、⑦石造地藏菩薩立像

※中西組が祀る。

74 雙宕堂 (字志村)

(堂宇) 八〇cm×五〇cm

①石造地藏菩薩坐像 (四三〇cm)

75 地藏堂 (字志村)

(堂宇) ブロック造

①石造地藏菩薩立像 (四〇〇cm)、②石造地藏菩薩坐像 (二七〇cm)、③石造

地藏菩薩坐像 (三六〇cm)

※俗にいば地藏とよばれる。

78 地藏堂 (桂徳寺境内)

(堂宇) 二間×二間

①石造地藏菩薩坐像 (像高五〇cm)、②石造十王坐像 (二一・一〇二五・

五cm) 一〇軀、③石造弘法大師坐像 (三七〇cm)、④木造弘法大師坐像 (四

〇cm)

※古庄一統が祀る。

79 地藏堂 (字狩滴)

①木造地藏菩薩立像 (二五八cm)、②木造十王像 (三八cm) 一軀、③石造

威徳明王 (四六cm)、④石造弘法大師像 (四六cm×二) 二軀

※現在は瑠璃光寺境内に移築。

△ 糸 永 △

76 十王堂 (字上杉山)

①石造虚空蔵坐像 (三〇〇cm)、②石造弘法大師坐像 (三五〇cm)、③木造閻

魔大王坐像 (四五cm)

※個人宅地に祀られる。

77 観音堂 (桂徳寺境内)

(堂宇) 二間×二間

①木造観音菩薩立像 (二二〇cm)、②石造馬頭観音坐像 (五五cm)、③石

造弘法大師坐像 (三六cm・四三cm・三四cm) 三軀

△ 富 清 △

80 西迎寺跡 (字孝田)

(堂宇)

①石造祠入地藏菩薩坐像 (二五cm)、②石造祠入地藏菩薩立像 (五五cm)、

③石造地藏菩薩坐像 (八一cm・台石四六cm)、④石造弘法大師坐像 (三〇

cm)、⑤石造地藏菩薩立像 (五八cm)

81 大師堂 (字加鏡)

(堂宇) 一間半×一間半

①石造弘法大師坐像 (九〇cm)

※陽平組が祀る。

82 地藏堂(字中山)

(堂宇) 三間×二間半

- ①石造延命地藏菩薩像(五五cm)、②石造延命地藏菩薩像(六〇cm)、③石造大日如来像(三三cm)、④石造馬頭観音像(三六cm)、⑤石造牛乘大日如来像(四六cm)、⑥石造弘法大師像(三二cm)二軀、⑦石造弘法大師像(二九cm)二軀

(境内)

庚申塔 高一三三cm、天明元辛丑年/七月吉日/世話人伝六 助左衛門

久右衛門 半助 長介 与平 又四郎

※陽平組が祀る。

83 地藏堂(西福寺境内)

(堂宇) 一間半×一間

- ①石造地藏菩薩立像(八五cm)、②木造十王坐像(五二cm)、③石造地藏菩薩像(三九cm)、④石造弘法大師像(二七cm)

△ 両子 √

84 小畑観音堂(字前)

(堂宇) 三間×三間

- ①木造観音菩薩立像(一七二cm)

※境内に五輪塔二基・石塔一基がある。小畑組が祀る。

85 工地藏堂(字岡)

(堂宇) 二間×三間

- ①木造地藏菩薩立像(六六cm)、②石造観音坐像(四〇cm)

※工組が祀る。

86 不動堂(字二郎丸ノ上)

(堂宇) 一間×一間

- ①石造不動明王像(五四cm)

※中分天満社境内にある。

87 阿弥陀堂(字二郎丸ノ上)

(堂宇) 一間半×一間半

- ①木造阿弥陀如来立像(九九cm)

※堂内に一石五輪塔一基がある。中分組が祀る。

88 徳代観音堂(字中ノ追)

(堂宇) 二間×二間

- ①木造観音菩薩立像(一一五cm)

※徳代組が祀る。

89 毘沙門堂(字上ノ追)

(堂宇) 二間×二間

- ①石造祠入威徳明王坐像(三五cm)、②石造祠入大日如来坐像(四〇cm)

(境内) 庚申塔 高一四五cm、享保十巳/三月吉日/願主林伊太郎 六三郎 清

三郎 作太郎 新藏 紀太郎 安藏 曾太郎 佐太郎 久二郎
※横峯組が祀る。本尊である木造毘沙門天像（一七〇cm）は両子寺が保管する。

90 地藏堂（字扠）

（堂宇）一間×一間

①木造地藏菩薩立像（七三cm）、②木造半跏坐地藏菩薩像（四六cm）

※弘祖が祀る。

91 大師堂（字久保殿）

（堂宇）二間×二間

①木造弘法大師坐像（三五cm）

※弘祖が祀る。

92 走水観音堂（字走水）

（堂宇）三間×二間

①十一面観音菩薩像（八〇cm）、②如意輪観音菩薩像（七一cm）、③石造弘法大師像（四〇cm）、④鋤口（径一五cm）、⑤宝永五戊子年二月吉日ノ下

山口村 新六

112 円寿院跡（字園田）

（堂宇）三間×三間

※建物は壊れており、仏像は所在しない。かつては下分が祀っていた。

113 知福院（字中屋敷）

（堂宇）二間×二間

①木造大日如来坐像（三九cm）、②木造観音菩薩立像（四一・五cm）、③木造不動明王立像（三七cm）、④木造大威徳明王像（六三cm）

※中分が祀る。

△ 山 浦 ▽

93 梁瀬十五堂（字今井ヶ平）

（堂宇）一間半×一間半

①石造地藏菩薩立像（九七cm）、②石造閻魔王像（六二cm）、③石造十王像（一）五五cm・（二）五六cm・（三）五二cm・（四）五二cm・（五）五五cm・（六）五一cm・（七）五三cm・（八）五四cm・（九）五二cm、④石造観音菩薩立像（六四cm）

※陰平組が祀る。

94 大師堂（字榎木田）

①石造如来立像（五九cm）、②石造弘法大師坐像（四九cm）

（境内）

①石造地藏菩薩立像（七二cm）、②石造弘法大師坐像（三七cm）、③石造馬頭観音像（六四cm）⑤石造牛乗り大日像（七六cm）

※四国五十四番とされる。小瀬原組が祀る。

95 地藏堂（字宮ノ本）

①石造地藏菩薩立像（五〇cm）、②石造地藏菩薩立像（六五cm）、③鋤口

(径一九〇) 無銘

(境内)

石灯籠 高一八九cm「奉寄進ノ享保十五庚戌年ノ七月吉日」、供養塔 ① 高七八cm、奉納大乘妙典六十六部日本通國ノ安永二癸巳年四月吉祥日ノ行者道徹」、②高八〇cm「南無觀世音菩薩ノ延享二乙丑天四月十一日」
※小瀬原組が祀る。

96 観音堂(宇井ノ上)

①木造観音菩薩坐像(三七cm)、②木造観音菩薩坐像(四二cm)、③石造地蔵菩薩坐像(三九cm)

※現在、堂宇は壊され、仏像は小瀬原地蔵堂に安置される。

97 十王堂(宇密樂院)

(堂宇) 一間半×一間半

①石造閻魔王像(五四cm)、②石造泰広王像(五一cm)、③石造十王像(一)五〇cm・(二)五三cm・(三)五三cm・(四)五四cm・(五)四四cm・(六)五二cm・(七)四二cm・(八)五二cm、④石造地蔵菩薩坐像(六六cm)

※密樂院組が祀る。

98 山神社(宇密樂院)

石灯籠 高九二cm「慈光ノ文政十己天ノ二月吉日ノ当村 紀口 良藏」
※密樂院組が祀る。

99 愛宕堂(宇釘尾)

(堂宇) 二間×二間

①木造地蔵菩薩坐像(五〇cm)

100 阿弥陀堂(宇釘尾)

(堂宇) 二間×二間

①木造如来坐像(七〇cm)、②石造弘法大師像(二七cm)
※釘尾組が祀る。棟札六点がのこる。

101 橋上観音堂(宇西)

(堂宇) 二間×二間

①木造観音菩薩像(二六〇cm)

※境内に五輪塔五基・一石五輪塔三基・五輪塔残欠五基分がある。橋上組が祀る。

△ 矢川 △

102 仏野観音堂(宇新運)

(堂宇) 二間×二間

①木造観音菩薩立像(一〇三cm)、②石造弘法大師坐像(三五cm)二軀、③石造十王像(三二cm・三九cm)、④木造観音菩薩立像(二〇cm余)

(境内)

石遣仁王像 二軀(一一八cm) 無銘、庚申塔 高九八cm 無銘、供養塔 高一四四cm「法華一字一石ノ鎌六ノ口」

※仏野組が祀る。境内に五輪塔一六基、五輪塔残欠九基分、墓碑三基が

ある。

103 長瀬観音堂(宇長瀬)

(堂宇) 一間半×一間半

①石造馬頭観音像(三七〇cm)、②石造大日如来坐像(四二cm)、③木造地藏菩薩像(四〇cm)

(境内)

庚申塔 高一・五cm「文化甲子天ノ十二月吉日ノ組中志」

※長瀬組が祀る。

104 中ノ川観音堂(宇屋敷)

(堂宇) 二間×一間半

①木造観音菩薩立像(一一六cm)、②石造如来坐像(三四cm)、③石造地藏菩薩坐像(三三cm)、④隨身像(四三cm)二軀

※中の川組が祀る。隣接して、宝篋印塔一基・板碑二基がある。

105 中ノ川薬師堂(宇屋敷)

(堂宇) 二間×二間

①木造薬師如来坐像(五四cm)、②石造弘法大師坐像(四四cm)、③石造弘法大師坐像(六三cm)③鑿口(径一九cm)「九州豊後国崎郡中ノ川村ノ元禄十三庚辰歲 九月吉祥日ノ川野善助」

※個人が祀る。

106 玉林寺跡(宇中之迫)

(堂宇) 三間×三間

①木造観音菩薩立像(二七〇cm)

(境内)

石造弘法大師像(石祠入) 高三五cm 祠銘「文政三庚 九月吉日」

※境内に五輪塔一基がある。

△ 朝 来 △

107 宝寿院(宇小屋光)

(堂宇) 一間半×一間半

①木造如来坐像(七四cm)、②木造不動明王立像(九〇cm)、③木造祖師坐像(五〇cm)

108 観音堂(宇宮原)

(堂宇) 一間×一間

①木造観音菩薩坐像(三二cm)、②石造弘法大師像(三一cm・一一cm)二軀

※倉掛集落で祀る。

109 薬師様(宇上油原)

①石造薬師如来像(三五cm)、②石造弘法大師像(四三cm)、③石造薬師如来像(四〇cm)

※油原組が祀る。以前は堂宇があった。

110 観音堂(宇松ケ木)

〔堂宇〕 一間×一間

①木造観音菩薩立像(二五〇cm)、②木造童子立像(三五cm)

〔境内〕

庚申塔 高一五五cm、奉教待青面金剛講一結束二世安樂所ノ寛文十二壬子天ノ閏六月十七日ノ秋吉茂太夫

111 観音堂(字陣ノ内)

〔堂宇〕 一間×一間

①木造観音菩薩立像(六三cm)、②石造地藏菩薩立像(五七cm)

〔境内〕

庚申塔 高一〇五cm「元禄六年ノ十一月日」

※個人が祀る。

112 弘法堂(字一ツ鏡)

〔堂宇〕 三間×二間

①石造弘法大師坐像 一七軀(三五cm、七〇cm)

※中村組が祀る。

113 堂様(字寺野)

〔堂宇〕 一間×一間

①石造地藏菩薩坐像(七七cm)、②石造地藏菩薩坐像(五九cm)

〔境内〕

庚申塔 高一四〇cm、宝永元年ノ十一月廿四日ノ三助 清四郎 仁介
新六 与介

※寺野組が祀る。

114 平原地蔵堂(字平原)

〔堂宇〕 ブロック造

①木造地藏菩薩坐像(四二cm)

※平原組が祀る。

115 追地藏堂(字京穂)

〔堂宇〕 ブロック造

①石造地藏菩薩坐像(五〇cm)、②石造十王坐像(四八cm×二)二軀、③石造伽藍神(四三cm)、④石造薬師如来立像(六二cm)、⑤木造地藏菩薩坐像(三七cm)

※京穂組が祀る。

116 中原観音堂(字中原)

〔堂宇〕 一間×一間

①木造観音菩薩坐像(五八cm)、②石造弘法大師坐像(二六cm)

〔境内〕

供養塔 高九七cm、日本廻国供養塔ノ安永七戊戌天ノ十一月吉祥日ノ施主村長亦左衛門ノ願主新藏亦助

※中原組が祀る。

117 木馬寺跡(字鳥越)

①石造牛乘大日坐像(五四cm)、②供養塔 高一五二cm「草創仁開大土藏国寺古達道空庵ノ開山伝伝 祖心和尚ノ二祖密伝 祖灯大和尚」

△ 明治 ▽

118 愛宕堂 (宇中國)

(堂宇) 一間半×一間半

- ①石造地藏菩薩坐像(五五cm)、②石造觀音菩薩像(三〇cm)、③石造地藏菩薩像(二九cm)

(境内)

庚申塔 高一五五cm 無銘

※中國組が祀る。

119 阿弥陀堂 (宇岩詰)

(堂宇) 二間×二間

- ①木造如来坐像(六三cm)、②木造觀音菩薩立像(五四cm)、③木造如来立像(三七cm)、④石造地藏菩薩坐像(二六cm)

※岩詰組が祀る。

120 柚ノ木観音堂 (宇柚ノ木)

(堂宇) 二間×二間

- ①木造觀音菩薩像(五二cm)、②石造地藏菩薩像(九〇cm)、③木造十王像五軀(四〇cm)、④石造弘法大師像二軀(四九cm・三一cm)

※柚ノ木組が祀る。現在は倒壊している。

121 寺園観音堂 (宇宮ノ平)

(堂宇) 九〇cm×七〇cm

- ①木造如来坐像(六〇cm)、②木造如来坐像(六〇cm)

122 吉行観音堂 (宇吉行)

(堂宇) 二間×二間

- ①石造馬頭観音像(四〇cm)、②石造准胝観音像(四五cm)、③石造弘法大師坐像(三一cm)、④石造不動明王立像(六六cm)、⑤石造弘法大師坐像(二八cm)、⑥石造如来立像(六三cm)、⑦石造不動明王立像(六五cm)、⑧石造地藏菩薩立像(六二cm)、⑨石造地藏菩薩立像(四二cm)

⑩石造不動明王立像(三一cm)
※吉行組が祀る。

123 金剛院観音堂 (宇金剛院)

(堂宇) 二間×二間

- ①木造觀音菩薩立像(一四二cm)
※境内に板神一基がある。

124 旭堂 (宇切畑)

(堂宇) 一間半×一間

- ①木造阿弥陀如来坐像(四九cm)、②木造勢至菩薩像(二二cm)、③木造觀世音菩薩像(二七cm)、④木造地藏菩薩像(五六cm)
※切畑組が祀る。

125 紺屋地藏堂 (宇紺屋)

(堂宇) 三間×一間半

- ①石造地藏菩薩像(五八cm)、②石造弘法大師像(三五cm)、③鋸口(徑

一七〇 奉寄進御宝前／安永八年戊三月吉日／中野村財前氏子中

（境内）

石灯笼 ①高一五六cm、奉寄進 石燈籠一基／享保八癸卯年／正月吉祥日／諸田村、②高一五六cm、奉神燈 石燈籠／天明六壬辰三月吉日／願主 当村勝平、③高一五六cm、奉寄進 石燈籠／文化三年寅二月、供養塔 高六〇cm、南無阿弥陀仏 大衆妙典一、字一石／元文三戊午天九月吉日／享保十三庚戌天九月吉日／財前氏次郎兵衛安信 諸田村石工 次兵衛

※紺屋組が祀る。

126 市ノ尾観音堂（字市ノ尾）

（堂宇）二間×一間半

①木造観音菩薩立像（八〇cm）、②木造阿弥陀如来立像（七八cm）、③石造地藏菩薩坐像（三四cm）、④石造普賢菩薩像（三七cm）、⑤木造千手観音菩薩立像（二五cm）

（境内）

庚申塔 高一四六cm、明和八年／卯月吉日、供養塔 高四六cm、大衆妙典 日本回国供養塔／安政己酉天十月吉日／願主玄心

※市ノ尾組が祀る。

127 弥勒堂（字中畑）

（堂宇）

①木造弥勒菩薩坐像（五三cm）、②木造阿弥陀如来坐像、③鋤口（径二五cm）奉掛御仏前／願主当村重兵衛／安永二癸巳年三月

（境内）

庚申塔 高一〇〇cm 無銘

※中畑組が祀る。

128 愛宕堂（字大坪）

（堂宇）一間半×一間半

①木造地藏菩薩像、②木造不動明王立像

（境内）

庚申塔 高一四〇cm 無銘、供養塔 高一〇〇cm、奉唱念仏百万遍 神力院義伝供養塔／于時享保廿乙卯歳 现住大荒坊／寒露月下旬第七回忌 菩提也

※諸田下組が祀る。

129 観音寺（字寺田）

（堂宇）八m×八m

①木造千手観音菩薩坐像（二七五cm）、②石造地藏菩薩坐像（四五cm）③木造毘沙門天立像（八三cm）、④木造不動明王立像（六二cm）

（境内）

無縫塔 三基、石殿 總高二四五cm、宝篋印塔 二基、石灯笼 ①高一四六cm、奉寄進燈籠兩器／享保八癸卯天四月吉祥日／願主当村住三浦仁右衛門啓白、②高一四六cm、奉寄進燈籠兩基／享保八癸卯天四月吉祥日／願主当村住三浦仁右衛門義浄、③高一四八cm、奉寄進燈籠兩器／享保八癸卯天仲夏吉祥日／施主当村住堀助兵衛、④高一五五cm、奉寄進燈籠一基／享保八癸卯天四月吉祥日／願主当村堀助兵衛啓白、

130 杉園菜師堂（字尾園）

（堂宇）一間半×一間半

①石造薬師如来像（三〇cm）、②石造如来像（三五cm）、③木造弘法大師坐像（三〇cm）、④木造威徳明王坐像（六〇cm）

（境内）

①石造阿弥陀如来像（五〇cm）、②石造菩薩像（五六cm）、④石造菩薩像

（七六cm）、⑤石造地藏菩薩坐像（四五cm）、⑥石造弘法大師像（三〇cm）、

⑦石祠（六四cm）、

庚申塔 高一三五cm、享保四己亥年／十二月廿一日／茂助 又七 久平

藤七 紋七 次良平 久助

※上組が祀る。境内に宝篋印塔一基・墓碑一基がある。

131 大吉堂（宇尾園）

（堂宇）ブロック造

①石造仏像（五〇cm）、②木造如来立像（二〇cm）、③石造弘法大師像（二九cm）

※境内に圓東塔がある。

豊後国境外仏堂明細帳（明治一九年） ○大分県公文書館蔵

大分県管下豊後国東国東郡山浦村字古屋敷

愛宕堂

十王尊

一 本尊 愛宕地藏尊 愛染明王

一 由緒 不詳

一 堂宇 竪一間四尺 横一間二尺八寸

一 敷地 拾三坪 民有地第一種

一 境内仏堂 三字 十王堂

本尊 十王尊

由緒 不詳、元当村字カゲ平安置ノ処明治八年此境内ニ

移ス

堂宇 竪一間三尺 横二間

観音堂

本尊 観音尊 弘法大師 地藏尊 愛染明王

大日如来

由緒 不詳、元当村字東ノ浦安置ノ処明治八年此境内へ

移ス

堂宇 竪一間三尺 横一間三尺

阿弥陀堂

本尊 阿弥陀如来

由緒 不詳、元当村字釘尾安置ノ処明治八年此境内へ

移ス

一 信徒 堂宇 竪二間 横一間三尺
三百五拾六人

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字岩屋

観音堂

一本尊 観音尊 地藏尊 弘法大師 大日如来
愛染明王
一 由緒 不詳
一堂宇 竪一間 横一間
一 敷地 式拾七坪 民有地第一種
一 信徒 三百五拾老人

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字上油留木

不動堂

一本尊 不動尊 弘法大師
一 由緒 不詳
一堂宇 竪二間 横二間三尺
一 敷地 式百廿三坪 民有地第一種
一 信徒 百五拾六人

大分県管下豊後国東国東郡掛樋村字下油留木

地藏堂

一本尊 地藏尊 弘法大師 観音尊 文殊菩薩
一 由緒 不詳
一堂宇 竪二間 横三間

一 敷地 四拾五坪 民有地第一種
一 信徒 百廿五人

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字向

観音堂

一本尊 観音菩薩 十王尊 毘沙門
一 由緒 開基不詳、当村内山被路傍ニ在来ノ諸仏体明治十年三月
此敷地ニ合併ス
一堂宇 竪一間四尺 横一間二尺
一 敷地 廿四坪 民有地第一種
一 信徒 廿七人

大分県管下豊後国東国東郡吉松村字地藏

地藏堂

一本尊 愛宕地藏
一 由緒 開基不詳、当村内山野路傍ニ在来ノ諸仏体明治十年三月
此敷地ニ合併ス
一堂宇 竪二間 横二間三尺
一 敷地 廿九坪 民有地第一種
一 信徒 式拾人

大分県管下豊後国東国東郡中国村字法南

観音堂

一本尊 観音菩薩 弘法大師 地藏菩薩
一 由緒 不詳

- 一 堂宇 竪二間 横一間五尺
- 一 敷地 三拾五坪 民有地第一種
- 一 信徒 四拾五人

大分県管下豊後国東国東郡成久村字原

- 一 本尊 阿弥陀如来 弘法大師 毘沙門菩薩 観音菩薩
- 一 地蔵菩薩

- 一 由緒 不詳、観音菩薩ハ本村字久作分ニ、弘法大師ハ字砂原ニ、毘沙門菩薩ハ字西山ニ安置ノ処明治八年七月合併
- 一 堂宇 竪一間二尺 横一間
- 一 敷地 拾坪 民有地第一種
- 一 信徒 式拾四人

大分県管下豊後国東国東郡西本村字覚安寺

阿弥陀堂

- 一 本尊 阿弥陀仏
- 一 由緒 創立年月不詳、奈多八幡初中後口記ニアリ、昔ハ奈多宮地ハ死体ヲ不葬西本村ニ葬地アリ、内迫山覚安寺ト云、因テ按スルニ堂社旧大宮寺奈多家ノ建立スル処ナラン
- 一 堂宇 竪二間一尺五寸 横二間一尺五寸
- 一 敷地 式拾五坪 民有地第一種
- 一 信徒 三百八拾式人

大分県管下豊後国東国東郡山口村字トウ

- 一 本尊 観世音 地蔵尊 観音堂
- 一 由緒 不詳
- 一 堂宇 竪二間 横一間三尺
- 一 敷地 拾式坪 民有地第一種
- 一 信徒 三百三拾四人

大分県管下豊後国東国東郡大添村字宮ノ原

地蔵堂

- 一 本尊 地蔵尊
- 一 由緒 不詳
- 一 堂宇 竪一間三尺 横一間三尺
- 一 敷地 九坪 民有地第一種
- 一 信徒 百八拾六人

V 石造文化財実測図

安岐町には様々な石造物が豊富に所在する。その中で、板碑については一四世紀代の紀年銘のあるものが少なくない。これは従前の調査対象地と異なる点であるが、その他については無銘のものも多く、今回の調査でも編年の基準をつくるため、主な石造物の実測調査を実施した。また、ここでは安岐郷と関係の深い奈多宮に所在する宝篋印塔も実測した。以下に掲げた図面はその成果であり、ここでは石造物の種類ごとに推定年代順に配列した。なお、掲載図面はすべて縮尺二〇分の一である。

- | | | |
|----|---------------------------|-----------|
| 1 | 釜ヶ迫園東塔（建武二八・一三三五〇年銘） | 大字朝来字宮原 |
| 2 | 西福寺園東塔（一四世紀後半） | 大字富清字田ノ上 |
| 3 | 大吉堂園東塔（一四世紀後半） | 大字明治字尾園 |
| 4 | 木野園東塔（一四世紀末～一五世紀初） | 大字西本字木野 |
| 5 | 恵良園東塔（一五世紀前半） | 大字瀬戸田字恵良 |
| 6 | 桂徳寺宝篋印塔（一四世紀後半） | 大字糸永字柚ノ木 |
| 7 | 中ノ川宝篋印塔（一四世紀後半） | 大字矢川字屋敷 |
| 8 | 両子蔵神社宝篋印塔（一五世紀前半） | 大字両子字天徳 |
| 9 | 護聖寺宝篋印塔（一五世紀前半） | 大字朝来字広舞 |
| 10 | 泉正寺宝篋印塔（一五世紀前半） | 大字油留木字寺ヶ迫 |
| 11 | 報恩寺宝篋印塔（一五世紀後半） | 大字明治字寺田 |
| 12 | 報恩寺宝篋印塔（二五世紀後半） | 大字明治字寺田 |
| 13 | 実際寺宝篋印塔（一六世紀前半） | 大字瀬戸田字小川 |
| 14 | 奈多宮宝篋印塔（一六世紀前半） | 杵築市奈多 |
| 15 | 護聖寺板碑（一五世紀）（正応四八・一二九一〇年銘） | 大字朝来字広舞 |
| 16 | 柳井田板碑（元亨元八・一二二一〇年銘） | 大字明治字大久保 |
| 17 | 岩尾板碑（元亨四八・一二三四〇年銘） | 大字朝来字若名田 |
| 18 | 護聖寺板碑（二五世紀）（嘉暦四八・一二二九〇年銘） | 大字朝来字広舞 |
| 19 | 弁分八坂社板碑（元弘三八・一三三三〇年銘） | 大字朝来字宮園 |
| 20 | 金剛院板碑（一四世紀後半） | 大字明治字金剛院 |
| 21 | 中ノ川板碑（一四世紀後半） | 大字矢川字屋敷 |
| 22 | 実際寺開山堂無縫塔（貞和五八・一三四九〇年銘） | 大字吉松字立中 |
| 23 | 報恩寺無縫塔（一五世紀） | 大字明治字寺田 |
| 24 | 報恩寺無縫塔（二五世紀） | 大字明治字寺田 |
| 25 | 報恩寺無縫塔（三三世紀）（一五世紀） | 大字明治字寺田 |
| 26 | 七郎一石五輪塔（一五世紀） | 大字吉松字今屋敷 |
| 27 | 報恩寺石殿 | 大字明治字寺田 |

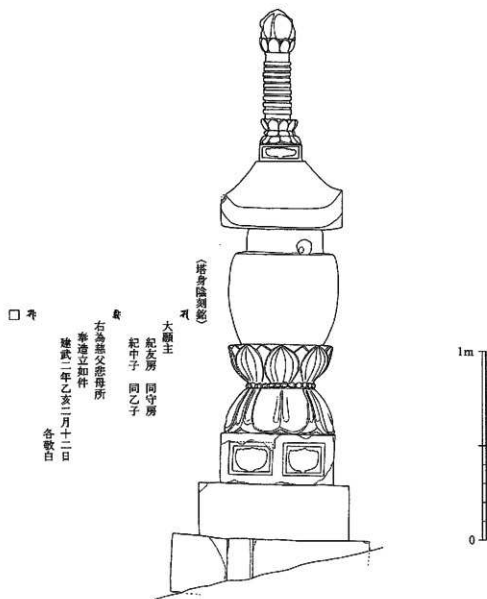


圖1 蘇我追國東塔



图3 大吉堂东塔

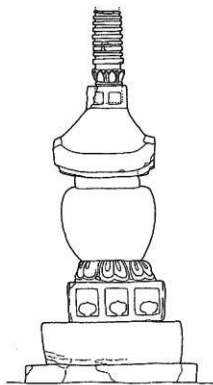


图2 西福寺东塔

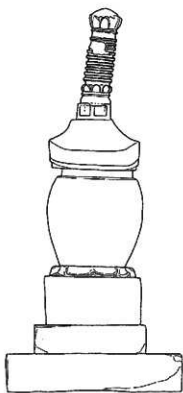


图5 惠良国东塔

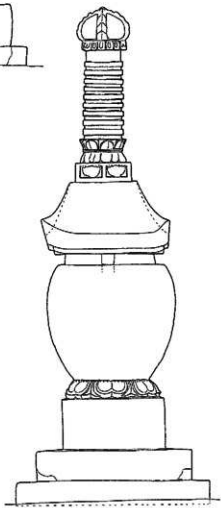


图4 木野国东塔

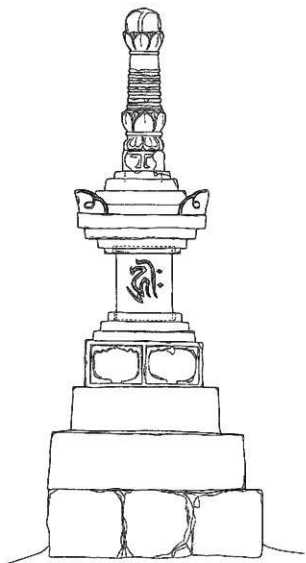


图7 中ノ川宝篋印塔

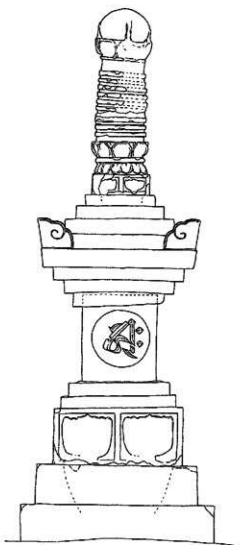


图6 桂徳寺宝篋印塔

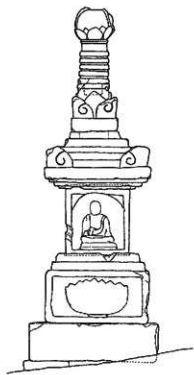


图9 護聖寺宝篋印塔

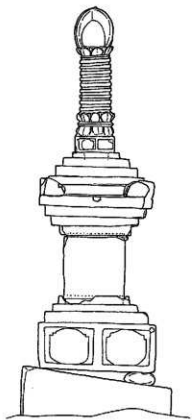


图8 兩子歲神社宝篋印塔

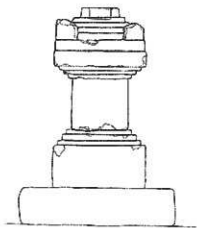


图12 報恩寺宝篋印塔(2号)

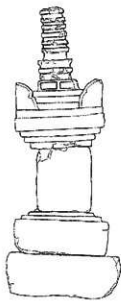


图11 報恩寺宝篋印塔(1号)

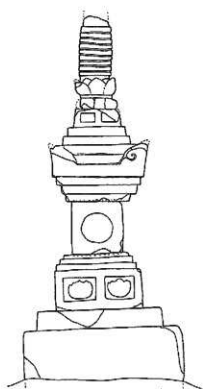


图10 泉正寺宝篋印塔

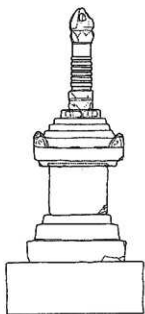


图 14 奈多富宝篋印塔

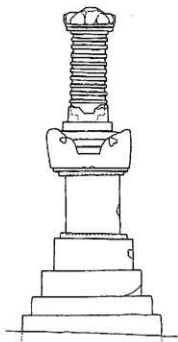
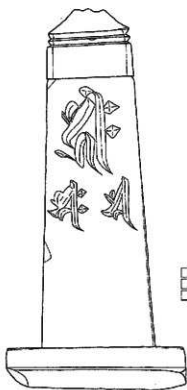


图 13 实际寺宝篋印塔



(碑身除刻銘)

因因 四季卯月廿七日

孝子

敬白

图 15 实际寺石板碑 (1号)

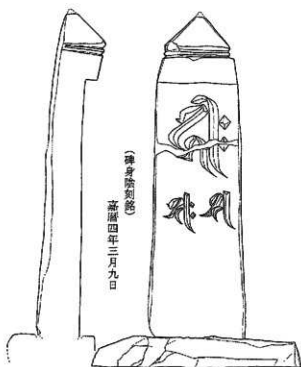


图 18 護聖寺板碑 (2号)

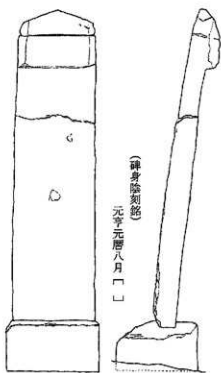


图 16 柳井田板碑

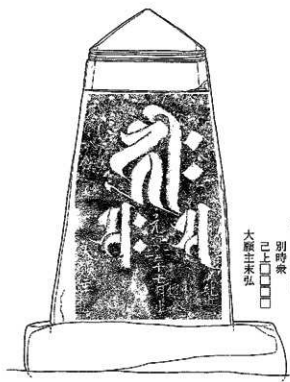


图 17 岩尾板碑



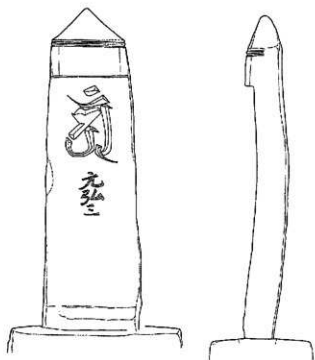


图 19 井分八坂社板碑

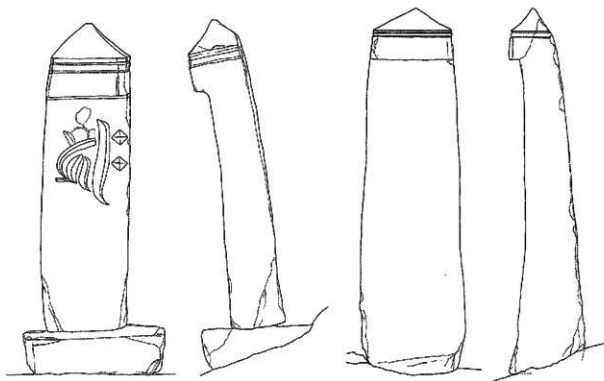


图 21 中ノ川板碑

图 20 金剛院板碑

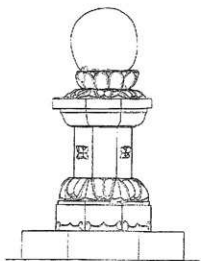


圖 23 報恩寺無縫塔 (1号)

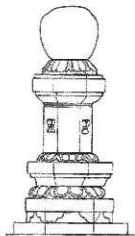


圖 24 報恩寺無縫塔 (2号)

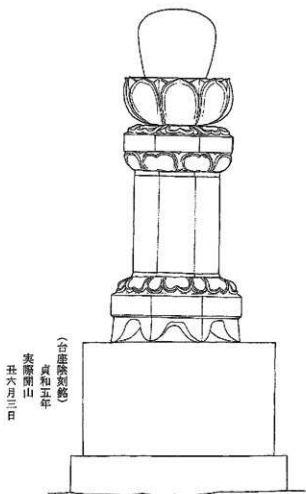


圖 22 實際寺開山堂無縫塔

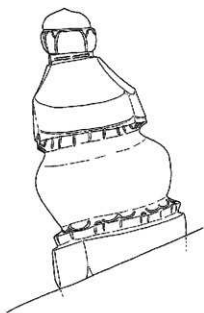


图 26 七郎一石五輪塔

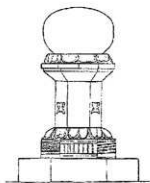


图 25 報恩寺無縫塔（3号）

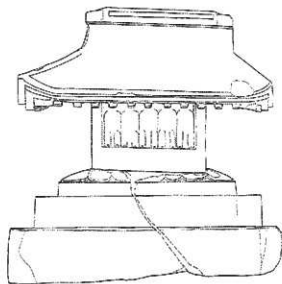


图 27 報恩寺石殿

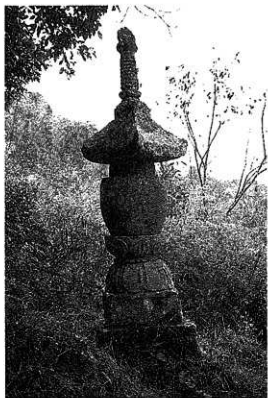


（柱竿陰刻銘）
千壽應永廿五龍集戊辰三月二日

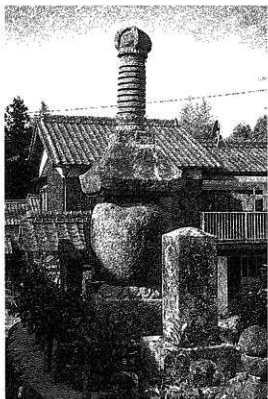
（柱竿）



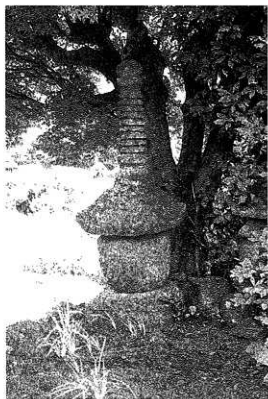
2 西福寺園東塔



1 釜ヶ迫園東塔



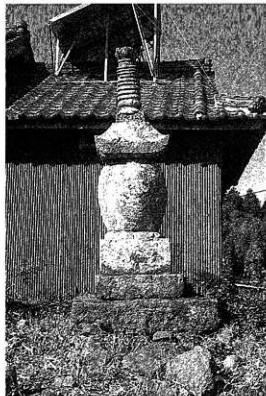
4 木野園東塔



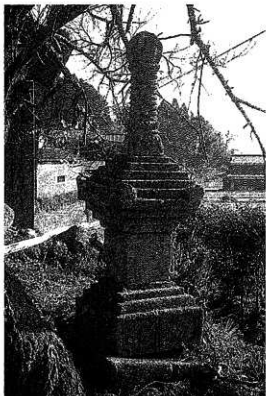
3 大吉堂園東塔



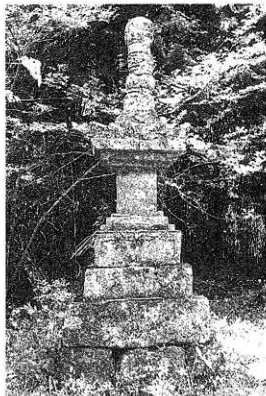
6 桂徳寺宝篋印塔



5 恵良園東塔



8 両子巖神社宝篋印塔



7 中ノ川宝篋印塔



10 泉正寺宝篋印塔



9 護聖寺宝篋印塔



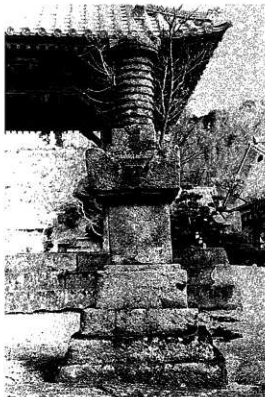
12 報恩寺宝篋印塔(2号)



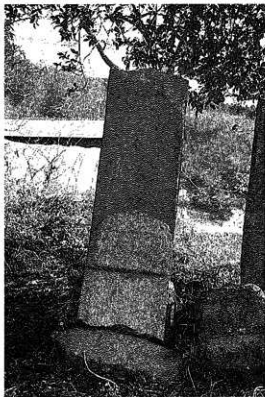
11 報恩寺宝篋印塔(1号)



14 奈多宮宝篋印塔



13 實際寺宝篋印塔



16 柳井田板碑



15 觀聖寺板碑(1号)



18 護聖寺板碑 (2号)



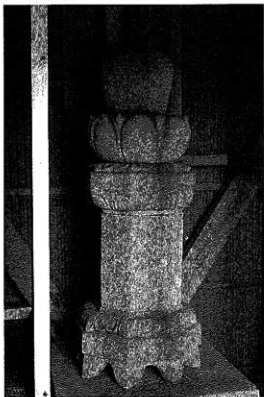
17 岩尾板碑



20 金剛院板碑



19 井分八坂社板碑



22 実際寺開山堂無縫塔



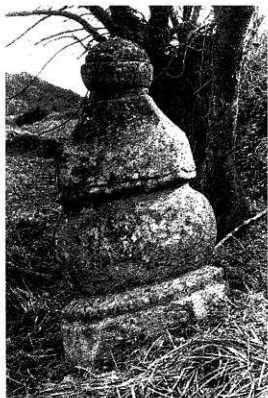
21 中ノ川板碑



24 報恩寺無縫塔（2号）



23 報恩寺無縫塔（1号）



26 七郎一石五輪塔



25 報恩寺無縫塔(3号)



27 報恩寺石殿

VI 小字・シコナ一覽

この一覽表は、東国東郡安岐町全域の小字とシコナ(小字内地名)・屋号などを収録したものである。

今回の収録にあたっては、従前の田染荘・都甲荘・香々地荘の調査方法を踏襲し、小字ごとに地番を記すとともに、シコナについても地番表示を行った。このうち、シコナの収録については一〇〇〇分の一あるいは二〇〇〇分の一地形図の中に聞き取ったシコナを記入し、後に明治二二(一八八九)年・明治二五(一八九二)年編纂の字図によって地番を確認する方法をとった。ただし、地番表示のないものはシコナの位置を特定できなかったところである。今後の調査で確認されたものについては、本編に補遺として掲載することとした。

さて、今回の一覽表に開かれて留意される点を三点ほど指摘しておくたい。

一つは、安岐町大字塩屋および富清で顕著にみられる小字設定の在り方である。例えば大字塩屋では小字番号六〇一に端的に示されているが、一つの小字が一筆から四筆の耕地で構成されている。この他小字番号一〇二〜一五一まででも、一〇筆以上の耕地から成るものもあるが、一筆のものも見られ、基本的に小字の設定が細くなされている。特に筆数の少ない小字が分布する範圍は荒木川右岸の水田部分であり、この一帯での小字設定はシコナ単位に近い形で実施されたことが窺える。このような状況は、大字富清のうち、旧富永村の領域に属する小字番号一四〇、一五八などに代表されるように、両子川右岸および左岸の集落一帯で顕著である。この他にも、安岐町内では小字設定が細くなされている地

区があり、ここに従前の調査対象地とは異なる安岐町な特徴を見ることができると。

二点目としては、現在大字塩屋のうち、後掲の一覽で旧横城村分とされた地である。この一帯は俗に荒巻と呼ばれ、荒木川右岸に位置する。本書所収の『東国東郡村誌』の横城村の項を見ると、村域について「北へ西本村ト耕地ヲ接シ田畔ヲ境トス」とあり、『神社明細録』の横城村大將軍所在の八幡社の由緒にも「且西本全村横城村ノ内荒巻ノ氏神」と記されている。ただ、現在の所どの時期から荒巻一帯が横城村であったことを知ることはできず、何故に山地を越えて横城村が荒木川右岸まで領域としたかは詳らかでない。昭和三〇年の村集市成立時、この一帯は安岐町に編入され、大字塩屋の一部となった。一覽では現況の地番を示した。三点目は、大字油留木の地番についてである。一四一一から始まっているが、これは『東国東郡村誌』に明記されているとおり、明治八(一八七五)年に油留木村が掛橋村に合併されたことに遡っている。

最後に、シコナの所に付けた記号であるが、◎は二つ以上の小字にまたがるもの、※小字が特定できない地名を示している。なお、判読できなかった文字については□で示し、地番の特定できないものはシコナのみ表示した。

△ 下原 ∇

- 一 大海田 (一〇一四四)
 二 權田 (一五〇二八)
 三 フクミ (二九〇四五)
 四 石渡り (四六〇八二)
 五 長迫 (八三〇一〇四)
 六 キンゼ (一〇五〇二七)
 七 西迫 (二二八〇一八六)
 八 東カナ (一八七〇二五二)
 九 西カナ (二五二〇二九〇)
 一〇 アシ (二九一〇三四七)
 一一 士林 (三四八〇三七三)
 一二 カナイツ (三七四〇四二三)
 一三 西小野田 (四二四〇四四七)
 一四 小野田 (四四八〇五〇七)
 一五 熊尾 (五〇八〇五四〇)
 一六 神田 (五四一〇六一)
 一七 下神田 (六一二〇六四二)
 一八 マグミ (六四三〇六九三)
 一九 中尾 (六九四〇七四九)
 二〇 カツラヲ (七五〇〇七八五)
 二一 金ユリ川 (七八六〇八二三)
 二二 黒川原 (八二四〇八四七)
 二三 下野地 (八五〇〇八九九)
- 二四 中ノ原 (九〇〇〇九八〇)
 二五 大人 (九八一〇九九二)
 二六 七ツ枝 (九九二〇三八)
 二七 向野 (一〇三九〇一四四五)
 二八 野田 (一一四六〇一七九)
 二九 原 (一一八〇〇一二三五)
 三〇 上ノ町 (一二三六〇一二六二)
 三一 尾合 (一二六三〇一二九七)
 三二 南大人 (二九八〇一三二五)
 三三 塔ノ本 (三二六〇一三八〇)
 三四 菫藩 (三三一〇一四一七)
 三五 経塚 (四一八〇一四三二)
 三六 川ツラ (四三三〇一四四九)
 三七 原口 (四四五〇一四九五)
 三八 長命 (四九六〇一五一四)
 三九 イノシシ (五一五〇一五三二)
 四〇 堀ノ内 (五三二〇一五六八)
 四一 西経塚 (五六九〇一五九〇)
 四二 上野地 (五九一〇一六四五)
 四三 松迫 (六四六〇一六六八)
 四四 市木 (六六九〇一七〇五)
 四五 崩シ (七〇六〇一七二二)
 四六 寺尾 (七二二〇一七六〇)
 四七 塚入 (七六一〇一七八八)
 四八 福地 (七八九〇一八〇九)

1オニシ(二七九五・一七九七)

四九 野村(二八〇〇〜一八九九)

五〇 貴船(一九〇〇〜一九〇三)

五一 追(一九〇四〜一九一三)

五二 吉永(一九一四〜一九九五)

1オヒガシ(一九六三・2スヤ(一九七六)

五三 辻(一九九六〜二〇〇一)

五四 迫田(二〇〇二〜二〇〇三)

1テラニシ(二〇〇六・二〇〇七)

五五 立燵(二〇〇三〜二〇〇四)

五六 久保(二〇三三〜二〇六二)

五七 カキノイ(二〇六三〜二〇九九)

五八 西喜寺(二一〇〇〜二一〇七)

五九 宝蔵寺(二一〇八〜二一一八)

六〇 竹ノ内(二一一九〜二二四二)

六一 利正寺(二二四三〜二二六二)

六二 池ノ上(二二六三〜二二七二)

六三 千人塚(二二七三〜二二九八)

六四 直持庵(二二九九〜二二一九)

六五 膳田(二三三〇〜二三五四)

1フタバ(二三二七)

六六 ミナト(二三三三〜二五二四)

1タビラ(二三三二)・2海老屋(二四七〇)・3ニシ(二四

八〇)・4ドウ(二四九〇・二五二四)

六七 猫畑(二五二五〜二五四一)

1ネコバタケ(二五三六〜二五三八)

六八 正太郎(二五四二〜二五九九)

六九 ツガニソノ(二五九七〜二六一二)

七〇 大太郎(二六一二〜二六三〇)

七一 安田(二六三一〜二六八六)

七二 潤ノ上(二六八七〜二六九八)

七三 川原(二六九九〜二七四三)

七四 御馬ノ松(二七四四〜二七四七)

七五 裏門(二七四八〜二七五六)

七六 水吐(二七五七〜二〇六〇)

七七 熊谷寺(二七六一〜二七七六)

七八 下池(二七七七〜二八一)

七九 煙田(二八一〜二八五)

八〇 中ノ切(二八五二〜二八八三)

八一 井手口(二八八四〜二九一一)

八二 亀井(二九一三〜二九三五)

八三 北堀(二九三六〜二九五九)

八四 長若寺(二九六〇〜二九七二)

八五 門口(二九七三〜三〇〇一)

八六 西出口(三〇〇二〜三〇一九)

1オオニシ(三〇一五)

八七 南堀(三〇二〇〜三〇三四)

八八 町(三〇三五〜三〇六八)

八九 内堀(三〇六九〜三〇八二)

九〇 小丸(三〇八三〜三一〇〇)

九一 天守 (三二〇一〜三二二〇)
九二 本丸 (三二二一〜三二三八)

1 シオヤ (三一四六)

九三 ホキ (三二三九〜三二七四)

1 イチャ (三一七〇)

△ 塩屋 ▽

一 シンガイ (一〜八三)

1 シング (五〇・五二)

二 新田 (八四〜一〇六)

三 川原 (二〇七〜一〇八)

四 北ノ田 (二〇九〜二一八)

五 塩屋 (二一九〜三二)

六 松堀 (一三二)

七 水口後 (二三三〜二三六)

八 水口 (二三七〜三八)

九 神ノ木 (二三九)

一〇 アゲ (一四〇)

一一 丸ムタ (一四一)

一二 用作 (二四二〜一四九)

一三 門ノフケ (一五〇〜一五二)

一四 西新田 (一五三〜一五六)

一五 畑田 (二五七〜一七二)

一六 イノキ田 (一七三〜一七六)

一七 大地 (二七七〜一八六)

一八 アノウ (一八七〜一九二)

一九 横枕 (一九二)

二〇 宮畑 (一九三〜一九六)

二一 田高田 (一九七〜一九八)

二二 樋ノ本 (一九九〜二〇五)

二三 高田 (二〇六〜二二二)

二四 長田 (二二三〜二二四)

二五 ワミ鳥 (二二五〜二二二)

二六 フケ (二二二)

二七 氏那 (二二三〜二三〇)

二八 カノ本 (二三一〜二四五)

二九 灣添 (二四六〜二四七)

三〇 蔵ノ田 (二四八〜二五七)

三一 桐子付 (二五八〜二六六)

三二 小徳田 (二六七〜二七一)

三三 鍬ヲサ (二七二)

三四 美盛 (二七三〜二七七)

三五 塩田 (二七八〜二八八)

三六 ハシノ本 (二八九)

三七 室 (二九〇〜二九八)

三八 古屋敷 (二九九〜三〇六)

三九 内ノ田 (三〇七〜三〇九)

四〇 清内 (三一〇〜三二二)

四一 松本 (三二三〜三三九)

四二 長畑 (三四〇〜三五三)
 四三 屋敷田 (三五四〜三六九)
 四四 彦代 (三七〇〜三八二)
 四五 白石下 (三八三〜四〇四)
 四六 シホウ (四〇五〜四〇九)
 四七 西池下 (四一〇〜四一三)
 四八 仁入 (四一四〜四一九)
 四九 山田 (四二〇〜四三〇)
 五十 沖 (四三一〜四三八)
 五一 四十田 (四三九)
 五二 下ノ山 (四四〇〜四四四)
 五三 イヨノ下 (四四五〜四八〇)
 1 ミヤデン (四六一)
 五四 平田 (四八一〜五〇二)
 五五 御馬田 (五〇三〜五一〇)
 五六 アシユウ (五一〜五五〇)
 五七 犬ホウシ (五六一〜六一六)
 五八 幸神 (六一七〜六一八)
 五九 外畑 (六一九〜六三二)
 六〇 ウラ (六三三〜六三五)
 六一 リョウ (六三六〜六六五)
 六二 塔ノ本 (六六六〜六七三)
 六三 尾バナ (六七四〜六九九)
 六四 井ノ尻 (七〇〇)
 六五 西迫 (七〇一〜七一二)

六六 西 (七一二〜七二五)
 1 白石 (七二四)
 六七 西迫口 (七二六〜七二七)
 1 白石 (七二七)
 六八 白石上 (七二八〜七二五)
 1 白石 (七二九・七二五)・2 ナカニシ (七二五)
 六九 白石 (七二六〜七六〇)
 1 オオニシ (七二六)・2 白石 (七二六・七三七・七三八・七五八)
 七〇 原口 (七六一〜七八七)
 1 白石 (七六一・七六二・七六六・七六七)
 七一 谷 (七八八〜八〇三)
 七二 後原口 (八〇四〜八〇六)
 1 白石 (八〇六)
 七三 アザミ (八〇七〜八〇八)
 1 白石 (八〇七)
 七四 東迫 (八〇九〜八二三)
 七五 上ノ畑 (八二四〜八二八)
 七六 歴敷 (八二九〜八三四)
 七七 ヘヤ (八三五〜八四二)
 1 ヘヤ (八三五)・2 サンゲンマチ (八三七・八四〇)
 七八 横谷 (八四三〜八九〇)
 七九 黒土 (八九一〜九五六)
 1 ヘル (九三五〜九三八・九四二)
 八〇 迫ノ上 (九五七〜九六三)

八一 向 (九六四〜九八八)

八二 伊予野 (九八九〜一〇四八)

1 コーヤ (九九〇・九九二・九九五〜九九七・2 ヨノ (二〇

一六・一〇一八・一〇二〇・一〇二八・一〇三三)

八三 原 (二〇四九〜一四四二)

八四 伊予ノ原 (一四三三〜一三〇二)

八五 小金田 (一三〇三〜一三二四)

八六 ホキ (一三二五〜一五五〇)

八七 前 (一五五一〜一五六六)

1 ③サンゲンマチ (一五五三〜一五六二)

八八 水呉 (一五六七〜一五九二)

八九 塚山 (一五九三〜一六〇〇)

1 インキョ (一五九六・2 ショウヤモト (一五九八)

九〇 池下 (一六〇一〜一六〇四)

九一 ハマ (一六〇五〜一八七四)

1 コーヤ (一六五九・2 ゴマツ (一七二九)

九二 大水谷 (一八七五)

九三 殿山 (一八七六〜一八七八)

(旧横城村分)

大將軍 (一八七九〜一九〇八)

谷迫 (一九〇九〜一九六七)

1 タニ (一九四〇・一九五一)

緑リ (一九六八〜二〇六三)

ミフ (二〇六四〜二〇九一)

1 マエ (二〇六四・二〇六五)

△ 馬場 ▽

キサンダ (二〇九二〜二二三二)

宮ノ下 (二二三二〜二七〇〇)

溝淵 (二七一一〜二八二一)

一 陣山 (一)

二 アカ (二〜二二)

三 ラニ (三三〜三三二)

四 アシ (三三三〜六八)

五 山神 (六九〜一三一)

六 大石 (一三二〜一五五)

七 原 (一五六〜二三〇)

八 ナカサコ (二三一〜二三六)

九 西平 (二三七〜二四三)

一〇 池ノ下 (二四四〜二五三)

一 タタラ (二五四)

二 中ノ尾 (二五五〜二八〇)

三 黒林 (二八一〜三六六)

四 榎ノ木 (三六七〜三六八)

五 ハルシタ (三六九〜三八二)

六 クズシ (三八二〜三八七)

七 タナ (三八八〜三九四)

八 ヤヤマダ (三九五〜四〇二)

九 ヒラエ (四〇二〜四一〇)

- 二〇 カラキ(四一〜四二〇)
 - 二一 ハヤシ(四二一〜四九八)
 - 二二 ケリキ(四九九〜五四五)
 - 二三 子ギテ(五四六〜六三五)
 - 二四 カハツラ(六三六〜六六一)
 - 二五 トクゼ(六六二〜六六四)
 - 二六 マエ(六六五〜七六三)
- 1 コイチロウサマ(六八三北欄)・2 ナカシヨウジ(七〇四)・
七〇五)

- 二七 コダ(七六四〜八二一)
- 二八 カハラ(八二二〜九四〇)
- 二九 ラトフケ(九四一〜九五八)
- 三〇 スナカハラ(九五九〜九六八)
- 三一 ミソトイ(九六九〜九七七)
- 三二 ナカノキレ(九七八〜九八三)
- 三三 カイメン(九八四〜九九二)
- 三四 ゴラダ(九九三〜一〇〇三)
- 三五 クチブケ(一〇〇四〜一〇〇五)
- 三六 エノキダ(一〇〇六〜一〇〇九)
- 三七 ドテ(一〇一〇〜一〇二二)
- 三八 ウワテ(一〇三三〜一〇二九)
- 三九 コヤ(一〇三〇〜一〇七二)
- 四〇 中川原(一〇七三〜一一一五)
- 四一 下堀田(一一一六〜一一九四)
- 四二 マンドコロ(一一九五〜一二四二)

- 四三 1フルテヤ(一一九七)・2カジヤ(一二三七)
- 四三 コシヨウジ(一二四三〜一二七九)
- 四四 上犬田(一二八〇〜一三一六)

1 モンデ(一三〇三)

- 四五 下犬田(一三一七〜一三六六)
- 四六 ナリマツ(一三六七〜一三八八)
- 四七 マツタケ(一三八九〜一五二七)
- 四八 井尻(一五二八〜一五四九)

1 イジリ(一五四五)・2 アンノウエ(一五四〇)

- 四九 ノブヨシ(一五五〇〜一六四〇)

1 ノブヨシ(一五七二)・2 オシヤモト(一五九〇)・3 ナカ

ダ(一六二八)

- 五〇 サコ(一六四一〜一七二四)
- 五一 1サコ(一六五〇)・一六五二)
- 五一 ヒラ(一七二五〜一八四七)
- 五二 タニ(一八四八〜一九二九)
- 五三 カラス山(一九三〇〜一九八〇)
- 五四 ヒラマツ(一九八一〜二〇〇二)
- 五五 柳迫(二〇〇三〜二〇一五)
- 五六 ヒラバル(二〇一六〜二〇四三)
- 五七 出口(二〇四四〜二〇七五)
- 五八 アゲノ田(二〇七六〜二一二二)
- 五九 カキホコ(二一二三〜二一四八)
- 六〇 ミノベ(二一四九〜二二九八)
- 六一 堤迫(二二九九〜二四一五)

△ 瀬戸田 ▽

- 一 仁王 (一〇八八)
- 二 西ノ平 (八九〇二二三)
- 1 ショウエン (松園) (二三九)
- 三 山首 (二二四〇二八)
- 1 オオニシ (二三八)
- 四 ショウジ (二八二〇三一四)
- 五 伊勢平 (三一五〇三九五)
- 六 杉園 (三九六〇四四六)
- 1 イセヤ (四三五)・2 ミヤモト (四四二)
- 七 山ケヤシキ (四四七〇四六六)
- 八 福正司 (四六七〇五一〇)
- 九 石代 (五一〇五四七)
- 一〇 下藤田 (五四八〇五九六)
- 一一 藤田 (五九七〇六二六)
- 一二 土屋 (六二七〇六五三)
- 一三 末永 (六五四〇六九五)
- 一四 岡本 (六九六〇七三八)
- 1 オオウエ (七一三)
- 一五 六ツ枝 (七三九〇七八二)
- 一六 菊瀬 (七八三〇八〇二)
- 一七 小川 (八〇三〇八四〇)
- 1 タンガ (八〇七付近)
- 一八 レンガン (八四一〇八六四)

- 一九 西ノ原 (八六五〇八七五)
 - 二〇 安曾山 (八七六〇八七九)
 - 二一 安曾 (八八〇〇九一〇)
 - 二二 五田 (九一〇九二七)
 - 二三 黒土 (九二八〇九七〇)
 - 1 ヤネ (九四五付近)
 - 二四 迫掃 (九七一〇一〇三)
 - 二五 鳥越 (一〇一四〇九〇)
 - 二六 カラミ (一〇九一〇一五二)
 - 二七 井手ノ原 (一一五二〇一〇八)
 - 二八 上下 (一二〇九〇一三三)
 - 二九 椿 (一二三四〇二六三)
 - 三〇 油津リハ (一二六四〇二九二)
 - 三一 西椿 (二九三〇一三三)
 - 三二 上下谷 (一三一四〇一三四六)
 - 三三 恵良 (一三四七〇一五二九)
 - 1 コイチロウ (一四〇三懸)・2 イツキ (一五〇一〇一五〇)
 - 五・一五〇八〇一五一・二五一四)・3 ハシノダン (二四〇七)
 - 三四 田平 (一五三〇一五九一)
- △ 西本 ▽
- 一 荒木 (二〇六三)
 - 二 平田 (六四〇一三九)

- 三 水アリ (一三〇〜一八一)
- 1 オイデン (一三九東)
- 四 山ノ田 (一八二〜二一〇)
- 五 木野 (二一一〜三五五)
- 1 ニシヒラ (二一七)・2 ナカマ (三三〇)
- 六 大明神 (三五六〜四〇三)
- 七 高辻 (四〇四〜四四九)
- 八 作田 (四五〇〜五四〇)
- 九 藤ヶ迫 (五四一〜六一二)
- 一〇 二月田 (六一三〜六四七)
- 一一 内迫 (六四八〜七三〇)
- 一二 庚申 (七三一〜七六三)
- 一三 三府 (七六四〜八三六)
- 1 テラダ (七九六)・2 ミフ (八二二)
- 一四 田中 (八三七〜八八一)
- 1 オオニシ (八四二)・2 カジヤ (八五八)・3 コーヤ (八七七)
- 三)・4 フジヤ (八七四)・5 オオヒガシ (八七七)
- 一五 田中前 (八八二〜九〇七)
- 1 ニガツデン (八九〇)
- 一六 平野 (九〇八〜九九四)
- 一七 清水 (九九五〜一〇四四)
- 一八 園田 (一〇四五〜一〇七八)
- 一九 黒川原 (一〇七九〜一一二)
- 二〇 下西本 (一一二二〜一二八七)
- 1 オイデン (一二八一)

△ 中 園 ▽

- 一一 嶋廻 (一二八八〜一三四〇)
- 一二 フナコデ (一三四一〜一四〇二)
- 一三 平原 (一四〇三〜一四六九)
- 一 大蓮 (二〜八七)
- 1 クラヤシキ (四〇)・2 カジヤ (七〇)
- 二 光広 (八八〜一三八)
- 1 タロマル (一一・一一四)
- 三 西山田 (一三九〜一四九)
- 四 見分田 (一五〇〜一九〇)
- 五 荒木 (一九一〜二〇九)
- 六 下荒木 (二一〇〜二二五)
- 七 流 (二二六〜二八二)
- 1 ◎オヒマチデン (御日待田) (二八二)
- 八 川ベタ (二八三〜三三二)
- 1 ◎ヤトウデン (夜灯田) (二九八)
- 九 蔵所 (三三三〜三五五)
- 1 シタグチ (三三三北西隅)・2 ◎ヤトウデン (夜灯田) (三三三)
- 四二)
- 一〇 トガリ (三五六〜三七六)
- 一一 白掛 (三七七〜四一一)
- 一二 城畑 (四一二〜四四〇)
- 一三 竿 (四四一〜四七二)

1 イワサキ (四四二)・2 オク (四六六)

一四 高原 (四七三)~五九六

1 ホウナン (四七四・四七七)・2 ニシゴウラ (四八〇・四八二)・3 カワシウエ (五一五)・4 清友 (五二二)・5 オオニシ (五四〇)・6 コーヤ (五五六・五五七・五六二)・7 ヘーヤ (五六八)・8 マエヤシキ (五七六)・9 ヨコマクラ (五八〇)・10 オクザコ (五八五・五八七)・11 オカタ (五八九・五九三)

一五 四反田 (五九七)~六三〇

一六 黒田 (六三一)~六五五

一七 六反田 (六五六)~六七二

1 ◎アマダ (六六六)~六七二

一八 中川原 (六七三)~七二六

1 新神田 (六九七・六九八・七〇二・七〇六・七〇七・七一〇)

六

一九 石田 (七二七)~七六五

1 ◎アマダ (七三六)~七四三・七四七・七四八)・2 ◎古神田 (七六四)

二〇 柳田 (七六六)~七九二

二一 才田 (七九三)~八一二

1 ◎オヒマチデン (御日待田) (八〇六)

二二 池田 (八一三)~八四〇

1 アカツチ (八三〇)・2 マロサ (八三九)

二三 森田 (八四一)~八六四

1 ◎古神田 (八四五)・2 モリバタケ (八五六・八五七)

二四 天神面 (八六五)~八七八

1 テンジンメン (八六五)

二五 買漆 (八七九)~八八四

二六 五反田 (八八五)~九一二

二七 覚安寺 (九一三)~九三四

二八 川原 (九三五)~九六八

二九 小松竹 (九六九)~九九四

三〇 地原 (九九五)~一〇一八

1 金比羅田 (一〇〇七)~一・2 イナリデン (一〇〇七)~二 (一一三)

三一 沢掛 (一〇九)~一〇八〇

三二 スナガワ (一〇八一)~一〇九七

三三 川ノ上 (一〇九八)~一一五三

△ 成久 ▽

一 大道 (一)~五四

1 ヤマシロ (一五)・2 ニヤマシロ (二〇)・3 スナワラ (二四)

二 西ノ園 (五五)~七七

三 ヒヨウノ田 (七八)~一〇六

1 ◎ミヤデン (七八)~八七・一〇四・一〇五

四 長貫 (一〇七)~一二九

五 大通寺 (一三〇)~一六〇

六 上野 (一六一)~三二九

七 宮ノ本 (三三〇)~三三四

八 七反坪(三四四〜三七八)

1◎ミヤデン(三四四〜三六一)

九 クグチ田(三七九〜三九九)

1トウモト(三八五〜三八七)

一〇 五反田(四〇〇〜四四一)

一一 小田(四四二〜四四九)

一二 小路畑(四五〇〜五一二)

1ヒガシヤシキ(四七四)

一三 中川原(五一三〜五六七)

一四 番畑(五六八〜六一二)

1片峯(五九九)

一五 福園(六一三〜六六一)

1フルヤシキ(六一六〜六一八)・2ミナクチ(六四二)

一六 宮ノ西(六六二〜六七〇)

一七 台(六七一〜六九五)

一八 西山(六九六〜七八四)

一九 通山(七八五〜八三六)

二〇 内山(八三七〜九七七)

二一 内ヶ畑(九七八〜一五三)

1オオヒガシ(一〇四・2ナカ(一一四五)・3オオニシ

(一一五))

二二 内ヶ畑前(一一五四〜一二七)

二三 長葉山(一二七三〜一二〇四)

二四 内山ノ上(一二〇五〜一二四六)

二五 マイフチ(一二四七〜一二九五)

二六 ヤケノ(二九六〜二九七)
二七 明戸木(二九八〜二九九)

△ 吉松 ▽

一 仁王(一〜三二)

1コウジヤ(二七)

二 市場(三三〜一〇)

三 鶴(一一〜一四)

1カジヤ(三一〜一四二)

四 前田(一四二〜一八六)

1ミヤノク(一四二・一四三)・2カジヤ(一四四〜一四六)

五 北園(一八七〜二二四)

1ヒラ(二二)

六 平(二二五〜二七四)

1シクタク(二四七)・2オオヒガシ(二四九)・3ヤド(二

六二)

七 大久保(二七五〜二八九)

八 勝戸(二九〇〜三二二)

九 魚ツル(三二二〜三五七)

1インキヨ(三四三)・2◎ミヤノシタ(三五七)

一〇 立中(三五八〜三八一)

1◎ミヤノシタ(三五八)

一一 鳥越(三八二〜四一〇)

一二 宮ノ下(四一一〜四三六)

一三 塚ノ本(四三七〜四七七)

1オオニシ(四七二)

一四 広畑(四七八〜四九二)

1ヒロバタケ(四八四〜四八六)

一五 寺ヶ谷(四九三〜五一六)

一六 六ツ枝(五一七〜五三九)

一七 油留木越(五四〇〜五五二)

一八 久保田(五五二〜六一八)

一九 胡麻尻(六一九〜六四三)

二〇 岩ノ西(六四四〜六六二)

二一 水志(六六三〜六九四)

二二 長迫(六九五〜七一六)

二三 ヲノハナ(七一七〜七三二)

二四 上平原(七三三〜七五二)

二五 三ツ石(七五三〜七九八)

二六 長尾(七九九〜八一三)

1ボウツクリ(七七九〜八〇二)

二七 役蔵(八一四〜八二四)

二八 松堀(八二五〜八三八)

二九 櫻鷺(八三九〜八五七)

三〇 大坪(八五八〜八八五)

1ヒナタ(八七四〜八七六)

三一 桑原(八八六〜九〇九)

1ヤマウチ(八九〇)

三二 森ノ元(九一〇〜九五六)

三三 東ノ前(九五八〜九九三)

1フタノキダ(九五七〜九五八・九六三・九六四)・2アンメ

ン(九八一)

三四 ユノ木(九九四〜一〇二〇)

1シンタク(一〇〇五)

三五 今ヤシキ(一〇二一〜一〇四七)

三六 立道(一〇四八〜一〇七二)

三七 楠板(一〇七二〜一〇四)

三八 半ノ木(一〇五二〜一二七)

三九 宮ノ上(一二八〜一六三)

四〇 宮ノ西(一六四〜一八七)

四一 ケイチン(一八八〜二二六)

四二 石原(二二七〜二四九)

四三 宮ノ前(二五〇〜二九四)

四四 トシヤク(二九五〜三二六)

四五 竹ノ上(三二七〜三四八)

四六 ヤシキ(三四九〜三九六)

1インキョ(一三五六)

四七 藤ヶ尾(三九七〜四三二)

四八 田尾(四三二〜四九五)

四九 一ツオサ(四九六〜五五二)

五〇 浅苔(五五二〜五九〇)

五一 チシヤノキ(五九一〜一六一四)

五二 中ノ迫(一六一五〜一六二六)

五三 細工(一六二七〜一六七三)

- 五四 西ヶ坂 (一六七四〜一七〇八)
 五五 ササケ平 (二七一〜一七六二)
 五六 ホクソ (一七六三〜一八四三)
 1 タバタ (一七九五・2 コニシ (一八〇三)・3 オオニシ (一八〇四)・4 ホークーツ (一八一七)
 五七 向 (一八四四〜一八六一)
 五八 岡 (一八六二〜一九〇三)
 五九 惣津 (一九〇四〜一九二八)
 六〇 馬ノ瀬ヨリ西 (一九二九〜一九五一)
 六一 山ノ上 (一九五二〜二〇〇三)
 六二 園田 (二〇〇四〜二〇三九)
 六三 古神田 (二〇四〇〜二〇五四)
 六四 鼻崎 (二〇五五〜二〇七二)
 六五 下ヶ平 (二〇七二〜二一三四)
 1 ナカ (二〇八三)・2 ヒガシ (二〇八四)・3 ムコンヤマ (二一一〇)
 六六 後 (二一三六〜二一六八)
 六七 出口 (二一六九〜二二二八)
 1 デグチ (二一九五)
 六八 地蔵 (二二二九〜二二八二、二二八四)
 1 タナカ (二二四三)
 六九 平原 (二二八三〜二二八五、二二三二)
 1 サコ (二二八三)・2 ヒラバル (二二九九・二三一一)
 七〇 中尾 (二三二四〜二三八九)
 七一 大平 (二三九〇〜二四〇〇)

- 七二 赤井 (二四一〇〜二四四七)
 七三 同免 (二四四八〜二四八六)
 七四 水付 (二四八七〜二五一五)
 七五 草場浦山 (二五一六〜二五三四)
 七六 上 (二五三五〜二五五四)
 七七 草場ノ上 (二五五五〜二五七四)
 七八 七ツ江 (二五七五〜二六五〇)
 1 ヒガシ (二五八八)・2 ナカ (二五九〇)・3 ヘヤ (二六一五)・4 インキヨ (二六二二)・5 ウエ (二六二四)・6 タバタ (二六三二)
 七九 柿木田 (二六五一〜二六九五)
 八〇 井手ノ上 (二六九六〜二七四八)
 1 ホウキヤマ (二七三六)
 八一 溝ヶ平 (二七四九〜二七七九)
 八二 野々山田 (二七八〇〜二八〇六)
 八三 苦ヶ坂 (二八〇七〜二八二四)
 八四 シリナシ (二八二五〜二八四四)
 八五 土地吉 (二八四五〜二八七二)
 八六 ニタバ (二八七三〜二九一一)
 八八 小迫 (二九一二〜二九二九)
 八九 東 (二九三〇〜二九五五)
 1 ヒガツセ (二九三六)・2 シタンヤシキ (二九五二)
 九〇 上ノ谷 (二九五六〜二九八三)
 九一 ワサダ (二九八四〜三〇二八)
 九二 広永 (三〇二九〜三〇八二)

- 九三 貴船本 (三〇八三〜三二〇八)
- 九四 楠田 (三一〇九〜三一四四)
- 九五 行安 (三一四五〜三一六七)
- 九六 トフノフ (三一六八〜三二〇四)
- 九七 東トフノフ (三二〇五〜三二二二)
- 九八 小ヤブ (三二二三〜三二三〇)
- 一九九 1 ニシ (三三三二)・2 オカ (三三三六)
- 九〇 丸田 (三三三一〜三三六六)
- 一〇〇 ヲヤブ (三三六七〜三三九九)
- 一〇一 仁王平 (三三〇〇〜三三四四)
- 一〇二 セバケ谷 (三三四五〜三三五二)
- 一〇三 ミノベケ平 (三三五三〜三三七八、三四六三〜三四六四)
- 一〇四 引田 (三三七九〜三四〇三、三四一四)
- 一〇五 ミノベ (三四〇四〜三四一三、三四一五〜三四四八)
- 一〇六 大入道 (三四四九〜三四五七)

△ 掛 樋 ▽

- 一 藤ヶ谷 (一〜九三)
- 二 下藤ヶ谷 (九四〜一三六)
- 三 向野 (二二七〜二五七)
 - 1 アミダドウ (二二五)・2 クリュウ (二四七・二四八・二五二・二五三)
- 四 大平 (二五八〜二八八)
- 五 鳴川 (二八九〜三七八)

- 六 阿弥陀ヶ平 (三七九〜四四〇)
- 七 小野 (四四一〜五七八)
 - 1 コーヤ (四四二)・2 タナカ (五四二)
- 八 大慶 (五七九〜六二九)
- 九 須藤寺 (六三〇〜六八五)
- 一〇 岩屋 (六八六〜七六七)
- 一一 寛 (七六八〜九一〇)
 - 1 ゴンゲンイワ (七八七付近・タナカ (八二九)・3 タカギ (八三二)・4 フカタ (八五二・八五三)・5 カマオサ (八五〇西)・6 オシキオサ (八五六東)・7 オサキ (八五七・八五八)
- 一二 西ヶ坪 (九一一〜九三二)
- 一三 鬼下 (九三三〜九七六)
 - 1 オニオロシ (九五六・九五九付近)
- 一四 成澄 (九七七〜一〇一七)
- 一五 城園 (一〇一八〜一〇六〇)
- 一六 田ノ口 (一〇六一〜一三六)
 - 1 ヒガシ (一〇八〇)・2 ウエ (一一〇四)・3 ニシ (一一〇七)
- 一七 北西 (一一三七〜一二〇〇)
 - 1 ホケキョウサマ (一一四九)・2 セイキョウサマ (一一六四)・3 ホクソ (一一六五)・4 オトコノハタ (一一八六南西部)・5 セイキョウダ (一一九二)
- 一八 荒井 (一二〇一〜一二五四)
 - 1 アライ (一二三二・一二三三)

- 一九 長野 (二二五) ~ 一三六七
- 二〇 奉祭 (二二六八) ~ 一四〇九
- 一クルマヤ (二三八六) ・ 2ウサデン (宇佐田) (二三八九)
- 二一 後野 (二四一〇)

△ 油留木 ▽

- 一 中ノ迫 (二四一一) ~ 一四八六
- 二 向田 (二四八七) ~ 一五二三
- 三 ホキノ上 (二五二四) ~ 一六四九
- 1ソウズガモト (二五三四) ・ 2トウダン (二五四六) ・ 3トウモト (二六一二)
- 四 口ノ坪 (二六五〇) ~ 一七九〇
- 1カゲヒラ (二六六九) ・ 一七三〇 ~ 二四二四) ・ 2ミヤノタ (二七〇五付近)
- 五 チサノ木 (二七九一) ~ 一八四八
- 六 佐野木田 (二八四九) ~ 一八六八
- 七 御取 (二八六九) ~ 二〇五四
- 1スケジュウ (二〇一九) ・ 二〇二〇 ・ 二〇三九
- 八 水ケ迫 (二〇五五) ~ 二一二五
- 1コウヤ (二〇九三)
- 九 中ノ迫越 (二二二六) ~ 二二八四
- 一〇 寺ノ迫 (二二八五) ~ 二四〇三
- 一一 奥ヶ迫越 (二四〇四) ~ 二五三四
- 1クボタ (二四五四)

- 二二 長迫越 (二五三五) ~ 二六九三
- 二三 北高地 (二六九四) ~ 二七五七
- 二四 大徳越 (二七五八) ~ 二八一五
- 二五 台良 (二八一六) ~ 二九五九
- 1シジュウダ (二七八九) ・ 二八六〇 ・ 2ゴブンチ (二九〇八) ~ 二九一〇 ・ 二九一六 ~ 二九三二

- 一六 水無 (二九六〇) ~ 二九八一
- 一七 神ノ平 (二九八二) ~ 三一一四
- 1オオエ (三〇五〇) ・ 三〇八六 ・ 三〇三四) ・ 2シモマエダ (三〇三四) ・ 三〇三五 ・ 三〇三七 ・ 三〇六四 ~ 三〇七一) ・ 3ユウゼン (三〇八八) ・ 三〇九〇) ・ 4カトサキ (三〇四〇) 5オオサ (三〇四一) ・ 6ヨセギレ (三〇四二) ・ 7ハカノシタ (三〇四八)
- 一八 塔ノ尾 (三一五) ~ 三二四五
- 1ヒガシバタ (三二二一) ・ 三二三四) ・ 三二三五) ・ 三二四一)
- 一九 下ヶ迫 (三二四六) ~ 三三八三
- 1ピワザ (三三〇五) ~ 三三一二
- 二〇 久保田 (三三八四) ~ 三四六八
- 1ヒナタ (三四一九)
- 二一 尾迫 (三四六九) ~ 三五六〇
- 1オサコ (三四八九) ・ 三五〇六
- 二二 前田 (三五六一) ~ 三六七九
- 1オヒマチデン (三五七七) ・ 七八) ・ 2タブチ (三五九三) 3ナカ (三五九四) ・ 4オオニシ (三五九五) ・ 5ナガバタケ (三六三七) ・ 6ヒガシ (三六五七) ・ 7ワイラガサコ (三六六

八〇七四・三六七八・七九

二三 ワイラガ迫(三六八〇)三三七八

1◎ワイラガサコ(三六八〇)八四・三六九〇)九二・三六
九四)九七

二四 山ノ神(三七三九)三八二四

1ヤマノカミ(三七四四)五四・三七六二)六七・三七七〇)

八二・三七九〇)九二・三七九九・三八〇〇)

二五 鏡石(三八二五)三九〇二)

△ 下山口 ▽

一 石ノ田(二)四二)

二 延吉(四二)八二)

三 上鶴(八二)二九三)

四 重尾(二九四)三三七)

五 深迫(三三八)三八一)

六 小原(三八二)四〇九)

七 向田(四一〇)四二五)

1ムカイダ(四二二)

八 下小原(四二六)四八二)

九 行安(四八三)五三六)

一〇 一ノ坪(五三七)五五六)

一一 立道(五五七)五七二)

1◎リューツ(柳津)(五六七・五七二)

一二 大坪(五七三)六二二)

1◎リューツ(柳津)(五七九・五八〇・五九六)

一三 保正庵(六二二)六五一)

1ホウシャノヒガシ(六三四)・2ホウシャノマエ(六三七)・
3ホウシャノニシ(六四九)

一四 三郎丸(六五二)七七一)

1オクンヤシキ(六五九)・2ナカンニシ(六六二)・3シン
タク(六八九)・4オオスエ(七〇四)・5ナカノヒガシ(七

〇五)・6シタンヤシキヒガシ(七〇八)・7シタンヤシキニ

シ(七一〇)・8シタ(七二二)

一五 木墓(七一七)七七三)

1タニヤシキ(七一八)・2タニガシラ(七二五)・3ヘヤ(七

四〇)・4ドウノシタ(七六六)

一六 藤工原(七七四)八二六)

一七 今在家(八二七)八四九)

一八 走水(八五〇)八八九)

一九 西ヶ谷(八九〇)九〇六)

二〇 小城ヶ谷(九〇七)九二四)

二一 妙見(九二五)九五四)

二二 三郎坊(九五五)九七二)

二三 船光(九七三)一〇二二)

二四 野原(一〇二三)一〇五六)

二五 カイモチ(一〇五七)一一一六)

二六 徳永(一一一七)一一五二)

1シゲノ(一一四七)

二七 大間(一一五二)一一七一)

1 ダイマ (一一六一)

二八 城ノ越 (一一七二) 一一八三

二九 蕃提司 (一一八四) 一二三〇

三〇 紺屋鼻 (一二三九) 一二九七

三一 山ノ神 (一二九八) 一三三二

三二 エコ畑 (一三三二) 一三七三

三三 下山 (一三七四) 一四三七

三四 堤 (一四三八) 一四四四

三五 丸山 (一四四五) 一四九五

三六 京田 (一四九六) 一五九九

一ヒガシ (一五三八)・2 シモンタ (一五三九) 一五四〇

3 キド (一五四四) 一五八八・4 ウエンイエ (一五五五)

三七 上徳 (一六〇〇) 一六三二

1 ジョウトク (一六二二) 一六二三・一六二八・一六二九

三八 下ノ田 (一六三二) 一六四六

三九 尾ノ鼻 (一六四七) 一六九六

四〇 ユウノ木 (一六九七) 一七三二

四一 南行安 (一七三三) 一七七五

1 ユキヤス (一七三六)・2 サルデン (一七七四) 一七七五付

近)

二 サヲタ (二八) 四七

三 平ヲサ (四八) 七二

四 カイマイ (七三) 一五八

1 マエ (一四〇)・2 ウエオモヤ (一五六)

五 迫 (一五九) 二二八

1 ヒガシ (一六六)・2 ウエンキョ (一八七)

六 六地藏 (二二九) 二五六

七 重尾 (二五七) 二八〇

八 ツツ井 (二八一) 三〇二

九 中島 (三〇三) 三〇七

一〇 半田 (三〇八) 三二二

一一 カ子石 (三二二) 三三二

一二 実次 (三三三) 三四八

一三 清水 (三四九) 四〇四

1 キヨミズ (三九五)

一四 元屋敷 (四〇五) 四三三

一五 カウソフ (四三六) 四四五

一六 西ノタ (四四六) 五〇二

1 ドウノシタ (四五二)

一七 平西 (五〇三) 五四九

1 ヒラニシ (五二六)

一八 シンカイ (五〇五) 六〇三

一九 畑ソイ (六〇四) 六一五

二〇 ノダ (六一六) 六六三

1 ニシノダ (六三三)

△ 山口 ▽

一 大坪 (一) 二七

- 二一 下深田 (六六四〜七〇一)
- 二二 下川原 (七〇二〜七二五)
- 二三 了仙成 (七二六〜七五〇)
- 二四 鼠追 (七五一〜七七二)
- 二五 立山 (七七三〜七八四)
- 二六 ツミ (七八五〜七八八)
- 二七 サトヲ (七八九〜八二二)
- 二八 イモホリ (八二三〜八三四)
- 二九 四郎追 (八三五〜九〇八)
 - 1 シタシロ (八五六)・2 シロ (八六四)
- 三〇 畑ノ辻 (九〇九〜九二四)
- 三一 徳市 (九二五〜九三二)
 - 1 ◎トクイチ (九二七)
- 三二 小原田 (九三三〜九八三)
 - 1 ◎トクイチ (九七二・九七七)
- 三三 ソラス (九八四〜九九〇)
- 三四 中川原 (九九一〜九九七)
- 三五 ソノタ (九九八〜一〇三七)
- 三六 東竹ノ下 (一〇三八〜一〇四六)
- 三七 中山 (一〇四七〜一〇五九)
- 三八 ミツヲサ (一〇六〇〜一〇七八)
- 三九 南ヶ追 (一〇七九〜一三六)
- 四〇 フツワラ (一一三七〜一七七)
- 四一 倉谷 (一一七八〜一二七〇)
- 四二 峠 (一二二一〜一三二六)

- 四三 波柿 (一三二七〜一三八〇)
- 四四 流田 (一三八一〜一四〇一)
- 四五 小岩鼻 (一四〇二〜一四二三)
- 四六 松ノ木 (一四二四〜一四四六)
- 四七 ムキシリ (一四四七〜一四六一)
- 四八 遣ヶ追 (一四六二〜一四七九)
- 四九 山田 (一四八〇〜一五三六)
- 五〇 水ヶ本 (一五三七〜一五五一)
- 五一 乱橋 (一五五二〜一六二五)
- 五二 畑中 (一六二六〜一六五八)
- 五三 七郎田 (一六五九〜一七七七)
- 五四 穴田 (一七二八〜一七七二)
 - 1 シタノヤ (一七三二)
- 五五 ハナヤシキ (一七七二〜一七八三)
 - 1 ハナヤシキ (一七八一)
- 五六 小ヶ倉 (一七八四〜一八五六)
- 五七 丸田 (一八五七〜一八六三)
- 五八 楠 (一八六四〜一八八四)
- 五九 上川原 (一八八五〜一九〇五)
- 六〇 ヲヘキ (一九〇六〜一九九三)
- 六一 西ノ久保 (一九九四〜二〇三三)
- 六二 コウシンノ上 (二〇三三〜二〇三九)
- 六三 後野 (二〇四〇〜二〇四三)
- 六四 日陽ノ上 (二〇四四〜二〇五二)
- 六五 長山 (二〇五三〜二〇七二)

- 六六 シマタ (二〇七三〜二〇九四)
- 六七 西堤 (二〇九五〜二一三五)
- 六八 日平 (二一三六〜二一五七)
 - 1 ユリガサコ (二一五〇)
- 六九 カン子尾 (二一五八〜二二一六)
- 七〇 梅久保 (二二一七〜二二二七)
- 七一 日陽 (二二二八〜二二三八)
 - 1 ドウノサキ (二二七四)
- 七二 大東 (二三二九〜二三五九)
 - 1 オヒガシ (二三三九・二三三四・二三三五・二三三七・二三五〇)
- 七三 神テン (二三六〇〜二三七九)
- 七四 上ノタ (二三八〇〜二四〇五)
- 七五 一ノ坪 (二四〇六〜二四五七)
- 七六 セイシン田 (二四五八〜二四六一)
- 七七 一升取 (二四六三〜二四八八)
- 七八 西ヶ谷 (二四八九〜二五三三)
- 七九 北水ヶ木 (二五三四〜二五七二)
- 八〇 原 (二五七三〜二六〇〇)
- 八一 原ノ下 (二六〇一〜二六一三)
 - 1 トオリミチ (二六〇六)
- 八二 フカタ (二六一四〜二六二二)
- 八三 間ノ神 (二六二三〜二六七一)
- 八四 喜太郎 (二六七二〜二七二三)
- 八五 陰平 (二七二四〜二八一二)

- 1 ナカ (二七五四)・2 ドウノヤシキ (二七五五)・3 ニシヤ (二七八〇)
- 八六 寺ノ前 (二八一三〜二八四五)
- 八七 城山 (二八四六〜二八七七)
- 八八 上林 (二八七八〜二九一一)
- 八九 百合ヶ追 (二九一二〜二九三八)
- 九〇 カリノ (二九三九〜二九六四)
- 九一 追田 (二九六五〜二九九七)
- 九二 ヒカケ (二九九八〜三〇一九)
 - 1 ヒガシヤ (二九九八)
- 九三 小追下 (三〇二〇〜三〇五五)
- 九四 小追 (三〇五六〜三〇六八)
- 九五 ササヲ (三〇六九〜三〇九五)
- 九六 西竹ノ下 (三〇九六〜三一四八)
- 九七 西ミツツサ (三一四九〜三一五四)
- 九八 椎ノ木 (三一五五〜三一七五)
- 九九 六田ヶ追 (三一七六〜三一九三)
- 一〇〇 立岩 (三一九四〜三二四四)
- 一〇一 原ノ上 (三二四五〜三二九三)
- 一〇二 高城 (三二九四〜三二九五)
- 一〇三 高雲 (三二九六〜三三〇七)
- 一〇四 大久保 (三三〇八〜三三一一)
- 一〇五 木暮 (三三一四〜三三五七)
- 一〇六 中津尾 (三三五八〜三三七一)
- 一〇七 北ノ又 (三三七二〜三三九八)

- 一〇八 後田 (三三九九〜三四三〇)
- 一〇九 中津尾台 (三四三一〜三四三四)
- 一一〇 トラセ (三四三五〜三四七七)
- 一一一 池ノ口 (三三七八〜三五一九)
- 一一二 池尻 (三五二〇〜三五六〇)
- 一一三 エノコ石 (三五六一〜三五九六)
- 一一四 打越 (三五九七〜三六〇九)
- 一一五 前 (三六一〇〜三六五四)
- 一一六 向 (三六五五〜三六七四)
- 一一七 シヲキハ (三六七五〜三六八七)
- 一一八 西ソノタ (三六八八〜三七九九)
- 一一九 ウシロ (三八〇〇〜三八八四)
- 一二〇 マツホリ (三八九四〜三九〇八)
- 一二一 アラタ (三九〇九〜三九五二)
- 一二二 正月 (三九五三〜三九九八)
- 一二三 市木 (三九九九〜四〇〇五)
- 一二四 東板木 (四〇〇六〜四〇〇八)

△ 大 添 ▽

- 一 志村 (一〜五九)
- 二 堀田 (六〜七二)
- 三 市井子 (七三〜七七)
- 四 松川 (七八〜九一)
- 五 六ツヲサ (九二〜一七五)

- 六 長迫 (一七六〜二二七)
 - 七 金クソ (二二八〜二六五)
 - 八 成 (二六六〜二九五)
 - 九 向 (二九六〜三〇二)
 - 一〇 庚申 (三〇三〜三四七)
 - 一一 西ノ久保 (三四八〜三九五)
 - 一二 岩ノ下 (三九六〜四三九)
 - 一三 尾迫 (四四〇〜四五一)
 - 一四 三本松 (四五二〜四六六)
 - 一五 乳母懐 (四六七〜四八七)
 - 一六 一本木 (四八八〜五〇〇)
 - 一七 堂山 (五〇一〜五〇八)
 - 一八 内層敷 (五〇九〜五二三)
 - 一九 尾下 (五二四〜五三一)
 - 二〇 前田 (五三二〜五三四)
 - 二一 妙見田 (五三五〜五六四)
 - 二二 平ヲサ (五六五〜五九五)
 - 二三 楠田 (五九六〜六二六)
 - 二四 田平 (六二七〜六六〇)
 - 二五 荷多田 (六六一〜六七九)
 - 二六 割布毛 (六八〇〜七〇〇)
 - 二七 フラン (七〇一〜七二四)
 - 二八 御館 (七二五〜七四〇)
- 1 オカタ (七一〜七一九)

- 二九 谷ヶ迫 (七四一〜七五)
 三〇 クヌキ山 (七五四〜七八八)
 三一 西野々 (七八九〜八〇六)
 三二 岩鼻 (八〇七〜八八三)
 三三 正月 (八八四〜八九二)
 三四 平 (八九三〜九一四)
 三五 峠 (九一五〜九二四)
 三六 宮ノ谷 (九二五〜九九七)
 三七 水口 (九九八〜一〇一〇)
 三八 宮ノ前 (一〇一一〜一〇三三)
 三九 神田 (一〇三三〜一〇三四)
 四〇 藤十殿 (一〇三五〜一〇五八)
 四一 高地神 (一〇五九〜一〇七三)
 四二 松尾 (一〇七四〜一〇九六)
 四三 迫 (一〇九七〜一一三三)
 四四 泉追 (一一一四〜一一五三)
 1 ナカヤシキ (一〇九九・2 ショウワノテ (一一〇四)
 1 サコダ (一一三三)・2 イズミサユ (一一四一)・3 コザロ
 (一一五三)
 四五 奥ノ畑 (一一五四〜一六一)
 1 オクバタケ (一一五八)
 四六 七畝田 (一一六二〜一九三)
 1 コザコシタ (一一六三)
 四七 老町田 (一九四〜二二〇)
 四八 仲畑 (二二二〜二二七)

- 四九 三府 (二二八〜二四六)
 1 マエバタケ (二三四)
 五〇 下 (二四七〜二五二)
 五一 砂川 (二五三〜二七九)
 1 ウエングン (二五四)
 五二 天神 (二八〇〜三一四)
 五三 前ノ脇 (三一五〜三三七)
 五四 谷 (三三八〜三七七)
 五五 井ノ平 (三三八〜四一三)
 五六 尾坪 (四一四〜四三七)
 五七 野添 (四三八〜四五四)
 五八 藪田 (四五五〜四八一)
 五九 丸尾 (四八二〜四八八)
 六〇 尾払 (四八九〜五一三)
 六一 教子尾 (五一四〜五四〇)
 六二 前畑 (五四一〜五五四)
 六三 大山 (五五五〜五六四)
 六四 松畑 (五六五〜五九〇)
 六五 柿ノ木田 (五九一〜六一三)
 六六 出口 (六三三〜六三八)
 六七 栗山 (六三九〜六七七)
 六八 長尾追 (六七八〜一七〇九)
 1 ウエンハル (六八九)
 六九 城 (七一〇〜七五五)
 七〇 園田 (七五六〜一七九四)

- 一〇 妙見下 (一七八七)
- 七一 原 (二七九五〜一八四〇)
- 一〇 妙見下 (一七九六・一八〇二)
- 七二 鍛冶屋迫 (一八四一〜一八九三)
- 七三 岩ノ本 (一八九四〜一九一九)
- 七四 下り山 (一九二〇〜一九二四)
- 七五 城ノ越 (一九二五〜一九六五)
- 七六 妙見 (一九六六〜二〇一〇)

△ 糸 永 ▽

- 一 諸管 (二〜一九)
- 二 西ノ下 (二〇〜六〇)
- 三 新開 (六一〜七二)
- 四 狩満 (七三〜八四)
- 五 西ノ圃 (八五〜九二)
- 一 ニシノソノ (八六)
- 六 紺屋ノ谷 (九三〜一〇二)
- 七 馬乗石 (一〇三〜一一七)
- 八 向川原 (一一八〜一五〇)
- 九 西ノ上 (一五一〜一七七)
- 一〇 新地 (一七八〜一九七)
- 一一 助太ヶ迫 (一九八〜二一八)
- 一二 竹ノ平 (二一九〜二三三)
- 一三 御堂ノ上 (二三四〜二四七)

- 一四 鬼籠園 (二四八〜二六二)
- 一五 ロンデ (二六三〜三一)
- 一六 堂面 (三一二〜三二九)
- 一オヘヤ (三二二)
- 一七 上ノ迫 (三三〇〜三六二)
- 一八 松原 (三六三〜三八二)
- 一九 常祥 (三八三〜三九八)
- 二〇 柿木迫 (三九九〜四〇四)
- 二一 迫ノ口 (四〇五〜四四六)
- 二二 貴船 (四四七〜四六八)
- 二三 永正寺 (四六九〜四八〇)
- 二四 南 (四八一〜四八九)
- 一オオエ (四八九)
- 二五 井向 (四九〇〜五一九)
- 二六 十王 (五二〇〜五二七)
- 二七 東迫ノ口 (五二八〜五五二)
- 二八 中ノ迫 (五五二〜五七六)
- 二九 峯 (五七七〜六七二)
- 三〇 宇登山 (六七三〜六八六)
- 三一 峯上 (六八七〜六九五)
- 三二 群石 (六九六〜七一七)
- 三三 大平 (七一八〜七二八)
- 三四 寝田場 (七二九〜七五三)
- 三五 山下 (七五四〜七八八)
- 三六 富園 (七八九〜八〇七)

- 三七 釜ノ谷 (八〇八〜八四二)
三八 柳迫 (八四三〜八七二)
三九 下り松 (八七三〜八九八)
四〇 勝負ヶ本 (八九九〜九〇二)
四一 関山 (九〇三〜一〇三二)
四二 野田ノ迫 (一〇三三〜一〇八九)
一 クルマヤ (一〇三三)
四三 牛王ヶ久保 (一〇九〇〜一〇九五)
四四 鳴神 (一〇九六〜一一二二)
四五 猪ノ平 (一一三三〜一一三九)
四六 糸永境 (一一四〇〜一一四七)
四七 山中 (一一四八〜一一五〇)
四八 上杉山 (一一五一〜一一六九)
一 シンタク (一一六二)
四九 岩ヶ鼻 (一一七〇)
五〇 山ノ神 (一一七一〜一一七三)
五一 横畑 (一一七四)
五二 奥屋敷 (一一七五〜一一八〇)
五三 福田 (一一八一〜一一八五)
五四 光枝 (一一八六〜一一九〇)
五五 野田 (一一九一〜一二二〇)
一 ノダ (一二九四)
五六 神出 (一二二一〜一二六六)
一 ゲニンボウ (一二二七〜一二二八付近)・2 イケダ (一二三三
七)・3 メイセキ (一二六三)
- 五七 花棚 (一二六七〜一二六九)
一 〇 ハナダナ (一二六七〜一二六八)
五八 中ノ切 (一二七〇〜一二七八)
一 〇 ハナダナ (一二七〇〜一二七八)
五九 上田 (一二七九〜一二八〇)
一 〇 ハナダナ (一二七九〜一二八〇)
六〇 山下 (一二八一〜一二八七)
一 〇 ハナダナ (一二八二〜一二八五)
六一 常泉院 (一二八八〜一二八九)
一 〇 ハナダナ (一二八九)
六二 迫田 (一二九〇〜一二九八)
六三 下前田 (一二九九〜一三〇六)
六四 前田 (一三〇七〜一三一一)
六五 下堂 (一三一四〜一三二五)
六六 中尾渡 (一三二六〜一三二九)
六七 古池 (一三三〇〜一三三二)
六八 先達 (一三三三〜一三三五)
六九 堂ノ上 (一三三六〜一三三八)
一 ドウノヒガシ (一三三七〜一三三八付近)
七〇 講堂山 (一三三九〜一三四〇)
七一 蓮池 (一三四一〜一三四二)
七二 西ヶ迫 (一三四三〜一三四九)
七三 堂ノ東 (一三五〇〜一三五五)
七四 カンノヲ (一三五六〜一三五七)
七五 岡ノ久保 (一三五八〜一三六二)

七六 中尾ノ上(一三六三)一三六九

七七 中尾(一三七〇)一三八八

七八 松尾(一三八九)一四〇〇

七九 芋畑(一四〇一)一四四五

1 キネダ(一四〇二)

八〇 高尾(一四四六)一四五四

八一 輪ヶ迫(一四五五)一四六四

八二 寒山平(一四六五)一四六七

八三 下芋畑(一四六八)一四七〇

八四 保木ノ下(一四七一)一四八二

八五 出口(一四八二)一四九四

八六 園田(一四九五)一五〇二

1 ミズトウシ(一五〇八)・一五〇九・2 ソデノタ(一五二〇)

・一五二一

八七 梅添(一五二三)一五四三

八八 下鶴(一五四四)一五八五

八九 鷺ヶ巢(一五八六)一五九九

九〇 倉谷(一六〇〇)

九一 荒井(一六〇一)一六二三

九二 山田(一六二四)一六五一

九三 板垣(一六五二)一六七八

1 クルマヤ(一六五三)

九四 保ノ木(一六七九)一七〇三

九五 竹田(一七〇四)一七一九

九六 楢ノ木(一七二〇)一七三七

九七 靴畝(一七三八)一七六八

九八 塚原(一七六九)一七八二

九九 壬生(一七八三)一八〇六

一〇〇 松ヶ原(一八〇七)一八三四

一〇一 善兵衛田(一八三五)一八五〇

一〇二 森多田(一八五一)一九一七

1 ナガヌキ(一八九六)・2 サンセギレ(一八九七)・3 フケ

(一九〇〇)・4 マルオサ(一九〇一)・5 クブダ(一九〇四)

一〇三 中川原(一九一八)一九四〇

1 ポウギモト(一九二一)・2 ムセギレ(一九二二)

一〇四 尾出ノ下(一九四一)一九四四

一〇五 峯ノ下(一九四五)一九九五

1 ◎ガラン(一九四五)一九五〇

一〇六 古屋敷(一九九六)二〇一五

一〇七 大井(二〇一六)二〇四八

一〇八 川原田(二〇四九)二一二六

1 ◎ガラン(二〇七〇)・二〇七九)二〇八九

一〇九 前田(二二七)二二五六

一一〇 殿川(二二五七)二二九九

一一一 宮ノ西(二二三〇)二二三七

一一二 内ノ丸(二二三八)二二五二

一一三 宮ノ下(二二五二)二二七〇

一一四 神松葉(二二七一)二二八二

一一五 中園(二二八三)二二八八

一二六 小久保(二二九九)二四一五

1ウラ(二三二七)・2ミスミヤ(二三二九)・3ナカ(二三
 三二)・4モトミヤ(二三三五付近)・5カキデ(二三五八)・
 6シンタク(二三七七)・7シンヤシキ(二四〇八)・8ナカ
 デ(二四三〇)・9トリボウズ(トウリアン)(二四三六)
 一七 松尾(二四一六)二四三五)
 一八 上中園(二四三六)二四八三)
 一九 堀切(二四八四)二四九六)
 二〇 小山ヶ追(二四九七)二五二五)
 二一 宮ノ上(二五二六)二五三三)
 二二 東林庵(二五三三)二五四六)
 二三 宮ノ追(二五四七)二五五五)
 二四 追畑(二五五六)二五八五)
 二五 山中(二五八六)二六一〇)
 二六 丸山(二六一)二六一四)
 二七 熊田(二六一五)二六二八)
 二八 向田(二六二九)二六四一)
 二九 曲畑(二六四二)二六五〇)
 三〇 下り山(二六五一)二六九六)
 三一 虎御前(二六九七)二七一三)
 三二 保木(二七一四)二七三六)
 三三 保木ノ上(二七三七)二七四四)
 1ホキノウエ(二七三九)
 三四 市木(二七四五)二七七七)
 三五 赤禿(二七七八)二七八八)
 三六 尾出ノ上(二七九九)二八三四)

1タカミヤ(二八三三)
 一三七 尾出(二八三五)二八八三)
 1インキヨ(二八五六)・2オモヤ(二八五七)
 一三八 柚ノ木(二八八四)二九一八)
 1ヘーヤ(二九〇三)・2アンノシタ(二九〇四)・3ナカ(二
 九〇七)・4ナカヤマ(二九一六)
 一三九 成永(二九一九)二九四二)
 一四〇 夏焼(二九四三)二九九九)
 1ホンケ(二九四六)・2イシズカ(二九六四)
 一四一 恩ヶ追(三〇〇〇)三〇一)
 一四二 小八雑(三〇一八)三〇三〇)
 一四三 中山(三〇三一)三〇三九)
 一四四 小浦ヶ追(三〇四〇)三〇八九)
 一四五 追(三〇九〇)三一一〇)
 一四六 山神追(三一三一)三一四八)
 一四七 平原(三一四九)三一六六)
 一四八 中尾(三一六七)三二一一)
 一四九 武蔵越(三二一三)三二三九)
 一五〇 小園山(三二四〇)三二八二)
 一五一 小園(三二八二)三三三三)
 1タンバヤ(三二九四)
 一五二 原(三三一四)三三三三)
 一五三 妙見(三三三三)三三三九)
 一五四 東小園山(三三三三)三三五二)
 一五五 納戸ヶ平(三三五三)三三六三)

- 一五六 柳尾 (三三六四〜三三七三)
- 一五七 崩脱 (三三七四〜三三七六)
- 一五八 交合石 (三三七七〜三三八一)
- 一五九 石字谷 (三三八二〜三三八五)
- 一六〇 上保ノ木 (三三八六〜三三九一)
- 一六一 古西寺 (三四一八〜三四四四)
- 一六二 小田ヶ追 (三五四五〜三五六六)
- 一六三 火燃場 (三五六七〜三五九六)
- 一六四 大笹 (三五九七〜三五九八)
- 一六五 荒井道ノ上 (三五九九〜三六〇一)
- 一六六 児子松 (三六〇二)

△ 富 清 ▽

- 一 安政 (二〜二八)
- 二 妙見 (二九〜四四)
- 三 白杵川 (四五〜五四)
- 四 見追 (五五〜一〇一)
- 五 柿添 (一〇二〜一五)
- 六 大井 (一六〜一五一)
- 七 障ノ下 (一五二〜一五四)

- 八 下小田 (一五五〜一六三)
- 九 小田 (一六四〜一八六)
- 一〇 飯道 (二八七〜一九三)
- 一一 中根 (二九四〜二〇〇)
- 一二 道妙 (二〇一〜二三三)
- 一三 立平 (三三四〜二四一)
- 一四 山王 (三四二〜二八二)
- 一五 芋地 (二八三〜三〇六)
- 一六 金比羅平 (三〇七)
- 一七 赤禿 (三〇八〜三四四)
- 一八 長野平原 (三四五〜三七〇)
- 一九 長野 (三七一〜三八八)
- 二〇 竹ノ下 (三八九〜三九四)
- 二一 膳所 (三九五〜四〇二)
- 二二 市木 (四〇三〜四〇五)
- 二三 西 (四〇六〜四〇八)
- 二四 十五 (四〇九〜四一四)
- 二五 前畑 (四一五〜四一七)
- 二六 貴船 (四一八〜四四四)
- 二七 長野山 (四四六〜四七九)
- 二八 多々良 (四八〇〜五二八)

- 二九 小不毛(五二九)・五五七
 三〇 藤原(五五八)・五九一
 三一 小屋ケ鼻(五九二)・五九五
 三二 袖ノ木(五九六)・六四六
 三三 松ケ園(六四七)・六七五
 1 ウエンダン(六六四)
 三四 新園(六七六)・六八五
 三五 小御堂(六八六)・六九二
 三六 谷口(六九三)・六九四
 1 タニグチ(六九四)
 三七 塔西(六九五)・七〇三
 1 アンノシタ(六九六)・2 トウニシ(七〇二)
 三八 西ノ谷(七〇四)・七三〇
 1 ナカンイエ(七一八)
 三九 外圍(七三一)・七四四
 四〇 明覚(七四五)・七五五
 四一 小迫(七五六)・七五九
 四二 殿山(七六〇)・七七二
 四三 妙見(七七三)・七八六
 四四 寺山(七八七)・八〇二
 四五 風呂ノ本(八〇三)・八一
 四六 南(八一九)・八二八
 四七 西迎寺(八二九)・八四二
 1 コウノイケ(八三九)
 四八 孝田(八四三)・八六二
- 四九 鷲ケ迫(八六三)・八九三
 1 ハゼヤマ(八六五)
 五〇 高見(八九四)・九五〇
 五一 迫(九五一)・九八三
 五二 今在家(九八四)・一〇〇七
 1 ウエハシ(九八九)
 五三 野入(一〇〇八)・一〇九三
 五四 棚田(一〇九四)・一一一八
 五五 堂ノ下(一一一九)・一二二五
 1 サネボウ(一二五一)・一二五七・一二五九
 五六 歳神(一二一六)・一三六二
 1 ナガヌキ(一二六四)・一二六七・2 ジュウオウ(一二二六)・
 3 ウメノキ(一二六八)・4 ゴセギレ(一二九七)
 五七 左山(一三六三)・一五一二
 五八 三札(一五一三)・一五九〇
 1 シタ(一五八四)
 五九 由里(一五九一)・一六三四
 六〇 向田(一六三五)・一八〇〇
 六一 高野(一八〇一)・一八三六
 六二 大平(一八三七)
 六三 伊勢(一八三八)・一八九〇
 六四 丸尾(一八九一)・一九三七
 六五 狐石(一九三八)・一九五四
 六六 保木(一九五六)・一九七七

六七 谷 (一九七八〜一九八五)

六八 長燭 (一九八六〜二〇〇二)

六九 井ノ木 (二〇〇三〜二〇一九)

七〇 内河野 (二〇二〇〜二〇四七)

七一 難野 (二〇四八〜二〇五八)

七二 住吉 (二〇五九〜二〇九七)

七三 西内河野 (二〇九八〜二二二二)

七四 高尾 (二二二三〜二二五七)

七五 加鶴 (二二五八〜二二〇四)

七六 井ノ迫 (二二〇五〜二二三二)

七七 加羅木 (二二三三〜二二五二)

七八 左山平原 (二二五三〜二二〇四)

七九 向田 (二二〇五〜二二三二)

1 ヒロゾノ (二三二一)

八〇 烏帽子 (二三二八〜二三三八)

八一 尾平 (二三三九〜二三五一)

八二 尾迫 (二三五二〜二三五七)

八三 徳ヶ迫 (二三五八〜二三七三)

八四 永迫 (二三七四〜三九五)

八五 広園 (三三九六〜三四四一)

八六 恩ヶ迫 (三四四二〜三四四七)

八七 出口 (三四四八〜三四五三)

八八 丸山 (三四五四〜三四五七)

八九 畑殿 (三四五八〜三四六一)

九〇 鍛冶墨園 (三四六二〜三四六九)

九一 木白 (三四七〇〜三四七六)

九二 井ノ本 (三四七七〜三四八九)

九三 平原 (三四九〇〜二五〇一)

1 ヒラバル (二四九二)

九四 老町畑 (二五〇二〜二五一〇)

九五 日場方 (二五一一〜二五一六)

九六 墓山 (二五一七〜二五二〇)

九七 迫田 (二五二一〜二五二三)

九八 峯殿 (二五二四)

九九 大良 (二五二五〜二五三一)

一〇〇 中尾 (二五三二〜二五三四)

一〇一 深迫 (二五三五〜二五五〇)

一〇二 草場 (二五五一〜二五六九)

一〇三 天神平 (二五七〇〜二五八四)

一〇四 松ヶ本 (二五八五〜二五八六)

1 アンノウエ (二五八五)

一〇五 天神ノ前 (二五八七〜二六〇二)

一〇六 市場 (二六〇三〜二六一一)

一〇七 菅松 (二六一二〜二六一三)

一〇八 立平 (二六一四〜二六一八)

一〇九 宮畑 (二六一九〜二六三三)

一一〇 岡ノ山 (二六三四〜二六四〇)

一一一 鳥越 (二六四一〜二六五五)

一一二 大久保 (二六五六〜二六五八)

一一三 大石ヶ平 (二六五九〜二六七二)

- 一一四 横畑 (二六七三〜二六八七)
- 一一五 水口 (二六八八〜二六九四)
- 一一六 芋畑 (二六九五〜二七一四)
- 一一七 岡 (二七一五〜二七二九)
- 一一八 田ノ上 (二七三〇〜二七三七)
- 一一九 花田 (二七三八〜二七四五)
- 一二〇 柚ノ木 (二七四六〜二七四九)
- 一二一 笹ケ尾 (二七五〇〜二七七九)
- 一二二 上圃 (二七八〇〜二七九八)
- 一二三 1ウエソノ (二七九五)
- 一二四 宮ノ上 (二七九九〜二八一三)
- 一二五 立葉圃 (二八二二〜二八二六)
- 一二六 楢園 (二八二七〜二八二九)
- 一二七 1ナラソノ (二八二七)
- 一二七 垣添 (二八三〇〜二八四〇)
- 一二八 1カキノエ (二八三〇)・2カドバタケ (二八三七)
- 一二八 中ノ迫 (二八四一〜二八七六)
- 一二九 西ノ迫 (二八七七〜二九一九)
- 一三〇 台良 (二九二〇〜二九三)
- 一三一 大石ケ本 (二九三一〜二九四〇)
- 一三二 光安 (二九四一〜二九五三)
- 一三三 三隅園 (二九五四〜二九五七)
- 一三四 米丸 (二九五八〜二九六七)
- 一三五 神ノ木 (二九六八〜二九七二)

- 一三六 桑鶴 (二九七三〜二九八五)
- 一三七 倉園 (二九八六〜二九八八)
- 一三八 十二ヶ田 (二九八九〜二九九二)
- 一三九 宮ノ前 (二九九三〜三〇〇二)
- 一四〇 1ジソウヤマ (三〇〇〇〜三〇〇二)
- 一四〇 堂面 (三〇〇三〜三〇一一)
- 一四一 井ノ尻 (三〇一三〜三〇一四)
- 一四二 深田 (三〇一五〜三〇二五)
- 一四三 海添 (三〇二六〜三〇四四)
- 一四四 1マルオサ (三〇三八・三〇三九)・2元宮 (三〇四一付近)
- 一四四 下田 (三〇四五〜三〇五二)
- 一四五 油長尾 (三〇五三)
- 一四六 大神田 (三〇五)
- 一四七 両ヶ田 (三〇五五〜三〇五九)
- 一四八 小神田 (三〇六〇〜三〇六三)
- 一四九 尾坪 (三〇六四〜三〇七一)
- 一五〇 保木ノ下 (三〇七二〜三〇七三)
- 一五一 油田 (三〇七四)
- 一五二 行部作 (三〇七五〜三〇七七)
- 一五三 鶴田 (三〇七八〜三〇八三)
- 一五四 井田 (三〇八四〜三〇九一)
- 一五五 当堂田 (三〇九二)
- 一五六 前川 (三〇九三〜三一〇三)
- 一五七 弓場ノ本 (三一〇四)
- 一五八 風呂ノ本 (三一〇五)

- 一五九 石垣(三二〇六)三二一一)
- 一六〇 別宮氷(三一二)三二二七)
- 一六一 四十田(三一二八)三二三五)
- 一六二 御供田(三一三六)三二四〇)
- 一六三 早田(三一四一)三二六六)
- 一六四 瓜川原(三一六七)三一七〇)
- 一六五 新漕(三一七一)三一八二)
- 一六六 土生田(三一八三)三二三五)
- 一六七 出口(三二三六)三二五一)
- 一六八 峯田(三二五二)三二七六)
- 一六九 羽田(三二七七)三二九一)
- 一七〇 溝添(三二九二)三二九四)
- 一七一 用ノ坪(三二九五)三三一九)
- 一七二 志多田(三三三〇)三三五〇)
- 一七三 十二ヶ添(三三五一)三三五九)
- 一七四 川原田(三三六〇)三四一九)
- 一七五 岩淵(三四一九)三四二九)
- 一七六 米丸(三四三〇)三四三七)
- 一七七 野添(三四三八)三四四六)
- 一七八 田平(三四四七)三四六九)
- 一七九 御羅(三四七〇)
- 一八〇 宮原(三四七一)三四九六)
- 一八一 上山(三四九七)三五二一)
- 一八二 山首(三五二二)三五四〇)
- 一八三 中山(三五四一)三六二九)
- 一八四 腰ヶ道(三六三〇)三六四〇)
- 一八五 箱燗(三六四一)三六五〇)
- 一八六 寺ノ谷(三六五一)三六五四)
- 一八七 久吉(三六五五)三六六四)
- 一八八 寺(三六六五)三六七二)
- 一八九 下山(三六七二)三六八六)
- 一九〇 塔ノ本(三六八七)三六九三)
- 一九一 櫻本(三六九四)三六九九)
- 一九二 中園(三六九七)三七〇九)
- 一九三 古久井(三七一〇)三七四五)
- 一九四 天道寺(三七四六)
- 一九五 山添(三七四七)三七五七)
- 一九六 迫ノ口(三七五八)三七八一)
- 一九七 大薮野(三七八二)三七八八)

1ペンテンヒラ(三四五九・三四六一・三四六二付近)

- 一七九 御羅(三四七〇)
- 一八〇 宮原(三四七一)三四九六)
- 一八一 上山(三四九七)三五二一)
- 一八二 山首(三五二二)三五四〇)
- 一八三 中山(三五四一)三六二九)
- 一八四 腰ヶ道(三六三〇)三六四〇)
- 一八五 箱燗(三六四一)三六五〇)
- 一八六 寺ノ谷(三六五一)三六五四)
- 一八七 久吉(三六五五)三六六四)
- 一八八 寺(三六六五)三六七二)
- 一八九 下山(三六七二)三六八六)
- 一九〇 塔ノ本(三六八七)三六九三)
- 一九一 櫻本(三六九四)三六九九)
- 一九二 中園(三六九七)三七〇九)
- 一九三 古久井(三七一〇)三七四五)
- 一九四 天道寺(三七四六)
- 一九五 山添(三七四七)三七五七)
- 一九六 迫ノ口(三七五八)三七八一)
- 一九七 大薮野(三七八二)三七八八)

1ミズクチ(三七八〇・三七八一付近)

一九八 水ヶ本 (三七八九〜三八一五)
 一九九 勝負ヶ追 (三八一六〜三八三四)
 二〇〇 平畑 (三八三五〜三八四一)
 二〇一 神園 (三八四二〜三八四九)
 二〇二 永吉 (三八五〇〜三九〇四)
 二〇三 妙見平 (三九〇五〜三九一四)

△ 両子 ▽

一 園田 (一〜二四)
 一ニシ (一一)
 二 園田ノ上 (二五〜六〇)
 三 伽羅 (六一〜七八)
 四 水ヶ追 (七九〜一〇二)
 一マルヤマ
 五 川原 (一〇三〜一五一)
 一インキョ (一二五)・2クボヤシキ (一二六)・3ウエンハ
 シ (一二五)・4カワラ (一二五)
 六 峯ノ上 (一五二〜一八二)
 七 徳光 (一八三〜二二二)
 八 天徳 (二二三)
 九 師坊 (二三三〜三〇五)
 一〇 財間 (三〇六〜三六四)
 一フクトク (三一四)
 一一 二郎丸ノ上 (三六五〜四五二)

一二 二郎丸 (四五三〜四七八)
 一三 中屋敷 (四七九〜五四一)
 一ナカヤシキ (四九九)
 一四 迫田 (五四二〜五六六)
 一五 東ノ上 (五六七〜六〇八)
 一六 徳代 (六〇九〜七二二)
 一七 中ノ迫 (七二三〜七六三)
 一八 河内ヶ追 (七六四〜八〇八)
 一九 堂ヶ追 (八〇九〜八三四)
 二〇 新屋敷 (八三五〜八六九)
 一エンノキ (八五五)
 二一 小園 (八七〇〜九二七)
 一ニシキョゼ (九〇二)・2ゴソノ (九二二)
 二二 小園ノ上 (九二八〜九五六)
 二三 平石 (九五七〜九六八)
 二四 馬場 (九六九〜九八三)
 二五 老反田 (九八四〜一〇六六)
 一カワバタ (九八八〜九九一)・一〇〇二・一〇〇三・一〇〇
 六・2ミンバタ (九九九〜一〇〇〇)・一〇〇八・一〇一〇)・
 3ムセオサ (一〇〇二)
 二六 上馬場 (一〇六七〜一〇九二)
 二七 笹ヶ尾 (一〇九二〜一〇九五)
 二八 久保殿 (一〇六〜一三三)
 二九 山添 (一一三四〜一一四八)
 一◎ムコダイ (一一四五)

- 三〇 実相坊(二四九〇〜一九三三)
- 一〇 ムコダイ(二八五・二八六・二八八・二一九)
- 三一 大般若(一九四〇〜二二九)
- 三二 ノノ井手(二四〇〇〜二四八)
- 三三 樺ノ木(二四九〇〜二七七)
- 一 シタゲノキ(二二四九)・2 ヤンタケ(二二七三)
- 三四 弥縁(二七八〇〜二一四)
- 一 ヤンタケ(二二九四・二二九七・二二九九)
- 三五 杖立(二一五〇〜二三五〇)
- 三六 八間石(二三五〇〜二七七)
- 一 オコウシンハナ(二二七〇)
- 三七 六地藏(二二七八〜二四一〇)
- 一 ケンノキ(二二七九・二二九一・二二九二・二二九七・二二九九)
- 三九八・2 シンヤシキ(二四〇二)
- 三八 箕ノ手(二四一〇〜二四二二)
- 三九 平床(二四一三〜二四一四)
- 四〇 中ヶ谷(二四一五〜二四一九)
- 四一 下り松(二四二〇〜二四二二)
- 四二 代(二四二四〜二四四二)
- 四三 広畑(二四四三〜二四七四)
- 四四 初着岩(二四七五〜二四八二)
- 四五 内ヶ払(二四八三〜二五〇三)
- 四六 西(二五〇四〜二五四五)
- 四七 両子山(二五四六〜二五五七)
- 四八 走水(二五五八〜二五八九)

- 四九 上ノ原(二五五八〜二六〇二)
- 五〇 多新畑(二六〇二〜二六一八)
- 五一 山ノ神(二六一九〜二六二六)
- 五二 堀切(二六二七〜二六四五)
- 五三 上畑(二六四六〜二六五一)
- 五四 神岩(二六五二〜二六八四)
- 五五 ノノ私(二六八五〜二七三七)
- 五六 山ノ下(二七三八〜二七五九)
- 五七 竹ノ本(二七六〇〜二七八〇)
- 五八 米山(二七八一〜二八一)
- 五九 払山(二八一二〜二八三〇)
- 六〇 柳ノ本(二八三一〜二八五)
- 六一 払(二八五七〜二九三五)
- 一 カミテダイ(二八五七・二八六五〜二八六八・二八七〇・二八七一・二八七五)・2 ソラ(二八七五)・3 シモテダイ(二九〇九〜二九一一・二九一八)・4 サコダ(二九三三)
- 六二 神ノ森(二九三六)
- 六三 宮ノ上(二九三七〜二九四九)
- 六四 上ノ迫(二九五〇〜二九五五)
- 六五 向田(二九八六〜二〇〇八)
- 一 ヒソロキ(二九九八〜二〇〇三・二〇〇五)・2 ミズトウシ(二〇〇六・二〇〇七)
- 六六 横峯(二〇〇九〜二〇七九)
- 一 セス(二〇一〇)・2 ヤセダ(二〇〇九)・3 オオサ(二〇一一)・4 テーマン(二〇一三)・5 ヨコオサ(二〇一四)・6

シモンタ (二〇一七)・7カミテ (二〇五九)

- 六七 別荘出 (二〇八〇) (二〇九六)
- 六八 園ノ上 (二〇九七) (二一三八)
- 六九 中ノ尾 (二一三九) (二一九四)
- 七〇 巳尾 (二一九五)
- 七一 天水 (二一九六) (二二二四)
- 七二 中尾ノ下 (二二二五) (二二九四)
- 七三 早田 (二二九五) (二三三三)
- 七四 道面 (二三三四) (二三七九)
- 七五 山王田 (二三八〇) (二三九九)
- 七六 正月田 (二四〇〇) (二四六八)
- 七七 峯ノ丸 (二四六九) (二五〇五)
- 七八 神命 (二五〇六) (二五七〇)
- 七九 権現田 (二五七一) (二六〇五)
- 八〇 明徳田 (二六〇六) (二六三二)
- 八一 川原田 (二六三二) (二七〇七)
- 八二 大万坊 (二七〇八) (二七二七)
- 八三 新地 (二七二八) (二七四六)
- 八四 鬼田 (二七四七) (二七五〇)
- 八五 上川原田 (二七五一) (二七八七)
- 八六 田中丸 (二七八八) (二九二二)
- 八七 上田中 (二九二四) (二九八四)
- 八八 平原 (二九八五) (二九九九)
- 八九 墓堂 (三〇〇〇) (三〇三三)
- 九〇 下田中 (三〇三四) (三〇六七)

九一 法眼 (三〇六八) (三〇九五)

- 九二 岡 (三〇九六) (三一三三)
- 九三 工圃 (三一四) (三二一五)
- 九四 平石 (三二一六) (三二四七)
- 九五 大良 (三二四八) (三三〇八)
- 九六 明徳 (三三〇九) (三三五一)
- 1 オク (三三二〇)
- 九七 小畑 (三三五二) (三三七二)
- 1 ホンキョ (三三五八)・2 モトヤシキ (三三六八)
- 九八 小畑ノ上 (三三七二) (三三九九)
- 九九 前 (三四〇〇) (三四一五)
- 一〇〇 薬王丸ノ上 (三四一六) (三四六二)
- 一〇一 薬王丸 (三四六三) (三五三四)
- 1 カジヤ (三四九二)・2 ヒガシ (三五〇九)
- 一〇二 小迫 (三五三五) (三五六一)

△ 山 浦 ▽

- 一 福出 (一) (六三)
- 二 陽春田 (六四) (一〇八)
- 1 イマイ (一〇三)
- 三 榎木田 (一〇九) (一四三)
- 1 シンタク (一四〇)
- 四 今井ヶ平 (一四四) (二〇四)
- 五 砂子 (二〇五) (二九二)

- 一ノデ(二四〇)・2タプチ(二六一)・3インキョ(二六二)
 4ナカマ(二六三)・5ニシ(二六九)
 六宮ノ本(二九三)〜三四四
 一オク(三〇一)・2ドウンマエ(三二四)・3ナカズリ(三二七)〜三二九・三三二〜三三六・4ニナジリ(三三〇)
- 七 小瀬原平(三四五)〜三六七
 八 向田(三六八)〜四〇四
 九 西向田(四〇五)〜四一七
 一〇 向田平(四一八)〜四五三
 一一 釘尾(四五四)〜五二六
 一二 赤二田(五二七)〜六三八
 一三 光山(六三九)〜六九九
 一四 一カミヤマ(六五一)・2ヤマテ(六九六)
 密乗院(七〇〇)〜八六〇
 一オク(七四九)・2ナカ(七五三)・3ソラ(七六九)・4ミナクチ(八二五)・5シシタク(八三九)・6サンジュウダ(八五〇)
- 一五 川原田(八六一)〜九〇五
 一テラノウエ(九〇四)・九〇五
 一六 神手(九〇六)〜九五五
 一七 大谷(九五六)〜九九三
 一八 井ノ上(九九四)〜一〇五二
 一ムコウ(一〇〇七)・2ヘーヤ(一〇二八)
- 一九 水落(一〇五三)〜一〇九九
 二〇 カゲ平(一一〇〇)〜一一五二

二一 屋那瀬(一一五三)〜一二八一

一オオニシ(一二五四)・2ワカヤ(一二五七)

二二 大山(一二八二)〜一三二六

二三 正月屋敷(一三二七)〜一三六四

一カドマツ(一三五二)・一三五二(一)・2カヤジマ(一三五四)東

部

二四 大久保(一三六五)〜一四二九

二五 板木(一四三〇)〜一四九〇

一イタギ(一四四三)・2シシガキ(一四八八)付近

二六 前田(一四九一)〜一五七五

一ミヤンサキ(一五三二)

二七 追(一五七六)〜一六四二

二八 西(一六四二)〜一七一八

一ヒガシノウエ(一七一〇)

二九 橋ノ本(一七一九)〜一八〇〇

三〇 山ノ田(一八〇一)〜一八四八

三一 丸尾(一八四九)〜一八六六

△ 矢 川 ▽

一 馬場(一〜五五)

二 川又(五六)〜一三三

一ヒガシ(七〇)・2シリタ(七一)

三 下矢川(一三四)〜二一五

一クボヤシキ(一八八)〜一九〇

四 大平 (二一六〜三三三)

1 ハイシダイ (二二二〜三三四・二五四・二五六)・2 ドンサコ (三三〇)

五 鳥越 (三二四〜三七九)

1 ハチバタケ (三五二)

六 尾松 (三八〇〜三九八)

七 久石 (三九九〜四七七)

1 ソノヤシキ (四〇九)

八 前田 (四七八〜五四八)

1 オカタダイ (五一二・五一六・五二三)

九 大内迫 (五四九〜六一三)

1 タカオ (五八七付近)

一〇 向田 (六一四〜六九一)

1 ムカイダ (六四三・六四四・六五〇)

一一 宮ノ上 (六九二〜七五九)

一二 広坪 (七六〇〜八〇九)

一三 新漕 (八一〇〜九〇三)

1 ヤマンクチ (八三八)

一四 長瀬 (九〇四〜一〇二二)

一五 神田 (一〇二三〜一〇九七)

1 ジンデン (一〇三八〜一〇四二・一〇四九〜一〇五二)・2 ジンヂ (一〇六四)

一六 屋敷 (一〇九八〜一一八五)

1 オドリバカ (一一三八・一一三九)・2 アンノウエ (一一四九)・3 アンシタ (一一五〇)・4 ウェンサコ (一一五五)

一七 中之道 (一一八六〜一二六四)

1 ナカノサコ (一二一〇)・2 タケノスエ (一二三四)・3 アソチ (一二二七)

一八 花付 (一二六五〜一三二六)

1 マツガサコ (一二七七)

一九 大中野 (一三二七〜一四〇二)

1 ソウノキ (一三七〇)

二〇 其田 (一四〇二〜一四六一)

1 シンタク (一四四二)

二一 上大坪 (一四六二〜一五〇四)

二二 大野 (一五〇五〜一五四二)

二三 原 (一五四三〜一六一七)

二四 知幸坊 (一六一八〜一六八四)

二五 城ヶ谷 (一六八五〜一七六九)

1 イツボ (一六八七)

二六 大坪 (一七七〇〜一八五二)

二七 畑成 (一八五三〜一九五八)

△ 朝来 ▽

一 京徳 (一〜一四五)

二 尾追 (一四六〜二六七)

三 貴船 (二六八〜三九三)

1 ハゲ (二七八)

四 流田 (三九四〜四五〇)

五 大石ケ本(四五一〜五八一)
六 鳥越(五八二〜七二九)

1 テラオ(五九二)・2 オクノソノ(六一九)

七 広舞(七三〇〜八〇一)

八 八反田(八〇二〜八八四)

九 中原(八八五〜九八二)

一〇 猿喰(九八三〜一〇七〇)

一一 内屋敷(一〇七一〜一二三七)

一二 新漕(一二三八〜一二九三)

一三 杵築田(一二九四〜一三六四)

一四 谷ノ上(一三六五〜一四一八)

一五 中野(一四一九〜一四二五)

一六 平原(一四二六〜一五六九)

一七 平原ノ下(一五七〇〜一六二〇)

一八 寺野(一六二一〜一七五八)

1 シモテ(一七〇〇)・2 ヘヤ(一七〇七)

一九 年天(一七五九〜一八六〇)

二〇 一嶽(一八六一〜一九七三)

二一 栗ノ木田(一八七四〜二〇七四)

二二 小屋光(二〇七五〜二一九三)

二三 若名田(二一九四〜二三二四)

二四 宇津ケ原(二三二五〜二三六三)

二五 富原(二三六四〜二四五五)

二六 間方(二四五六〜二五二七)

二七 宮園(二五二八〜二七一八)

二八 宮ノ前(二七一九〜二九二六、四二三七〜四二五三)
二九 松ケ本(二八二七〜二九二六、四二二七〜四二二六)

1 ヤドタ(二八二六〜二八三九)

三〇 大田(二九二七〜三〇一三)

三一 田中(三〇一四〜三〇七五)

三二 前田(三〇七六〜三一九八、四二五四〜四二六二)

三三 権現(三一九九〜三三一一)

三四 吉行(三三一八〜三四七〇、四二二三〜四二二六)

三五 陣ノ内(三四七一〜三五八三)

1 ヤマオカ(三五五七)・2 サカヤ(三五七五)・3 ミネザ(三

五八三)

三六 天神山(三五八四〜三七五一)

三七 中ノ段(三七五二〜三八九九)

三八 上油原(三九〇〇〜四〇二一)

1 ガクニワ(三九九三付近)

三九 下油原(四〇二二〜四二二二)

△ 明治 ▽

一 山捨(一〜一七三)

1 ハタケダ(三〜五・七・九・一一)・2 スポタ(五八)・3
サルガワ(一六三)

二 大坪(一七四〜三三八)

1 オオツボ(一八七)・2 ヒナタ(二〇六)・3 イノサコ(二
四六)・4 ヒラノクチ(二五七)・5 ショヤモト(三二六)・6

- ピワオサ(三三二)・7ヒロオサ(三三二)・8ミネノシタ(三三六)
 三 寺田(三三九)四九八
 1テラダ(三五三)四〇〇・2寺ノ下(三五八)
 四 尾園(四九九)七五二
 1杉園(五四〇・五五四)・2ウエノハル(五八四)五八六
 3ウサジ(六二五)六二九付近・4ホウキヨウ(七一)七
 一四付近)
 五 多々良元(七五三)九一三
 六 屋形(九一四)一〇五六
 1ヤカタ(九七四・九六一)・一〇三四)一〇三六・一〇二五)一〇一八・一〇二八)
 七 高地(一〇五七)一五二)
 八 竹ノ下(一一五三)一四二七)
 九 榎迫(一二四二)一五八四)
 1テンジンタ(一四三六・一四三七)・2ホトケダ(一五〇六)
 3クボタ(一五二六)
 一〇 平田(一五八五)一六八一)
 一一 尾崎(一六八二)一七二五)
 一二 宮ノ平(一七二六)一七九二)
 一三 樋ヶ迫(一七九二)一九〇二)
 一四 川床(一九〇二)二〇一九)
 一五 益ヶ原(二〇二〇)
 一六 萩ヶ迫(二〇二二)二一〇七)
 一七 寺園(二〇八)二七三)
 一八 金剛院(二七四)二四三九)
 一九 後田(二四四〇)二五〇七)
 二〇 半田(二四四〇)二五八四)
 二一 大久保(二五八五)二七四八)
 1ヤネダ(二六一五・二六一六・二六九八・二七〇一・二七〇七)
 二二 吉行(二七四九)二八九五)
 1ミナミイシヤ(二八七二)
 二三 柚ノ木(二八九六)三一七)
 二四 岩詰(三一八)三二〇四)
 二五 中園(三二〇五)三三三三)
 1コザロ(三三五〇・三三五一)
 二六 中園田(三三三二)三四二六)
 二七 切畑(三四二七)三七一〇)
 二八 紺屋(三七一)三九五〇)
 1ナカマ(三七二〇)・2オシヤモト(三七二八)・3ヒランノ(三七九二)・4フクミツト(三七九五)・5オバナ(三八一一)・6トクマツ(三八一三)
 二九 市ノ尾(三九五)四二九)
 三〇 中畑(四二九)四五五〇)
 三一 大内(四五五)四六一五)
 三二 本手(四六一)四六八七)
 1タツノツボ(四六二)四六二六)
 三三 紺屋下(四六八)四八四二)
 1ヤネンシタ(四七〇三)・2シツタンガツボ(四八二二)

三四 松代 (四八四三〜四九六三)

三五 新開 (四九六三〜五〇〇五)

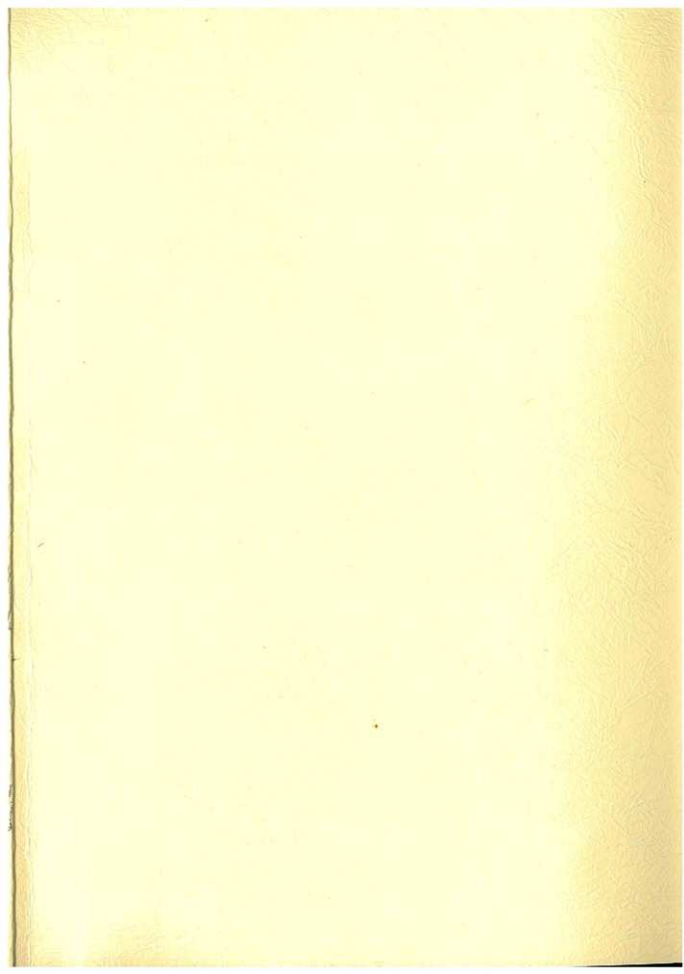
三六 高盛 (五〇〇六〜五〇三八)

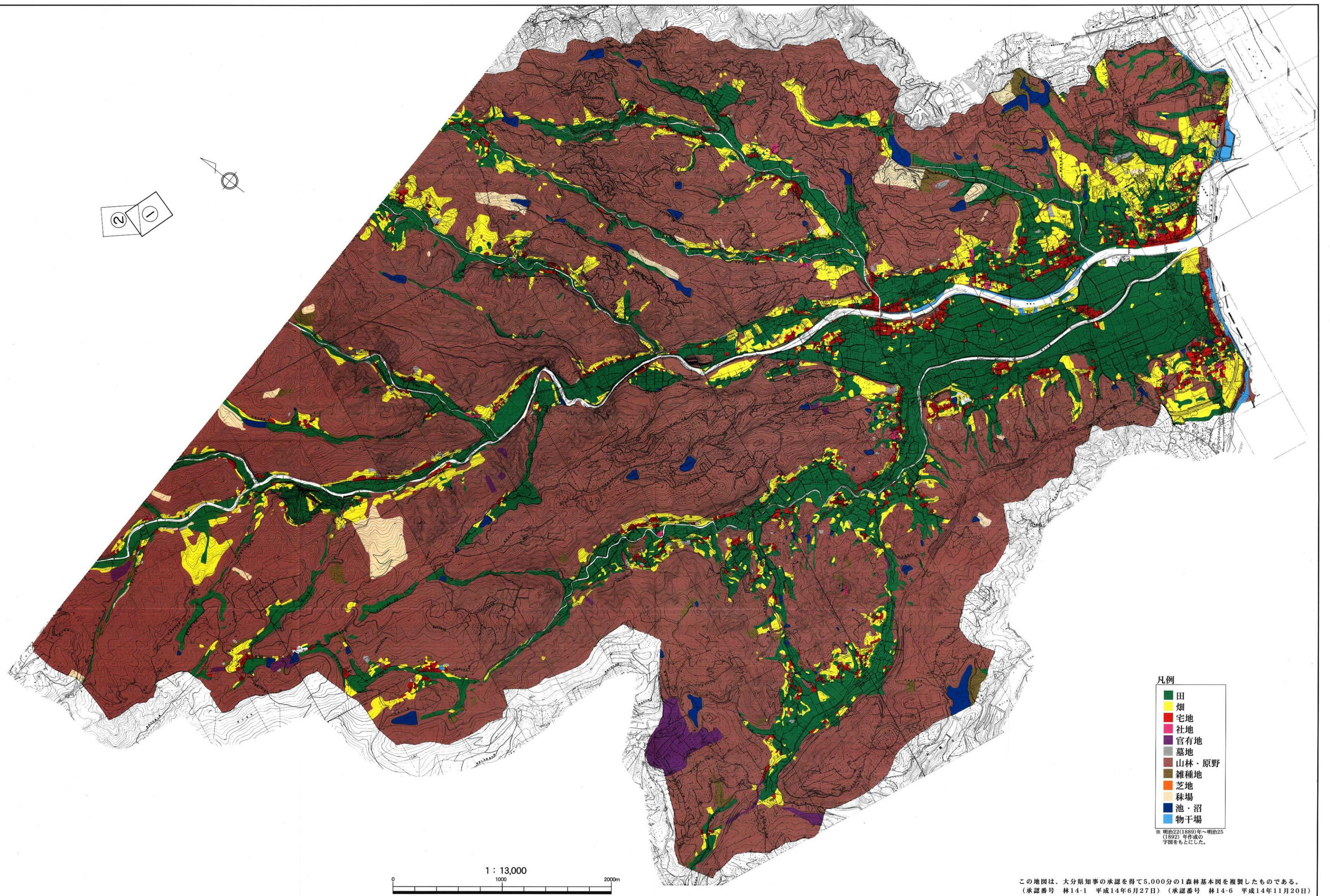
1 テラダ (五〇二六・五〇三二・五〇三三・五〇三五〜五〇

三七)

報 告 書 抄 録

ふりがな	ぶんごのくにあきごうのちょうさ しりょうへん							
書名	豊後國安岐郷の調査 資料編							
シリーズ名	大分県立歴史博物館報告書							
シリーズ番号	第7集							
編著者名	櫻井成昭							
編集機関	大分県立歴史博物館							
所在地	〒872-0101 大分県宇佐市大字高森字京塚							
発行年月日	2003年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
安岐郷	大分県 東国東郡 安岐町	443255				990401 5 040331		遺跡詳細 分布調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺跡	主な遺物	特記事項			
安岐郷	荘園村落	中世～近代						

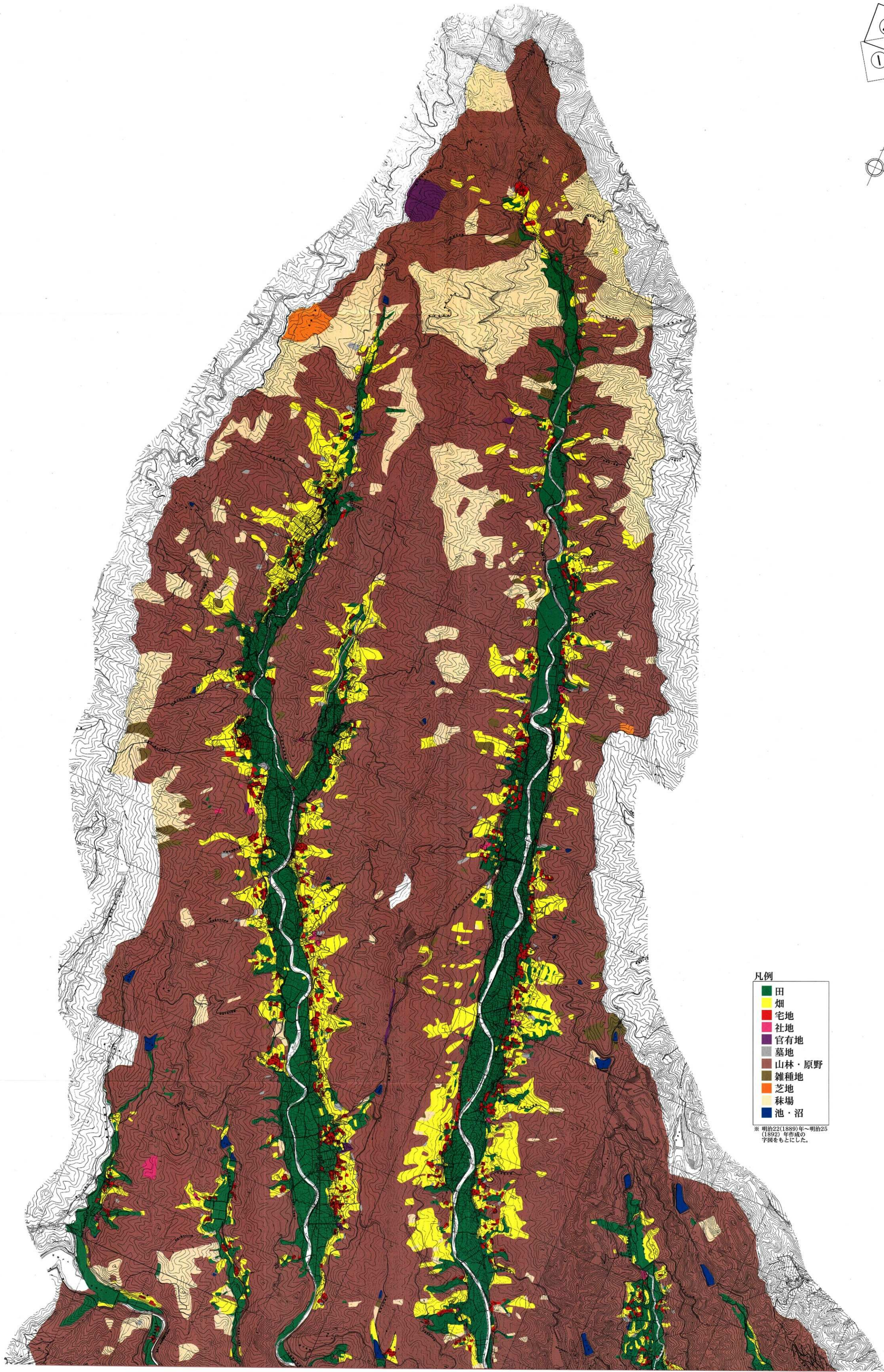
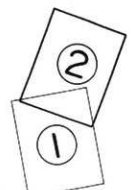




- 凡例
- 田
 - 畑
 - 宅地
 - 社地
 - 官有地
 - 墓地
 - 山林・原野
 - 雑種地
 - 芝地
 - 秣場
 - 池・沼
 - 物干場

※ 明治22(1889)年～明治25(1892)年作成の字図をもとにした。

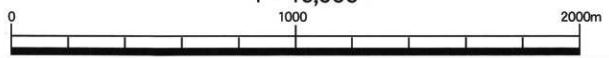
この地図は、大分県知事の承認を得て5,000分の1森林基本図を複製したものである。
(承認番号 林14-1 平成14年6月27日) (承認番号 林14-6 平成14年11月20日)



- 凡例
- 田
 - 畑
 - 宅地
 - 社地
 - 官有地
 - 墓地
 - 山林・原野
 - 雑種地
 - 芝地
 - 秣場
 - 池・沼

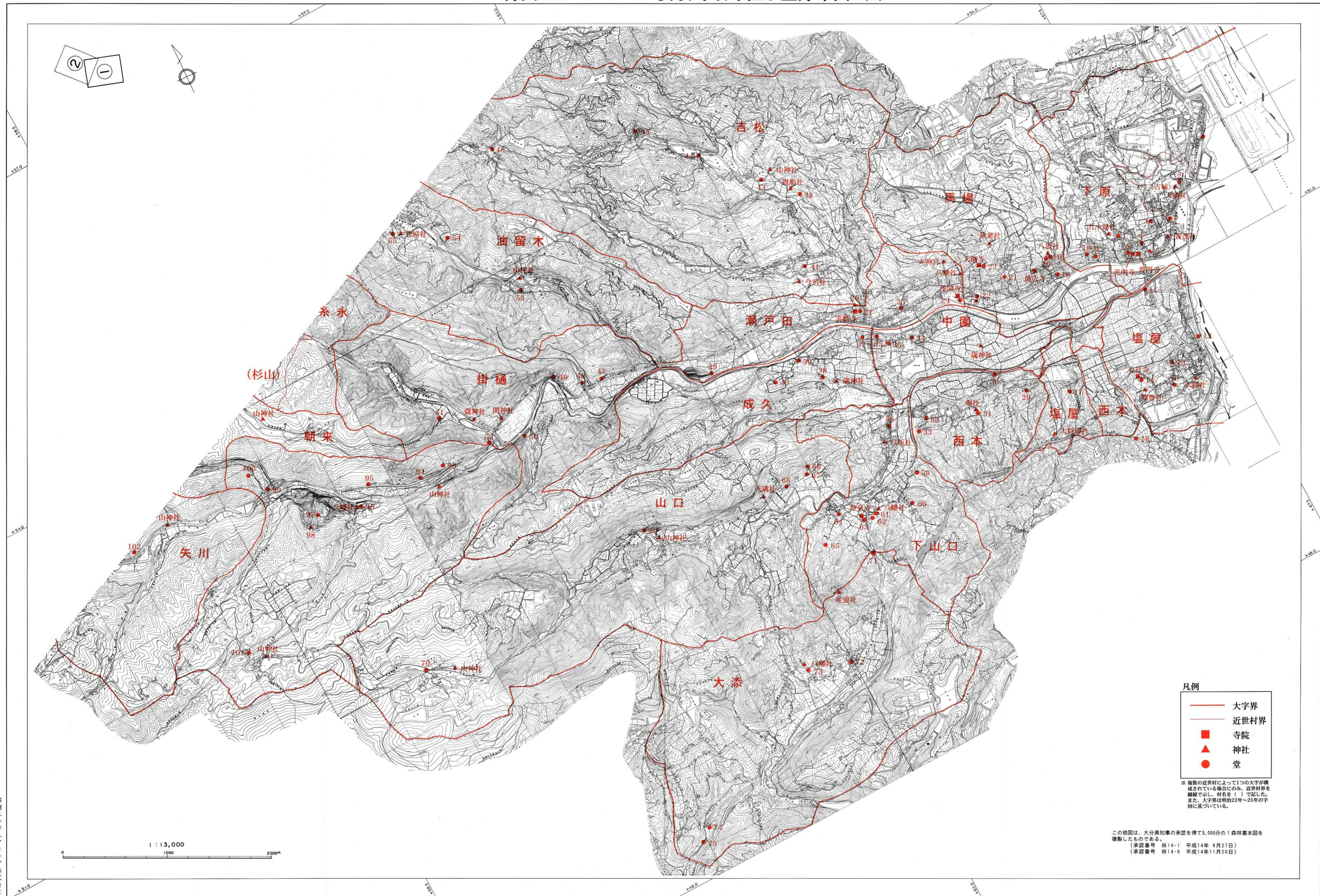
※ 明治22(1889)年～明治25(1892)年作成の字図をもとにした。

1 : 13,000



写測エンジニアリング株式会社

大分県立歴史博物館

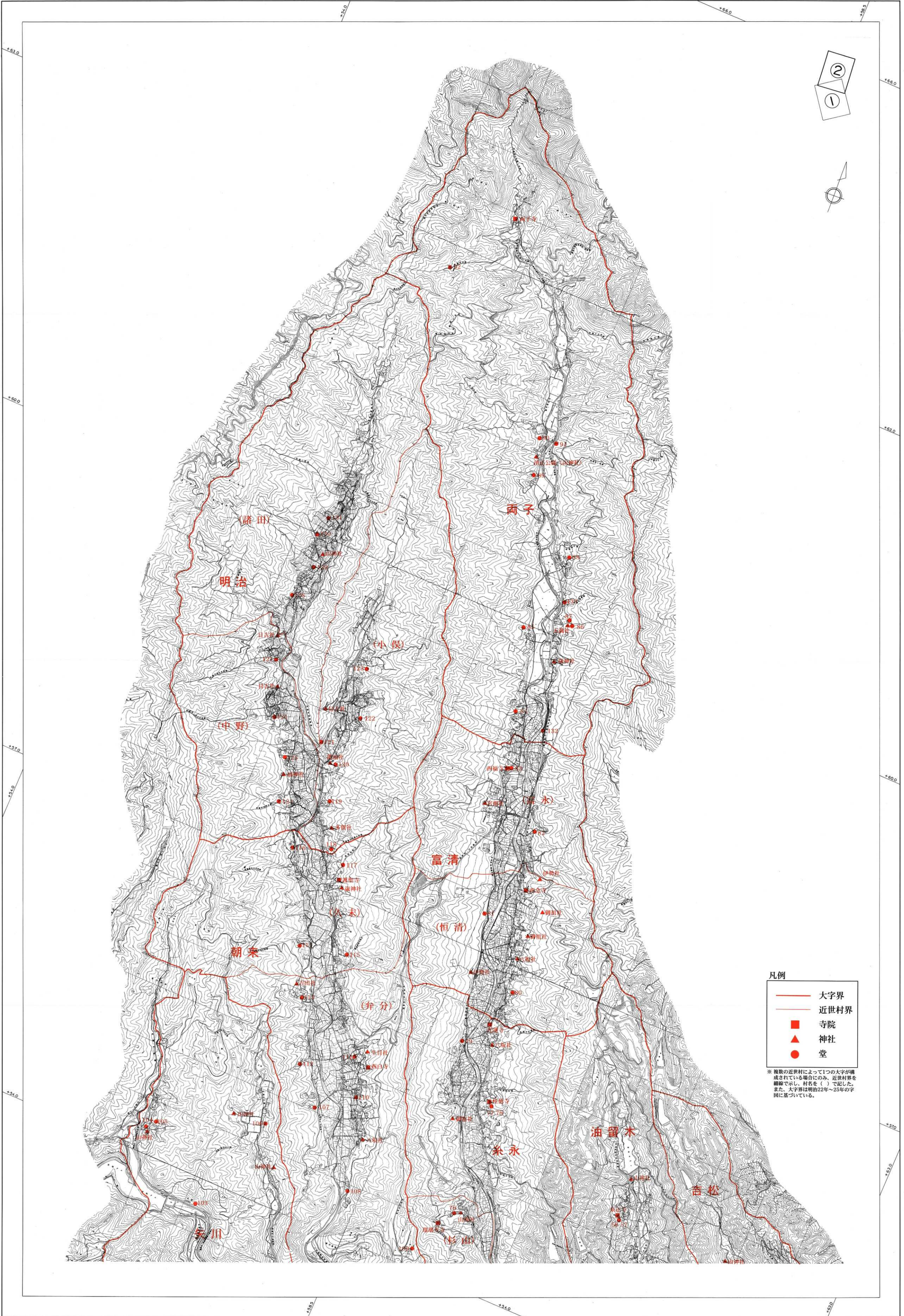


凡例

- 大字界
- 近世村界
- 寺院
- ▲ 神社
- 堂

※ 複数の近世村によって1つの大字が構成されている場合にのみ、近世村界を細線で示し、村名を()で記した。また、大字界は明治22年~25年の字図に基づいている。

この地図は、大分県知事の承認を得て5,000分の1森林基本図を複製したものである。
 (承認番号 林14-1 平成14年 6月27日)
 (承認番号 林14-6 平成14年11月20日)



凡例

	大字界
	近世村界
	寺院
	神社
	堂

※複数の近世村によって1つの大字が構成されている場合にのみ、近世村界を細線で示し、村名を()で記した。また、大字界は明治22年～25年の字図に基づいている。

